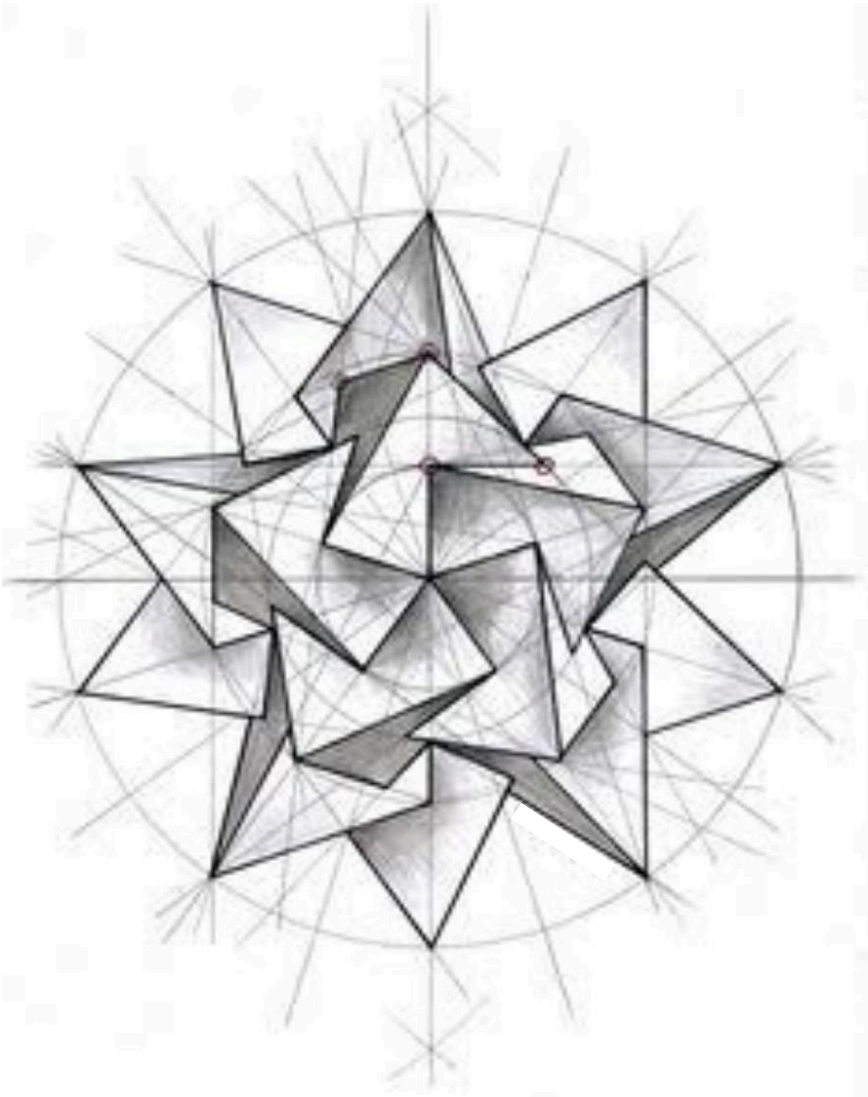
音叉によるセルフヒーリングテキスト

入門編　後編（實踐編）

JIN HIROSE



皆さんの靈的巡礼の旅を支援する

音叉で生命の調律する意味と効果

人生の目的である靈性の進化のための實用書

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

宇宙語一覧表

宇宙語	翻訳	意味
FUGEHUKON	大靈	大靈、神、創造主 森羅万象すべての存在の創造主であり、父であり母。宇宙最高の力であり、無限の叡智、神意、慈悲、あらゆる靈的本質の総合的化身。
FUGEHEKIN	自然法則	「微生物≒精靈」、「ソマチッド≒妖精」が自然界の管理、維持、運營をしている。炎、空氣、土、水、すべての元。時空を構成するものは全てフゲーエキンで成り立っている。
FUNEKON	靈	日本語で大靈の「分靈」を表す。本質的な意識。永遠に存在し續けるミニチュアの神。靈的成長し、大靈に近づくように神に設計された。人間のみ大靈の分靈が与えられている。
EXA PIECO	靈の心	日本語で「魂」を表す。本質的な意志。EXA PIECOが靈體を構成している。誰しもが本來備えている「良心」であり、靈を感知するセンサーの役割。
DIKAG	肉の心	日本語で「顯在意識」を表す。DIKAGが肉體を構成している。肉體を維持、管理、運營するための役割。
FIK	身體	日本語で「潛在意識」を表す。靈體、幽體、肉體の総称。シルバーコードを通して靈體と肉體を繋ぎ、過去の情報を記綠し、肉體の殆どの生命維持の働きを担っている。
DEVIK	サポート	日本語で「靈的成長のためのサポート」を表す。靈的成長の原点は「調和」であり、「分かち合い」、「協調關係」が原則。別な表現だと「利他」、「奉仕」の實踐であり、自然法則を學ぶという意味も含まれる。
SEPOUW	背後靈	背後靈は「守護靈」と「指導靈」の2種類が存在する。より重要なのは守護靈であり、生涯に渡る専属の教師。指導靈は自分自身の靈性の状態で入れ替わったり増加したりする。高次の入れ替わりが「入神」、低次の入れ替わりが「憑依」であり、本人の周波數次第。

宇宙語	翻訳	意味
FALF（ファルフ）	パワースポット	エネルギー蘇生装置・エントロピー減少装置 本來の時空から生み出される、自然の仕組みに適って調和のとれた存在物。自然法則である「微生物≒精靈」、「ソマチッド≒妖精」を蘇生させるもの。精靈と妖精は自然法則そのものであり、その頂点が靈の大海、すなわち大靈（たいれい）になる。
ARUT（アルト）	アート	アートの語源。FALF（ファルフ）と同じ意味 本來、眞の科學（かがく）とは「FALF（ファルフ）の追窮」を意味し、その本質は「全存在物の蘇生化」にある。現代地球文化ではARUT（アルト）と科學（かがく）が分離してしまい、その結果としてここまで自然法則に反した文化を築き上げてしまった
TUNING（トゥニング）	チューニング	チューニングの眞の意味は「直觀」であり、直觀の眞の意味は「靈と靈のテレパシー通信」になる。チューニングの本質とは、靈的世界の波長に合わせ、より高次の存在から課題を乗り越えるためのヒントをもらうための行爲。



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

宇宙語一覧表 3

第九章　音叉を扱う基本について 10

各タイプのサウンドツールの意味 11

チャクラバーの基本的な使い方について 15

フォークタイプの基本的な使い方について 19

ヘヴィーフォークタイプの基本的な使い方について 23

飲食物に導入編セットを使う意味と方法 27

サウンドツールと様々なものを複合して使う意味について 29

第十章　靈(EXA PIECO)の心、心臓脳(ハートブレイン)と 528Hz 32

HeartMath Institute(ハートマス研究所)の研究で明らかになった心臓脳 33

靈(心臓脳)の心と肉(大脳)の心を繋ぐ細胞的知性、ニューロンについて 35

星々の周波数は、細胞的知性(ニューロン)（潜在意識(FIK)）に働きかける 37

平均律は靈(心臓脳)の心と肉(大脳)の心のシンクロ(同期)を妨げ、不協和音を生み出す 39

平均律の音樂の恐ろしさ 41

アコースティックな 528Hz の音が、心の調和(コヒーレンス)が取れた状態を生み出す 43

靈(心臓脳)の心と肉(大脳)の心の調和とバランスを回復させる 45

第十一章　古代よりの心理療法、東洋醫學(いがく) 48

陰陽五行を通して、靈、心、感情の動きを學ぶ 49

陰陽五行は、人間の深い部分を見通すことが出来るようになる 53

自然法則(FUGEHEKIN)についての正しい理解が鍵になる 57

十二經絡は、東洋思想の「血液」を司る 59

十二經絡の１２のエネルギーの流れについて 61

心のシルバーコードと身體(しんたい)のシルバーコード 69

第十二章　仙骨と蝶形骨と華佗夾脊(かだきょうせき) 72

仙骨と蝶形骨、水晶宮(クリスタルパレス)の活性化について 73

蝶形骨の經穴(ツボ)、睛明(せいめい)のネガティブエネルギーを解放(リリース)する 77

仙骨は生命エネルギーを司っている 79

道教(タオ)の思想にある仙骨八仙洞(はっせんどう)と北斗八星のつながり 81

対面ヒーリングの基礎であり奥義である華佗夾脊(かだきょうせき) 83

第十三章　音叉による腦幹の調整法 88

腦幹の疲れによる悪影響について 89

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

脳幹の經穴、天柱、風池、完骨と、頸椎の調整の意味について　93
天柱、風池、完骨のセルフヒーリングの方法　95
翳風、瘈脈、顱息の３つの經穴について　97
SEPOUW背後靈との繋がりを強化する天牖の經穴　98

第十四章　音叉によるフェイシャルケア　100

音叉でフェイシャルケアをする意味について　101
音叉フェイシャルケアの基本的な施術方法　104
音叉フェイシャルケアで刺激する經穴一覧　109
呼吸を整え身體をリラックスさせる經穴「神門」　111
細胞修復とコミュニケーション力の向上の經穴、「印堂」と「上星」　112
鼻腔と副鼻腔について　113
視床と視床下部、腦脊髓液CSFについて　114
三叉神經に關係する３つの經穴　115
腦下垂體を刺激する「太陽」の經穴　116
大腦にある「感情腦」と「思考腦」をコントロールする經穴　117

第十五章　音叉による喉の調整法　120

喉まわりの施術の意味について 121
入門編で使う喉まわりの經穴一覧表 123
喉の最重要の經穴、「天突」について 124
コミュニケーションに關係する人迎と扶突の經穴 125
前世、インナーチャイルドに關係する天容と天窓の經穴 126
氣エネルギーの循環に關係する缺盆と氣戸の經穴 127

第十六章　ハート、お腹のセルフヒーリング 128

氣エネルギーが集まる募穴を使ったセルフヒーリング 129
心臓のエリアの經穴の意味について 137
腸心マップにより、自分自身の隠された感情と向き合う 141
お腹のセルフヒーリングの施術方法 151

第十七章　手と下半身のセルフヒーリング 160

アストロ・パーミストリーとトウリーディング 161
手を使うことが、そのままセルフヒーリングに繋がる 165
下半身の調整は肉體の健康にとって一番重要 167
腎經の經穴、湧泉と太谿について 171

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

足の原穴(げんけつ)の經穴(ツボ)について	177
手足の親指の付け根の經穴(ツボ)、四關穴(しかんけつ)について	181
下半身にある様々な經穴(ツボ)	183
足裏のセルフヒーリングに重要な「チャクラバー」	187
入門編で扱う主な足裏に反射區について	189
音叉セルフヒーリングで使う足裏一覧表	193
入門編最終章　地球という惑星の人類のために	194
古代の叡智(自然法則)に基づいた生活習慣(ライフスタイル)への移行(シフト)	195
自分自身を變化(へんか)、進化させる力を養うこと	199
星の叡智により DNA の進化を促す	205
自然法則に適った正しい生活習慣(ルーティン)を身につけること	209
手段の目的化を起こさないこと	211
何よりも地上人類が學ばなければならない「分かち合い」について	215
様々な質問に答える	218
あとがき	229



第九章

音叉を扱う基本について

音叉の知識や技術を學びながらも

自分自身の意識や感覺（センス）を磨くことが大切

靈とは生命であり、生命とは靈である

生命（いのち）の調律とは、靈的巡礼（スピリチュアルジャーニー）の旅への準備



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

各タイプのサウンドツールの意味



ここまでで音叉ヒーリングの基礎的な知識のおさらいをしますが、音叉による生命（いのち）の調律が靈的世界主導の「地球人類救済計画（スピリチュアリズム）」の一端を担っていることが一番のポイントです。しかし、音叉による生命（いのち）の調律は「生命（いのち）の演奏」ということも忘れてはなりません。生命（いのち）すべては「アート（ＡＲＵＴ）」であり、人間は「神に似せて創られた最高峰のアート（ＡＲＵＴ）」です。

シルバーバーチは「靈とは生命であり、生命とは靈である」と述べています。わたしは歌とは「生命（いのち）の表現」であり、「生命（いのち）を音にして演奏している」と考えています。なので、音叉による生命（いのち）の調律は「生命（いのち）のオーケストラによるコンサートをしている」と思ってください。なので音叉は常に「アーティスティック」な感覚が必要になります。

1997 年、アメリカのkeelynet（ケリーネット）という考古學者（がくしゃ）が、エジプトの考古學者（がくしゃ）と共に、エジプトの博物館倉庫の 8 フィート×10 フィートの扉の内部で、音叉と名付けられた 398 本の音叉が隠されているのを發見しました。

古代エジプト時代には、「約 400 本」も音叉を使っていたということですが、人體（じんたい）の「各臟器」、「各器官」、「各組織」の數も「約 400」であり、それだけ音叉の種類があれば、ウイルス、細菌を始めとした病氣、神經細胞に關わる病氣など、あらゆる病氣に素早く対処できます。

また、自然界には必ず倍音（オクターブ）の「振動（バイブレーション）」が存在しますが、音叉も倍音（オクターブ）の「振動（バイブレーション）」が含まれています。「基音（ホームトーン）」と「倍音（オクターブ）」の關係性が「音程（インターバル）」をつくります。入門編までのサウンドツールは「128Hz」、「132Hz」、「136.1Hz」の３つが「基音（ホームトーン）」になります。

音叉セルフヒーリングにおいて音程（インターバル）は「奏者の意志」を表します。音程（インターバル）とは２つの音の隔たりのことであり、２つの音の響きを合わせたものが、「和音」や「倍音」の響きになり「音程（インターバル）」は「基音（ホームトーン）」との位置關係によって決まります。

入門編の基本的な基音（ホームトーン）と音程（インターバル）について

基音（ホームトーン）	基本の音程（インターバル）	基音（ホームトーン）の作用	基音（ホームトーン）との組み合わせによる効果
① 128Hz	ソルフェジオ音叉	奇經八脈	EXA PIECO 靈の心、靈體（れいたい）、靈體（れいたい）オーラに働きかける
② 132Hz	264Hz、528Hz	チャクラ	各器官、各組織、各細胞に働きかける
③ 136.1Hz	ローオーム	十二經絡	DIKAG 肉の心、肉體（にくたい）、肉體（にくたい）オーラに働きかける

導入編、入門編からステップアップし、「初級編」で本格的に「倍音（オクターブ）」を學び、「中級編」で「ソルフェジオ音叉」を學び、「上級編」で「惑星音叉」を學びますが、すべてのコースで「基音（ホームトーン）」と「音程（インターバル）」の關係性で音叉を選んでいく基本は變（か）わりません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

音叉による「生命の演奏」は、複数の音（フォーク、ヘヴィーフォーク、エナジーバー、ヒーリングパイプ）を同時に鳴らすことで、独自の響きと個性を持つ音程が生まれます。こうした音が、自分自身の「生命の調律」へと繋がっていきます。ここで、各種サウンドツールの意味もおさらいします。

各タイプのサウンドツールの意味		
各種サウンドツール	ツールの主要な使い方	補足説明
フォーク	エネルギーワーク	ピアノの調律で使われる一般的なタイプ
ヘヴィーフォーク	ボディーワーク	重りをつけることで、柄から振動がダイレクトに傳わる
エナジーバー	靈肉両方のオーラ	チャクラ、ソルフェジオ、惑星と各タイプが存在する
ヒーリングパイプ	空間、磁場	基本的には「ぶらさげ型」であり、「スタンド型」はない

各種サウンドツールは、基本的にこの４タイプに分類されます。そして、「用途」によって各種サウンドツールを使い分けていき、肉體の不調ならヘヴィーフォークを多用し、インナーチャイルドなど感情の癒しが必要な場合はフォークタイプを多用します。

世の中には様々なサウンドツールのタイプが存在しますが、当スクールは「ソルフェジオ音叉」と「惑星音叉」と「チャクラ音叉」をメインのサウンドツールにしております。これは人間の身體構造である「靈體、幽體、肉體」へのアプローチ別に區別しているからです。

人間の身體構造と、働きかける箇所			
靈體	ソルフェジオ音叉	靈體オーラに働きかける	原子レベルに働きかける
幽體	チャクラ音叉	靈體オーラと肉體オーラを繋げる	分子レベルに働きかける
肉體	惑星音叉	肉體オーラに働きかける	中性子、陽子に働きかける



また、音叉の導入編ツールである「528Hz 倍音トライアルセット」のエナジーバー、ヒーリングパイプ、音叉の入門編ツールである「チャクラエナジーバー（レギュラータイプ７個セット）」は、「エネルギー（効果）の増幅」のために毎回使用します。

【音叉の導入編ツール、入門編ツールを使う基本的な流れ】

① チャクラエナジーバー「２個」を、「ウッドスティック」で鳴らす

② 528Hz ヒーリングパイプを優しく「ゴムマレット」で鳴らす

③ 528Hz、1056Hz、2112Hz のエナジーバーを「ウッドスティック」で鳴らす

④ 各種ヘヴィーフォークを「２本」振動させ、身體（しんたい）に当てる

これにより、ヘヴィーフォークの體感（たいかん）、効果が「10^3～10^{12}」という「指數關數（しすうかんすう）」のレベルで上昇し、魂心身（こんしんしん）の調律が可能になってくる

「528Hz 倍音トライアルセット」は、「エネルギー増幅装置」の役割があるのです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

チャクラバーの基本的な使い方について





フォークは先端をカラダに向けて音を聴かせます。

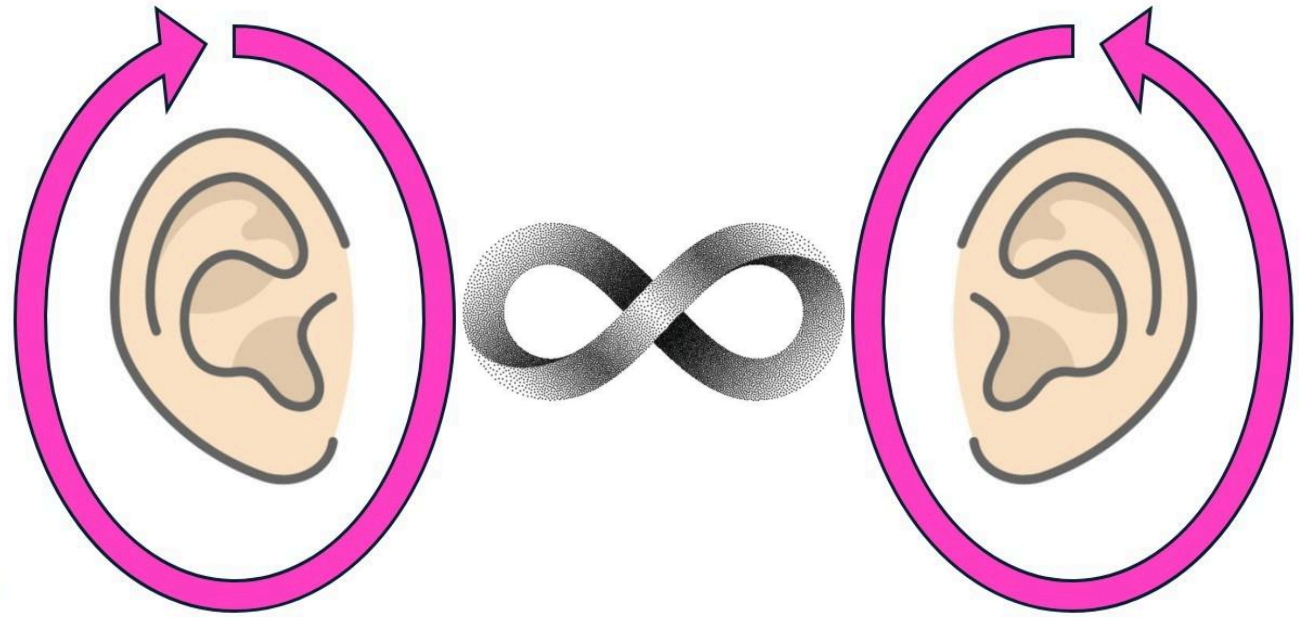
エナジーバーは、バーをカラダに向けて音を聴かせます。

導入編ツール、入門編ツールでのセルフヒーリングの基本は「エナジーバー」を耳元で鳴らす方法になります。導入編ツールなら「1056Hz エナジーバー」と「2112Hz エナジーバー」の倍音を組み合わせて、耳元にエナジーバーを鳴らします。

入門編ツールの場合、最初に「528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバー」の倍音（オクターブ）の音を空間に響かせてから「各種チャクラバーを２個」を組み合わせて耳元で鳴らします。この手順でサウンドツールを使用することでチャクラバーの効果が増幅します。

大脳の 90％は「水分」であり、脳の栄養素（えいようそ）は「音」です。大脳は「肉の心（DIKAG）」を司り、心臓脳は「靈の心（EXA PIECO）」を司ります。アメリカの「ハートマス研究所」の研究により、「528Hz」は「心臓脳（EXA PIECO）」に強く作用することが判明しています。

なので 528Hz エナジーバーを日常生活で使えば使うほど、「大脳（マインド）」優位の生き方から「心臓脳（ハート）」優位の生き方にシフトします。



【サウンドツールを耳元で鳴らす方向について】

左耳は「左回轉」でサウンドツールを使い、右耳は「右回轉」でサウンドツールを使い、両耳だと「∞回轉」になります。∞回轉は「妖精」が最も活性化する回轉であり、「靈的世界」と「物質世界」を繋げる回轉です。わかりやすい表現だと、サウンドツールを鳴らす回轉は「自轉車のペダルの回轉」と一緒です。

チャクラは「靈體と肉體を繋ぐ接合点」であり、日本語で「幽體」といいます。チャクラと呼ばれる靈體と肉體を繋ぐ大きな接合点は「８つ」であり、「靈的世界と物質世界を繋ぐ接續点」は經穴であり、人體に經穴は「３６５個」あります。

チャクラは「エネルギーのアンテナ」の役割をしており、チャクラを活性化させると様々な「振動」をキャッチできるようになります。反面、肉の心優位でチャクラを開いた場合、低級靈に「憑依」される危険性も高くなります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





しかし、「528Hz」は「心臟腦（EXA PIECO）」に強く作用しますので、きちんと 528Hz のサウンドツールも使った上でチャクラを活性化させることです。

そうすれば「靈の心（EXA PIECO）」優位でチャクラを活性化できるので、低級靈に憑依される危険性は格段に低くなり、安全に「遺傳子（いでんし）の構造變換（へんかん）」が可能になります。

【チャクラバーを耳元で鳴らす方法について】

まず、片手でチャクラバーを２個持ちます。ウッドスティックでチャクラバーを２個鳴らし、左耳からエナジーバーを「左回轉（かいてん）」で使い、「３回」鳴らします。３回終わったら右耳は「右回轉（かいてん）」で使い、「３回」鳴らします。

※基本的に 528 Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバーを鳴らしてからチャクラバーを鳴らします

これを、「$\overset{1}{C}+\overset{2}{D}$」、「$\overset{2}{D}+\overset{3}{E}$」、「$\overset{3}{E}+\overset{4}{F}$」、「$\overset{4}{F}+\overset{5}{G}$」、「$\overset{5}{G}+\overset{6}{A}$」、「$\overset{6}{A}+\overset{7}{B}$」と、滿遍なく全チャクラを均等に活性化させます。

エナジーバーを鳴らす際に注意が必要なことがあります。ゆったりめのリズムで音を鳴らしていき、音の余韻を殘すのがポイントであり、性急（せっかち）に音を鳴らすと逆に煩雜な音により低級靈を引き寄せます。

そしてわざわざ憑依の餌食になっている人がいますので、焦らず音に浸ってください

エナジーバーの組み合わせ一覧		
コース	チャクラバーとの組み合わせ	エナジーバーの効果
初級編	チャクラレギュラータイプ チャクラハーモニックタイプ	レギュラータイプを２個鳴らしてから、ハーモニックタイプ２個を耳元に鳴らし、超音波を發生させる
中級編	ソルフェジオエナジーバー チャクラ 倍(オクターブ) 音	ソルフェジオエナジーバーを２個鳴らしてから、チャクラ 倍(オクターブ) 音 ２個を耳元に鳴らす
上級編	惑星エナジーバー チャクラ 倍(オクターブ) 音	チャクラ 倍(オクターブ) 音 ２個を鳴らしてから、惑星エナジーバー２個を耳元に鳴らす

また、チャクラバーは「^{1}C＋^{4}F」、「^{2}D＋^{5}G」、「^{3}E＋^{6}A」、「^{4}F＋^{7}B」といったエナジーバーの組み合わせで使うことも可能です。初級編以降のステージになると、エナジーバーの組み合わせパターンが膨大に増えます。

初級編ツールだとチャクラエナジーバーの「レギュラータイプ」と「ハーモニックタイプ」を使うことで、耳に聴こえない「超音波」が發生し、振動が内部の深部に届くことで内臓の調整をダイレクトに行います。

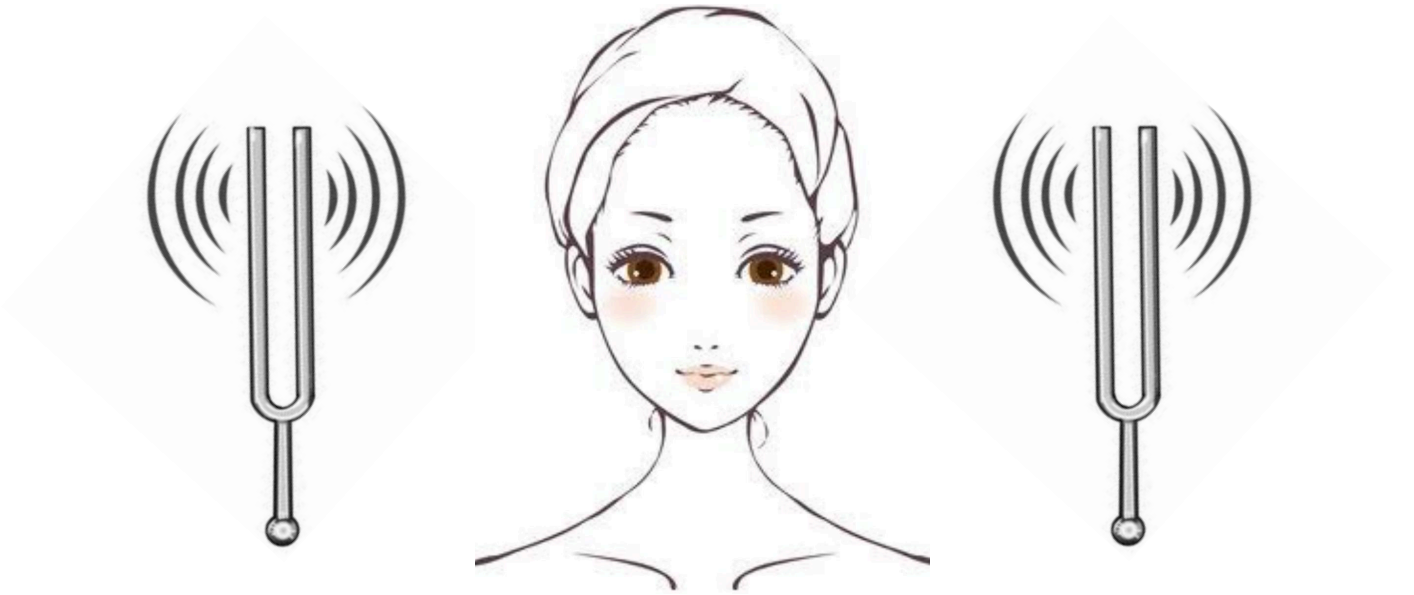
中級編ツールの「ソルフェジオエナジーバー」、上級編の「惑星エナジーバー」と組み合わせて使うことも可能です。エナジーバーを２個同時、複数を同時に使うことでチャクラ刺激効果が増幅し、振動がより心身の深くに響きます。

これらの音の組み合わせによる複合音は、「宇宙の音 程(インターバル)」を生み出します。宇宙の音は「靈的(形而上)世界」と「物質(形而下)世界」を繋げる暗号です。そして宇宙の音は眠っていた才能を目覺めさせる「鍵」になります。

宇宙の音 程(インターバル)を感じ、それを魂心身(こんしんしん)に受け取ることで意識の覺醒が始まります

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

フォークタイプの基本的な使い方について



入門編ツールで最もパワフルな効果のある「聖なるソルフェジオ音階９本セット」はフォークタイプであり、音叉といえばフォークタイプを連想する人が大半です。ピアノの調律などにも使われており、最もポピュラーなタイプです。

フォークタイプを、ラバーマレット、ウッドスティック、アクティベーターなどで音を鳴らすことで、音叉の振動（バイブレーション）を身體（しんたい）中に響かせます。繊細な音であり、その精妙な音により心身を調律する効果があります。

セルフヒーリングの場合、全身に音を浴びせるのではなく、「大腦」に音を響かせる使い方をして、「肉の心（D I K A G）」優位の状態から「靈の心（EXA PIECO）」優位の状態に「潛在意識（F I K）」を調律します。

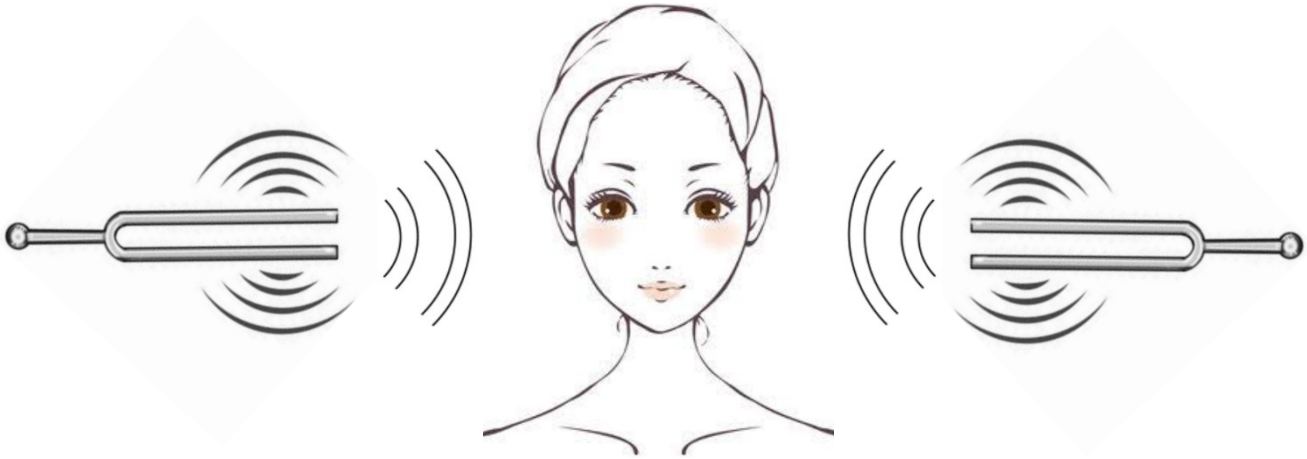
一般的に「腸」が「潛在意識（F I K）」を司り、「腦」が「顯在意識（D I K A G）」を司っているとされています。事實、「腸と腦は、潛在意識（F I K）と顯在意識（D I K A G）で相關關係」になっており、腦を調整すれば潛在意識（F I K）にも影響を与えます。

聖なるソルフェジオ音階同士の組み合わせ		
組み合わせ（ソルフェジオ）	腸心（マップ）	ソルフェジオ音叉の組み合わせの意味
① 174Hz ＋ 285Hz	J	肉體（にくたい）から靈體（れいたい）へのエネルギーのシフトを行う
② 285Hz ＋ 396Hz	F	前世療法、過去世と今世のいらない情報のクリアリング、カルマの浄化
③ 396Hz ＋ 417Hz	H	胎内記憶、インナーチャイルドなど、無意識の悲しみを癒す
④ 417Hz ＋ 528Hz	D	DIKAG 肉の心の思い込み、執着、行動の制限を外し、EXA PIECO 靈の心の自由を促す
⑤ 528Hz ＋ 639Hz	A	赦し、慈悲の周波数により、自己否定から自己受容を促す
⑥ 639Hz ＋ 741Hz	E	靈、EXA PIECO 靈の心、DIKAG 肉の心の一致、魂心身（こんしんしん）の統合した状態を促す
⑦ 741Hz ＋ 852Hz	K	地球圏靈界と地球圏地上世界を繋ぎ、靈界と地上世界の協調關係を促す
⑧ 852Hz ＋ 963Hz	M	大靈（たいれい）と FUGEHEKIN 自然法則と一致し、宇宙、星々と調和した生き方にシフトする
⑨ 174Hz ＋ 417Hz	C	EXA PIECO 靈の心と DIKAG 肉の心の間の葛藤、優柔不斷を解消し、魂の声に従わせる
⑩ 417Hz ＋ 741Hz	B	嘘つきの状態から、本質と本音で生きられるように人生を導く
⑪ 285Hz ＋ 528Hz	I	生命全般、鉱物、植物、どうぶつへの神意（あい）の思いを拡大させる
⑫ 528Hz ＋ 852Hz	L	精靈（微生物）、妖精（ソマチッド）との繋がりを強める
⑬ 396Hz ＋ 528Hz	O	被害者意識を取り除き、人を責めるEGHO（エゴ）意識を改めさせる
⑭ 396Hz ＋ 639Hz	N	前世、今世の人間關係、コミュニケーション全般の心の傷を癒す
⑮ 639Hz ＋ 963Hz	G	SEPOUW 背後靈（守護靈、指導靈）との一體化（いったいか）を促し、直觀力を高める

フォークタイプの音叉は、入門編ツールであるソルフェジオ音叉、上級編ツールである惑星音叉を使用し、マスター編では「ソルフェジオ音叉＋惑星音叉」の組み合わせを學びます。

入門編では「１５パターン」のソルフェジオ音叉の組み合わせを、大腦に音を鳴らして響かせて使う方法がメインになります。他にも、ヘヴィーフォークとフォークを組み合わせて經穴（ツボ）にフォークを使う方法もあります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



フォークは先端をカラダに向けて音を聴かせます

【フォークタイプを頭部で鳴らす基本的な方法について】

ソルフェジオ音叉を２本選び、片手で２本を持ち、「ゴムマレット」で音叉を鳴らします。そして両手で音叉を持ち、耳元で音叉を鳴らします。フォークタイプの音叉を鳴らす回轉（かいてん）は「自轉車（じてんしゃ）のペダルの回轉（かいてん）」と一緒です。

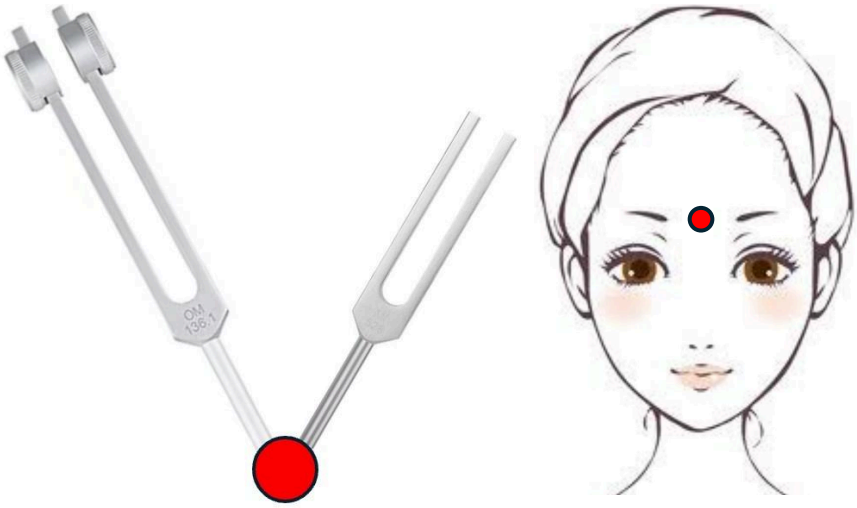
フォークタイプの回轉（かいてん）を、毎回音叉をゴムマレットで叩くたびに變（か）えていき回轉（かいてん）スピードに「緩急」をつけます。脳はシンプルな音ばかりではマンネリ化します。シンプルな刺激と複雑な刺激による多重構造の音を聞くことにより、脳内は活性化されます。

（1）普通のスピード　（2）速いスピード　（3）音叉を水平にして動かさない

（4）音叉を縦にして、２本の音叉を共振共鳴させ、脳全體（ぜんたい）を調整する

（5）後頭部（脳幹）に音叉の振動（バイブレーション）を數回響（すうかい）かせ、全身を調整する

これが入門編のフォークタイプの基本的な使い方になります



【例】印堂の經穴

※他の經穴に当てても OK であり、カラダの各經穴に使っていくことで溜め込んでいた感情を解放させていく

【各經穴にフォークタイプを使う場合】

① 128 Hz、132Hz、136.1Hz いずれかのヘヴィーフォークを「基音」に選ぶ

② ソルフェジオ音叉９本のいずれかのフォークを「音程」に選ぶ

③ ヘヴィーフォークとフォークを合わせて、經穴に音叉の柄の部分を当てる

ヘヴィーフォークとフォークの２本の音叉を經穴に当てる方法も、奇經八脈、十二經絡、經穴を覺えていくに従って使用頻度は増えていきます。

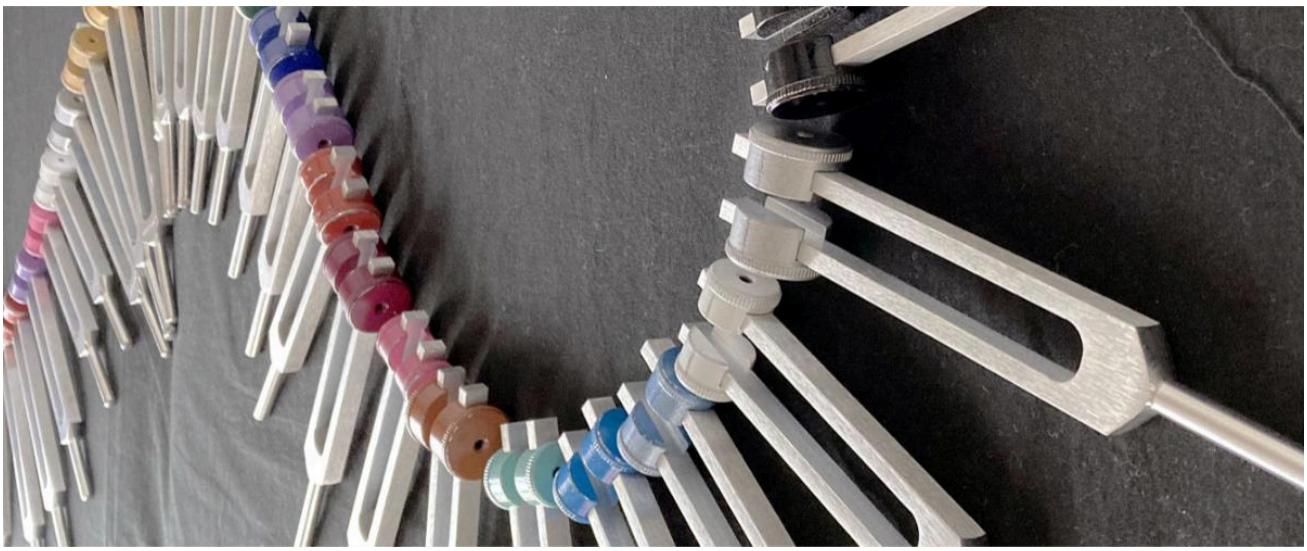
ここでの注意点は、「督脈」と「任脈」以外の經絡は、左右対称に經穴が存在しますが、「片方の經穴のみを音叉で刺激する」という点です。

フォークの振動はヘヴィーフォークに比べて弱いので、両方のタイプを合わせないとフォークの振動はすぐに止まってしまうからです。

人體の經穴は３６５個ありますが、それぞれの經穴ごとに対應する周波数は變わります。また、基音と音程の組み合わせも膨大な數に及びます。なので、各經穴ごとにソルフェジオ音叉の様々なパターンを試していくことが大切になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

ヘヴィーフォークタイプの基本的な使い方について



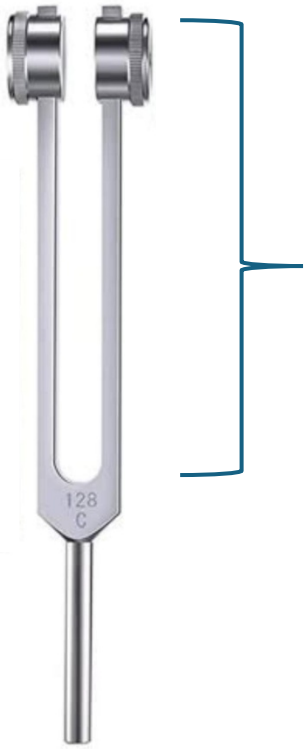
先端に重りのついているヘヴィーフォークは、物理的な振動を身體(しんたい)に響かせるタイプです。フォークより低い周波数が多く、肉體(にくたい)的な刺激が強く「即効性」にすぐれ、短時間で骨、筋肉、細胞の奥深くまで響きます。

フォークの効果は「遅効性」であり、ヘヴィーフォークの効果は「即効性」の作用の違いがあり、フォークが靈體(れいたい)に強く作用し、細胞に働きかけるのに対し、ヘヴィーフォークは肉體(にくたい)に強く作用し、骨、筋肉、血液に働きかけます。

ヘヴィーフォークタイプの音叉は、当スクールでも「ソルフェジオ音叉」と「惑星音叉」を合わせて約４０本近くを扱います。世の中に販賣されている様々な周波数の音叉も含めると約２００本近くのヘヴィーフォークタイプが存在します。

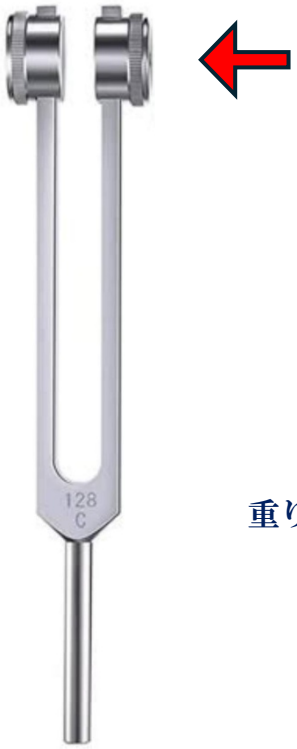
ヘヴィーフォークは奇經八脈、十二經絡、經穴(ツボ)の本質を理解しているかが扱いこなせる鍵です。そのためには「經穴(ツボ)」が「奇經八脈(靈的世界)」と「十二經絡(物質世界)」を繋ぐ接續点(せつぞくてん)であるとの認識が重要になります。ヘヴィーフォークで各經穴(ツボ)を刺激していくことで靈的世界への扉を開くことが可能です。

ヘヴィーフォークの基本的な扱い方



持つ、触る

※振動が止まる

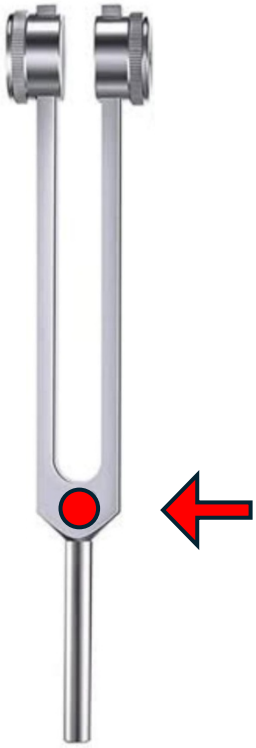


ゴムマレット

ラバーマレット

アクティベーター

重りの横の部分を鳴らす



赤い部分を取手に持つ。

音叉の柄（え）の部分をボディに当てる。



ヘヴィーフォークの振動は２０秒～２５秒であり、早く振動が止まる場合、その箇所に滞りがある。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【經穴が接續点のイメージの例】

靈的世界
奇經八脈＝高速道路

物質世界
十二經絡＝一般道路



經穴＝インターチェンジ

そもそも奇經八脈と十二經絡を分けて考えること自體がナンセンスであり、両方の世界は深く結びついており、靈的世界と物質世界は分離しておりません。

地上世界の認識だと物質世界が「生の世界」であり、靈的世界が「死の世界」ですが、本來は逆です。靈的世界が「生の世界」で、地上世界が「死の世界」です。その両方の世界を繋ぐ「ゲートウェイ」が「經穴」になります。

經穴にヘヴィーフォークの振　動を直接注入すると、カラダの深いところにある細胞的知性とのコミュニケーションが可能になります。そしてヘヴィーフォークの振　動により奇經八脈と十二經絡のエネルギーを結びつけます。

入門編ツールならば「132Hz ヘヴィーフォーク＋264Hz ヘヴィーフォーク」および「264Hz ヘヴィーフォーク＋528Hz ヘヴィーフォーク（ゴールド）」を各經穴に当てることで「細胞に空白」を作ります。

この空白は、新たな靈的エネルギーを受け取るために必要な過程であり、この準備があってこそ「ヘヴィーフォークの基　音」と「ソルフェジオ音叉による音　程」によって「遺傳子の構造變換」が始まります。そして、「惑星音叉の音　程」まで組み合わせることで、細胞レベルで靈的新次元に向かっていきます。



ヘヴィーフォークの振動（バイブレーション）は、正常な場合は「２０秒～２５秒」であり、不調や異常のある箇所だと「５秒～１５秒」で振動（バイブレーション）が止まります。その場合、その箇所に数回（すうかい）ほど振動（バイブレーション）を響かせることで、段々と振動の時間が長くなってきます。

また、經穴（ツボ）に適合するヘヴィーフォークの周波数を知ることが大切になります。例えば喉まわりの經穴（ツボ）は何個か存在しますが、「天突（てんとつ）」という經穴（ツボ）は、基音（ホームトーン）が「741Hz」か「水星（141.Hz)」になり、その代替（だいたい）の周波数だと「417Hz」や「新月（210.42Hz)」も天突（てんとつ）に効きます。

「關元（かんげん）」という經穴（ツボ）の場合、基音（ホームトーン）が「417Hz」になり、デトックスの場合は「オーム」が音程（インターバル）になり、エネルギーをチャージする場合は「128Hz」が音程（インターバル）になります。

惑星音叉の場合は複数の周波数の基音（ホームトーン）があり、慢性疲労（ひろう）の症状の場合、「ローオーム（68.05Hz）＋太陽（126.22Hz)」で生命エネルギーをチャージし、不妊や生殖の症状の場合、「満月（227.43Hz)」や「金星（221.23Hz)」が基音（ホームトーン）になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

飲食物に導入編セットを使う意味と方法



導入編セットである「528Hz 倍音トライアルセット」の「528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバー」の 4 つを使い、飲食物の調整をすることも可能です。

【飲食物に 528Hz 倍音トライアルセットを使う手順】

① 1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバーを片手に持つ

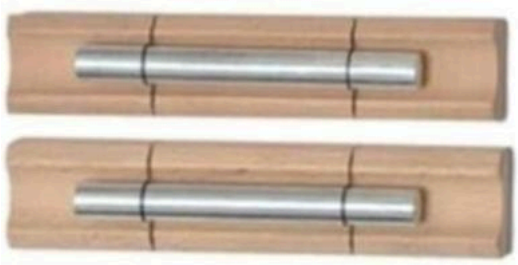
② 528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバーを飲食物の近くで鳴らす

③ 1056Hz、2112Hz を手で持った状態で鳴らし、飲食物の近くで鳴らす

④ これらを數回(すうかい)繰り返し、飲食物をオーガニックのレベルに戻していく

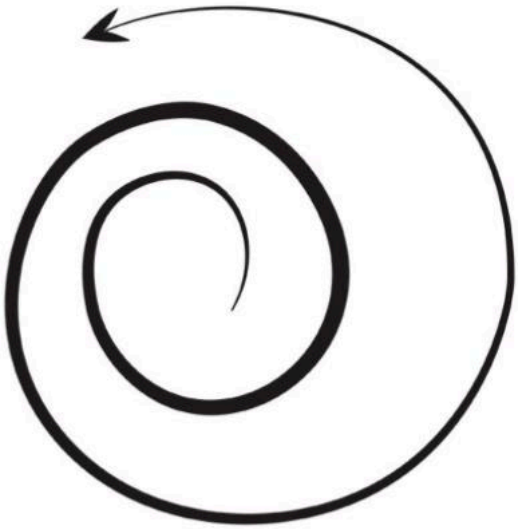
人間の肉體(にくたい)は、食事によって造られています。古來より「食が血となり、血が肉となる」と言われていますが、これは肉體(にくたい)面に關して正しい情報です。日々の食事が赤血球、白血球、リンパ球をつくり、それが細胞をつくります。

肉體(にくたい)の健康學で重要なのは「血液學」と「酵素學」と「適度な運動」の 3 つになりますが、これは「万病一元、血液の汚れから生ずる」という思想が根底にあり、正しい食事、酵素、運動により肉體(にくたい)の健康は維持できることを表しています。



エナジーバーは、食事や飲料に対して２cm～３cmの距離で、水平にして「左回轉（かいてん）」で鳴らす。数回（すうかい）繰り返すことで、農藥、添加物、化學物質の害が「無害化」されていく。





サウンドツールを使用すると、飲食物の味が「無農薬、無肥料、在來種」に近づいていきます。元々528Hzは、生物學者（がくしゃ）が「傷ついたＤＮＡを修復するために使用していた周波數」であり、飲食物に適用できても不思議ではありません。

實際アメリカでは、農業に音叉やサウンドツールを使用し、食物が周波數によりどのような變化（へんか）があるのかを研究し、分子レベルの構造に變化（へんか）があるのが認められています。

身體（しんたい）の健康學は、東洋醫學（いがく）の思想では「氣（き）、血（けつ）、水（すい）」の循環と言われていますが、「靈（氣）、幽（水）、肉（血）」の３つの調和とバランスが健康學の眞髄であり、音叉セルフヒーリングは靈（氣）、幽（水）、肉（血）の調和とバランスを回復させるための方法論のひとつです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

サウンドツールと様々なものを複合して使う意味について



導入編セット、入門編セットでセルフヒーリングをする場合、「チャクラバー２個、528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバー」を鳴らしてから、フォークないしヘヴィーフォークを使う手順で、サウンドツールを「複合」して使う方法をなるべく習慣にしていきましょう。

地球上で「エナジーバー」、「ヒーリングパイプ」、「フォーク」、「ヘヴィーフォーク」のサウンドツールすべてを複合して音叉ヒーリングを教えているスクールは当スクールのみであり、「音」と「音」の複合波、基音（ホームトーン）と音程（インターバル）の組み合わせが大切になります。

「サウンドツールを三位一體（いったい）で使用すること」により、音叉セルフヒーリングは魂心身（こんしんしん）の調律、生命（いのち）の調律という効果を發揮します。音叉はフォーク、ヘヴィーフォークのみの使用だと、酷い詰まりがある部分だと浄化に時間がかかります。



しかし、サウンドツールを複数同時に奏でることで、異なる周波数はもちろん、同じ周波数でも「多重波」が生まれ、複雑に入り組んだ古い情報や思考習慣を「短時間」で粉砕、突破できるようになります。

音叉の振動（バイブレーション）に加え、エナジーバーの音の波動を同時に使うことで、ヘヴィーフォークなどの「物理的な振動（バイブレーション）」とエナジーバーの「光（ひかり）の振動（バイブレーション）」が繋がり、ヘヴィーフォークやフォークではカバーできない領域へのアプローチを可能にします。

また、「光（ひかり）の振動（バイブレーション）」に属するのは「宝石」であり、ヘヴィーフォークに宝石を後付けでつける「ジェムフット」というものが存在します。音叉の振動（バイブレーション）を宝石で増幅させることが可能であり、それによってより魂心身（こんしんしん）の深い部分をヒーリングできます。

音叉は、「鉱石（精霊）×音叉（妖精）」、「植物（精霊）×音叉（妖精）」という組み合わせなども出來ます。自然界の力を借りることでより相乗効果を發揮します。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

シュタイナーは、山羊座の時代を「鉱物の時代」と呼び、神祕學概論の中で「人間は、肉體を鉱物と共有し、エーテル體は、植物と共有する……」と記されています。

音叉も鉱物であり、肉體に強く作用し、植物は「幽體（エーテル體）」に強く作用するということです。そして、「音は靈體（コーザル體）」に強く作用します。

醫療の始まりは、5000 年前の新石器時代の「巫（Wu）」と呼ばれる療術師であり、巫が鍼灸治療をしていた形から「醫」になりましたが、「靈」と「醫」の文字が似ているのは偶然ではありません。

醫の本質とは「シャーマンが音を通して醫療をすること」が「醫」であり、「妖精」の力を借りて当時の醫療は成り立っていました。そして 3000 年前から薬草などが醫療の主流に變わり、療術師の「醫療」から、薬草學の「醫療」に時代が變遷していきました。

發酵食品に必要なものの基本は「水、塩、食物（穀物、植物）」であり、「酉」とは「酒つぼ」を表しますが、これは「植物の發酵」を表します。植物の發酵に欠かせないのが、「土器」と「水」と「塩」であり、塩が海水の意味に繋がります。

妖精の力を借りて病人を治療する存在が「醫者」であり、精靈の力を借りて病人を治療する存在が「醫者」です。文字の「匸＋矢＋殳」は、各臓器、各器官、各組織などの人體に音を注入する者が「醫」、薬草を注入する者が「醫」と區別されていました。

新次元の醫學は「鉱物×植物×音のコラボレーション」であり、「精靈は、海水と鉱物と植物」を通して人間に力を貸し、「妖精は、周波數、音、振動（バイブレーション）」を通して人間に力を貸します。この原理が分かると、音こそが靈的世界の扉を開く鍵であることに深い理解が及びます。

万物すべての蘇生に、音の叡智は繋がっていることに氣づきましょう



第十章

EXA PIECO　ハートブレイン
靈の心、心臓脳と528Hz

スピリチュアリズムが明らかにした

EXA PIECO　DIKAG
靈の心と肉の心の二重構造

心の構造の秘密に迫る科學（かがく）的根拠



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

HeartMath Instituteの研究で明らかになった心臓脳

1991年、米國カリフォルニア州で設立された「HeartMath Institute」は、スタンフォード大學と連携して、脳と心臓の關係、感情の調整、ストレスマネジメント、パフォーマンス向上に關する研究を行っています。

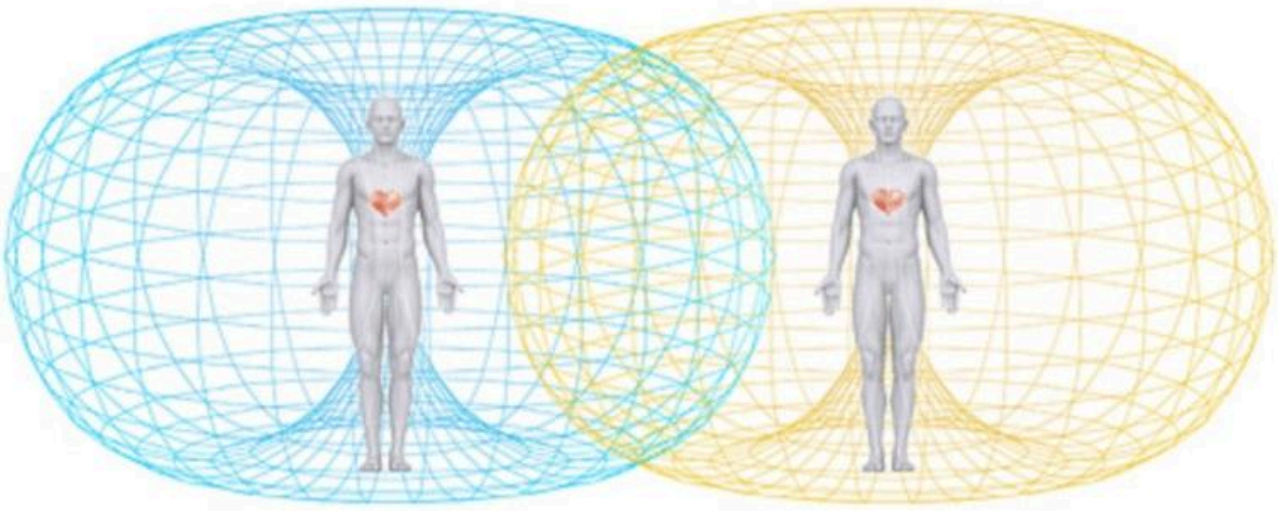
HeartMath Instituteの研究により、心臓にも神經細胞組織である「ニューロン」があることが研究で明らかになり、ニューロンの働きとして學習したり、記憶したり、何かを決定したりする能力を、大脳と同じように心臓も持っていることが判明しています。

同時に、直觀、インスピレーションと呼ばれるものは心臓からもたらされること、または、心臓が入口になっていることも研究で明らかなっています。現代科學は大脳が肉體をコントロールとしていると捉えています。

しかし、HeartMath Instituteの研究により、心臓にも脳があり「心臓脳」と呼ばれるものが存在し、「心臓脳」と「大脳」が連携していることが明らかになっています。これは、スピリチュアルリズムにより明らかにされた靈の心と肉の心の情報と一致しています。

大脳と心臓脳は、「太い神經」で結ばれていて常に情報を交換しています。大脳から心臓脳にいく情報量と、心臓脳から大脳にいく情報量を比べてみると、心臓脳から大脳にいく情報量の方が100倍も多いということが明らかになっています。

人間の心臓脳は強力な「電磁場」を發生させており、この電磁場は「靈體のオーラ」として半径１.５ｍ～３ｍ ほど広がり、他の人々のオーラとも相互作用します。心臓脳の電磁場はグループの中で一人が「心の調和が取れた状態」になると、その場にいる他の人々の感情的な状態だけではなく、實際に心拍が安定し、呼吸や脈拍まで同調することがわかっています。これが「共感力の拡大」の意味にも繋がってきます。



EXA PIECO霊の心の判断基準とは、「宇宙や自然の法則に適っているか」であり、「自らのEXA PIECO霊の心に聞けば、すべて霊界通信でSEOPUW背後霊が答えてくれる」ので、あくまでも外部からの情報というのは参考程度にしなければなりません。自分に必要な答えは、すべて自分自身のEXA PIECO霊の心に問い、D I K A G顕在意識の判断で何事も決めるのが大切です。

しかし、殆どの人間はD I K A G顕在意識がエゴEGHO意識に支配されています。それをD I K A G肉の心と表現します。まずはエゴEGHO意識を滅却させ、物事を正しく判断できる洞察力や直觀力を日々の習慣で養わなければなりません。そのためにも地上世界のあらゆる洗脳を解くことが必要です。

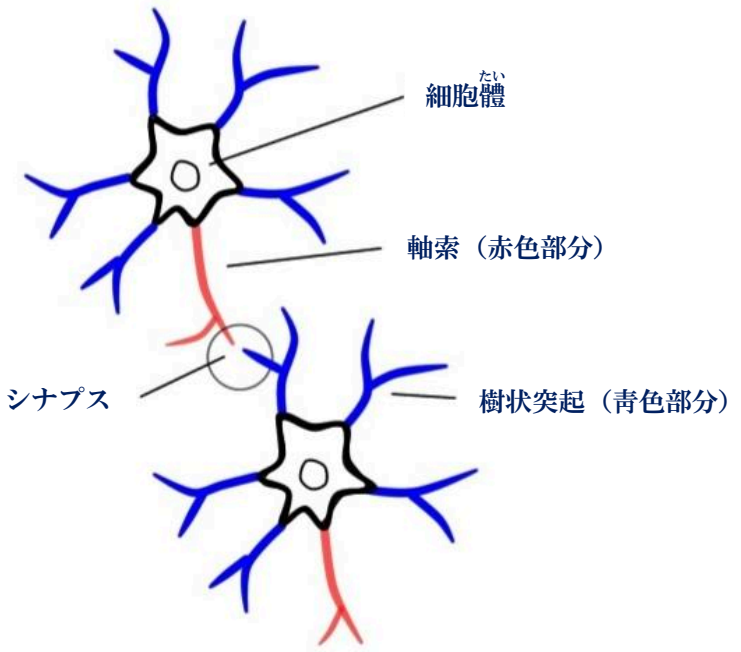
528Hz というのは、最も重要なハートのチャクラを活性化させる効果があり、心臓の上部にあるハートブレイン心臓脳を活性化できます。ハートブレイン心臓脳の磁氣エネルギーは大脳の 5000 倍であり、この磁氣エネルギーが「遠隔治療」における念を飛ばす原動力となっています。

いのかがく禱りを中心に、昨今の科學的な研究で人間の意志や想念にはエネルギーがあって、人を癒すことも呪うことも出來ることが証明されてきていますが、踏み込んだ世界になると、これを實際に行っているのはハートブレイン心臓脳であり、EXA PIECO霊の心とEXA PIECO霊の心の磁氣エネルギー同士を共鳴させることで遠隔ヒーリングも實現できるのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

靈の心と肉の心を繋ぐ細胞的知性、ニューロンについて

ニューロンのイメージ圖



靈の心と肉の心は共に「電磁場」を發生させています。その２つの電磁氣のフィールドのことを「靈體のオーラ」、「肉體のオーラ」といいます。そして、その２つの心を繋ぐ細胞的知性のことを「ニューロン」といいます。

HeartMath Instituteの研究により、心臟はわたし達の臟器の中で一番最初にできて、大腦はその後からできると判明しました。神經細胞とは、ニューロンと呼ばれる神經組織を構成する細胞で、靈の心と肉の心が「電氣信号」を發して、ニューロンを通して相互に情報をやりとりします。靈の心には、約４万個のニューロンが存在しています。

靈の心は感情の安定/不安定、さらには心臟自身と神經系統や肉の心をつなぐ、交信の調和/不調和の根本だということが確認されています。つまり、心臟と精神と感情は三位一體であり、この３つの同期が崩れたとき、人間の調和とバランスが崩れるということになります。

靈の心は、肉の心の 50 倍の電界の強さと、5000 倍の磁界の強さを持っています。その電磁氣のフィールドは３m ぐらいまで發信することができます。靈の心は電氣信号を送る器官でもあり、いろいろな電氣信号を受信する器官でもあります。

靈の心から肉の心に向かう神經の方が逆方向のものよりも多いのは、神經系統・電磁場・ホルモンなどの化學反應・血圧波を通して、肉の心を通して肉體と常に交信しているのが理由になります。さらに靈の心は内分泌器官でもあり、そこから分泌されるホルモンは、癌を含めた多くの病氣を治す力を持っています。

わたし達の身體構造は、靈の心と肉の心を「細胞的知性」が複雑にネットワークを形成し、思考、記憶、感覺、運動など、身體のあらゆる機能を維持しています。そうした身體の仕組みを「潜在意識」といいます。

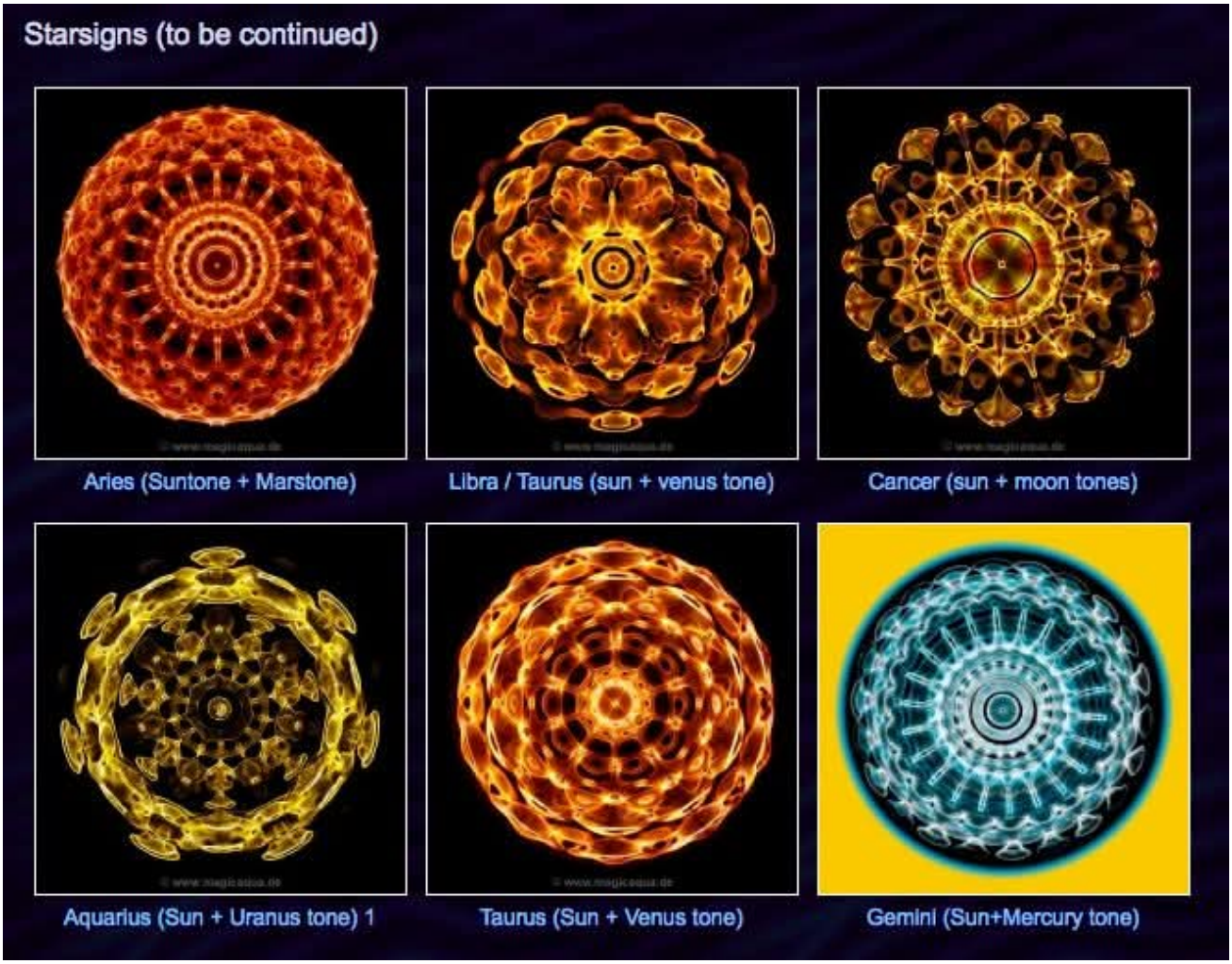
日常生活において必要な機能の多くは自動的であり機械的です。筋肉、神經、細胞、繊維等々がいったん「靈の心→肉の心→肉體」と、細胞的知性が指示を受け、さらに連繫的に働くことを覺えたら、その後の繰り返し作業は潜在意識に委託されます。

たとえば、物を食べるとき皆さんは「無意識」の内に口を開けています。それは、アゴが動く前にそれに關連した神經やエネルギーの相互作用があったことを意味します。精神の媒體である肉の心から細胞的知性を通して神經的刺激が送られて、それから口を開け、物を入れ、そして噛むという一連の操作が行われます。

これらは「細胞的知性（潜在意識）」がすべてが自動的に行っています。赤ん坊の時はその一つひとつを意識的にやりながら身體に記憶していく必要がありました。しかし成長したらいちいち肉の心で考えないで純粋に機械的に行います。人間の身體上の、そしてかなりの程度の精神的機能も、大部分を潜在意識がコントロールしています。

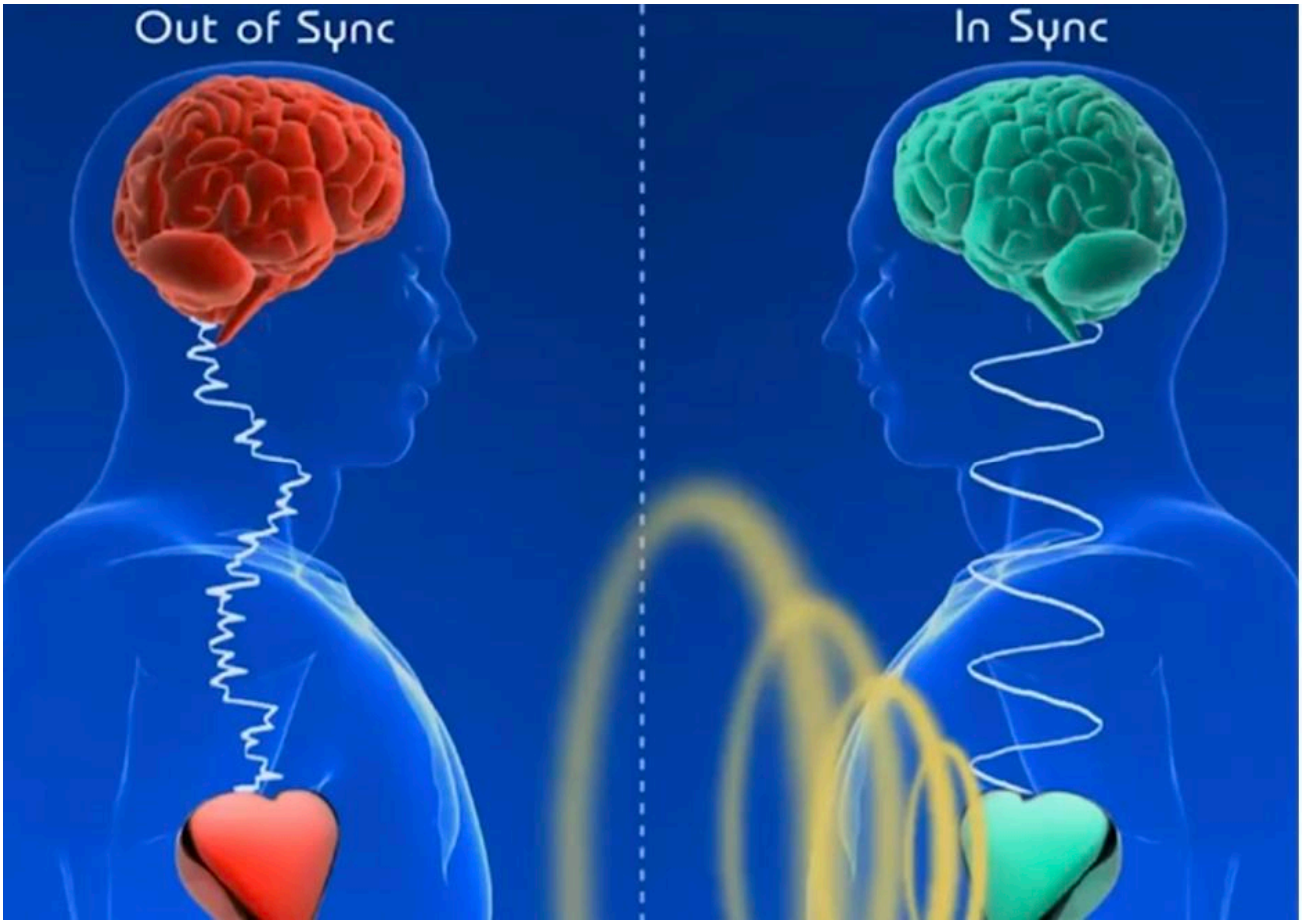
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

星々の周波数は、細胞的知性（潜在意識）に働きかける



音叉による生命の調律は、星々の音が細胞的知性を刺激し、霊の心と肉の心の「シンクロ」を促していく地上世界最先端の叡智です。悟りとは「霊の心と肉の心の電位差を取ること」であると科學的に言われており、悟りの本質的意味とは「悟り＝差取り」なのです。

霊の心と肉の心が「シンクロ」した瞬間というのが「インスピレーション」の本質であり、霊と霊によるテレパシー通信になります。地上人生の最大の目的である霊性の進化は霊の心のメッセージに従わない限り絶対に不可能です。なので、音叉により霊の心と肉の心の電位差を取ることは誰しも必要なことです。



霊の心と肉の心の「シンクロ」、神経傳達というのは「電氣の量」で測れることがHeartMath Instituteの研究で明らかになっています。霊の心と肉の心の電氣の量は 50 倍以上違い、その差を電位差といいます。

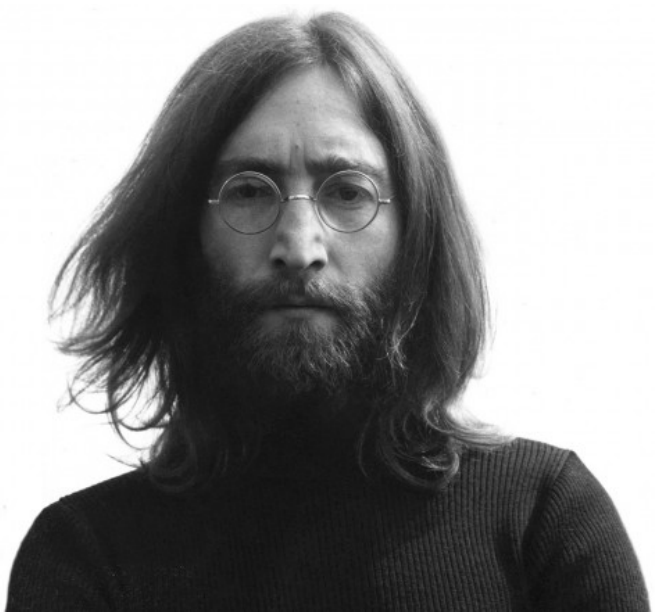
霊の心と肉の心の電氣を繋いでいるシステムが、細胞的知性を通した「自律神經」になります。自律神經は「ミネラル」を通して働くので、役割でいうならば「電氣を通す電流」の役割であり、人間はミネラルがなければ霊の心と肉の心を繋ぐことが出來ません。

霊の心は「副交感神經」を司り、靜寂、リラックスの状態で働きます。「432Hz」を通して「理性」が働き、「528 Hz」を通して「直觀」が働く仕組みになっています。肉の心は「交感神經」を司り、基本的に緊張、ストレスの状態です。肉の心は「思考、感情」を司ります。

この「霊の心と肉の心のシンクロ」が、霊優位の人生を歩む絶対条件なのです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

平均律は靈の心と肉の心のシンクロを妨げ、不協和音を生み出す



誰を神意すか、どこを神意すか、なぜ神意すか、いつ神意すか、どう神意すか、
そんなことはどうでもいい。大切なのは、神意すってことだけさ。
ジョン・レノン

多くの人がジョン・レノンは暗殺されたことを認知しています、しかし、なぜ暗殺されたのか、その本当の理由を知る人は殆どいません。

ジョン・レノンは反戦活動家であり、税制を批判し、反政府主義と認定されていました。腐敗した政治の體制を批判した曲『ワーキング・クラス・ヒーロー』の發表以來、ビートルズはアメリカの敵と見なされていました。

レノンは暗殺される直前、不公平な世界を神意によって終わらせるため、大規模な平和運動を展開しようとしていました。しかし、それだけで暗殺まではされるはずがありません。問題になるのは、ジョン・レノンは意圖的に『432Hz』で音樂を制作していたことにあります。



イルミナティと呼ばれる秘密結社が、1938 年以降、國際(こくさい)標準音として『平均律 A=440Hz』を制定しました。この平均律の調律に逆らったのがビートルズでありジョンレノンになり、その結果が暗殺の大きな理由にも繋がっています。それは、秘密結社にとって不都合な結果を生むからです。

【ヴェルディとモーツァルトの調律】

平均律 A=440Hz に基づいたチューニングは、宇宙の動きやリズム、自然のバイブレーションとは全く調和しません。モーツァルトとヴェルディは、ともに自然のバイブレーションに基づいた作曲を行いました。A=432Hz は『ヴェルディ・ピッチ』と呼ばれています。

ポピュラーなニューエイジミュージックを含め、殆どの西洋音楽は不自然な A=440Hz に設定され、440Hz と 432Hz の差は 1 秒間にわずか 8 振動ですが、人間が認識できる違いがあります。そして画像の水の動きを見ても 432Hz と 440 Hz の違いは明らかです。

432Hz は靈(心臓)の心(脳)を信頼と調和に導き、平均律 A=440Hz は肉(大脳)の心を疑いと渾沌に導きます

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【平均律の音樂の恐ろしさ】

様々な研究から、440Hz は肉(大脳)の心の松果腺とEGHO(エゴ)意識を刺激し、靈(心臟腦)の心の神意(あい)と信仰を抑圧するという研究結果が出ており、それにより地球人類が心理的戰爭、心の病になるように邪惡な勢力が普及させたとされ、その結果、安らぎが奪われているという現状があります。

周波數の研究者によると、幅広い再考察の結果、A=432Hz の周波數は広く宗教界で使われてきたことが判明しています。A=432Hz は靈(心臟腦)の心の神意(あい)と信仰を強化し、人間が調和と理性で生きれるように促していたのです。

「もっとも古い音の使用法の一つは、儀式的、宗教的用途であった。ヒンドゥーのマントラ詠唱やユダヤ主唱者の榮唱、キリスト教の讃美歌、イスラム教の礼拝時刻告知係の呼びかけと、聖なる音は世界の様々な宗教で聞くことができる」と言われております。

薔薇十字團(じゅうじだん)の學生(がくせい)であったロバート・ルイスによると、『礼拝における音樂の目的は、倍音の繰り返しによって、集まった人々の波動をスピリチュアルなレベルから上昇させることにある』と述べています。

しかし、いつの時代からか音樂は「純正律」から「平均律」に移行し、現代地球文化ではあらゆる西洋音樂が平均律で作曲されるようになりました。純正律は和音が美しくハモる、平均律は和音が微妙にズレて不協和音になります。元々、昔は平均律「A=440Hz」で音樂をする決まりなどありませんでした。

432Hz のヴェルデピッチしかり、カラヤンは 445Hz の高めの調整をしていた然り、割りと自由でした。しかし、イルミナティと呼ばれるような裏組織が音により人類をマインドコントロールできるという實態を知り、長い年月をかけて 1938 年に平均律 A=440Hz を國際(こくさい)標準音として制定させてしまいました。

平均律の調律は、その不協和音の振動（バイブレーション）により靈の心（心臓脳）に働きかけることが出来ません。また、心を躍らせたり、感情を揺さぶったりする作用に乏しく、音樂として創造性や即興性の余地に欠けます。そして、「天球の音樂」を受け取ることを不可能にさせます。

平均律で作曲された音樂はワンパターンであり、平均律は無理にドレミファソラシドの音階に音を当てはめようとするために、音に無理が生じてしまい、微妙な和音のズレが出てくるようになっています。その僅かなズレが、靈の心（心臓脳）と肉の心（大脳）のズレに大きな影響を与えているのです。

平均律と純正律のドミソの音をチェックしてみても、純正律はそれぞれの和音が重なりあって透き通った美しい音を奏でるのに対し、平均律は和音にした時に周波数が僅かにずれているため、濁った音になってしまいます。このズレが靈の心（心臓脳）に多大なストレスを与えるのです。

現代地球文化は、「平均律」と「A=440Hz」により、人々の顯在意識のEGHO（DIKAG エゴ）意識を増大させるようになり、「殺したくなる」、「争いたくなる」、「奪いたくなる」といった方向に肉の心（大腦）をマインドコントロールで誘導されています。

音を使って病的人間を増やすことが目的だということも秘密結社の内部機關にいた研究者により暴露されていますが、その通りに心身の病的人間の數が地上世界中で増加しているのは間違いありません。

ミツバチも 440Hz で凶暴になり、528Hz を聞かせると穏やかになることは、一部では知られていることですが、まだまだ一般には知られていません。

日本では、1948 年に A=440Hz が導入され、全國（ぜんこく）の學校（がっこう）のチャイムの音でも取り入れられるようになりました。NHK の時報の低い方は 440Hz、高い方は 880Hz に設定しておりますが、長い間この周波数を聞いてきた日本人の細胞や心身は、見えないところで傷ついています。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

アコースティックな 528Hz の音が、心の調和（コヒーレンス）が取れた状態を生み出す

細胞の實驗で「電氣的な増幅なし（アコースティック）に演奏される樂器」を演奏した時、528Hz を同時に鳴らすと、健康な細胞の「電磁氣の肉（靈）のフィールド（オーラ）」は音を吸收し、統合するように呼吸したことが科學（かがく）的に判明しています。健康な細胞はアコースティック・サウンドの影響によって活性化し、細胞が修復していきましたが、その鍵は「電氣を通さない音」でした。

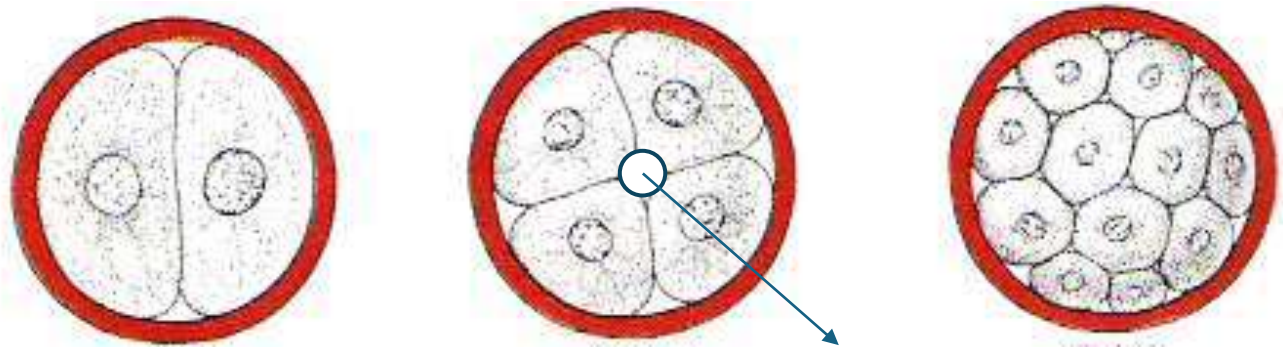
電氣を通さない音は、倍音を通じて、それぞれの音の間に生じる時間と空間を生み出します。Youtube などのヒーリングミュージックは、電子的な手法で様々な音色を「synthesize（合成）」して、多樣な音を生成していますが、そうした「氣の抜けたスープ」みたいな音樂を浴び續（つづ）けると間違いなく肉の心（大腦）は狂っていき、複雜怪奇（カオス）な言動と行動をする人間に向かっていきます。

> 倍音のヒーリングは電子音と音量という２つの容赦ない敵によって、わずか２秒で破壞されてしまいます。「電子技術者」（現代の音樂家のことです）は、電子音樂でハーモニーが作り出せると主張します。確かにアンプによって生み出される殘響は倍音によく似た音を出しますが、こうした僞物の音は自然の調和音とは無關係なのです。
>
> タオ・オブ・サウンド（ヒカルランド出版）p.136

倍音は自然の波のように基音（ホームトーン）から外に向かって広がっています。波が広がっていくとき、わたし達は「音と音の間」で呼吸をしています。倍音の空間で本当の癒しは起こりますが、その倍音を奏でられるのは電氣的な増幅なし（アコースティック）に演奏される樂器だけです。

この、「それぞれの音の間に生じる時間と空間を生み出す音が 528Hz」であり、原型細胞の隙間に 528Hz の振動（バイブレーション）が「高時空元と低時空元が交わるスポット」を生み出します。





※細胞の隙間が重要である

倍音は、アコースティック樂器、自然素材の樂器、人間の声、そして自然そのものにしか奏でられません。自然の樂器には、石、水、木なども含まれます。また、自然そのものとは、風や木々や鳥のさえずりや小川の水の中にも倍音は見いだすことが出來ます。

「調和の本質とは、大靈(たいれい)の自然法則である、自然界の音樂と人間の身體(しんたい)の２つの共鳴する振　動(バイブレーション)の中で起こる“倍音による共鳴現象”です」

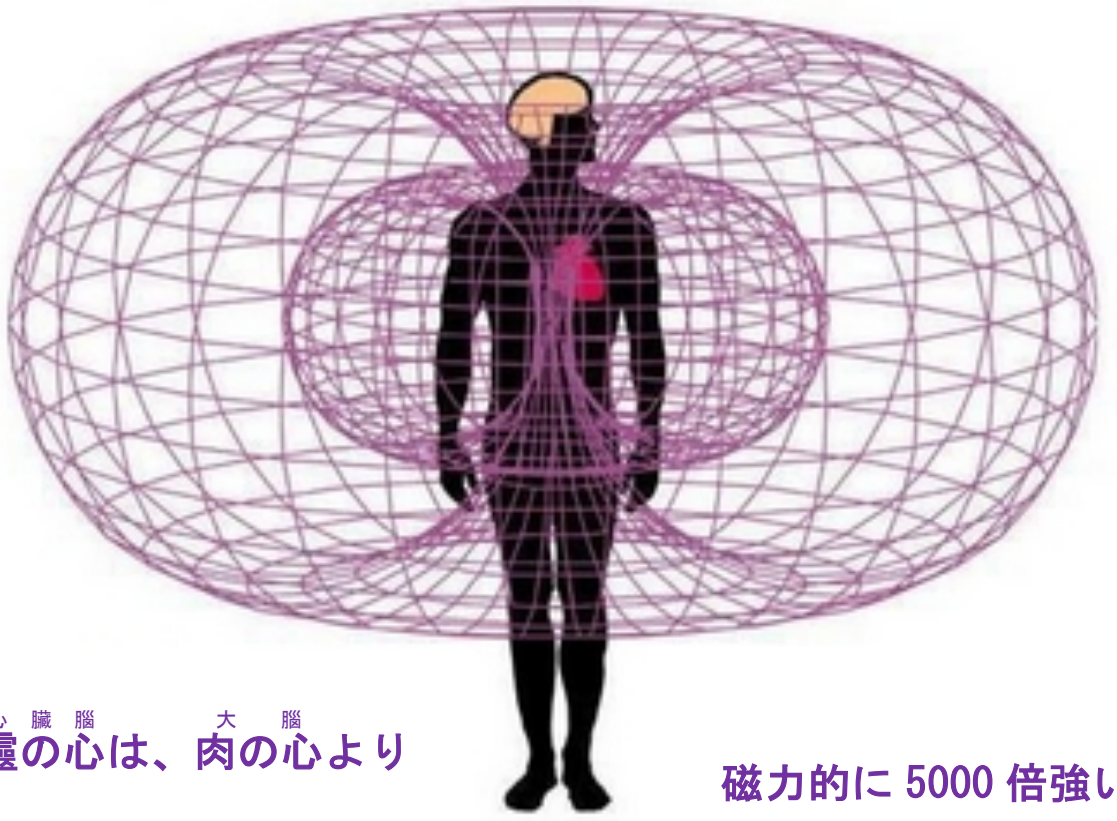
528Hz 倍音トライアルセットは、「132Hz、264Hz、528Hz、1056Hz、2112Hz」の「５倍音(オクターブ)により、靈的世界と物質世界が交わる磁場を生み出す」ことに本質があります。528Hz の倍音は、靈の心(心臓脳)と肉の心(大脳)の電位差を無くし、音のうねり場を作って變位差(へんいさ)による隙間を作ります。

また、靈の心(心臓脳)と肉の心(大脳)の電位差を無くし、音のうねり場を作って變位差(へんいさ)による隙間を作るもうひとつの要素は「速讀(そくどく)、速聽(そくちょう)、早口」であり、「暗唱」が靈の心(心臓脳)と肉の心(大脳)を一致させる上でも重要になります。「靈の心(心臓脳)は右腦」、「肉の心(大脳)は左腦」、これらを繋ぐ「腦梁(のうりょう)」を活性化させることで、「心の調和(コヒーレンス)が取れた状態」が保たれるようになるのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

靈の心と肉の心の調和とバランスを回復させる

靈の心は、肉の心より はるかにパワフル！



靈の心は、肉の心より

電氣的に 10 万倍強く

磁力的に 5000 倍強い

靈の心、肉の心は電氣を生み出しており、

靈は人工的な電子音をなによりも嫌い、ストレスを与える

電氣を通さない 528Hz の倍音は心の調和が取れた状態を生む

病氣の原因の 9 割は、「靈の心と肉の心のアンバランス」によって引き起こされます。それが、細胞を傷つけ、骨を痛め、筋肉を弱らせる原因となり、身體を維持できなくなる。それが病氣であり、靈の心と肉の心の調和とバランスを回復することが眞の健康學になります。

靈の心は別名「コズミックハート」とも表現し、肉の心は別名「ヒューマンハート」とも表現します。そもそも顯在意識は、自己の肉體の生存を可能にするために大靈から与えられたものです。

「大脳は肉體の心」であり、「肉體の健康、生活必需品の確保、維持、管理」をするために存在するという本質があります。肉の心とは、自分自身の健康、生活必需品の確保ために働くようになっています。肉の心は、肉體の存續を圖るという目的で必ず必要になります。

しかし、それが過剰になり、自分さえよければ、人間さえよければという顯在意識のEGHO意識の増大が問題なのです。人間は、肉の心で「依存」、「自我」、「感情」、「欲望」などのEGHO意識をコントロールできなければ、醜い存在に堕ちてしまいます。

靈の心により、健康と生活必需品の確保で十分という「顯在意識の欲望の一定のコントロール」のもとに置かれる限り、肉の心はその役割を果たして人間に貢献することになります。しかし、そうした健康と生活必需品の確保という必要最低限を限度を越えて求めるようになると、靈の心という本來の人間の心の在り方から逸脱することになります。

靈の心が求めているものは「調和」と「神意」による「靈性の進化」であり、そのために「無償の奉仕」と「滅私奉公」を求めており、それを通して「大靈の分靈が成長し神聖化していくこと」が可能になります。

自己の健康、生活必需品の確保、肉體の生存を最優先にする肉の心の役割と靈の心の役割はまさしく「正反対」です。この正反対の心を、生命の調律を通して一致させることを「FUNEKON優位」、「EXA PIECO優位」の努力といいます。

生命の調律は、音叉の基本となる周波数である 528Hz によって「靈の心と肉の心がシンクロし、心の調和が取れた状態」が日常で可能になってきます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

東洋醫學では「陰陽五行」についてを學びますが、陰陽五行のシステムの本質に氣づいている人は殆どいません。奇經八脈、チャクラ、十二經絡を管理、統合、統括しコントロールしているのが「靈の心（心臟腦）」と「肉の心（大腦）」です。

陰とは「EXA PIECO靈の心」、「靈的世界」を表します。陽とは「DIKAG肉の心」、「物質世界」を表します。奇經八脈で「衝脈」と「督脈」のみ五行に含まれていませんが、それは「衝脈が陰（闇）」、「督脈が陽（灵）」であり、五行を管理し、コントロールしている中樞だからです。

EXA PIECO靈の心と DIKAG肉の心の本質			
EXA PIECO靈の心 （心臟腦）	第８チャクラ アンタスカラーナ・チャクラ	DIKAG肉の心 （大腦）	第７チャクラ サハスラーラ・チャクラ
衝脈 （腎臟）	十二經の海 靈體の管理、維持	督脈 （膵臟）	陽經の海 肉體の管理、維持

五行は、「５つの感情の動き」とも言われ、「５つに分類した感情のエネルギーの方向性」を表します。EXA PIECO靈の心の感情とは「信頼」であり、「安心感」に支配されます。DIKAG肉の心の感情とは「疑い」であり、「焦燥感」に支配されます。

感情とは、「EXA PIECO靈の心」に向かっているか、「DIKAG肉の心」に向かっているのかの指標であり、感情をシグナルとして捉えなくてはなりません。そして、そのシグナルが、５つに分類した感情のエネルギーの方向性によって管理された「奇經八脈、十二經絡、經穴」によって感情の動きが分かるようになるのです。

病氣はメッセージと言われていますが、正確には「EXA PIECO靈の心とDIKAG肉の心のバランスを表すシグナル」であり、シグナルが崩れると「經穴」にメッセージが來ます。そのサインの意味を正確に知るために東洋醫學、十二經絡、陰陽五行を通して心の仕組みを學ぶ必要があります。



第十一章

古代よりの心理療法、東洋醫學（いがく）

東洋思想の氣（き）、血（けつ）、水（すい）の本質

音叉による生命（いのち）の調律と東洋醫學（いがく）の融合により

EXA PIECO　DIKAG
靈の心と肉の心の調和とバランスを回復させる



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

陰陽五行を通して靈、心、感情の動きを學ぶ

東洋醫學の成り立ちとは、「自然界への觀察」から生まれました。宇宙が自然に展開していくプロセスと、それが人生に及ぼしている影響を深く觀察していく中で「奇經八脈」と「十二經絡」と「經穴」を見つけ出したのです。

奇經八脈、十二經絡、經穴は單なる東洋醫學ではなく、その本質は靈性を培うためのものであり、靈の心と肉の心のバランスを取るための方法論のひとつです。

東洋醫學の叡智、奇經八脈、十二經絡、經穴は、「陰陽五行」を通して「靈の心と肉の心の２つの心の動き、感情の動き」を知るために存在します。２つの心の動きを「陰陽五行」として體系化し、東洋醫學の理論は完成しました。

五行は英語で「Five Energy Transfomations」と呼ばれており、日本語に翻訳すると「５つのエネルギーの變容」といいます。五行説の基礎が出來たのは、地球の約 5000 年ほどの文化では 2000 年以上前に遡ります。

五行説をまとめたのは、中國の思想家、鄒衍と言われています。紀元前 300 年頃、シャーマニックなシンボルだった五行が哲學的思想へと進化しました。しかし、陰陽五行の本質は哲學などではなく、「魂の地圖」という表現が的確になります。

奇經八脈、十二經絡、經穴を學ぶことは、宇宙の仕組みを學ぶことと同じ意味を持ちます。その基本的原理とは、「本質の自分自身を知るため」にあります。東洋醫學は、人間の複雑な「心理」から「眞理」に通じる道であり、人生の羅針盤であり、正しい人生への導き、指針を得るための叡智であり知性です。

靈と心と身體の声に耳を傾けること、それが本当の意味での心理學の始まりです



しかし、現代の東洋醫學は「十二經絡」しか情報が殘されていないため、殆どの東洋醫學に従事している人間が、肉の心と肉體しか見なくなっています。そして靈の心である奇經八脈について本氣で追窮している方は殆どいないのが現状であり、東洋醫學において一番重要な情報が抜け落ちています。

『奇經を用いぬ醫者は中醫學の究極の奥義を眞に實踐しているとはいえない』と当時、李時珍が語ったと記されている。

~Leon Hammer、MD

經絡や經穴のエネルギーの流れは、「感情のエネルギーの流れ」として、その感情のエネルギーの流れに異常が出ると「病氣はメッセージ」という結果になって表れます。しかし、正確に表現するならば、「病氣は靈、心、感情を無視しているサイン」と表現します。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

奇經八脈と十二經絡の相關關係			
陰 心臟腦 靈の心	衝脈（174Hz、285Hz） 十二經の海（靈體の管理、維持）	陽 大腦 肉の心	督脈（天王星） 陽經の海（肉體の管理、維持）
金	陽蹻脈（852Hz） 膀胱經の別脈（男性エネルギー）	金	肺經（海王星） 大腸經（冥王星）
土	陽維脈（741Hz） 諸陽の会（外側のネットワーク化）	土	脾經（土星） 胃經（水星）
火	陰蹻脈（639Hz） 腎經の別脈（女性エネルギー）	火	心經（太陽） 小腸經（セドナ）
木	帯脈（528Hz） 横方向に流れる經脈（靈肉の接合点）	木	肝經（木星） 胆經（火星）
火	任脈（417Hz） 陰經の海（生殖器の管理、維持）	火	心包經（金星） 三焦經（冥王星）
水	陰維脈（396Hz） 諸陰の会（内側のネットワーク化）	水	腎經（水星） 膀胱經（土星）

五行は「Five Energy Transfomations」、「５つのエネルギーの變容」、「５つの感情の動き」とも言われ、「５つに分類した感情のエネルギーの方向性」を表しますが、奇經八脈を通したエネルギーの動き、十二經絡を通したエネルギーの動きを知るために必要です。

大腦の心はウソをつきますが、身體（靈體と幽體と肉體）はウソをつかないし、誤魔化せません。その身體の声に耳を傾けること、それが本当の意味での心理學の始まりです。また、歴史的に東洋醫學が元々重視していたのは、「人が自分の人生の道を見つける」ことを助けることです。東洋醫學を學ぶことは、「靈的巡礼の旅」に向かう始まりになります。人生の目的である「靈性の進化」のためにも必要な情報なのです。

【東洋醫學（いがく）とスピリチュアリズムが明らかにした人間觀の融合】

（1）靈とは生命であり、生命とは靈である。

（2）靈が肉體（にくたい）に宿ることを「生命體（せいめいたい）」と定義する。

（3）EXA PIECO 靈の心（靈）とは、「FUNEKONの表現機関」であり、別名を「魂」と表現する。

（4）EXA PIECO 靈の心は奇經八脈がコントロールし、D I K A G 肉の心は十二經絡がコントロールする。

（5）EXA PIECO 靈の心が靈體（れいたい）を創り出し、靈體を腎臟がコントロールする。

（6）D I K A G 肉の心が肉體（にくたい）を創り出し、肉體を膵臟がコントロールする。

（7）靈肉を繋ぐのはチャクラであり、チャクラは靈體（れいたい）と肉體（にくたい）を繋ぐ接合点である。

（8）經穴（ツボ）が靈的世界と物質世界を繋ぐ接續点（せつぞくてん）である。

そもそも人生の目的は至って單純です。靈の世界から物質の世界へ來て、再び靈の世界へ戻った時に自分自身を待ち受けている仕事と樂しみを享受する資格を身につけるために、さまざまな體驗（たいけん）を積み「學ぶ」ことです。

人生の本質は「學び」です。學びこそが生きる意味ですが、「自分自身の生きる意味とは何か？人間とはそもそも何か？生きるとは何か？死ぬとは何か？」この４つの本質の追窮は地球人の誰しもが必要なことなのにも關わらず、殆どの方が眞劍にこの４つの本質的テーマを追窮しておりません。

D I K A G 顯在意識（大腦 肉の心）で組み立てた知識や情報を理解することにエネルギーが費やされていますが、あらゆる分野で本質的テーマを追窮していないので、生きる上での必須項目である「自分自身が生まれてきた意味と役割」を自覺しないまま生きている状態です。

人間として地球に生まれた本來のプログラムは、本質的な教育には必要不可欠なものです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

陰陽五行は、人間の深い部分を見通すことが出来るようになる

現代地球人の殆どが、地上世界で生きる上での基本的教育が欠如しております。それを「靈的無知」といい、それが靈的世界での悲劇にも直結しています。死と生、人間の役割、生きる意味、それらは全て繋がったテーマであり、常に追窮が必要なことです。

その基本的なことを東洋醫學、奇經八脈、十二經絡、經穴、それらをベースにした「音叉セルフヒーリング」を通して學んでいくということです。

東洋醫學の叡智の本質は、「宇宙の法則を學ぶ」ことにあり、正しい人生觀を養い、正しい人生を歩む上で誰しもが學ぶべき叡智であり、本來は醫學の分野ではありません。

そして、東洋醫學として自分自身を知るためのツールの一つは「陰陽五行」を學ぶことです。陰陽五行のエレメントタイプが意味することとは、「今回の人生で學ぶレッスンのテーマ」が反映されています。

東洋精神醫學において、症状は、その人の靈的な人生と信念體系の奥深くを指し示すサインとされていました。そのサインと五行のシステムは一連の対應關係があり、五行のエレメントを知ることは靈的巡礼の旅に人々を導くために必要なこととされてきました。

五行のエレメントは、「先天（靈の心）」と「後天（肉の心）」の２つが存在します。この２つに音叉セルフヒーリングでアプローチし、心の調律をすることが毎日の基本になります。

自分や他人の五行のエレメントを見分けるには、サインを見逃さない注意力、觀察力、洞察力、研ぎ澄まされた「靈の心を通した直觀」と「肉の心を通した五感の感覺」を驅使する必要があります。自分自身の五行のエレメント、クライアントの五行のエレメントを知ることは、人間の深い部分を見通すことが出來るようになります。

陰陽五行チャート（1）						
五行	木	火（太陽光線）	火（地熱）	土	金	水
奇經八脈	帯脈	陰蹻脈	任脈	陽維脈	陽蹻脈	陰維脈
チャクラ	3	4	2	5	6	1
ソルフェジオ	528Hz	639Hz	417Hz	741Hz	852Hz	396Hz
陰經（原穴）	肝經 太衝	心經 神門	心包經 大陵	脾經 太白	肺經 太淵	腎經 太谿
主な症状	循環器系、眼の疾患、慢性頭痛	心臓、心不全、血液の循環不良	氣管支、胸の圧迫感、胸骨の痛み	自律神經失調症、痙攣、痺れ	呼吸器系、電磁波過敏症	生殖器系全般、不妊症
マイナスの性格	猪突猛進、他人の感情に鈍感	DIKAG 肉の心のワクワクだけを求める	樂しみがない、冷めている	取り越し苦勞、グルグル思考	夢想家、現實を見ない	他人と距離を取りたがる
対應する惑星の基音と音程（ホームトーン インターバル）	木星 海王星	太陽 ローオーム	金星 火星	水星 天王星	海王星 水星	土星 金星
陽經（原穴）	胆經 丘墟	小腸經 腕骨	三焦經 陽池	胃經 衝陽	大腸經 合谷	膀胱經 京骨
主な症状	筋肉、足の末端冷え性	血液の造血、五十肩、急性の頭痛	下腹部の痛み、生理痛	消化器系、カラダのだるさ	皮膚の疾患、アトピー	新陳代謝、肥滿や抜け毛
マイナスの性格	優柔不斷、鬱、復讐心が強い	自己否定、自分への怒り	感情のコントロールがきかない	心配性、おせっかい、過保護	不平不滿を溜め込みがち	物事全般に批判的になりがち
対應する惑星の基音と音程（ホームトーン インターバル）	火星 冥王星	地球 オーム	月 キロン	水星 オーム	冥王星 土星	セドナ ゾディアック

５つの感情の動きは「五行」として「經絡のエネルギーの流れ」に反映されます。そして病氣のメッセージとは、「５つの感情の動きに滞り」があることが原因です。その流れを正常にさせることが病氣、不快、異常のサインをなくすことに繋がります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

陰陽五行チャート（2）						
五行	木	火（太陽光線）	火（地熱）	土	金	水
五神	Hun 魂	Shen 神	Shen 神	Yi 意	Po 魄	Zhi 志
氣エネルギー	精神を司る魂	スピリット	スピリット	思考	肉體を司る魂	意志
調和時の状態	自己表現	喜び	感謝	思いやり	尊敬	希望
一番の長所	信念の強さ	人生への情熱	欲望が少ない	氣配り	礼節を重んじる	正直
不調和時の状態	怒り	脅え	ヒステリー	心配	悲しみ	恐怖
一番の短所	思慮が淺い	圧倒されやすい	バランスを失う	支配してくる	正しくありたい	不寛容
ストレス反應	爆發する	ボロボロになる	攻撃的になる	過剰反應する	人間關係を斷ち切って撤退する	社會から離れる、内にこもる
感覺器（五感）	目（視覺）	舌（味覺）	唇（肌）	口（触覺）	鼻（嗅覺）	耳（聽覺）
分泌する津液	涙	汗（味覺性）	汗（温熱性）	唾液	粘液	尿
カラダの部位	筋肉、腱、靭帯	血管	顔の色つや	筋肉	皮膚	骨、髪
代謝するもの	脂肪	アミノ酸	たんぱく質	炭水化物	ミネラル/酵素	水
元型	パイオニア	魔法使い	心理療法士	仲裁者	錬金術師	哲學者
一番の關心事	仕事	刺激	人間の感情	詳細	習慣、慣習	宇宙の法則
徳	意志の強さ	所有	分かち合い	誠實さ	正義	叡智、知恵
本質的テーマ	成長と拡大 好奇心と冒險心で人生を切り開いていく	忍耐と神意 耐え忍ぶことで人々への神意を具現化する	赦しと受容 自他の罪を赦し、前向きに人生を歩むエネルギー	他者への援助 人と人のご縁を繋いでいくことで變容を促す	經驗と完成 人生の經驗から異質を融合させ完成させる	眞理と統合 眞理を明らかにすることで人々に希望を与える

また、五行は「魂の地圖」でもあり、正しく五行を讀み解くことで「人生の青写眞」を知ることに繋がります。五行とは「何のために生まれ、何のために生きるのか、自分自身とは何者なのか、更なる靈的向上をするためには何が必要なのか」を知る方法論です。

陰陽五行チャート（3）					
五行	木	火	土	金	水
十天干	甲/乙	丙/丁	戊/己	庚/辛	壬/癸
容姿の特徴	眼鏡率が高い、身長が高い傾向にあり	笑いに特徴あり、歯が大きい傾向	短足、背が低い、どんぐり鼻	痩せ型、筋肉質、アスリートが多い	細長い、猫背、白髪、髪に特徴あり
エレメント 見分け方	人の話を聞かない 酒が大好きが多い お祭り騒ぎを好む	話がぶっ飛んでる 火の通った食を好む 感情の好き嫌い優先	話の相槌が多い 甘い物中毒が多い 社會との迎合を好む	普段は無口 辛いものが好き 一匹狼タイプ	話が理屈っぽい 魚介類を好む傾向 理路整然としている
漫画のキャラ （代表例）	ONE PIECE ルフィ	SLAM DUNK 桜木花道	NARUTO うずまきナルト	BLEACH 黒崎一護	DEATH NOTE 夜神月
周囲の評価	言うことがコロコロ變わるから大變	話は面白いが、マシンガントーク	話が無限ループし、くどい傾向にある	ストイックに自分の好きなことに集中	頭はいいが、まわりを見下しがち
開運 アドバイス	未知の世界を切り開く能力を開花させた場合、ビジネスマンとして成功する。コツは、人のアドバイスを素直に聞くことが鍵になる	人を魅了するエンターテイメント。とにかく熱が入ると周りが見えない。エネルギーの無駄遣いをしがちなので、方向性を見失わないこと	食や農業關係に進み、自然食に目覚めると人生が好轉する。正しい食を通して社會貢献する選択をすれば、能力を遺憾なく發揮できる	すでに存在しているものをアレンジして進化させる能力が高い。オリジナリティではなく、アレンジ能力を磨いたら人生の道が開ける	科學者、研究者として引きこもって没頭した場合、世紀の大發見が可能。無氣力人間が多いが、意欲的に人生を歩めるようになる必要がある

また、陰陽五行は「母子關係」の法則とも呼ばれ、傳統的な中醫學では、「子が泣いたら、母を癒せ」という「ことわざ」があります。ある要素が虚弱して、母親が子どもにエネルギーや營養を与えないために子どもに症状が出た場合など、問題の根本原因は「母親」の要素です。従って、子どもを癒すと同時に、母親も癒す必要があります。陰陽五行は、古代よりの「コミュニケーション術」として使われていたのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

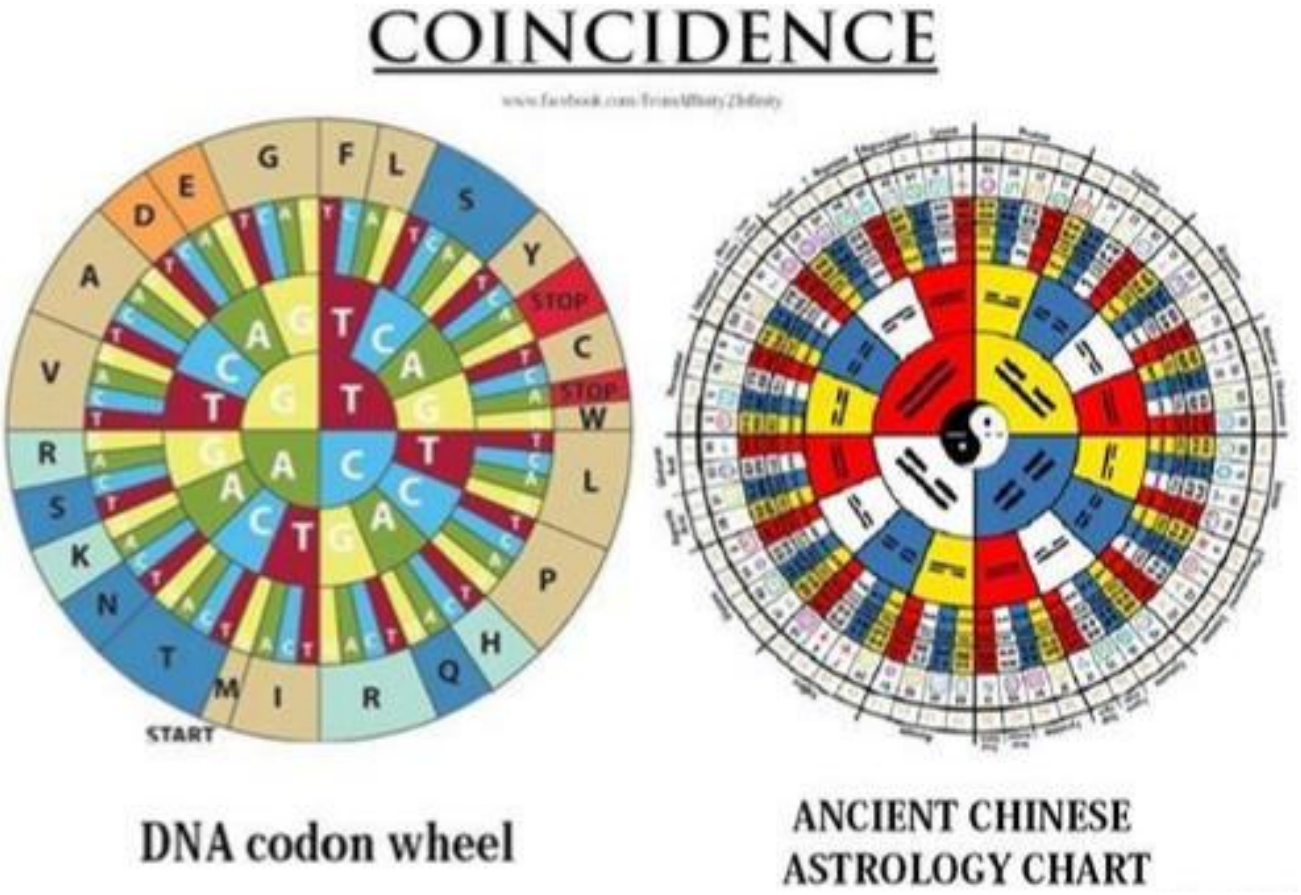
FUGEHEKIN
自然法則についての正しい理解が鍵になる



東洋思想でのエレメントは「五行（木、火、土、金、水）」になり、西洋思想でのエレメントは「火、風、土、水」になり、あまりエレメントの考え方に大きな違いはありませんが、東洋思想の場合、エレメントに「木」が含まれるのが大きな違いになります。

ＤＮＡのプログラマーは「精靈（微生物）」であり、生命を構成する根源的な元素は「酸素（火）」、「窒素（風）」、「炭素（土）」、「水素（水）」であり、これが「ＤＮＡの塩基配列（遺傳暗号）」に關わってきます。

ＤＮＡのクリエイターが「妖精（ソマチッド）」であり、「遺傳子の構造變換」に直接關わってきますが、妖精（ソマチッド）が東洋思想でいう「木」の部分に該当します。東洋思想だと妖精（ソマチッド）もエレメントに含まれてきて、西洋思想だと妖精（ソマチッド）がエレメントに含まれないだけの違いです。



エレメントの「木」は本來は「氣」と翻訳する必要があります。東洋思想では、「氣(き)、血(けつ)、水(すい)」の循環、バランスが崩れると病氣、不快、異常のメッセージが始まるとされています。この考え方は、人間の身體構成(しんたい)である「靈(氣)、幽(水)、肉(血)」の考え方と一致しています。

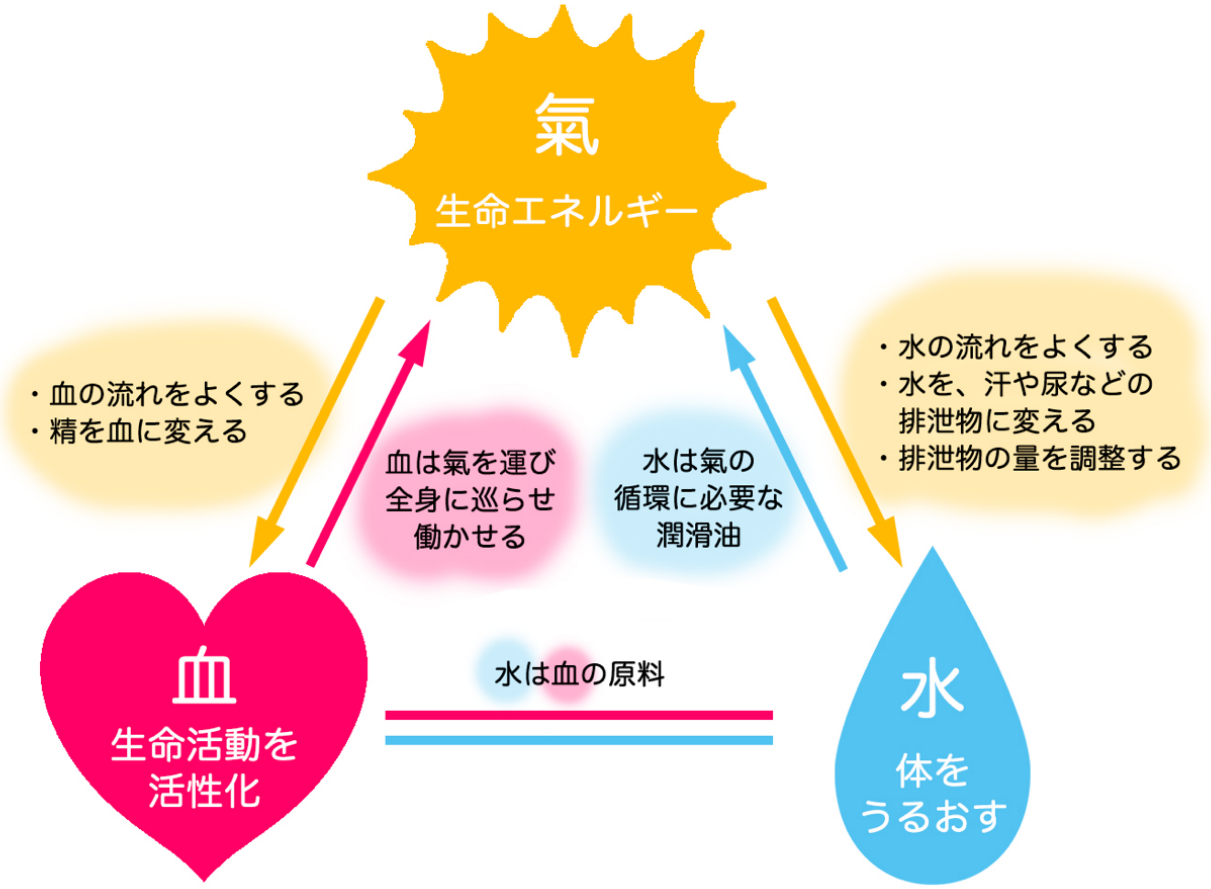
音叉による生命(いのち)の調律では、こうした「自然法則(FUGEHEKIN)」についての正しい理解が、正しい健康學に繋がります。「528Hz の倍音(オクターブ)」は、「妖精(ソマチッド)」が喜び活性化する周波數であり、「幽(水)」に一番作用します。「128Hz」は「靈(氣)」、「136.1Hz」は「肉(血)」に一番作用します。

木のエレメントと火のエレメントの性質は「靈(氣)體」、土のエレメントと金のエレメントの性質は「肉(血)體」、水のエレメントの性質は「幽(水)體」、このように五行の性質を分類できます。この性質の細分化が「５つに分類した感情のエネルギーの方向性」になります。

五行は自然界のエネルギーの流れ、人間の感情のエネルギーの流れと一緒なのです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

十二經絡は、東洋思想の「血液」を司る



東洋思想の、「氣、血、水」の循環、バランス、この思想が奇經八脈、十二經絡に直結しています。十二經絡は氣エネルギーを元に「血液」を司るとされ、血液は現代醫學だと「骨髄造血説」がベースになります。

しかし、それに異を唱えたのが、千島・森下學として「腸管造血説」を提唱していた「故・森下敬一先生」です。しかし、森下敬一先生は後年になってからは實は「經絡造血説」を新たに唱えていました。

氣エネルギーは「奇經八脈」、血エネルギーは「十二經絡」、水エネルギーは「チャクラ」が管理、コントロールしていますが、東洋思想はスピリチュアリズムが明らかにした人間の身體構成の考え方と一致しています。

★森下敬一　　医学博士



1950 年東京医科大学卒業。お茶の水クリニック院長、国際自然医学会会長、中国・瀋陽薬科大学客員教授、吉林省気功保健研究所客員教授（名誉所長）、グルジア・トビリシ国立医科大学名誉教授、旧ソ連グルジア・アブハジア・アルメニア各長寿学会名誉会員。

新しい血液生理学を土台にした自然医学を提唱し、国際的評価を得ている。慢性病、難病に苦しむ数多くの人々を根治させた実績をもつ、わが国自然医学の最高権威。

【奇經八脈と十二經絡の要点】

（1）奇經八脈は靈體（れいたい）、靈體（れいたい）オーラの健康學。細胞に働きかける

（2）十二經絡は肉體（にくたい）、肉體（にくたい）オーラの健康學。血液に働きかける

（3）チャクラは「半物質、半幽質」であり、水を通して細胞と血液に働きかける

（4）血液の淨血、デトックス、細胞修復を「新陳代謝」という

（5）氣（き）、血（けつ）、水（すい）の新陳代謝の循環、バランスが崩れると、病氣、不快、異常が始まる

（6）睡眠は細胞修復、運動は血液の新陳代謝、食事は２つのバランスを保つ働きである

靈體（れいたい）は肉體（にくたい）が睡眠中、靈界にいます。その間、靈體（れいたい）は肉體（にくたい）の「細胞修復」をしています。そして起床してから「血液の新陳代謝」を通して肉體（にくたい）の管理、維持をしています。そして幽體（ゆうたい）であるチャクラと經穴（ツボ）を通して「血液のデトックスと細胞修復」を繰り返しています。

十二經絡を知ることは、「万病一元、血液の汚れから生ずる」という思想では最も大切です。肉體（にくたい）は「血液の汚れ、循環不良」により病氣になるからです。血液の汚れ、循環不良は肉食、白砂糖、質の悪い脂、運動不足により引き起こされます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

十二經絡の１２のエネルギーの流れについて



十二經絡とは？

十二經絡は、その名の通り「12 本」あり、手に 6 本、足に 6 本のルートの合計 12 本になります。そして、五行説に基づき、陰陽のルートは裏表の關係として、内側と外側の対の關係性になっております。

カラダの内側が「陰」のルート

カラダの外側が「陽」のルート

木　肝經ー胆經

火　心經ー小腸經（心包經、三焦經）

土　脾經ー胃經

金　肺經ー大腸經

水　腎經―膀胱經

これらの十二經絡、五臓六腑を管理、コントロールしているのが「膵臓」であり、膵臓には靈體（れいたい）と肉體（にくたい）を繋ぐ「シルバーコード」が存在します。膵臓に位置する「太陽神經叢（しんけいそう）」はみぞおちの辺りにある神經細胞の集まりであり、自律神經のコントロールセンターです。

膵臓と十二經絡が肉體（にくたい）を管理しており、太陽神經叢（しんけいそう）は胃や腸、肝臓、膵臓などの消化器系の臓器と密接に繋がり、それらが正常に働くように調整しています。

【原穴（げんけつ）】

特徴：奇經八脈からの流れ出る氣エネルギーの留まる經穴（ツボ）で、臟腑經絡の状態を伺うのに優れています。また、遺傳子（いでんし）の構造變換（へんかん）の時に重要になる經穴（ツボ）です。

主な位置：手首や足首の周辺に存在することが多いです。

【郤穴（げきけつ）】

特徴：急性の症状の診斷点や治療点とされます。

主な位置：骨や筋肉の間にある溝状の部位に存在します。

【絡穴（らくけつ）】

特徴：対（つい）になる他經と連絡し合う經穴（ツボ）で、慢性症状や臨床で幅広く用いられます。

主な位置：肘や膝より末端に存在し、經脈から絡脈が分かれる部位です。

十二經絡でよく使う經穴（ツボ）は、「原穴（げんけつ）」、「郤穴（げきけつ）」、「絡穴（らくけつ）」になります。臟器、臟腑の調整によく使う經穴（ツボ）は、必ず經絡上にある訳ではない「募穴（ぼけつ）」と「兪穴（ゆけつ）」になります。これらは東洋醫學（いがく）で「五要穴（ごようけつ）」と呼ばれています。

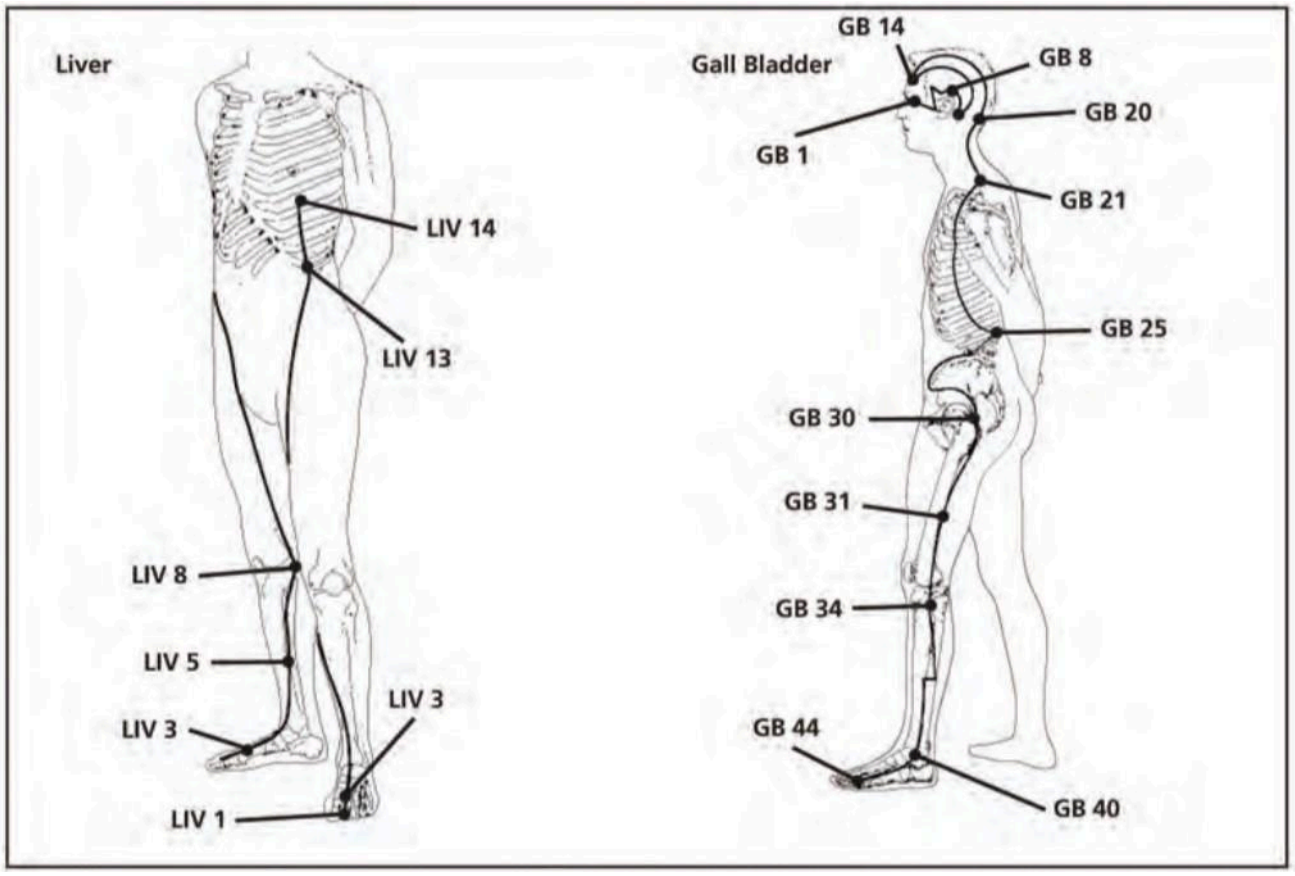
原穴（げんけつ）は慢性疾患の症状に用いるケースが多く、「奇經八脈（靈體）」から流れてる氣エネルギーの貯藏庫の役割があり、「132Hz オクターブ」および「オームオクターブ」で生命エネルギーを補充するのが基本です。

郤穴（げきけつ）は主に急性疾患の症状に用います。喘息や咳などに「孔最（こうさい）」、ぎっくり腰など急性の痛みには「金門（きんもん）」など、突然の症状に郤穴（げきけつ）は効果的であり、「自宅の救急箱」的な使い方をします。

十二經絡を學ぶことは、必ず日常生活でプラスになります

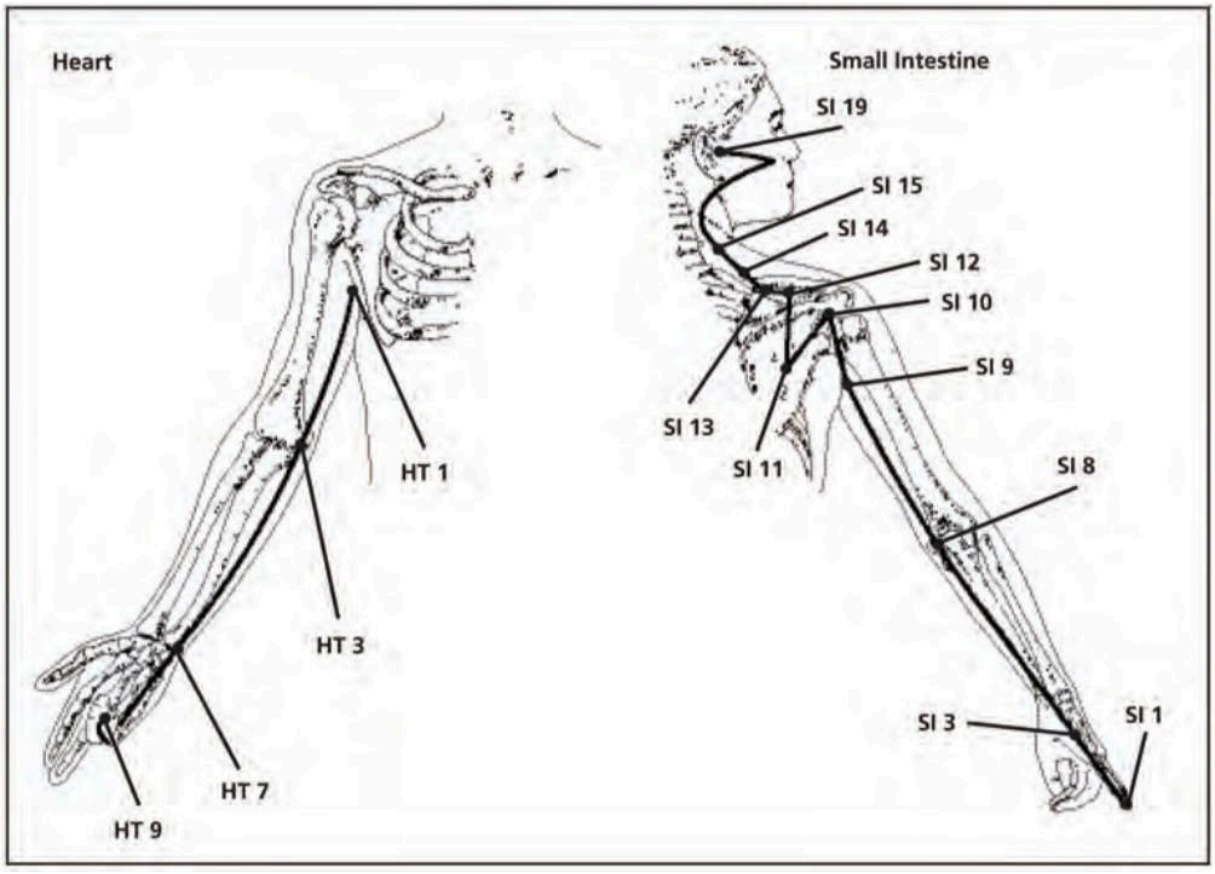
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【木のエレメント、肝經と胆經】



【足の厥陰肝經】と【足の少陽胆經】						
	肝經	惑星	ソルフェジオ	胆經	惑星	ソルフェジオ
原穴	太衝	木星、火星	528Hz、285 Hz	丘墟	火星、木星	417Hz、528Hz
郄穴	中都	海王星、土星	528Hz、639Hz	外丘	火星、天王星	174Hz、417Hz
絡穴	蠡溝	天王星、火星	528Hz、852Hz	光明	木星、太陽	852Hz、963Hz

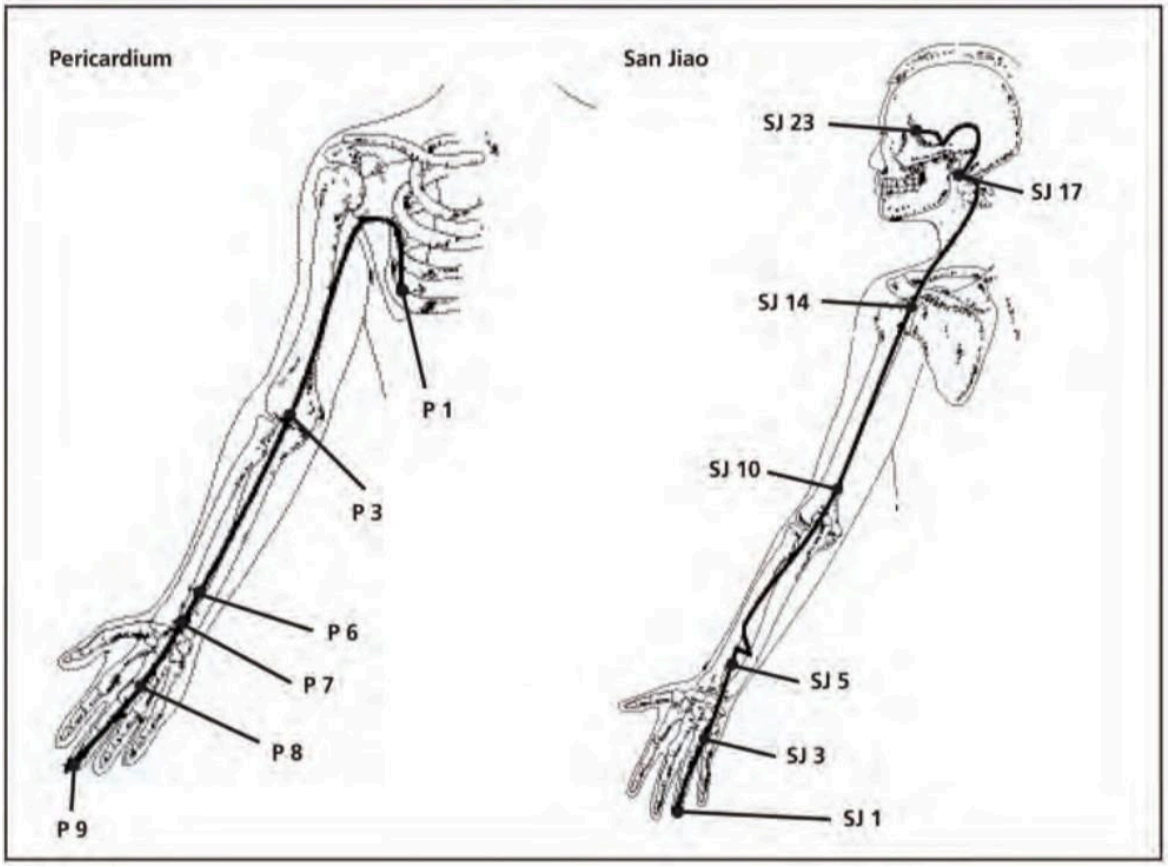
【火（太陽炎線）のエレメント、心経と小腸経】



【手の少陰心經】と【手の太陽小腸經】						
	心經	惑星	ソルフェジオ	小腸經	惑星	ソルフェジオ
原穴	神門	太陽、ニビル	639Hz、852Hz	腕骨	水星、天王星	963Hz、174Hz
郄穴	陰郄	金星、火星	396hz、639Hz	養老	天王星、海王星	528Hz、852Hz
絡穴	通里	木星、天王星	852Hz、963Hz	支正	水星、冥王星	741Hz、852Hz

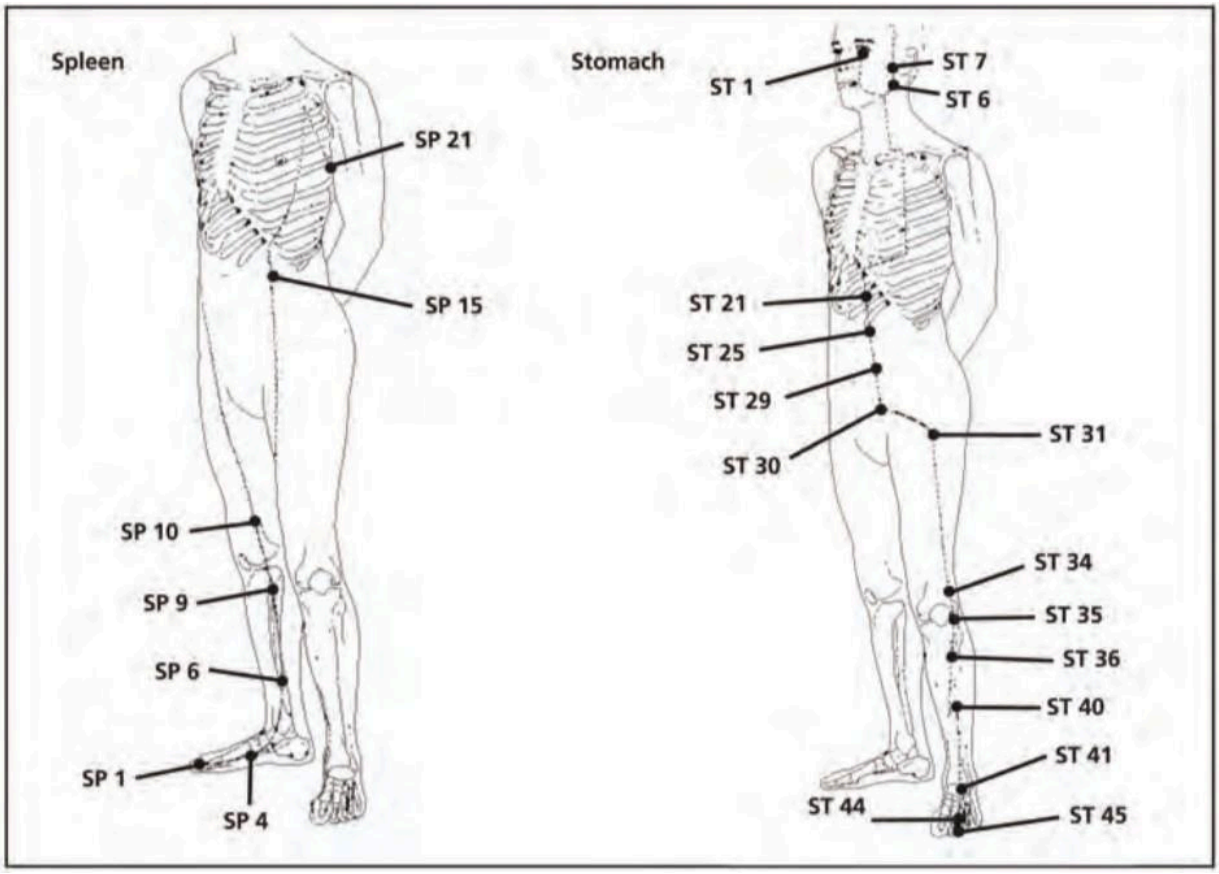
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【火（地熱）のエレメント、心包經と三焦經】



【手の厥陰心包經】と【手の少陽三焦經】						
	心包經	惑星	ソルフェジオ	三焦經	惑星	ソルフェジオ
原穴	大陵	金星、太陽	639Hz、741Hz	陽池	太陽、滿月	528Hz、285Hz
郄穴	郄門	新月、水星	417Hz、639Hz	会宗	冥王星、海王星	396Hz、852Hz
絡穴	内關	土星、太陽	396Hz、639Hz	外關	水星、太陽	741Hz、963Hz

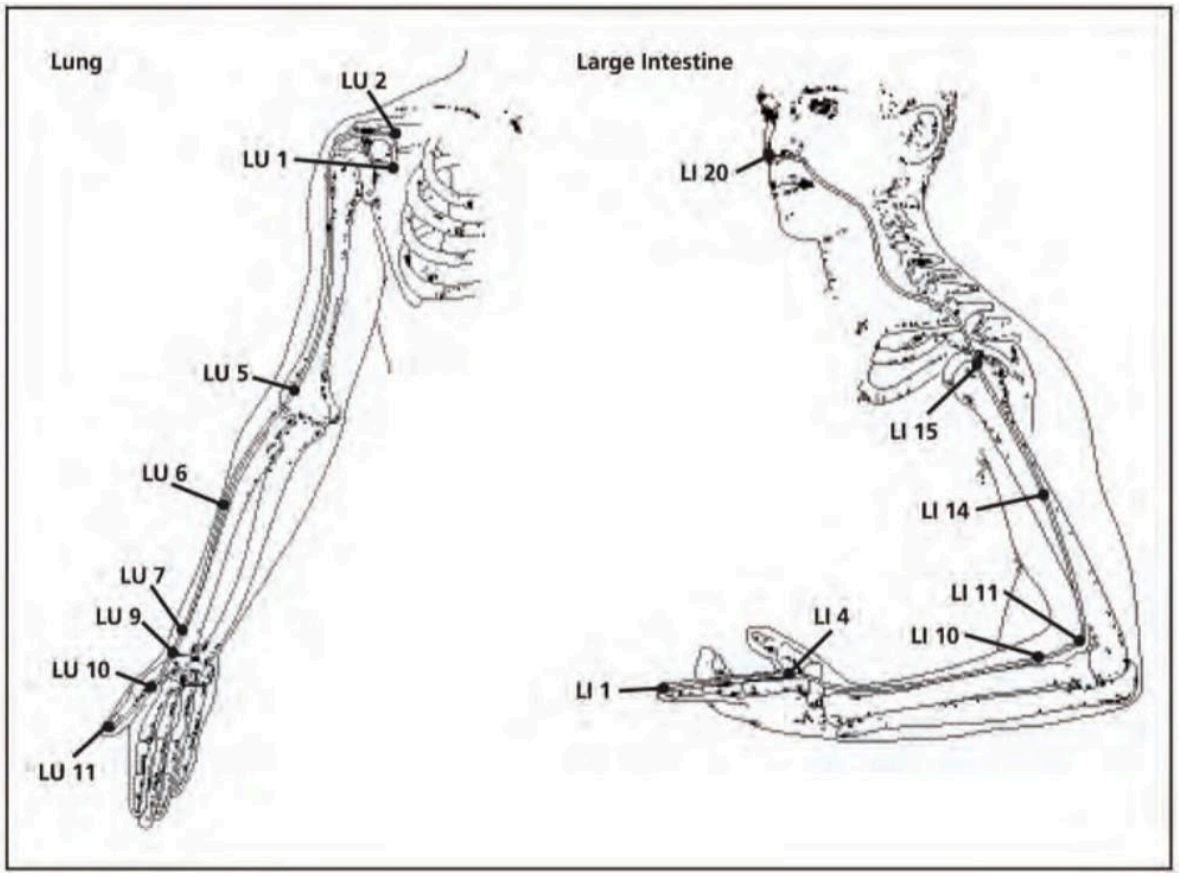
【土のエレメント、脾経と胃経】



【足の厥陰脾経】と【足の陽明胃経】						
	脾経	惑星	ソルフェジオ	胃経	惑星	ソルフェジオ
原穴	太白	土星、太陽	639Hz、174Hz	衝陽	水星、土星	741Hz、285Hz
郄穴	地機	火星、満月	396Hz、417Hz	梁丘	土星、冥王星	528Hz、417Hz
絡穴	公孫	太陽、ニビル	174Hz、285Hz	豊隆	天王星、水星	963Hz、741Hz

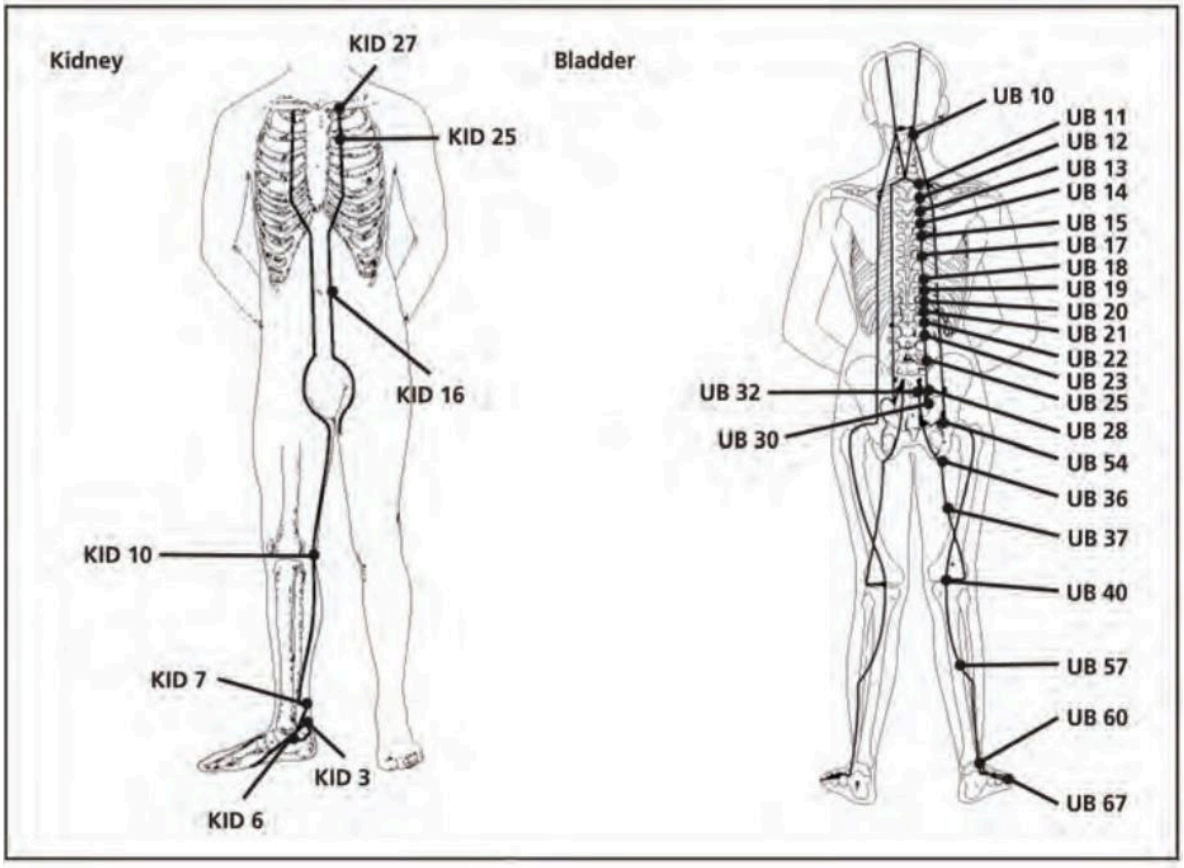
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【金のエレメント、肺經と大腸經】



【手の太陰肺經】と【手の陽明大腸經】						
	肺經	惑星	ソルフェジオ	大腸經	惑星	ソルフェジオ
原穴	太淵	海王星、水星	852Hz、741Hz	合谷	冥王星、海王星	417Hz、528Hz
郄穴	孔最	海王星、満月	852Hz、528Hz	温溜	冥王星、水星	417Hz、741Hz
絡穴	列缺	海王星、金星	852Hz、396Hz	偏歴	冥王星、天王星	417Hz、852Hz

【水のエレメント、腎経と膀胱経】



【足の少陰腎経】と【足の太陽膀胱経】						
	腎経	惑星	ソルフェジオ	膀胱経	惑星	ソルフェジオ
原穴	太谿	キロン、ニビル	396Hz、528Hz	京骨	太陽、天王星	174Hz、963Hz
郄穴	水泉	金星、火星	528Hz、285Hz	金門	金星、土星	396Hz、528Hz
絡穴	大鍾	天王星、木星	528Hz、852Hz	飛揚	海王星、キロン	174Hz、852Hz

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

心のシルバーコードと身體のシルバーコード

何度も繰り返しますが、「奇經八脈（氣）」と「十二經絡（血）」を繋ぐ接續点が「經穴」です。靈體と肉體を繋ぐ接合点は「幽體（チャクラ）」です。

このシステムを成立させているのは、奇經八脈の「督脈」と「任脈」です。督脈は「百会（蝶形骨）」が管理し、任脈は「会陰（仙骨）」が管理、コントロールしています。

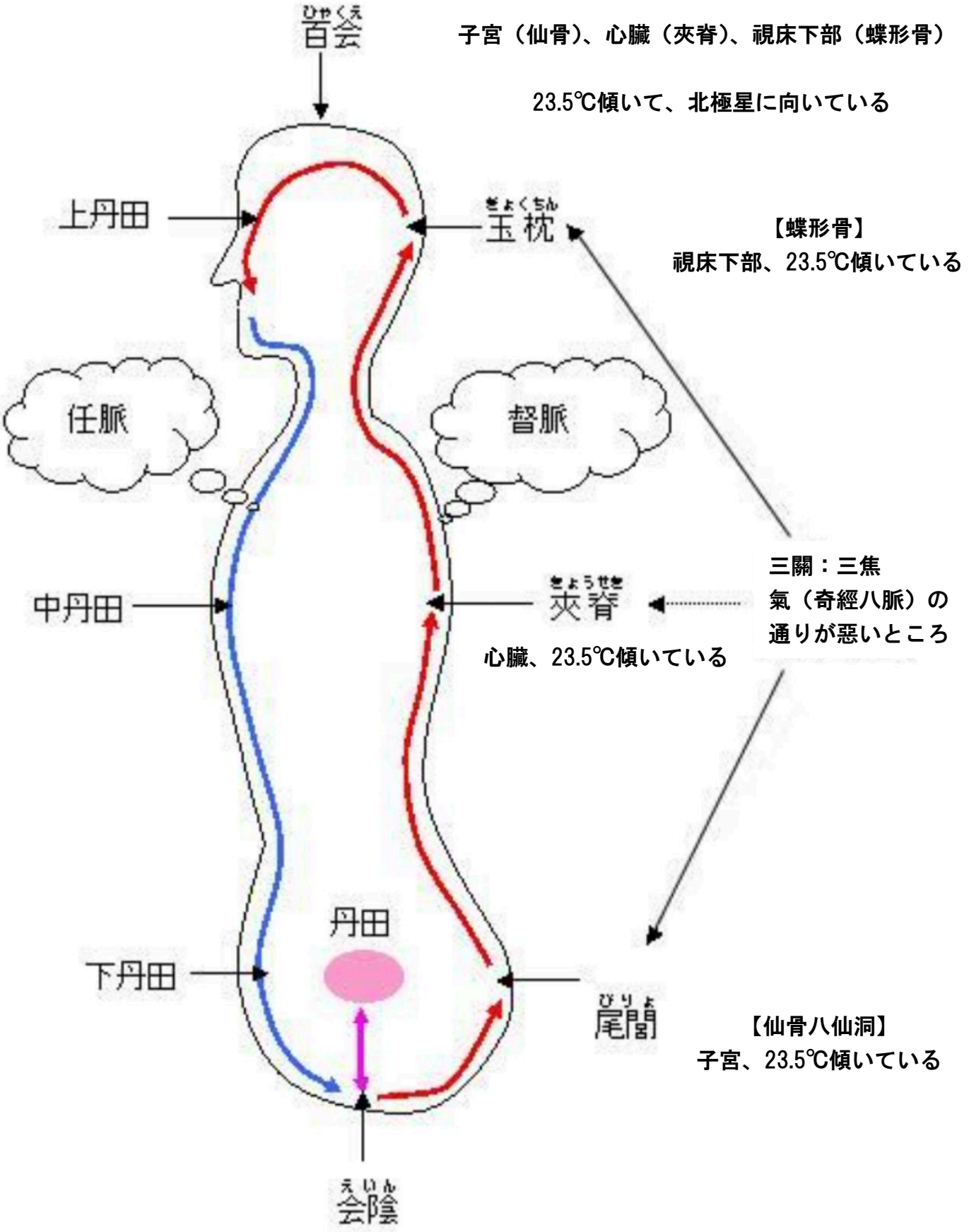
靈體と肉體を繋ぐものは「シルバーコード」ですが、そのシルバーコードで最も大切な役割をしている箇所が、「靈の心と肉の心を繋ぐ松果體」と「靈體と肉體を繋ぐ太陽神經叢」の２箇所です。

しかし、靈體と肉體を繋ぐ太陽神經叢は「仙骨」とも同期しており、靈の心と肉の心を繋ぐ松果體は「蝶形骨」とも同期しています。そして、「仙骨」は「腎臓」を通して生命エネルギーを溜め込み、「蝶形骨」は「膵臓」を通して生命エネルギーを流しています。

督脈と任脈は、東洋思想で「水」を司ります。また、任脈は満月から新月への移行期で影響を受け、督脈は新月から満月への移行期で影響を受けます。督脈と任脈は「月の満ち欠けのリズム」と連動しており、そのサイクルは「生理周期」と連動しています。

督脈の別名は「陽經の海」、任脈の別名は「陰經の海」と呼ばれています。二大脈が「母なる創造主の海」として「月のサイクル」と連動しているのを古代人は直観的に理解していました。まさに宇宙の神秘のひとつです。

奇經八脈、仙骨と蝶形骨、十二經絡、これが東洋思想の、「氣、血、水」の循環、バランスの本質です。「奇經八脈（氣）、仙骨と蝶形骨（水）、十二經絡（血）」、この三位一體の關係性を知らなければ正しく魂心身のヒーリングをすることは難しいでしょう。



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

人間は、「FUGEHUKON」の「FUGEHEKIN」が「FUNEKON」を形成し、陰陽という靈的世界と物質世界に分けて創られた存在です。

FUGEHUKON がFUGEHEKINというルールを創り、そのルールを設定し、人間が管理、維持し、それを「具現化」するに従ってFUGEHUKOに近づけるようにした、これが生きる意味の本質である「靈性の進化」の意味です

FUGEHUKONは「心」というものを重要視しています。なので、どの惑星も靈的世界と物質世界に分けて創造し、地上世界で人間のみ「肉の心」の「自由意志」によって何事も判断し決定できる権利を与えました。

心のシルバーコードは、「松果體（靈の心と肉の心）と蝶形骨」が管理し、身體のシルバーコードは「太陽神經叢（腎臟と膵臟）と仙骨」が管理しています。これが「接合点」の本質であり、身體（靈體と肉體）のメカニズムは「單純」でもあり「複雑」でもあります。

シルバーコードは、心が「松果體≒蝶形骨」、身體が、「太陽神經叢≒仙骨」という形でコントロールされています。人間が腦死になる時とは、靈の心と肉の心を繋ぐシルバーコードが切れた時です。しかし、これは嚴密には死ではありません。地上世界での死とは、身體のシルバーコードが切れた時です。

古代の東洋醫學は、そうした靈的本質に氣づいていた可能性が高いです。だからこそ、東洋思想を「奇經八脈」と「十二經絡」に分類していたのでしょう。しかし 2000 年ほど前に奇經八脈の情報が途絶えた結果、肉體の健康のみしか意識しない考え方になってしまいました。

音叉による生命の調律は、スピリチュアリズムが明らかにした「靈的眞理」と、人間の「靈と心と身體のメカニズム」を明らかにして、ようやく眞価を發揮します。この人間の本質的構造を知り、人生に活かすかは皆さん次第です。



第十二章

仙骨と蝶形骨と華佗夾脊（かだきょうせき）

靈體（れいたい）と肉體（にくたい）を繋ぐ仙骨

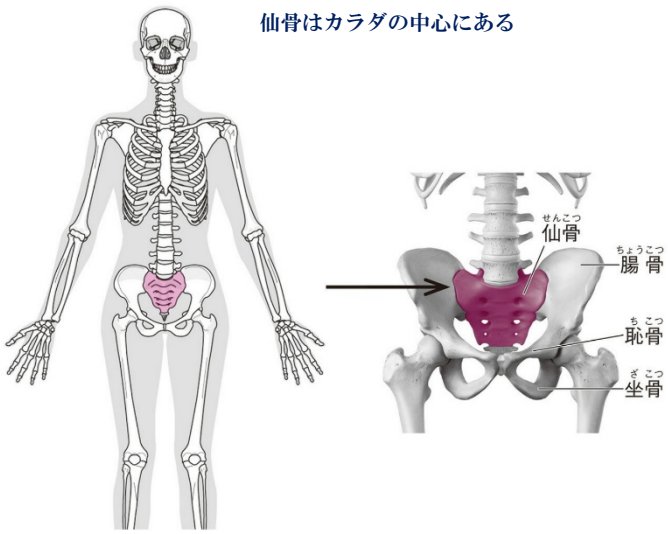
EXA PIECO　DIKAG
靈の心と肉の心を繋ぐ蝶形骨

大宇宙（マクロコスモス）と小宇宙（ミクロコスモス）の流路、華佗夾脊（かだきょうせき）

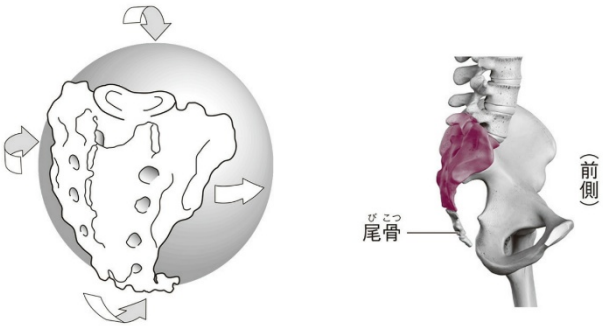


資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

仙骨と蝶形骨、水晶宮（クリスタルパレス）の活性化について

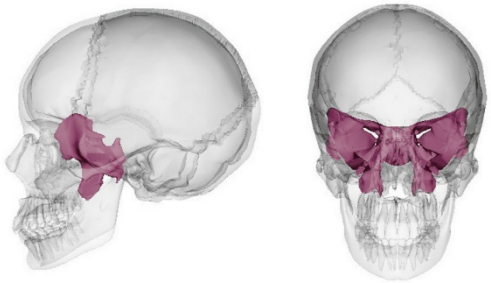


仙骨はカラダの中心にある



仙骨は球體を包む形をしている

蝶形骨（色の濃い部分）



仙骨と蝶形骨は、同じ形をしており
督脈と任脈としてリンクしている

仙骨は全身約 200 個の骨とは全く違った働きがあり、カラダ全體のバランスを常に正常に保つ、いわば「守護神的」な役割を担っている特別に重要な骨です。

仙骨は英語では、

「sacrum（セイクラム）」

「sacred bone（セイクリッド・ボーン）」

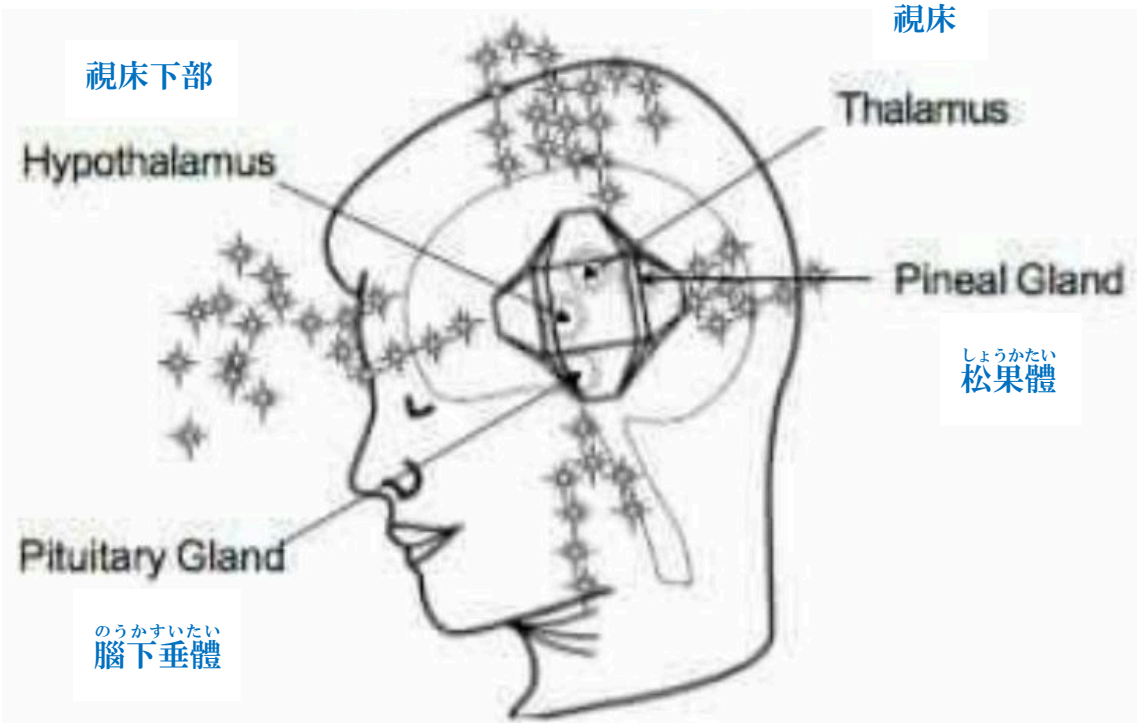
といわれており、いずれも語源は「神聖な」という意味のラテン語から來ています。

日本では、江戸時代にオランダ語の解剖學書『ターヘル・アナトミア』を翻訳した『解体新書』（重訂版）が出たときに、「護神（神）骨」と訳されています。

「神を護る骨」と日本語で表現され、昔から仙骨は神が宿る神聖な骨と考えられてきました。

また、仙骨で受信したエネルギーを全身に送る際に重要な働きをするのが「蝶形骨」です。蝶形骨に關係する經穴は「神門」、「睛明」、「玉枕」、「腦戸」などの經穴になります。

クリスタルパレス
水晶宮



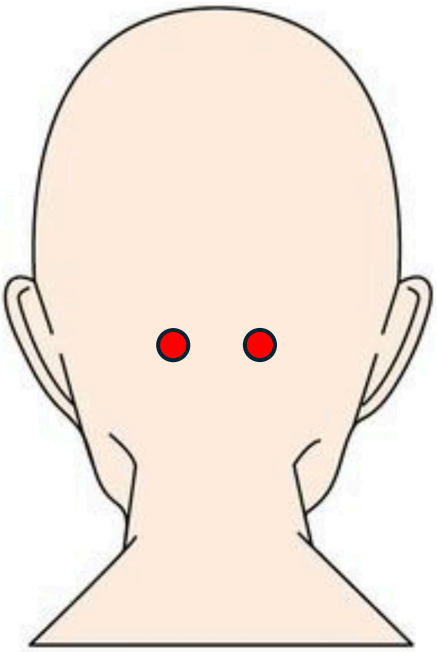
蝶形骨に關係する經穴の「玉枕」、「腦戸」の經穴は、「水晶宮」を活性化させる上でも大切です。小腦の經穴である玉枕は別名「神口」と呼ばれており、十二經絡を管理、コントロールし、呼吸を制御しています。

水晶宮は大腦の眞ん中に存在しています。水晶宮は、「松果體、視床、視床下部、腦下垂體」のすべてを包み込んでいます。肉の心と靈の心を繋ぐ水晶宮は知覺、運動神經線維と神經組織が織り交ざり、密集したネットワークを形成しています。

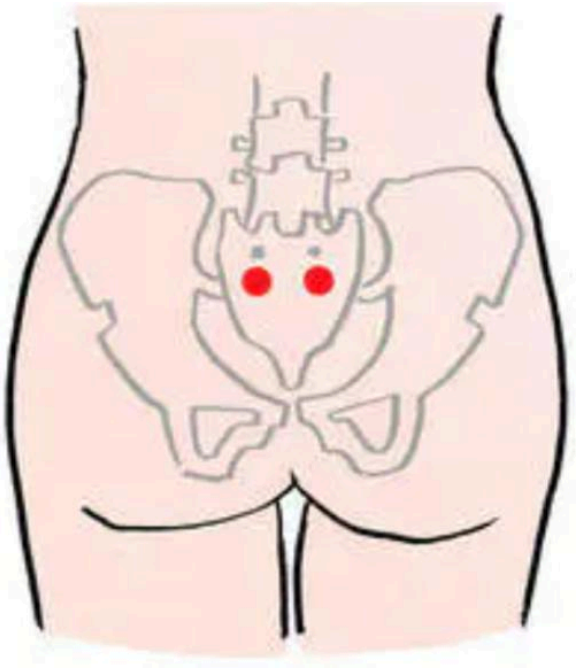
玉枕の經穴の基音は「海王星」であり、玉枕を刺激すると水晶宮を活性化し、カラダの外にある様々な靈的エネルギー、生命エネルギーを體内に引き込むことが容易になります。

水晶宮の活性化は、靈の心の内奥の知恵、深遠な潜在能力を目覺めさせる鍵です

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



ぎょくちん
玉枕



じりょう
次髎

クラニオセイクラルセラピー
頭蓋仙骨療法では、玉枕（ぎょくちん）の經穴（ツボ）や仙骨にソフトタッチで触れ、脳脊髄液（CSF）の循環を促し、體内（たいない）の緊張を解放して自律神経やホルモンのバランスを整えます。これは音叉セルフヒーリングでも可能であり、是非とも日課にしてほしい方法のひとつです。

【音叉で頭蓋仙骨療法をやる基本的な方法①】

（1）玉枕の經穴は、チャクラバー「$^{6}A+^{7}B$」、528Hz 倍音セットを鳴らす

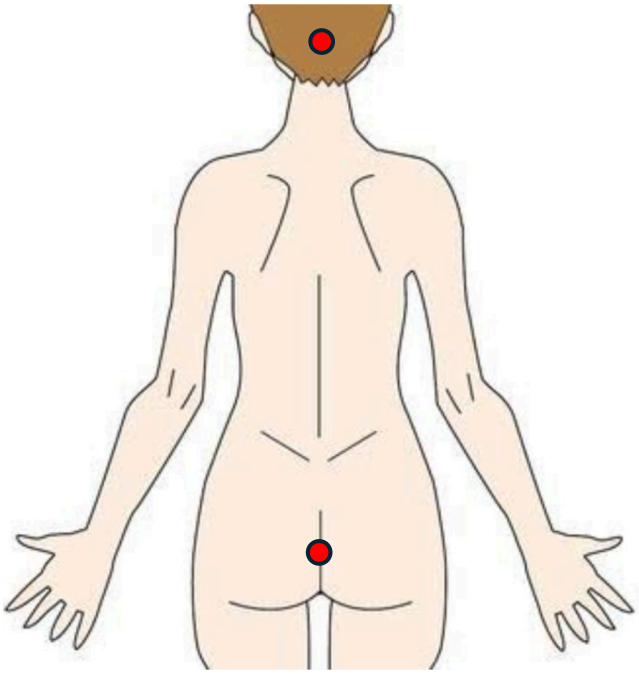
（2）導入編セットならば、「132Hz」と「264Hz」を左右の玉枕の經穴に數回当てる

（3）片方ずつ、玉枕の經穴に「132Hz」と「264Hz」を數回当てる

（4）玉枕と次髎の經穴は、チャクラバー「$^{1}C+^{6}A$」、528Hz 倍音セットを鳴らす

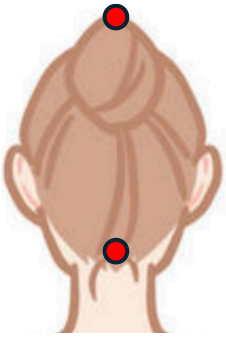
（5）左右どちらかののの玉枕に「264Hz」、次髎の經穴に「132Hz」を數回当てる

（6）反対側の玉枕に「264Hz」、次髎の經穴に「132Hz」を數回当てる



脳戸（のうこ）

百会（ひゃくえ）



腰愈（ようゆ）

風府（ふうふ）

【音叉で頭蓋仙骨療法（クラニオセイクラルセラピー）をやる基本的な方法②】

（1）脳戸（のうこ）、腰愈（ようゆ）の経穴（ツボ）は、チャクラバー「^{1}C＋^{5}G」、528Hz 倍音セットを鳴らす

（2）導入編セットならば「264Hz」を脳戸（のうこ）、「132Hz」を腰愈（ようゆ）の経穴（ツボ）に数回（すうかい）当てる

（3）風府（ふうふ）と百会（ひゃくえ）の経穴（ツボ）は、チャクラバー「^{6}A＋^{7}B」、528Hz 倍音セットを鳴らす

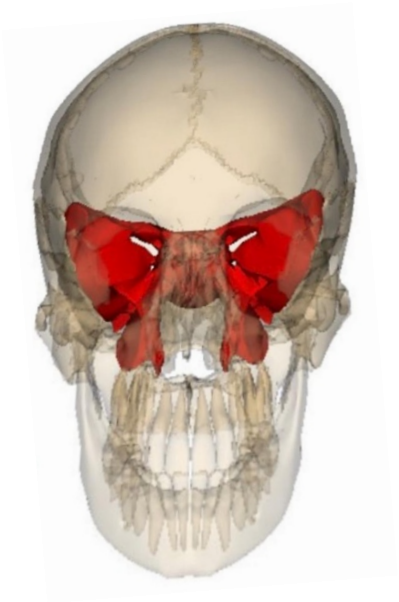
（4）風府（ふうふ）の経穴（ツボ）に「132Hz」、百会（ひゃくえ）の経穴（ツボ）に「264Hz」を数回（すうかい）当てる

仙骨と蝶形骨は、霊の心（心臓脳）と肉の心（大脳）の接合点なので、音叉による日々の生命（いのち）の調律は欠かせません。また、「腰愈（ようゆ）」、「脳戸（のうこ）」、「風府（ふうふ）」、「百会（ひゃくえ）」も頭蓋仙骨療法（クラニオセイクラルセラピー）では大切な経穴（ツボ）です。特に風府（ふうふ）と玉枕（ぎょくちん）は、霊の「入神」ないし「憑依」の出入り口であり、ここの経穴（ツボ）から霊媒現象が始まります。

こうして、頭部の様々な経穴（ツボ）を刺激することで水晶宮（クリスタルパレス）を活性化し、肉の心（大脳）と霊の心（心臓脳）を繋ぐことで、霊的世界からのインスピレーションを受け取りやすくなります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

蝶形骨の經穴、睛明のネガティブエネルギーを解放する





人體の仕組みも、宇宙と靈止の仕組みも必ず相關關係というものが存在します。東洋醫學ならば、奇經八脈と十二經絡が相關關係になっています。經穴も督脈と任脈以外の經穴は必ず一対の關係で成り立っています。

督脈と任脈は、靈體と肉體の接合点という一対の關係性です。督脈は蝶形骨が管理し、任脈は仙骨が管理しています。蝶形骨は「満月（227.43Hz）のエネルギー」、仙骨は「新月（210.42Hz）」であり、ソルフェジオ音叉だと「417Hz」が月の周波数の代替になります。

口と肛門も一対の關係性です。口は「水星（141.27Hz）」、肛門は「冥王星（140.25Hz）」であり、ソルフェジオ音叉だと「285Hz」が口と肛門の代替の周波数になります。人體の仕組みを知れば知るほど、靈止は大靈の創造物だと實感させられます。

蝶形骨のくぼみの位置に該当する經穴は「睛明」であり、蝶形骨は会陰の經穴を通して靈の心のシルバーコードと繋がっており、「仙骨の八髎穴」と連動しています。睛明には長年のネガティブエネルギーが溜まっており、それを解放する必要があります。

【入門編セットで睛明(せいめい)の經穴(ツボ)を刺激する方法】

(1)基音(ホームトーン)を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」「264Hz」からひとつ選定する
(2)基音(ホームトーン)と組み合わせるソルフェジオ音叉の音程(インターバル)を3パターン選定する
(3)睛明(せいめい)の經穴(ツボ)は、チャクラバー「A^{6}＋B^{7}」、528Hz倍音セットを鳴らす
(4)片方の睛明(せいめい)の經穴(ツボ)に自分が選んだ基音(ホームトーン)と音程(インターバル)の組み合わせを數回(すうかい)当てる
(5)違う基音(ホームトーン)と音程(インターバル)の組み合わせを2パターン、同じように數回(すうかい)当てる
(6)反対側の睛明(せいめい)の經穴(ツボ)に、(4)～(5)の手順を同じようにやる

蝶形骨は頭蓋骨の中央、目の奥に位置しており、その名の通り正面から見ると蝶が羽を広げたような形をしています。睛明(せいめい)の經穴(ツボ)は、蝶形骨の目の奥に位置そのものであり、長年の蓄積されたネガティブエネルギーが溜まっている箇所です。

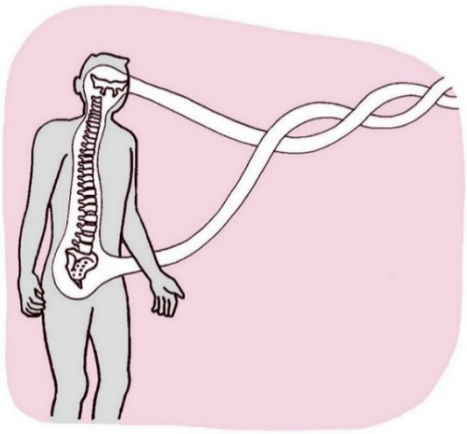
全身の中でも、仙骨と蝶形骨はネガティブなエネルギーが溜まりやすいポイントであり、ここを中心に音叉で刺激をし、解放(リリース)していくことで、肌ツヤやハリが良くなる事に加え、顔の印象が明るくなり、思考がポジティブに變化(へんか)する人が多い傾向にあります。

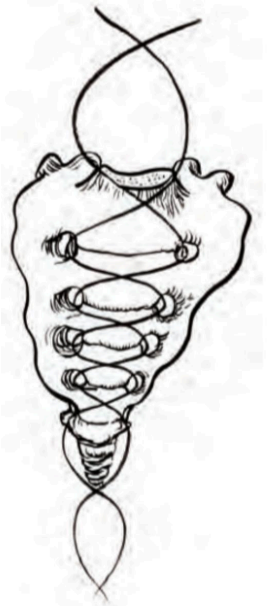
睛明(せいめい)の經穴(ツボ)は、仙骨の八髎穴と連動しているため、「すべてのソルフェジオ音叉」、「すべての惑星音叉」でアプローチすることが可能です。なので、自分自身で基音(ホームトーン)と音程(インターバル)を選定することが大切であり、様々な音叉の組み合わせのパターンを試すことです。

音叉導入編セットから音叉上級編セットまで、睛明(せいめい)の經穴(ツボ)にアプローチ出來るパターンは膨大に存在しますが、導入編セットならば、「132Hz」と「264Hz」の組み合わせを5回ほど当て、「264Hz」と「528Hz」の組み合わせを5回ほど当てる方法が有効です。それだけでも思考や感情がクリアリングされ、正しい判斷力を身につけるための下地が培われます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

仙骨は生命エネルギーを司っている





八髎穴
左右対称の以下の４組のツボ

UB 31 第１仙骨孔にある上髎
（Upper Bone Hole、Shong Liao）

UB 32 第２仙骨孔にある次髎
（Second Bone Hole、Ci Liao）

UB 33 第３仙骨孔にある中髎
（Central Bone Hole、Zhong Liao）

UB 34 第４仙骨孔にある下髎
（Lower Bone Hole、Xia Liao）

心のシルバーコードは、「松果體（靈の心と肉の心）と蝶形骨」が管理し、身體のシルバーコードは「太陽神經叢（腎臟と膵臟）と仙骨」が管理しています。身體のシルバーコードが切れた時が、地上世界でいう死の本質になります。イエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』では、どのように述べられているかを記載してみましょう。

> いにしえの賢人が指摘している“第３の目”とか“太陽神經叢”などを使用することもあります。そこが靈と精神と肉體の三者が合一する場なのです。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（六）』p.39
>
> そこから（ヒーラーのエネルギーが）患者の松果體ないしは太陽神經叢を通って體内に流れ込みます。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（六）』p.40

これは翻訳に誤訳がありますが、正しくは「いにしえの賢人が指摘している“第３の目”とか“太陽神經叢”などを使用することもあります。そこが靈と心と身體の三者が合一する場なのです。そこから（ヒーラーのエネルギーが）患者の松果體ないしは太陽神經叢を通って體内に流れ込みます」と翻訳しなければなりません。

シルバーバーチの靈訓を正しく讀み解くならば、ヒーリングのエネルギーの流れは２種類存在します。松果體と蝶形骨を辿る流れは「直觀力」という力になります。太陽神經叢と仙骨を辿る流れは「生命力」という力になります。

腎經は任脈と連動し、膀胱經は督脈と連動している。これが東洋思想の「氣、血、水」の中で、「氣＝奇經八脈」、「血＝十二經絡」を接合する「水＝チャクラ」の本質です。これは本当ならば、「水＝心と身體のシルバーコード」と翻訳しなければなりません。

そして太陽神經叢と仙骨のエネルギーの流れは「膀胱經」を通して肉體に流れ込み、松果體と蝶形骨のエネルギーの流れは「腎經」を通して肉體に流れ込みます。こうした人體の仕組みが天體の仕組みと「シンクロ」していることが、神の存在の証明になります。

仙骨は生命エネルギーを受振し、膀胱經を通して肉體に最適なエネルギーに變換し、全身にエネルギーを運んでいます。仙骨と子宮も連動しているので、これは不思議なことではありません。胎児が逆さまになるのは、仙骨と子宮から送られてくる生命エネルギーを蝶形骨で受け取るためなのです。

逆子は、母親の生命エネルギーが低くなり、胎児がそれを嫌って頭を反対の方向に向けます。なので逆子というのは、必ず人生で母親と対立するようになります。これは子どもが悪いのではなく、母親の振　動が悪いのです。

仙骨の振　動は、ここまで人生に影響を与えているのです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

道教（タオ）の思想にある仙骨八仙洞（はっせんどう）と北斗八星のつながり

仙骨は、脊髄を通して小脳（腦幹を含む）や腦の上部とつながり、さらにはそのつながりは腦髄にまで届いています。仙骨が活性化されると、強力な氣の流れが引き起こされ、その力は丹田の元氣にもつながります。

仙骨には「八仙洞（はっせんどう）」と呼ばれている八つの穴が開いています。そのうち、左の四つの穴は陽の側、右の四つが陰の側です。八つの穴は、宇宙を司る八つの力を意味する易の先天八卦の形をしています。仙骨の八つの穴は、北斗七星とも密接なつながりがあります。

（訳注：北斗七星は、時によって輔星（アルコル）を加えて北斗八星と称することもある。日本ではキトラ古墳の天文圖（てんもんず）に見える北斗八星が有名。タオでは、この八星と先天八卦との照應（しょうおう）關係を想定しているわけである）

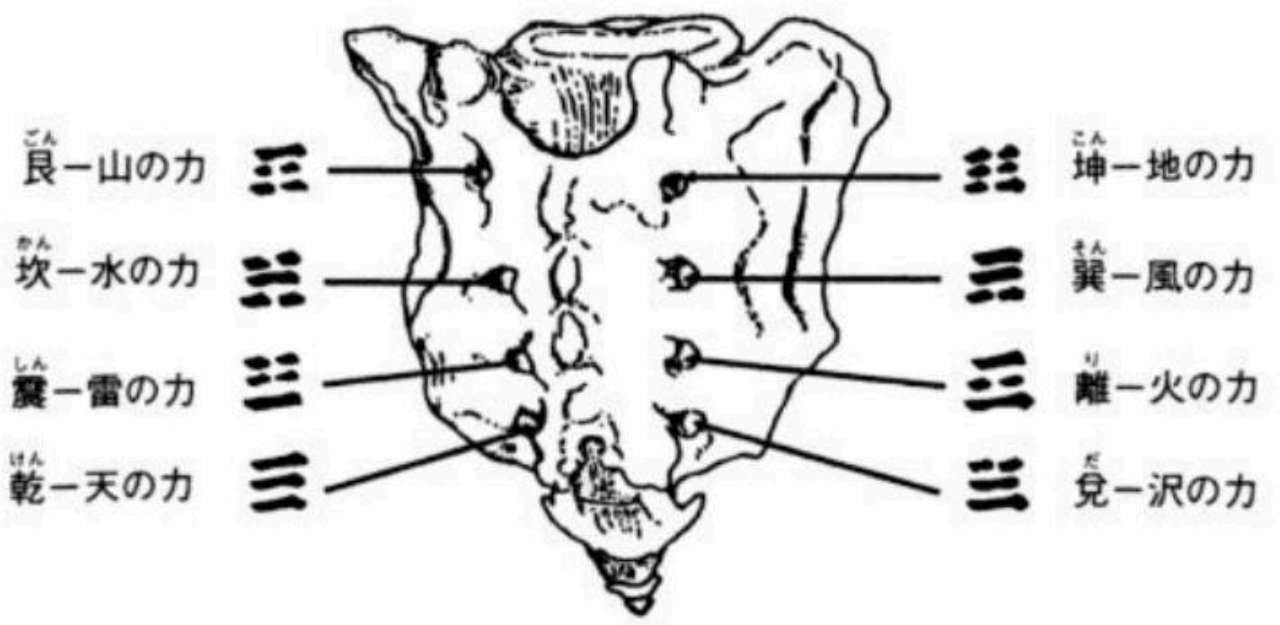
八つの穴はそれぞれ、北斗の各星のエネルギーを吸収し、それらを頭頂の百会（ひゃくえ）に蓄えられた北極星からのエネルギーと結び合わせるのです。

『タオ人間醫學（いがく）　～天地と融合するヒーリング・サイエンス』p.222～p.223

タオ人間醫學（いがく）では、仙骨の情報はこのように記載されています。仙骨が活性化されると、奇經八脈から流れでる強力な氣エネルギーが全身に流れるようになります。また、星信仰の復活に關係してくる「北極星」や「北斗八星」との照應（しょうおう）關係も興味深い情報です。

星信仰の復活の全貌は、音叉セルフヒーリングの初級編以降に本格的に學び始めます。これは宇宙、地球、靈止（ひと）の照應（しょうおう）關係に繋がってくる話であり、壮大な話だからです。なので仙骨に直接ヒーリングする方法も初級編以降での講座から學ぶことになります。

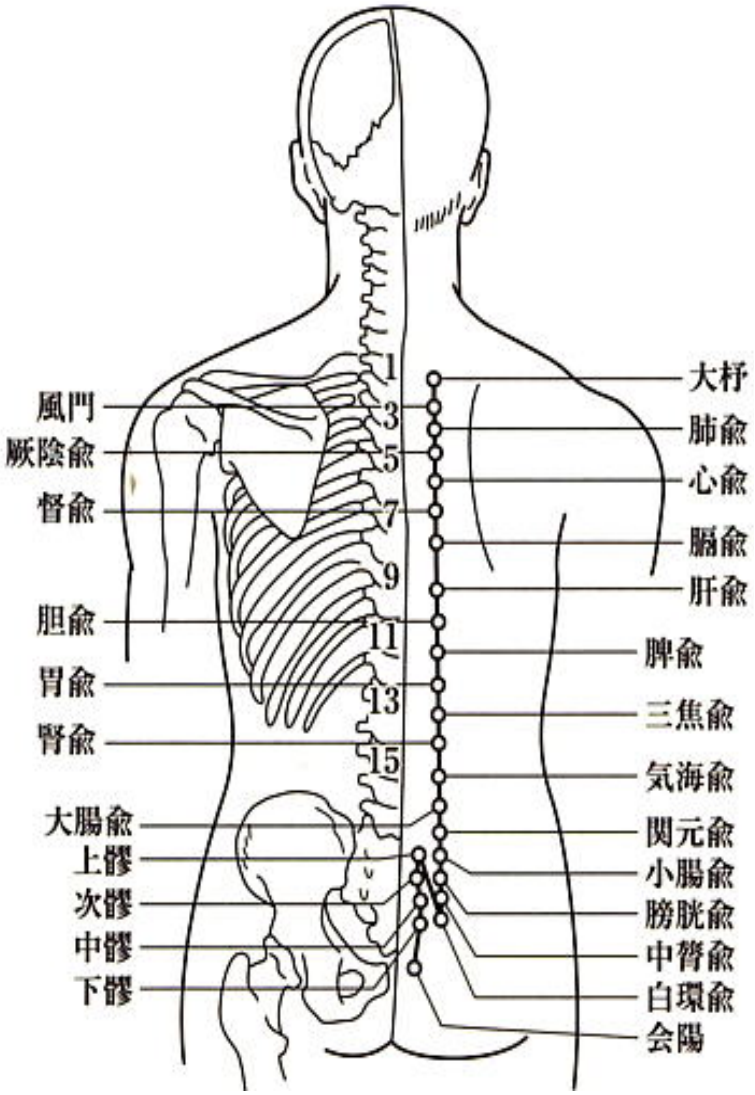
【仙骨、八卦、奇經八脈の關係性】



仙骨八髎穴と奇經八脈の相關關係			
陽蹻脈（6チャクラ） 艮 ごん	852 Hz NEPTUNE 海王星	417Hz PLUTO　VENUS 冥王星、金星	任脈（2チャクラ） 坤 こん
陰維脈（1チャクラ） 坎 かん	396Hz SATURN 土星	741Hz MERCURY 水星	陽維脈（5チャクラ） 巽 そん
衝脈（8チャクラ） 震 しん	174Hz、285Hz NIBIRU ニビル	639Hz SUN　SEDNA 太陽、セドナ	陰蹻脈（4チャクラ） 離 り
督脈（7チャクラ） 乾 けん	963Hz URANUS 天王星	528Hz MARS　JUPITER 火星、木星	帯脈（3チャクラ） 兌 だ

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

対面ヒーリングの基礎であり奥義である華佗夾脊



背中側にある膀胱經の別名を、「華陀夾脊」といいます。華陀夾脊の華陀は、およそ紀元190 年～265 年に實在する中醫學の父と称される名醫の名前からつけられています。中國古代四大名醫でも、扁鵲、張機、華佗、李時珍として名を連ねている人物です。

華陀夾脊で最も重要なのは「俞穴」です。背骨の左右に沿って位置するツボの集まりで、「背部俞穴」とも呼ばれ、各内臓の「氣の注ぎ口」とされる場所です。臓腑の疾患がある場合に反應が現れやすく、刺激することで氣の巡りを整え、臓腑の機能回復を促すとされています。

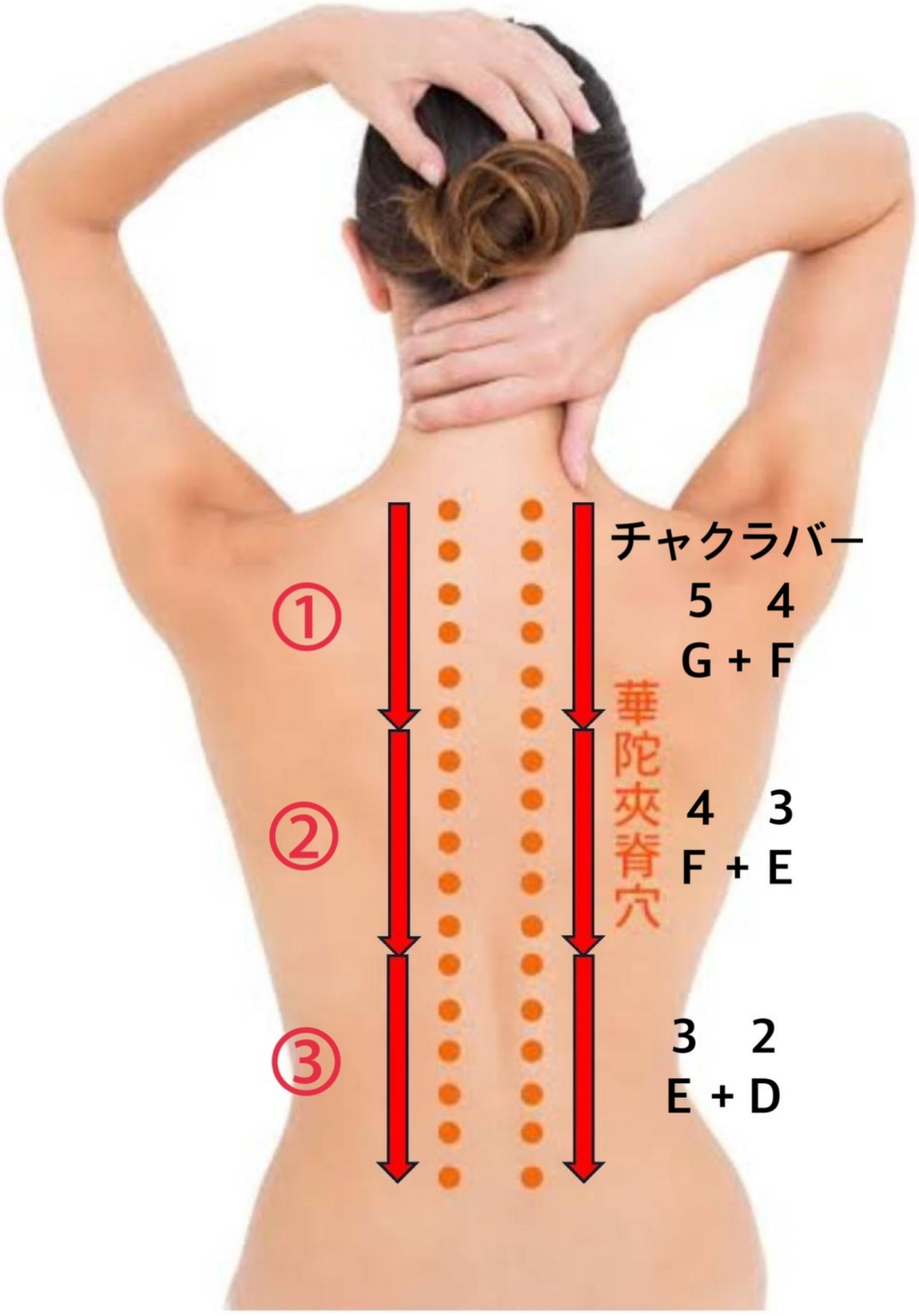


十二經絡に關係する兪穴以外だと、「督兪」、「膈愈」、「氣海兪」、「關元愈」、「中膂愈」、「白環愈」という兪穴が、脊髄を挟んだ兩側、各椎骨の間にあります。椎骨は、ひとつひとつが臓器とも關連しているため、それぞれの經穴を通して、全身にエネルギーを補充できます。

この脊髄の流路こそ、惑星の軌道、四季のサイクル、その他の宇宙的事象に見られるような大宇宙の軌道の映し鏡です。華陀夾脊は變化變容のサポートも含め、カラダのメンテナンスや健康面でも極めて重要な役割を果たしています。

脊髄は、督脈と任脈が「ＤＮＡ」を司り、華陀夾脊などの椎骨ひとつひとつが「ＲＮＡ」を司っています。遺傳子の構造變換は、脊髄の構造が變わり、チャクラが自然に開くことで靈的世界からの精妙な振　動をキャッチ出來るようになることを意味しています。対面ヒーリングにおいて、華陀夾脊は「基本」でもあり「奥義」でもあります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます


チャクラバー
5　4
G + F
①
華陀夾脊穴
4　3
F + E
②
3　2
E + D
③

【華佗夾脊（かだきょうせき）の基本的な施術方法】

① のエリアは、チャクラバー「$^{5}G+^{4}F$」を鳴らす

② のエリアは、チャクラバー「$^{4}F+^{3}E$」を鳴らす

③ のエリアは、チャクラバー「$^{3}E+^{2}D$」を鳴らす

※華陀夾脊（かだきょうせき）の施術の場合、「528Hz ヒーリングパイプ」や「528Hz 倍音エナジーバーセット」は鳴らさない。理由は、華陀夾脊（かだきょうせき）の施術の場合、余計な手間だからである

（1）左側の華陀夾脊（かだきょうせき）のラインが「低い周波数」、右側の華陀夾脊（かだきょうせき）のラインが「高い周波数」を「基音（ホームトーン）」と「音程（インターバル）」に選定する。

（2）導入編セットならば、「132Hz」と「264Hz」、入門編セットならば「128Hz」と「136.1Hz」、初級編以降のセットならば「50Hz」と「68.05Hz」がスタンダードの選定になる。

（3）チャクラバーを鳴らしてから、①～③のエリアを音叉で刺激していく。1本ずつ音叉を動かしながら華陀夾脊（かだきょうせき）の經穴（ツボ）を、エリア別に3～5箇所刺激する。

（4）下まで刺激したら、次は左側の華陀夾脊（かだきょうせき）のラインが「高い周波数」、右側の華陀夾脊（かだきょうせき）のラインが「低い周波数」にして、①～③のエリアを音叉で刺激していく。エリア別に3～5箇所刺激する。

Acutonics（アキュトニックス）式の別な華陀夾脊（かだきょうせき）の施術法は、初級編以降に教えます

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



華陀夾脊（かだきょうせき）は、兪穴（ゆけつ）を通して各臓器、各器官、各組織のチェックが可能であり、触診により五行のエレメントの特定も出來ます。また、頸椎、仙骨のエリアまで含めたならば、背部（はいぶ）の触診だけで、８割以上の症状診斷が可能です。

対面ヒーリングの基礎は「華陀夾脊（かだきょうせき）」、「仙骨と腎臓」、「腦幹（後頭部）」になり、華陀夾脊（かだきょうせき）以外はすべてセルフヒーリングが出來ます。そしてこの基礎を徹底して習得したならば、８割以上の病氣は自分自身で治せるレベルになるでしょう。



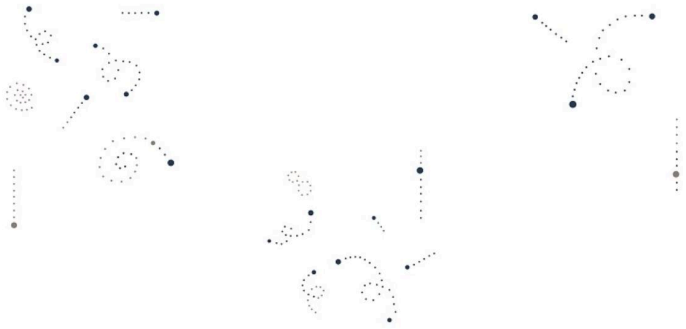
第十三章

音叉による脳幹の調整法

肉體（にくたい）の生命維持の要、脳幹

頸椎の歪みを正していき

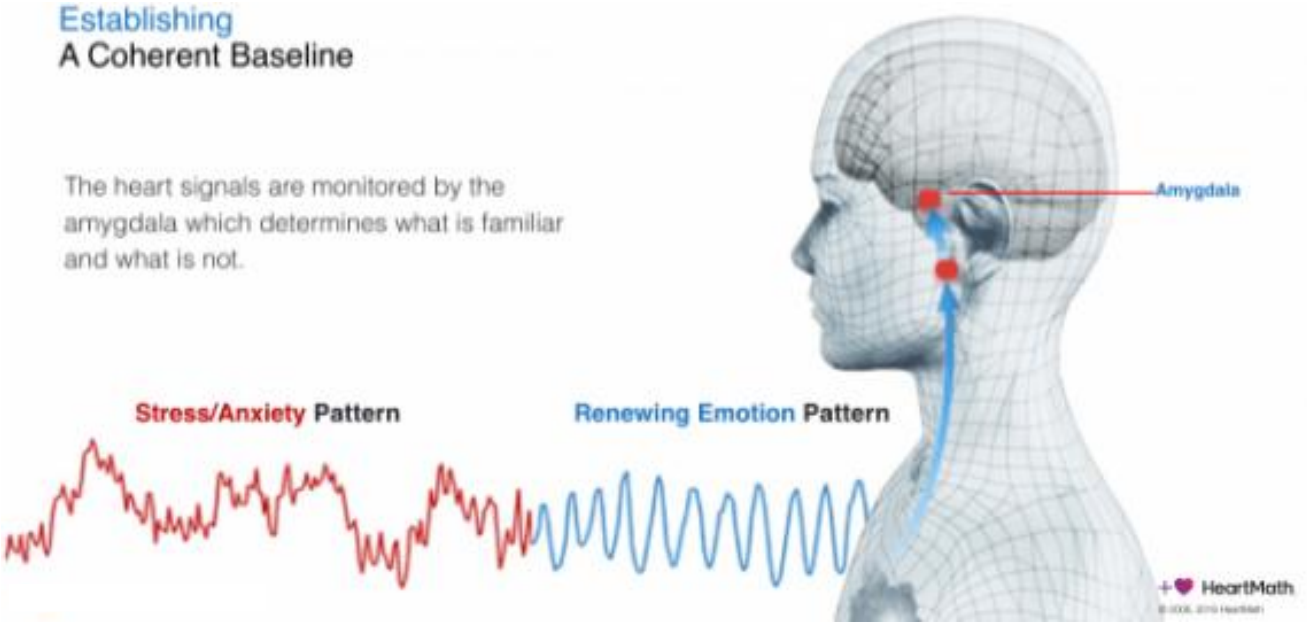
人生の姿勢の正していく





資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

脳幹の疲れによる悪影響について

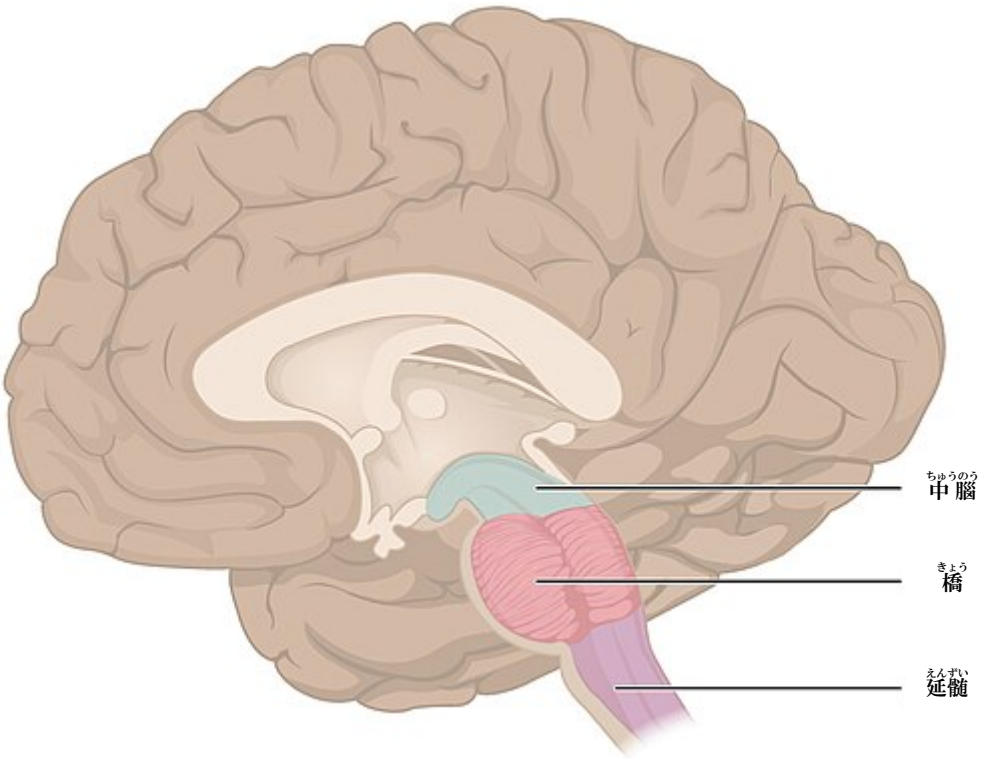


対面ヒーリングの基礎は「華陀夾脊」、「仙骨と腎臓」、「脳幹（後頭部）」と述べましたが、脳幹は、「大腦（DIKAG）」と「脊髄」をつなぐ脳の部位で、「中脳、橋、延髄」から構成されます。脳幹が、「蝶形骨」と「仙骨」をつないでいる中心部分です。

中脳は、視覚、聴覚の中継や、眼球運動の調節、意識、覚醒の維持に重要な役割を担っています。橋は、上部の大脳や中脳と、下部の延髄をつなぐ連絡路であり、呼吸調節に關わります。延髄は、呼吸、心臓、嚥下、咳など、生命維持に不可欠な機能を司る神經核が含まれます。

脳幹は、「大脳」と「小脳」を除いた「脳の根幹をなす部分」です。肉體の生命活動に脳幹が重要であり、「心臟腦（EXA PIECO）」と「大腦（DIKAG）」を通して肉體の生命維持を司る部分であり、何かしらの障害が起こると、四肢麻痺、呼吸障害、意識障害が出ることがあります。

大腦の心と肉體を繋ぐ脳幹は、生命活動の重要な部分のひとつになります



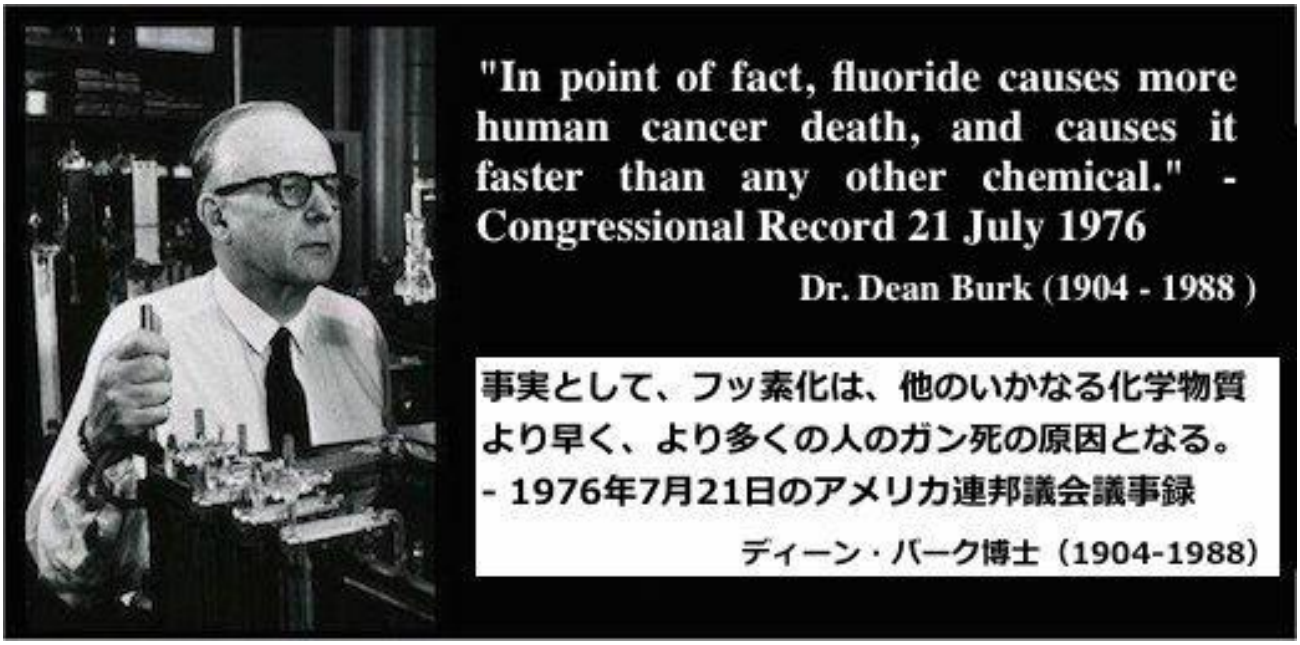
脳幹の疲れは肉體の疲れにもなり、自律神經の働きも鈍化させてしまい、臓器の歪みも引き起こし、鬱状態や精神面の疲勞となります。脳幹の疲れを取らなければ、いくら肉體のメンテナンスをしても根本的解消とはなりません。

脳幹の經穴は、「腰愈」、「腦戸」、「風府」、「百会」、「玉枕」を刺激するのが基本で、蝶形骨のセルフヒーリングと同じパターンを使います。しかし、脳幹への刺激の場合、追加で刺激する經穴が「天柱」、「風池」、「完骨」の３つの經穴を使います。

DIKAG
大脳と脳幹の一番のストレスは「電子音」と「平均律 A=440Hz」であり、イライラ、不安、洗脳の周波数によりダメージを受けています。また悪性の電磁波、食べ物も大きな原因になっています。

農藥、添加物、化學物質、放射能や電磁波、遺傳子組み換え種、ワクチン、クスリなど多岐にわたる反自然物によるホルモン異常、自律神經の異常、悪性の音、睡眠不足によって脳幹の異常が引き起こされると言われています。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



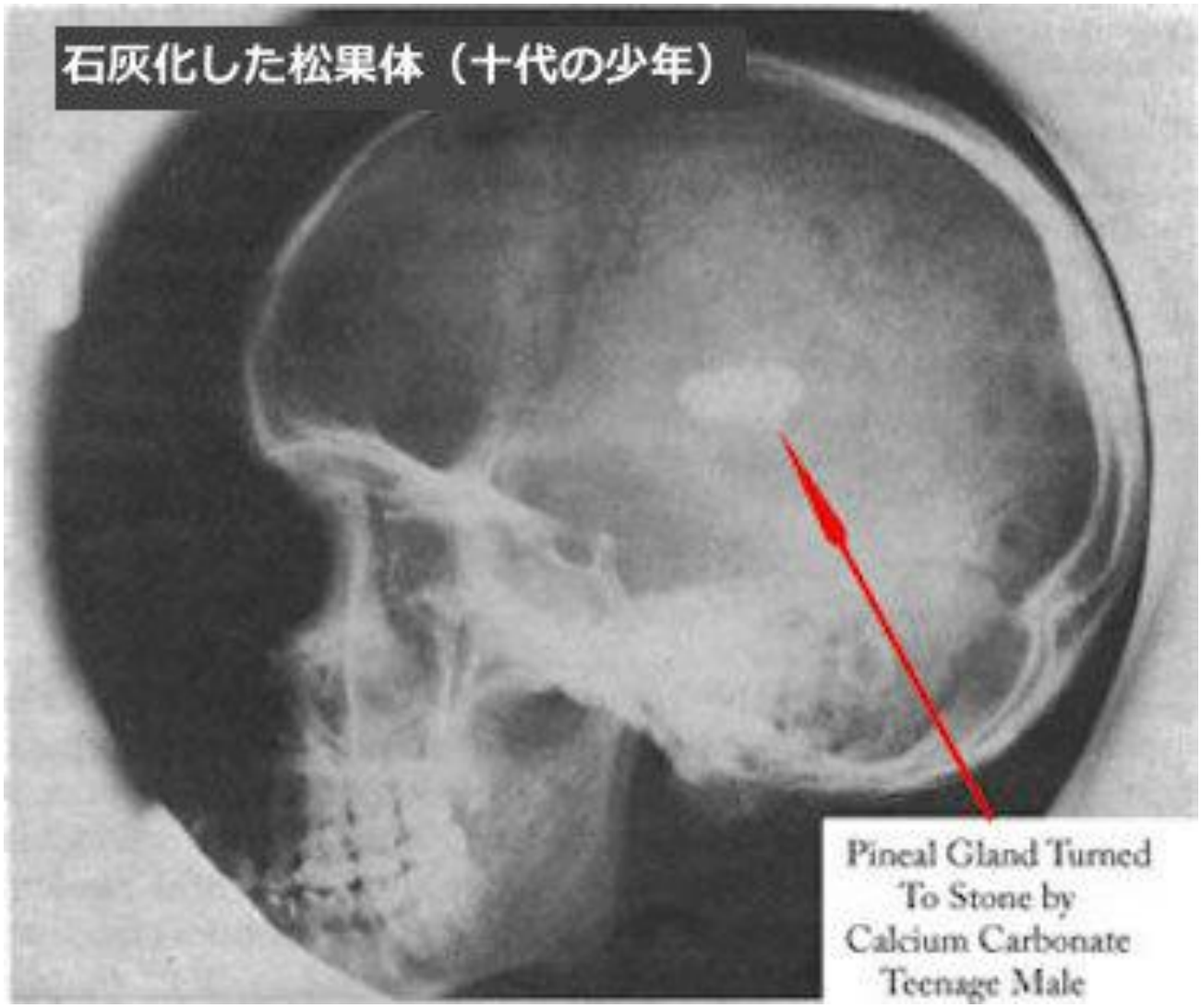
脳幹の主な働きとして、現代醫學は「中樞神經系を構成する器官集合體」とされていますので、中樞神經も含めて脳幹の役割になります。

また、脳幹の役割に「髓液」のコントロールが挙げられます。髓液の分泌による呼吸の調整、血液の調整、毒素排出調整、運動機能調整、ホルモン調整、メンタル調整などが脳幹の主な働きに挙げられます。

脳幹には生命維持のために必要な神經が集中しているため、脳幹が正常に働かないと、人間の肉體は正常に動くことが難しくなります。

歯磨き粉、調理器具に使われるフッ素はDIKAG大脳の器官である「松果體」を石灰化させます。日本の水道水に含まれる塩素、正式な名称は「次亞塩素酸ナトリウム」はキッチンハイターなどにも使われる成分で猛毒であり、DIKAG大脳の神經系を壊し、「細胞膜」を萎縮させます。

更には５Ｇによる電磁波汚染、高圧電線の被害も深刻です。電子レンジやドライヤーのよって日々の生活で、氣づかぬうちに脳細胞を破壊していることも問題です。現代地球人類は絶えずDIKAG大脳が電磁波の攻撃を受けている状態であり、DIKAG大脳の異常化に拍車をかけています。



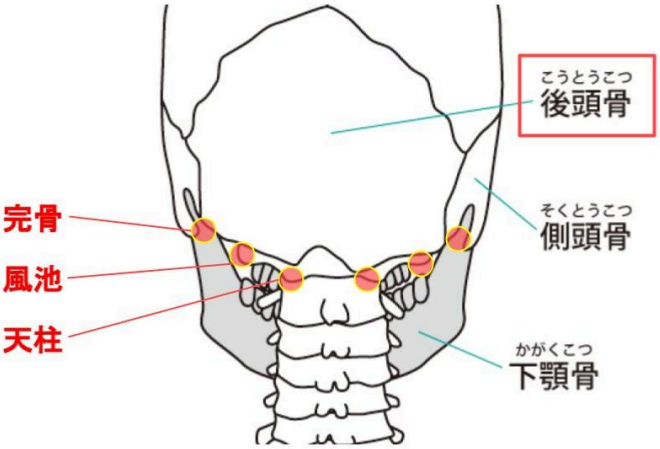
靈と心と身體（しんたい）の病氣の原因は、こうした反自然による「無意識レベルの心のストレス」が大きな原因と言えます。

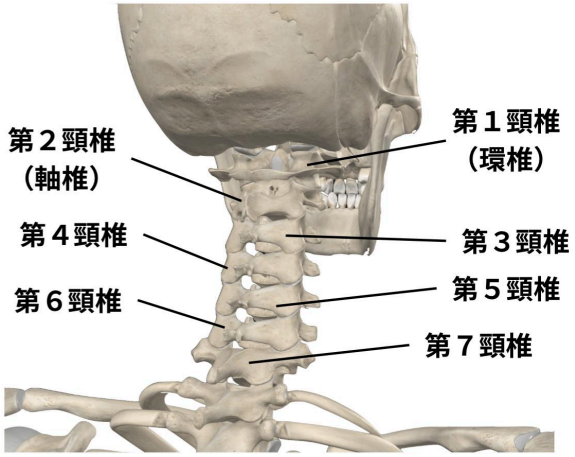
そもそもFUNEKON（靈）を構成している根本的な粒子（クォーク）は「微生物（精靈）」と「ソマチッド（妖精）」ですが、微生物（精靈）とソマチッド（妖精）はFUGEHUKON（大靈自然法則）のFUGEHEKINに反するものを嫌います。

わたし達が自然界に触れることで癒され、活力を頂ける理由は、自然界の發する耳に聽こえない領域の高周波により、「魂心身（こんしんしん）」を整えるからです。サウンドヒーリングや音叉ヒーリングはこの耳に聽こえない領域の高周波を人爲的に生み出します。その高周波により魂心身（こんしんしん）を癒し、大腦（DIKAG）のストレスを淨化していきます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

腦幹の經穴、天柱、風池、完骨と、頸椎の調整の意味について





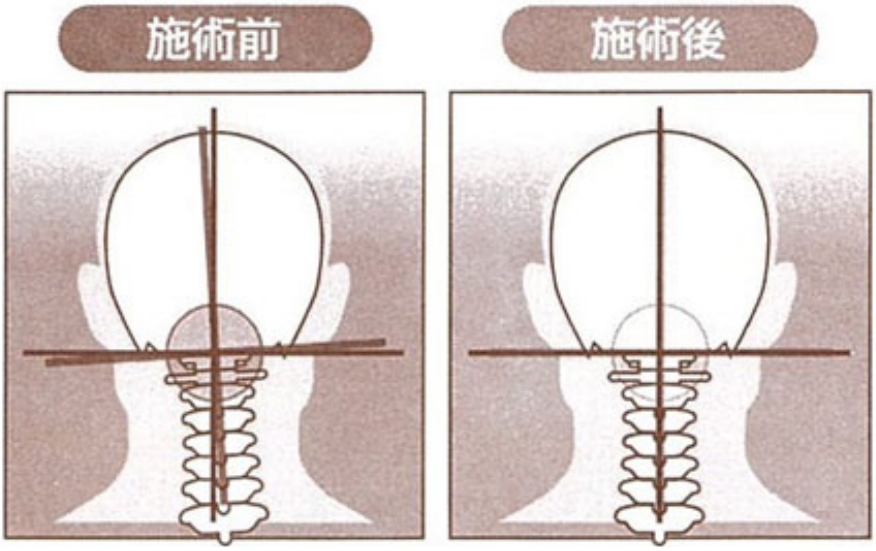
音叉による腦幹への刺激は、「腰愈、風府」、「風府、百会」の順番で經穴を刺激をしてから「天柱」、「風池」、「完骨」の３つの經穴を使います。

天柱という名前は、首と僧帽筋を、「頭」を支える柱に見立てたものです。背筋を眞っ直ぐ伸ばして胸を張り、対立や逆境に落ち着いて、公平に対処する力を与えてくれます。背筋を伸ばし、首の不調を和らげます。

風池の經穴は、病氣の外的要因の一つである「風」、體内に入った風の邪氣（ウイルス、細菌など）が最も溜まるツボであり、風邪による頭痛や咳、節々の痛みに効果があります。風は五行では木のエレメント、肝臓に關係し、眼の疾患にも有効です。

完骨の經穴は自律神經を整える効果があるため、幸せホルモン「セロトニン」の分泌を安定させる効果があります。 頭痛、眼の疲れ、めまい、顔のむくみなどの症状をやわらげ、首の凝りを解消します。眠氣を払う効果もあるので、氣分をスッキリさせたいときや頭が疲れているとき、集中したいときにも有効です。

音叉セルフヒーリングの入門編では、天柱、風池、完骨を通して腦幹活性をしていきます



脳幹は「頸椎」という首の骨とも繋がっているので、「頸椎の歪み＝脳幹の歪み」と表現することも可能です。なので、脳幹の調整をすることは、頸椎の歪みを調整することと同じ意味であり、脳幹の經穴(ツボ)である天柱(てんちゅう)、風池(ふうち)、完骨(かんこつ)は、頸椎の歪みも調整します。

むち打ち症などあるように、頸椎の歪みというのは身體(しんたい)に多大な影響を与えます。脳幹の詰まりに關する症状は多くあり、認知症、アルツハイマー、パーキンソン病、てんかん、手足の痺れ、痙攣(けいれん)などの症状は、脳幹の不調からスタートしているケースが多くあります。

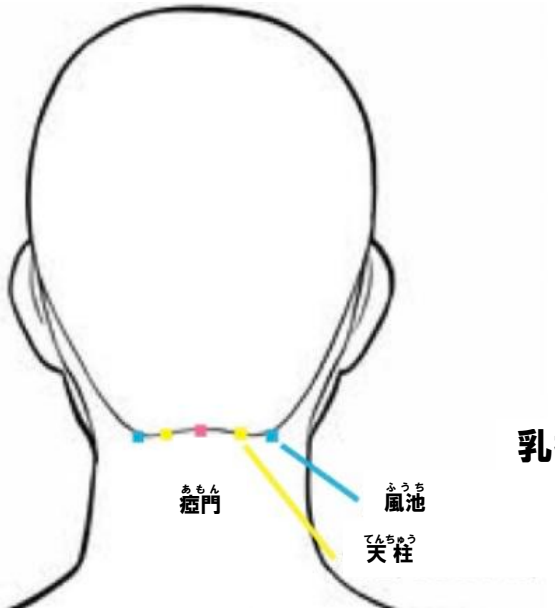
脳幹が詰まる原因は「化學物質」です。特に「認知症」の原因となるものは「アルミニウム」です。これが脳幹に溜まると深刻な症状を發症します。アルミニウムにより脳の神經細胞の急激な破壊により、物忘れが激しくなり、物事全體(ぜんたい)がすっぽりと抜け落ち、ヒントを与えても思い出すことが出來なくなります。

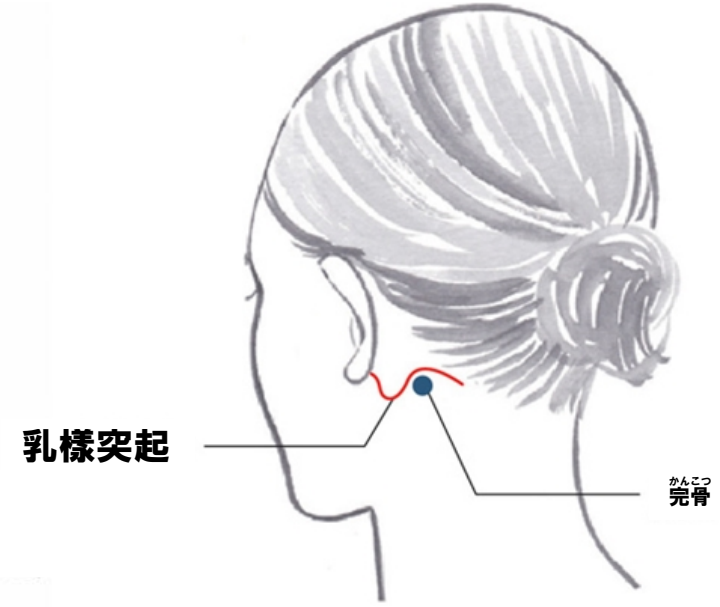
本人の顯在意識(DIKAG)での自覺はありませんが、進行性であり、日常生活に支障をきたします。脳幹にアルミニウムが蓄積されると、息切れ、胃腸障害、痙攣(けいれん)、食欲不振、筋肉痛、物忘れ、そういった症状がでます。

記憶障害の方にも、脳幹調整は有効な方法になります

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

天柱（てんちゅう）、風池（ふうち）、完骨（かんこつ）のセルフヒーリングの方法





音叉セルフヒーリングでは腦幹を通して頸椎を自分で調整できるので、整形外科や整骨院などに通わずに自力で頸椎、首の症状を改善させることが可能です。腦幹が活性化することにより、腦幹の機能である自律神經、呼吸中樞、體温（たいおん）調節中樞、食欲、睡眠など生命の根源を司る機能の働きのバランス回復の手助けとなります。

また、身體（しんたい）の中心軸が努力することなく即座に安定しますので、姿勢が良くなり歩行や動作が安定します。運動選手には非常に有効性が確認されます。脊椎、骨盤、各關節の歪みや筋肉のアンバランスが整っていきますので、痛みやコリなどの不快症状がなくなっていきます。

また、腦幹を活性化させることで「靈の心（心臟腦）」と「肉の心（大腦）」が一致することで、潜在的に眠っている靈能力が目覺め始めます。ネガティブ思考からポジティブ思考へと自動的に變換（へんかん）し、ポジティブなインスピレーションを受振しやすくなります。

腦幹を調整することにより、脊椎や各關節、筋肉に細胞レベルからしなやかさと柔軟性が戻ってきます。内臓諸器官の働きが活性化していきます。

天柱、風池、完骨の基音と音程				
各經穴	入門編の「基音」	入門編の「音程」	惑星音叉の音程①	惑星音叉の音程②
天柱	128Hz	417Hz	SEDNA セドナ、NEPTUNE 海王星	ローオーム、SUN 太陽
風池	132Hz	174Hz	MERCURY 水星、JUPITER 木星	MARS 火星、VENUS 金星
完骨	136.1Hz	285Hz	SATURN 土星、URANUS 天王星	MARS 火星、SATURN 土星

【入門編セットで腦幹の經穴を刺激する基本的な方法】

(1)基音を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」からひとつ選定する

(2)基音と組み合わせる音叉の音程を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」「264Hz」の中から選定する

(3)天柱、風池、完骨の經穴は、チャクラバー「^{5}G＋^{6}A」、528Hz 倍音セットを鳴らす

(4)兩側の「腦幹」の經穴に、「天柱→風池→完骨」と音叉を１本ずつ動かしていき、３つの經穴を刺激する

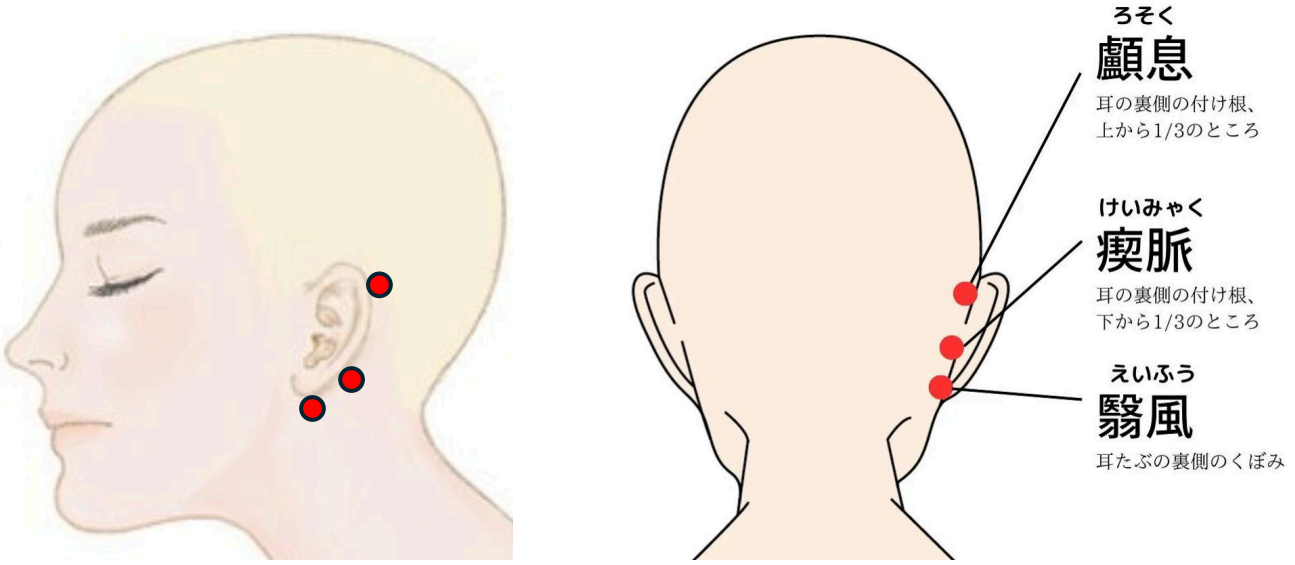
(5)１回ごとに左右の音叉を持ちかえながら、兩側の腦幹の經穴を數回以上、繰り返し刺激していく

天柱の經穴は「膀胱經」であり、延髄を刺激し、風池と完骨の經穴は「胆經」であり、中腦を刺激します。「天柱」、「風池」、「完骨」の經穴の片側ずつ、「３つの基音」と「ソルフェジオ音叉の音程」の組み合わせで刺激していくことも有効な方法です。

様々な音程を使い、是非とも肉體の働きを正常に戻してください

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

翳風、瘈脈、顱息の３つの經穴について



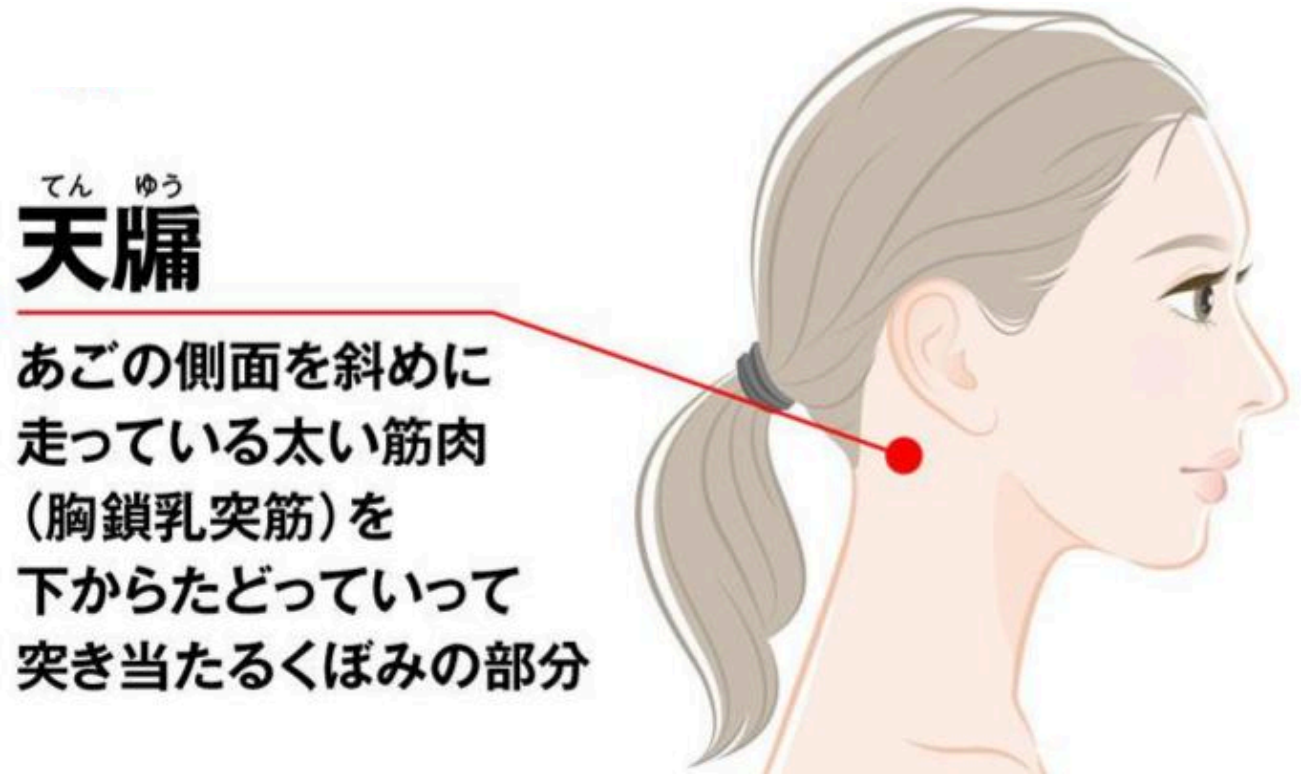
音叉セルフヒーリング入門編ではあまり扱いませんが、三焦經の「翳風、瘈脈、顱息」の３つの經穴も脳幹調整で本來は使います。入門編であまり使わない理由は、３つの經穴の位置がわからない人が多いからです。

三焦經の３つの經穴は、耳たぶの後ろのくぼみに位置し、耳鳴り、難聴など、「耳の疾患」の場合、必ず使います。耳の疾患の場合、惑星音叉での「基音」と「音程」は「冥王星」と「海王星」になります。また、「オーム」と「ゾディアック」の組み合わせも有効です。

入門編セットでは、３つの經穴の基音は「136.1Hz」が多くなります。入門編セットで、ソルフェジオ音叉で音程を考えるならば、冥王星の代替は「285Hz」、海王星の代替は「417Hz」、ゾディアックの代替は「174Hz」です。

ただ、耳たぶの裏に經穴が位置するので、セルフヒーリングで片側に音叉を２本当てることが難しいことも、入門編であまり扱わない理由になります。

SEPOUW 背後靈との繋がりを強化する天牖(てんゆう)の經穴(ツボ)

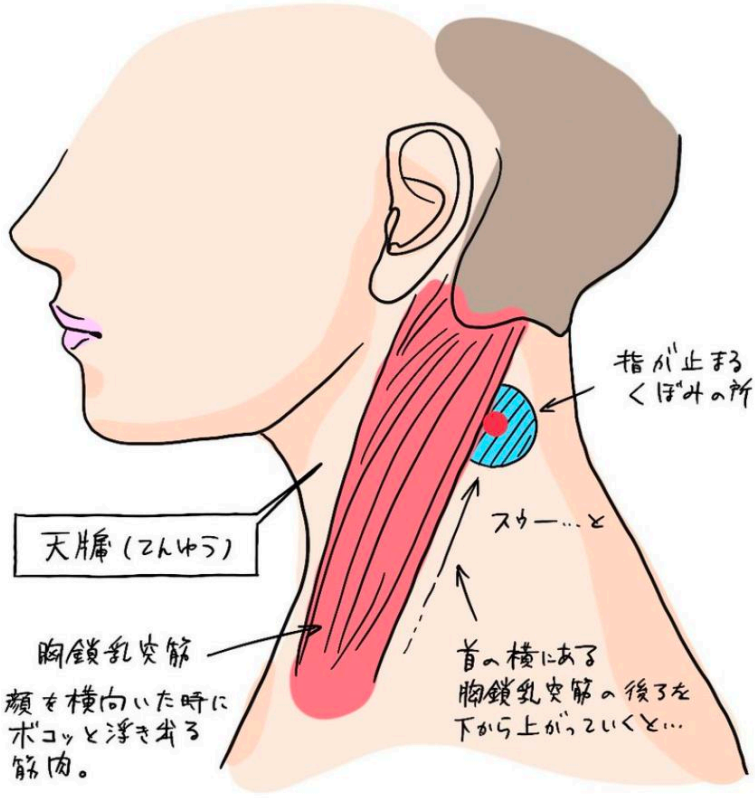


腦幹で他に使う經穴(ツボ)は、三焦經の「天牖(てんゆう)」の經穴(ツボ)です。天牖(てんゆう)は、腦幹の橋(きょう)の位置にある經穴(ツボ)で、上部の大腦や中腦(ちゅうのう)と、下部の延髓(えんずい)をつなぐ連絡路であり、呼吸調節に關わります。主な症状として、頭部と首のこわばり、かすみ目、突發性難聽、視力低下に用います。入門編でも天牖(てんゆう)の經穴(ツボ)はセルフヒーリングで頻繁に使います。

天牖(てんゆう)の經穴(ツボ)は、靈の心(心臟腦)の声に、肉の心(大腦)の恐怖心により耳を傾けない方に、靈の心(心臟腦)の声を聽くことの大切性を説いてくれています。天牖(てんゆう)の經穴(ツボ)は、社會(しゃかい)システムへの奴隷状態を弱め、内なる滋養と癒しの泉と繋がり、SEPOUW 背後靈と繋がりやすくします。

靈の心(心臟腦)の声に耳を傾けず、DIKAG 顯在意識で凝り固まった「自己保身」に走りがちな行動パターンの脱却を促します。特に、肉の心(大腦)の自己保身から、念のために「現状維持」の道を殘しておこうとする優柔不斷な人間に必要な經穴(ツボ)です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



【入門編セットで天牖（てんゆう）の經穴（ツボ）を刺激する基本的な方法】

（1）基音（ホームトーン）を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」からひとつ選定する

（2）基音（ホームトーン）と組み合わせる音叉の音程（インターバル）を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」「264Hz」の中から選定する

（3）天牖（てんゆう）の經穴（ツボ）は、チャクラバー「G^{5}＋A^{6}」、528Hz 倍音セットを鳴らす

（4）両側の「天牖（てんゆう）」の經穴（ツボ）に音叉を当て、１回ごとに左右の音叉を持ちかえながら、両側の天牖（てんゆう）の經穴（ツボ）を數回（すうかい）以上、繰り返し刺激していく

（5）基音（ホームトーン）を重りつき音叉、音程（インターバル）をソルフェジオ音叉にして、片側ずつ天牖（てんゆう）の經穴（ツボ）を刺激していく



第十四章

音叉によるフェイシャルケア

人相は、本質を写す鏡

人の第一印象は人相で８割決まってしまう

ポジティブエネルギーを招きよせるための基盤



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

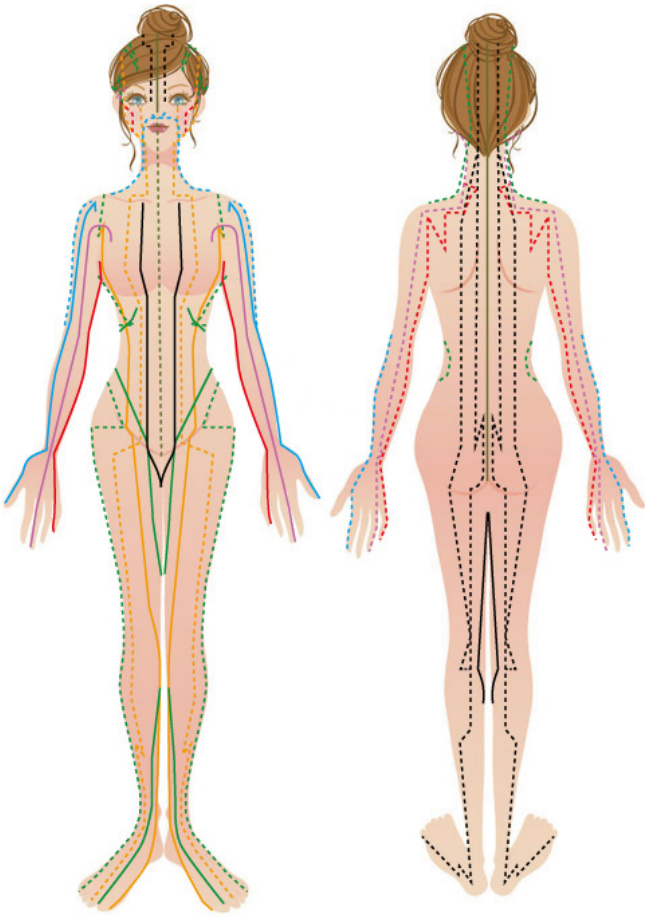
音叉でフェイシャルケアをする意味について



音叉セルフヒーリングでは「蝶形骨」、「脳幹」、「顔（フェイス）」を通して、美しくなり、若返ることも目的に含まれています。初級編以降では「頭部（ヘッド）」も受講に含まれてきます。首から上を通して「肉の心（大脳）」を調整することは非常に大事なことです。

地上世界で必要なことは、第一に「コミュニケーション力の向上」です。第二に「健康」であり、第三に「生活必需品の確保」です。そして、外見を磨くことは、「コミュニケーション力の向上と、若々しい健康の維持」という２つの側面があります。

フェイシャルケアは、男女問わず現代社會（しゃかい）で生きている限り必須です。何故なら、人の第一印象は「人相」で８割決まってしまうからです。逆に人相を良くするだけで第一印象は格段に良くなり、その後の人間關係にも多大な影響を与えます。



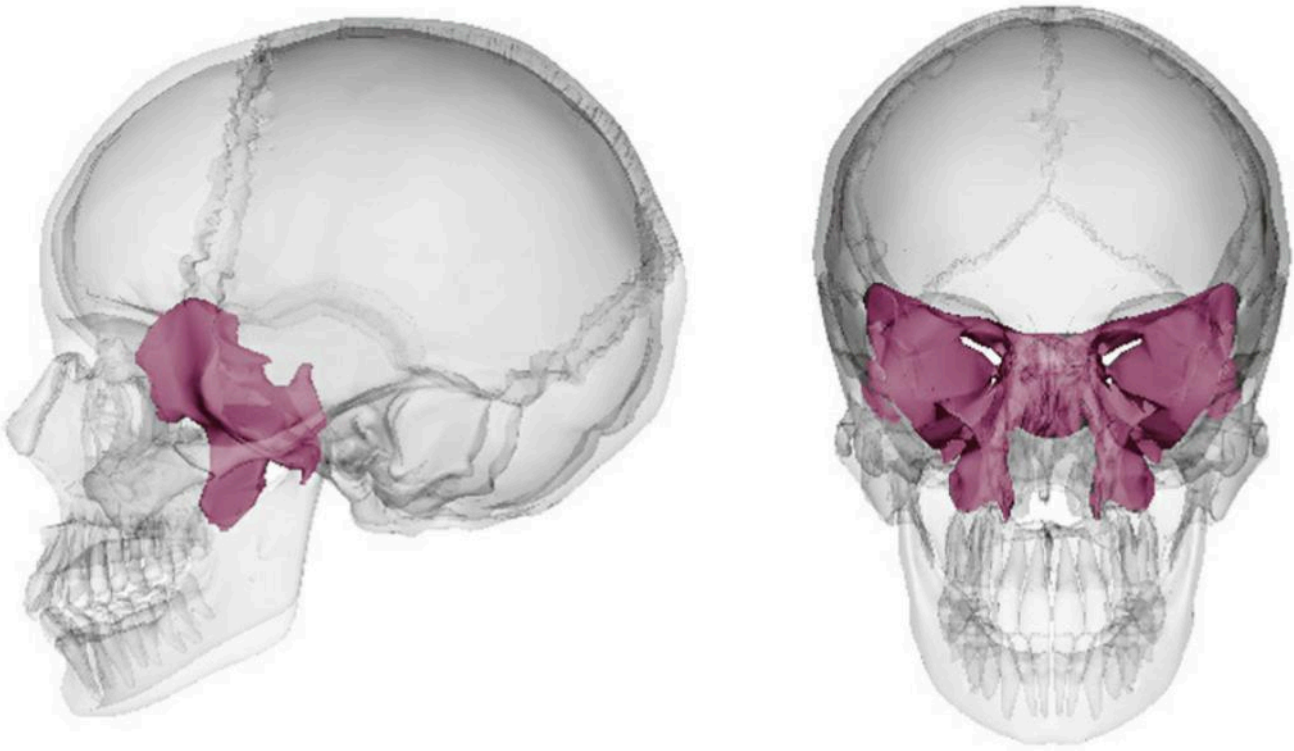
顔は經絡だと、「陽經の海」と言われています。それを管理しているのが「督脈」です。陽經の海の理由は、身體(しんたい)の手足の陽經すべてが頭に集まっているからです。「頭寒足熱(ずかんそくねつ)」という四字熟語がありますが、頭は陽エネルギーの集まりなので冷やさなければなりません。

頭に陽エネルギーが集まっていると、睡眠の質が低下し、夜中に眠れなくなります。こうした場合、下半身にエネルギーを流すことでエネルギーを沈める必要があります。また、手は第二の脳と呼ばれていますが、腕、手の治療は顔を施術する必要があります。

古代より「人相學(にんそうがく)」という人の顔の特徴や身體(しんたい)の形から、その人の性格、氣質、そして運命を讀み解き、予測しようとする占術が存在します。「人相」と「手相」は照應(しょうおう)關係であり、左手は右腦の反映であり、右手は左腦の反映です。

手相とは「腦科學(かがく)」であり、人相も手相も本質は「腦相」なのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



特に「蝶形骨」は、念入りにフェイシャルケアすることをオススメします。蝶形骨に關係する經穴（ツボ）は「睛明（せいめい）」、「瞳子髎（どうしりょう）」、「承泣（しょうきゅう）」、「四白（しはく）」、「太陽（たいよう）」、「絲竹空（しちくくう）」、「下關（げかん）」、「聽宮（ちょうきゅう）」などの經穴（ツボ）になります。

蝶形骨は肉の心（大腦）から出る電氣信号を、腦幹を通して全身に送る役割があり、それが滞ると認知症、アルツハイマー、パーキンソン病、てんかん、手足の痺れ、痙攣（けいれん）などの症状に繋がります。腕、手の治療は顔を施術する理由は、蝶形骨を通して全身に電氣信号を送るためです。

蝶形骨は仙骨と連動してますが、全身で最もネガティブエネルギーが溜まりやすいポイントであり、蝶形骨を中心に音叉で刺激しエネルギーを解放（リリース）していきます。音叉によるフェイシャルケアは美容だけではない深いレベルの癒やしが可能なメソッドなのです。

本質的には「メイクアップ」と「フェイシャルケア」で顔のイメージが變（か）わることで、自分への自信やポジティブなエネルギーを招きよせるための基盤になり、皆さんの人生が開運することが目的のひとつです。

音叉フェイシャルケアの基本的な施術方法





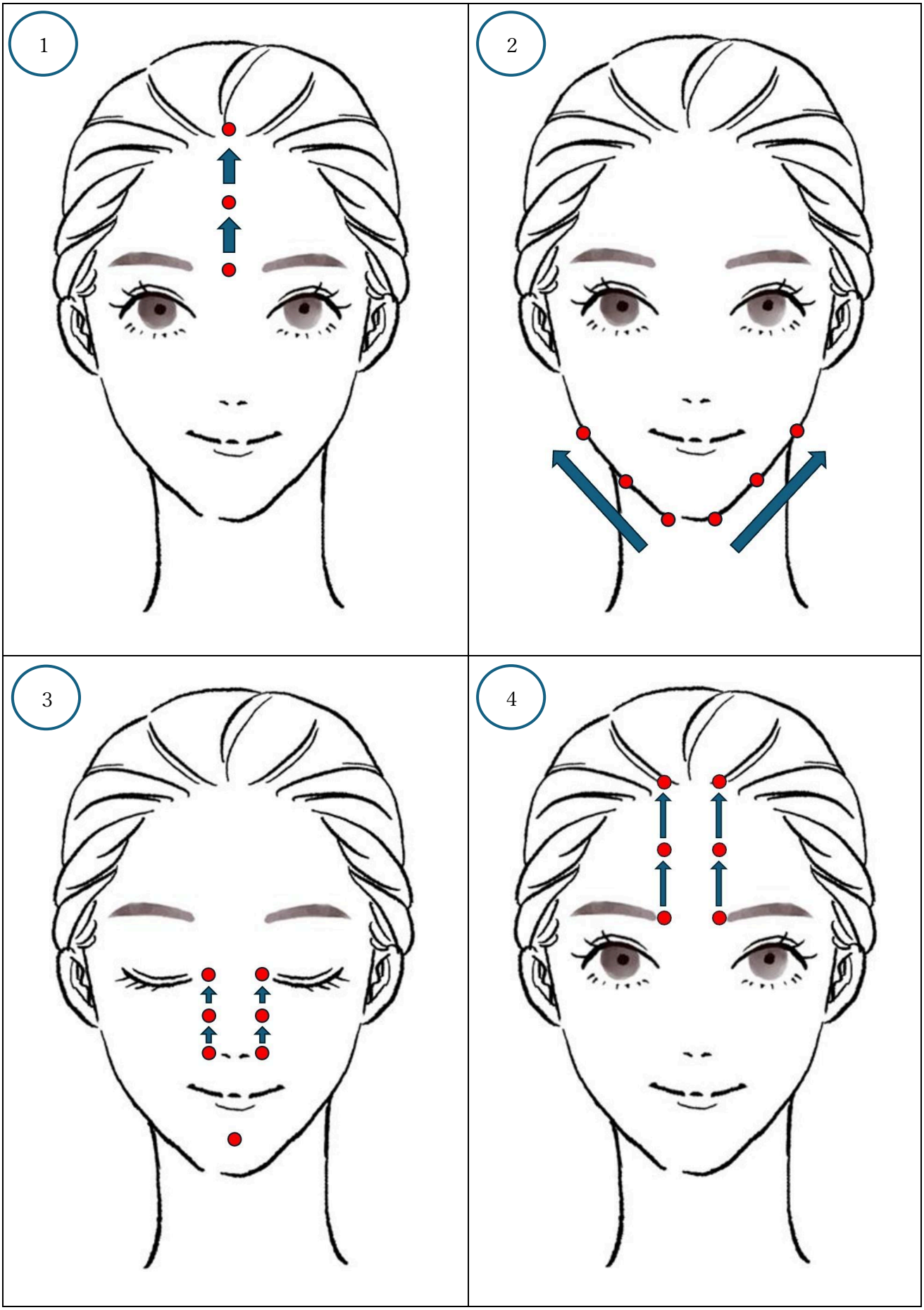
音叉フェイシャルケアは、海外の高級エステサロン（メキシコなど）でも取り入れられ、現地でも大人氣のエステです。フェイシャルケアと聞くと、女性特有のもの、慣れていない方に縁遠いものという印象を持たれちがちですが、實際には男女問わず魅力的な内容です。

音叉フェイシャルケアのやり方は、基音（ホームトーン）と音程（インターバル）の組み合わせ次第で無限大に等しいほど施術方法が變（か）わります。音叉を１本ずつ動かしていく方法、兩側の經穴（ツボ）を音叉で刺激する方法、片側の經穴（ツボ）にヘヴィーフォークとフォークを組み合わせて刺激する方法など、フェイシャルケアのやり方は多岐に渡ります。

音叉でフェイシャルケアをすることによる効果は、肌が若返り、美しくなり、目尻のシワ、ほうれい線が薄くなります。顔の蝶形骨などに溜まったネガティブエネルギーを解放（リリース）し、顔の反射區を通して、内臓を活性化させます。肉の心（大脳）を刺激することで、眼の疲れ、頭痛、肩こり、鼻の詰まりの改善、 不眠の改善、カラダに溜まった電磁波の除去などが出來ます。

基本的には、音叉を１本ずつ動かして顔を刺激していく方法が有効です。肌、皮膚への振動が氣持ちよく、全身に傳（つた）わっていく感触を體感（たいかん）できます。そして音叉でフェイシャルケアをすることでストレスが輕減し、沈んでいた氣持ちが前向きになれます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます


1
2
3
4

【フェイシャルケアで音叉を動かす方法】

導入編セットの基音（ホームトーン）と音程（インターバル）は「132Hz」と「264Hz」。毎回 528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバーを鳴らしながら、顔に音叉を当てていく

入門編編セットの基音（ホームトーン）と音程（インターバル）は「128Hz」と「136.1Hz」。毎回 A[6]チャクラバー、B[7]チャクラバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバーを鳴らしながら、顔に音叉を当てていく

（1）1のエリアの「印堂（いんどう）」～「上星（じょうせい）」の經穴（ツボ）に、印堂に音叉を２本当て、１本ずつ動かしながら上星（じょうせい）の經穴（ツボ）まで刺激するを數回（すうかい）繰り返す

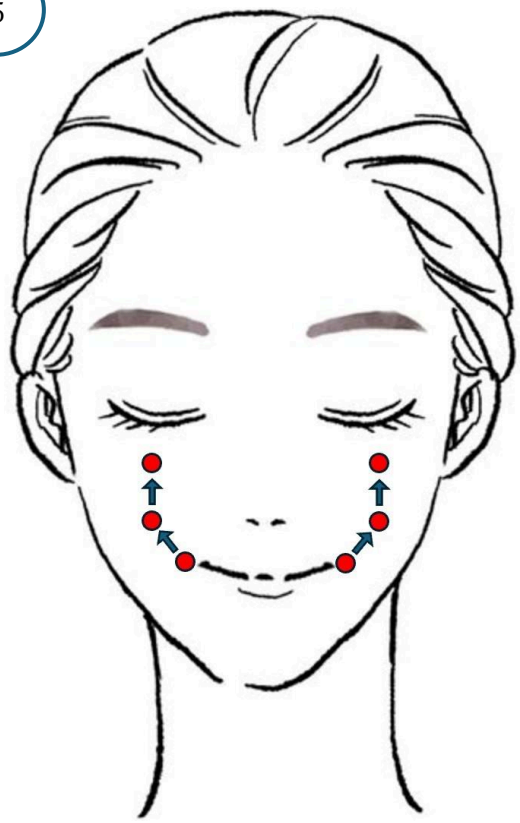
（2）2のエリアは、エラの顔（フェイス）ラインに音叉を１本ずつ動かしていく。1回ずつ音叉を左右入れ替えながら、エラの顔（フェイス）ラインを數回（すうかい）刺激し、リフトアップしていく

（3）3のエリアは、「承漿（しょうしょう）」の經穴（ツボ）を數回（すうかい）刺激した後、「迎香（げいこう）」、「鼻通（びつう）」、「睛明（せいめい）」の經穴（ツボ）に、音叉を１本ずつ動かす方法で３つの經穴（ツボ）を刺激していく。１回ずつ音叉を左右入れ替えながら鼻の顔（フェイス）ラインを數回（すうかい）刺激し、花粉症、鼻詰まり、副鼻腔炎など鼻に關するの症状を改善していく

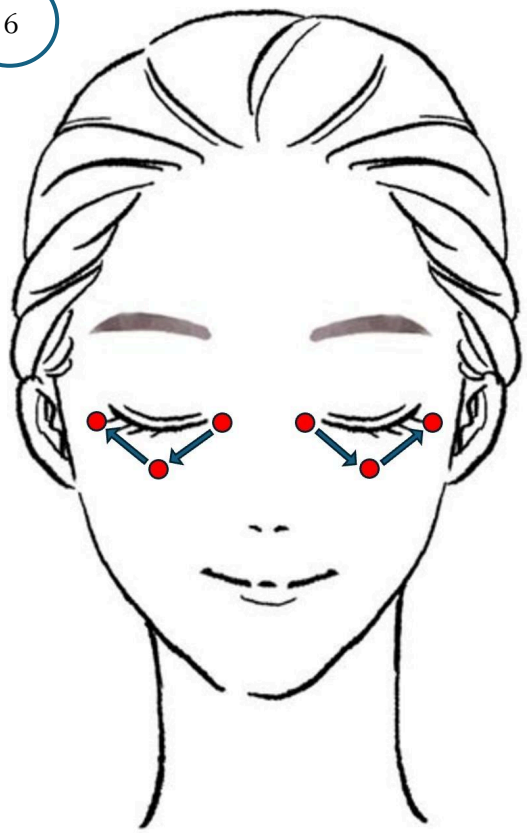
（4）4のエリアの「攢竹（さんちく）」～「眉衝（びしょう）」の經穴（ツボ）に、音叉を１本ずつ動かす方法で膀胱經のラインを刺激していく。1回ずつ音叉を左右入れ替えながら膀胱經のラインを數回（すうかい）刺激し、化學物質の毒素排泄（デトックス）を促していき、生殖器の症状の改善を促していく

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

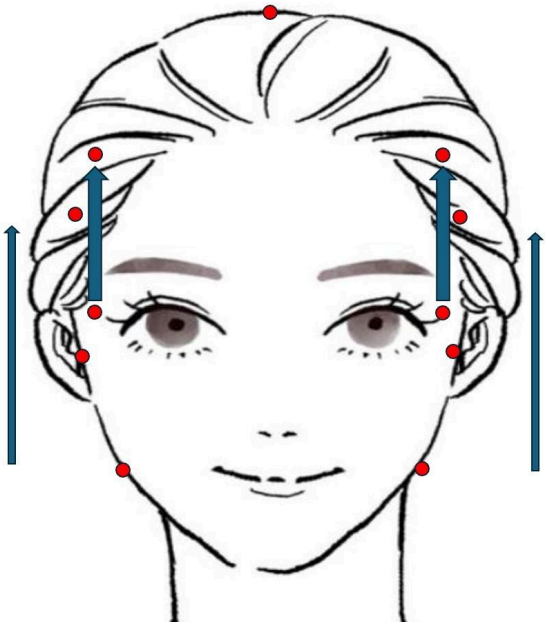
5

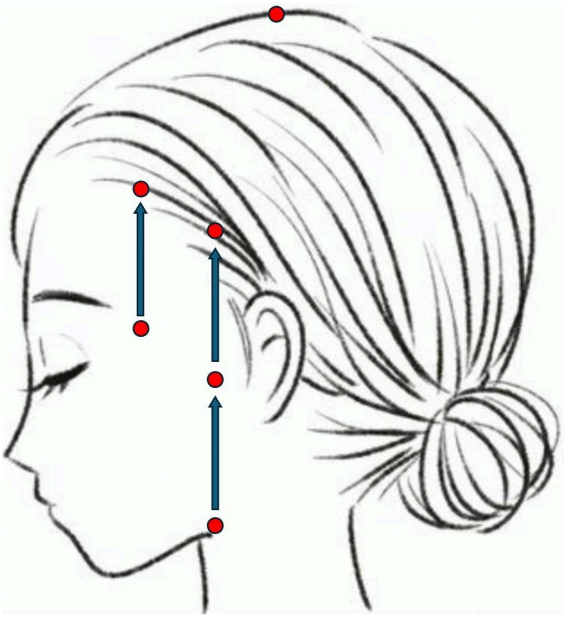


6



7





（5）５のエリア、「胃經」のラインである「地倉」、「巨髎」、「四白」の經穴に、音叉を１本ずつ動かす方法で刺激していく。１回ずつ音叉を左右入れ替えながら３つの經穴を刺激していく。胃經は「潜在意識」と「顕在意識」を繋ぐ唯一の經絡であり、肉の心の「思考」と「感情」によって、同じことを何度も繰り返すパターンに囚われている人間に有効なラインである

（6）６のエリアは蝶形骨のまわり、眼のエリアである「睛明」、「承泣」、「瞳子髎」の經穴に音叉を１本ずつ動かす方法で刺激していく。１回ずつ音叉を左右入れ替えながら３つの經穴を刺激していく。主な症状として、眼の疲勞、視力の低下、頭痛、偏頭痛などの症状の改善有効になる

（7）太陽、本神の經穴に、音叉を１本ずつ動かす方法で刺激していく。１回ずつ音叉を左右入れ替えながら２つの經穴を刺激していく。本神の經穴は、胆經と陽維脈の交わる場所であり、スピリットを押し込めた結果として生じる顎關節症などに有効。心の不調を癒す經穴であり、病の根本原因や根源に働きかける。前世を含む性的虐待の心の傷を癒すのに役立つ

（8）「胃經」のラインである「頬車」、「下關」、「頭推」の經穴に、音叉を１本ずつ動かす方法で刺激していく。１回ずつ音叉を左右入れ替えながら３つの經穴を刺激していく。胃經なので消化吸収に關係しており、皮膚という意味では、アトピー、乾癬などの症状を抑える重要なライン。３つの經穴は顔のむくみ、歯の痛み、顎關節症、三者神經痛、顔面神經麻痺、頭部の骨の歪みなどの症状に対應している

（9）百会の經穴を數回刺激する。このままだと、エネルギーが靈的世界に行き過ぎているので、物質世界にエネルギーを戻すため、湧泉の經穴を數回刺激してグラウディングを促して終了

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

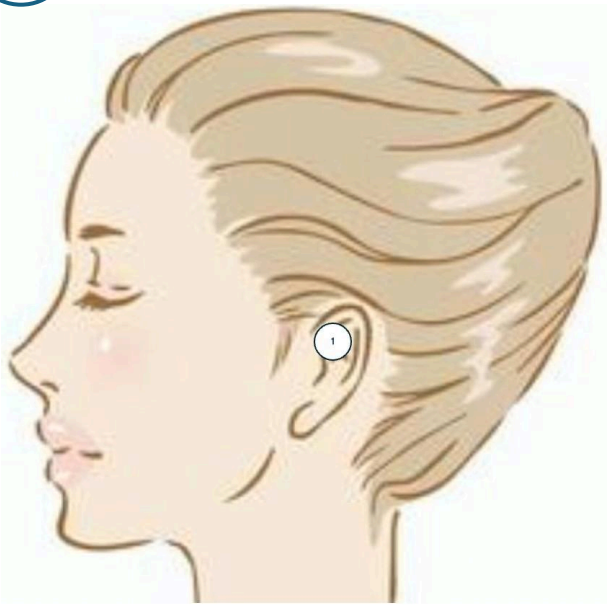
音叉フェイシャルケアで刺激する經穴（ツボ）一覧

フェイシャルケアで刺激する經穴（ツボ）一覧				
番号	經穴（ツボ）の名称	入門編セットの基音（ホームトーン）	ソルフェジオの音程（インターバル）	惑星音叉の音程（インターバル）
1	神門（しんもん）	136.1Hz	852Hz	満月（蝶形骨）
2	印堂（いんどう）	128Hz	852Hz	天王星（メラトニン）
3	上星（じょうせい）	264Hz	852Hz	セドナ（腦梁）
4	承漿（しょうしょう）	136.1Hz	396Hz	土星（顎の骨）
5	迎香（げいこう）	128Hz	417Hz	冥王星（化學物質のデトックス）
6	鼻通（びつう）	128Hz	852Hz	金星（副鼻腔炎の改善）
7	攢竹（さんちく）	132Hz	528Hz	海王星（視床、視床下部）
8	眉衝（びしょう）	264Hz	528Hz	海王星（腦脊髄液（CSF））
9	地倉（ちそう）	136.1Hz	396Hz	水星（歯の神經系の治療）
10	巨髎（こりょう）	136.1Hz	174Hz	木星（顔の骨に響かせる）
11	四白（しはく）	132Hz	285Hz	金星（肌の透明感）
12	瞳子髎（どうしりょう）	132Hz	639Hz	木星（眼の症状の改善）
13	太陽（たいよう）	136.1Hz	285Hz	太陽（熱エネルギーの注入）
14	本神（ほんじん）	136.1Hz	417Hz	火星（筋肉記憶の解放（リリース））
15	頬車（きょうしゃ）	132Hz	741Hz	天王星（顎關節症）
16	下關（げかん）	136.1Hz	741Hz	金星（三半規管）
17	頭推（ずい）	128Hz	174Hz	土星（頭蓋骨）
18	百会（ひゃくえ）	128Hz	963Hz	ニビル（宇宙エネルギー）

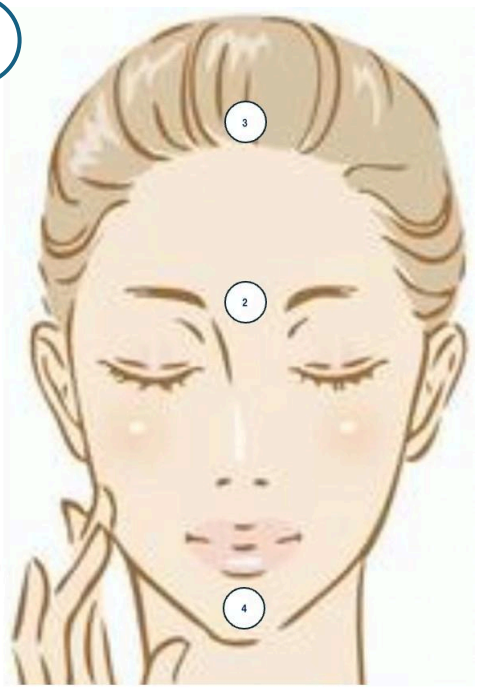
もうひとつのフェイシャルケアの方法は、各經穴（ツボ）を刺激していく方法があります

音叉で顔（フェイス）の経穴（ツボ）を刺激する方法は、かなり膨大なパターンが存在します。そして、本当に必要な情報は、「頭をめぐる奇経八脈、十二経絡のルート」を覚えることです。それがフェイシャルケアの極意につながってきます。

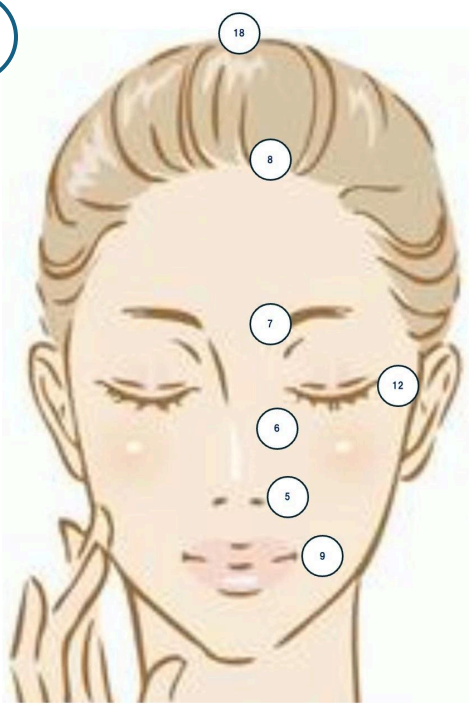
1



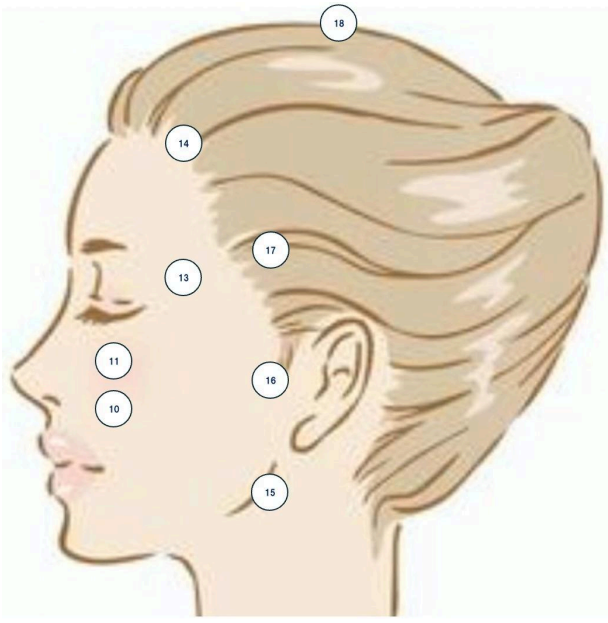
2



3



4



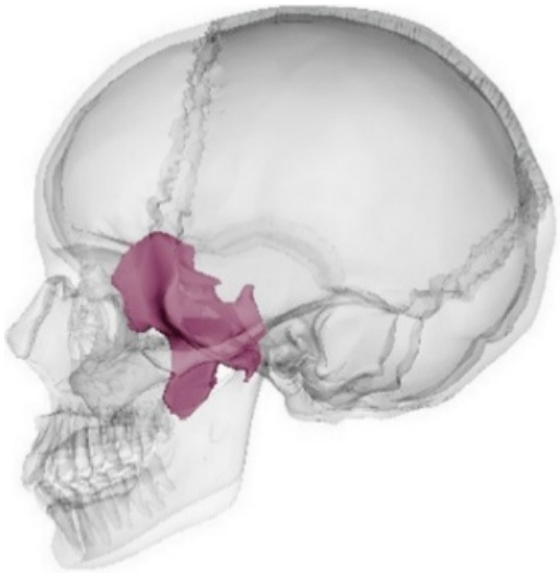
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

呼吸を整え身體をリラックスさせる經穴「神門」

神門のツボの位置

耳の上部にあるＹ字形の軟骨のくぼみの間にあります。





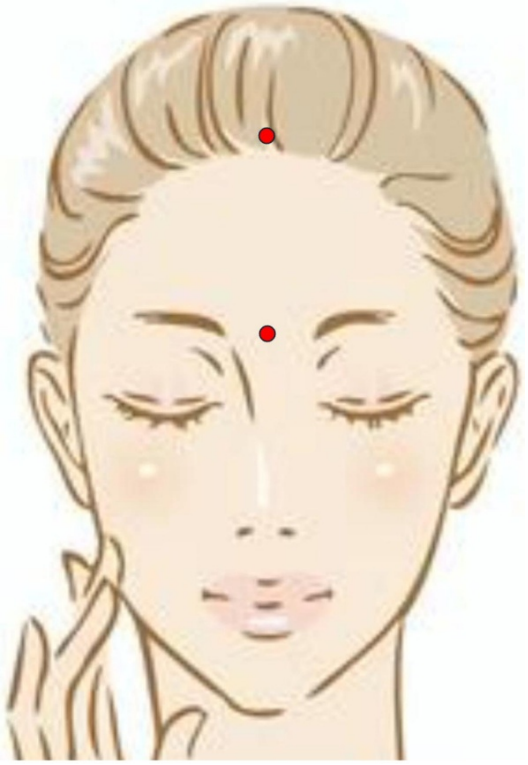
日本には「神門メソッド」というものが存在します。別名を「自律神經調整メソッド」といいます。このメソッドの創始者の飯島さんは、仙骨調整を安全にやる方法として神門メソッドを完成させています。

神門は、蝶形骨を刺激する經穴のひとつです。蝶形骨は電氣信号を送る器官であり、自律神經は「副交感神經」と「交感神經」のバランスで成り立ちます。自律神經のバランスが乱れるということは、「靈の心と肉の心のバランスの乱れ」を意味します。

靈の心は「副交感神經を通した靜寂の状態」で働き、肉の心は「交感神經を通した緊張の状態」で働きます。この２つが乱れる状態とは「中途半端な状態」を表します。精神疾患とは中途半端な状態を指し、それが心、言動、行動の矛盾に繋がります。

神門の經穴は、呼吸を整えます。人間の呼吸は１日平均が「25920 回」であり、呼吸の回數が寿命にも關係してきます。また、電磁波の害を防ぎ、靈體オーラと肉體オーラのバランスを整えます。身體が力を抜いて脱力するために必要な經穴です。

細胞修復とコミュニケーション力の向上の經穴、「印堂」と「上星」



松果體の經穴「印堂」は、「心のシルバーコード」のある重要な箇所であり、「メラトニン」というホルモンの分泌に關係してきます。

メラトニンは睡眠に關係し、「眠氣を促すホルモン」です。睡眠中、誰もが靈體は靈界を訪れており、その間に肉體は細胞修復を行います。

また、感情の抑揚もメラトニンがコントロールしており、メラトニンが電磁波により破壊されると、コミュニケーションに障害が起こるようになります。

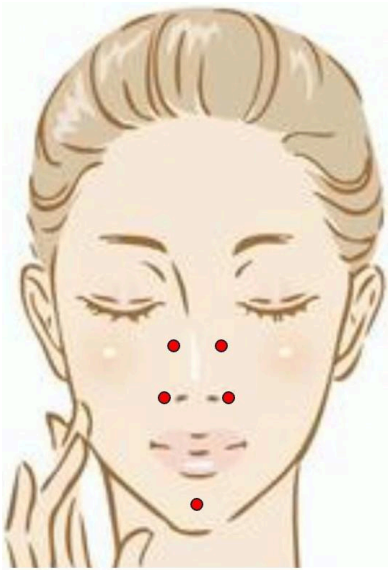
腦梁の經穴「上星」は、「右腦」と「左腦」を繋いでいる箇所であり、左右の大腦半球をつなぐ太い神經線維の束で、約 2 億本以上の神經線維が集中しており、左右の腦の情報連絡を担う重要な役割を果たします。

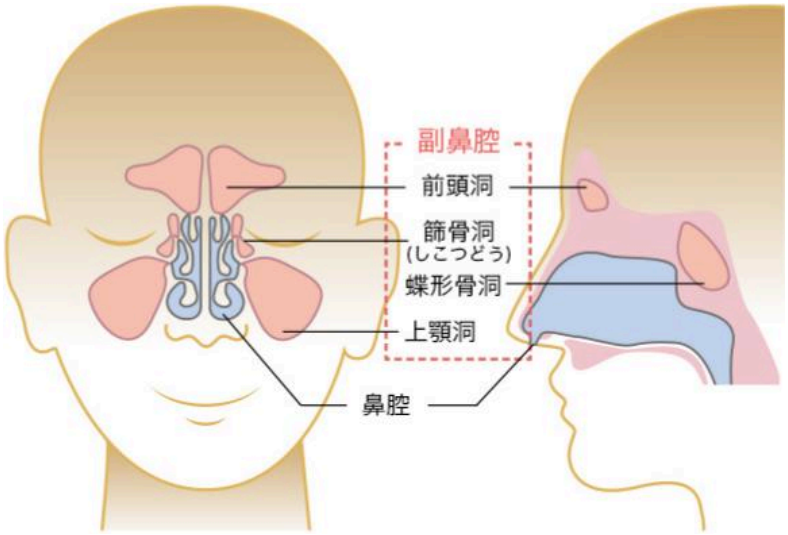
印堂の經穴を刺激し松果體が活性化されれば、メラトニンの分泌も促進され、全身の細胞の若返りにつながります。メラトニンは電磁波、放射能、騒音などのストレスで破壊されていき、感情の抑揚などを失うことにも繋がってきます。

上星の經穴は「コミュニケーション力」に關係しており、右腦は「振動波でのコミュニケーション」、左腦は「言語でのコミュニケーション」を司ります。２つのツボを刺激する意味とは、既存の概念や構造を打ち砕く力を持つ自由と独立のエネルギーを表現することであり、顯在意識（DIKAG）の革新、新しい生命とインスピレーションの創造を促す意味があります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

鼻腔と副鼻腔について





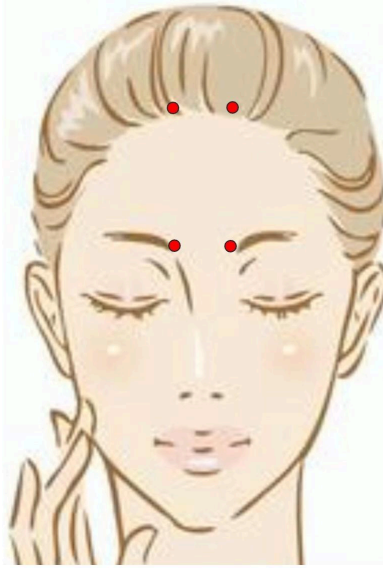
承漿の經穴は、頭部で唯一の「陰經」であり、すべての陰經と繋がる「任脈」の經穴です。下顎の中心の位置に經穴があり、任脈として「生殖器」までのエネルギーの通り道になっています。漿の文字は、腦の組織から出る液體（腦脊髓液）を表します。

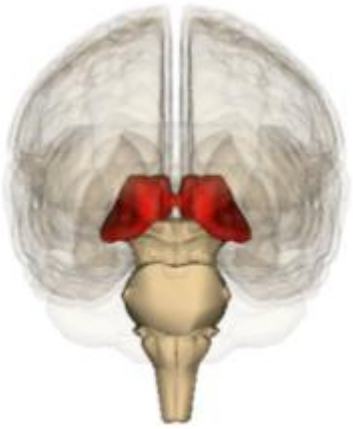
承の文字は、上から下へのエネルギーの流れを表します。任脈は、蝶形骨から仙骨までのエネルギーの通り道（滿月から新月のサイクル）です。承漿は、腦脊髓液を上から下に流すという意味の名称になります。

迎香と鼻通の經穴は、迎香が「鼻腔」、鼻通が「副鼻腔」と連動しています。鼻腔は鼻の内部の通り道であるのに対し、副鼻腔は鼻腔の周囲にある顔の骨の中に存在する空洞の総称です。副鼻腔は「視床と視床下部」とも連動しています。

どちらの經穴も「鼻」に關係する經穴であり、花粉症や鼻づまり、鼻水、肌荒れの改善に効果があります。迎香は「大腸經」の經穴ですが、大腸は「重金属」の蓄積が病氣に關わっており、如何に重金属のデトックスを促せるかが鍵になります。

視床と視床下部、腦脊髄液（CSF）について







攅竹（さんちく）と眉衝（びしょう）は「膀胱經」の經穴（ツボ）です。攅竹（さんちく）は「視床」を刺激し「視床と視床下部」を活性化させます。視床は、「肉の心（大腦）」と「肉體（にくたい）」を通した「五感（味覺、嗅覺、視覺、触覺、聽覺）」の「中繼地点」であり、「五感をコントロールしている器官」です。視床下部は、「肉の心（大腦）」と「肉體（にくたい）」を通した「生命活動をコントロールする司令塔」の役割をしています。

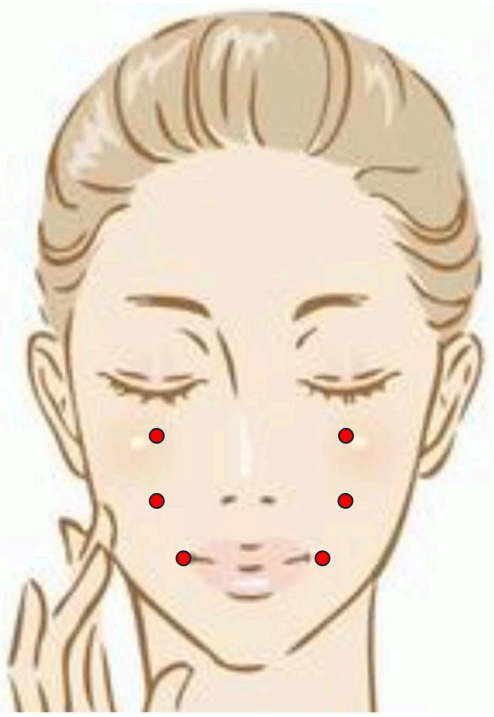
攅竹（さんちく）を刺激すると、様々な要因で鈍っていた肉體（にくたい）と五感が正常な感覺に甦ってきます。肉體（にくたい）は五感が生命活動の命綱であり、五感が鈍るということは生命活動の危機に直結してきます。五感が鈍る要因のひとつは「フッ素」です。また、「肉食」と「白砂糖」も五感が鈍る要因であり、日々の音叉による生命（いのち）の調律は、五感を正常に戻すことが大切です。

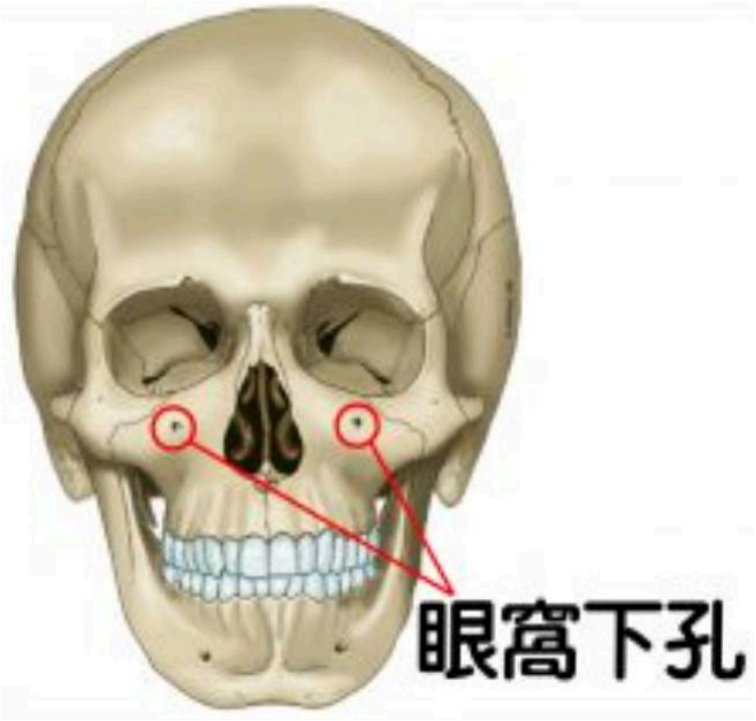
眉衝（びしょう）は、「腦室（のうしつ）」を通して「腦脊髄液（CSF）」を刺激します。體液（たいえき）は主に「腦脊髄液（CSF）」、「血液」、「リンパ液」の３種類に分類しますが、一番人體（じんたい）で重要な體液（たいえき）は「腦脊髄液（CSF）」になります。しかし、現代地球文化では腦脊髄液（CSF）について何も分かっていない状態に等しいレベルです。

腦脊髄液（CSF）は、「DNA/RNA」のクリエイターであり、「遺傳子（いでんし）の構造變換（へんかん）」に關係しています

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

三叉神經に關係する３つの經穴





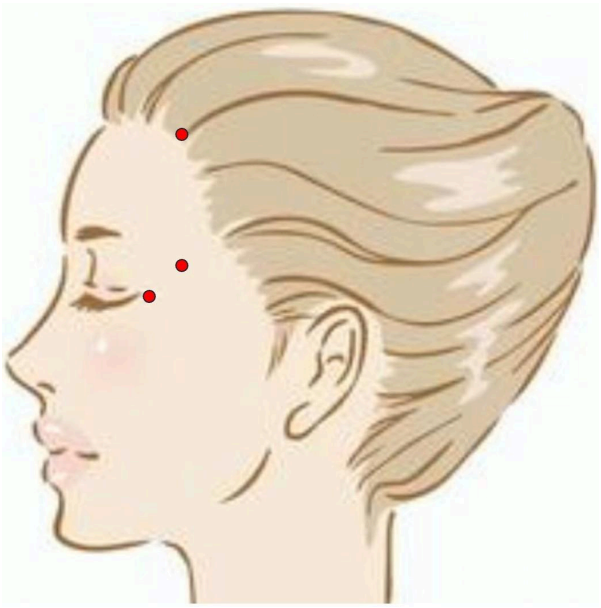
「地倉」、「巨髎」、「四白」は、「胃經」のラインの經穴になります。３つの經穴の中で特に重要な經穴は「眼窩下孔」に位置する「四白」です。眼窩下孔は、顔面の皮膚や粘膜に感覺を支配する神經や、營養を供給する血管が通る重要な解剖學的構造です。

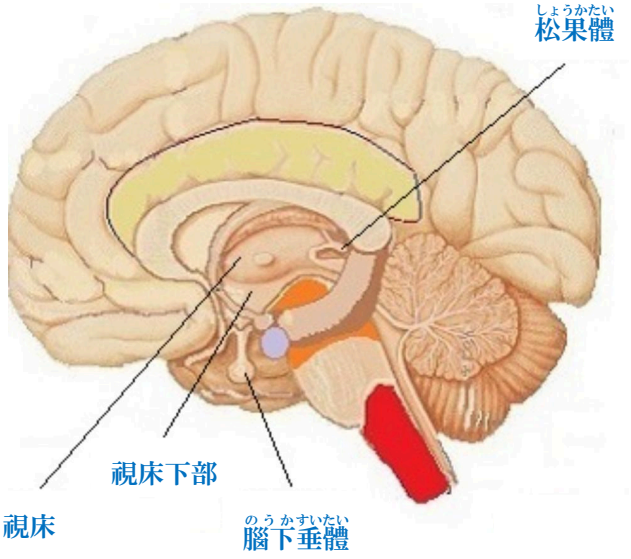
地倉、巨髎、四白は、「三叉神經」に直結している經穴でもあり、三叉神經をコントロールしている經穴が「太陽」になります。太陽は「腦下垂體」を刺激する經穴であり、三叉神經は腦下垂體を通してコントロールされていることに現代醫學は氣づいていません。

三叉神經は、顔の感覺（痛覺、触覺、冷熱感）を大腦に傳える役割を担っています。また、咀嚼に關わる筋肉の運動も担当します。顔の神經麻酔や、顔面部の外傷の診斷、治療において、この構造への理解は不可欠です。

顔の痛覺、触覺、冷熱感、口の筋肉を正常に戻すための３つの經穴です。

脳下垂體を刺激する「太陽」の經穴





瞳子髎、太陽、本神の３つの經穴は、主な症状として、眼の疲勞、視力の低下、頭痛、偏頭痛などの症状の改善有効になります。太陽は腦下垂體を刺激する經穴ですが、太陽は水晶宮を活性化させる上でも重要な經穴のひとつです。

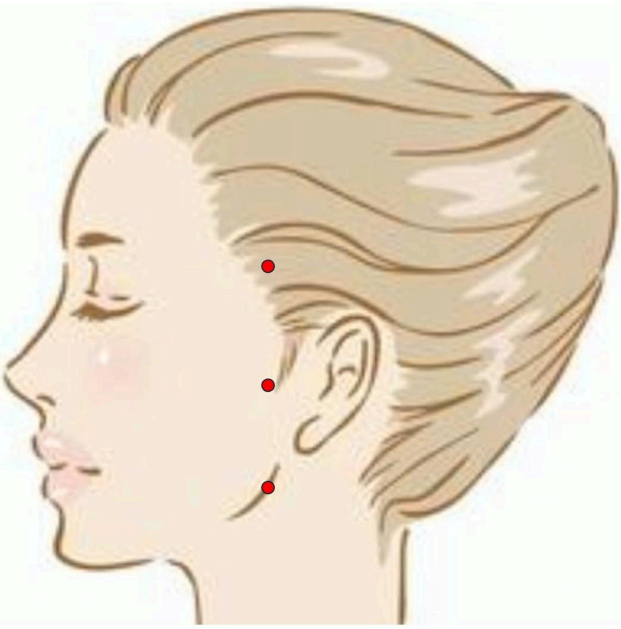
水晶宮は大腦の眞ん中に存在しています。水晶宮は、「松果體、視床、視床下部、腦下垂體」のすべてを包み込んでいます。肉の心と靈の心を繋ぐ水晶宮は知覺、運動神經線維と神經組織が織り交ざり、密集したネットワークを形成しています。

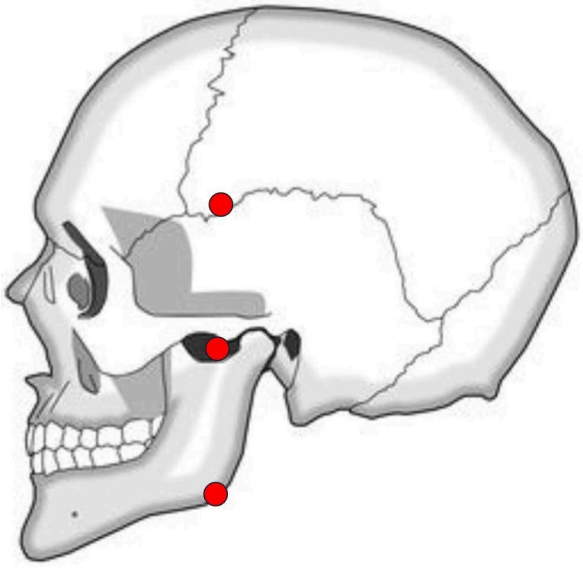
腦下垂體の主な働きは、視床下部からの命令を受けて、成長、代謝、生殖機能、ストレス反應など、體内の様々な機能を制御する多様なホルモンを分泌することです。これらホルモンが體内の特定の臟器に作用し、肉體の調子を維持する「内分泌中樞」として機能します。

視床下部は、「肉の心」と「肉體」を通した「生命活動をコントロールする司令塔」であり、そこからホルモン生成をする器官が腦下垂體なのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

大脳にある「感情脳」と「思考脳」をコントロールする經穴





頬車、下關、頭推の３つの經穴は、顔の「胃經」ラインのひとつです。主にカラダの消化吸収に關係してきます。３つの經穴は、顔のむくみ、歯の痛み、顎關節症、三者神經痛、顔面神經麻痺、頭部の骨の歪みなどの症状に対應しています。

肉の心の思考と感情は、「胃經」によりコントロールされています。本來、正常に機能してれば肉の心というのは迷いません。答えは必ずあるのですが、混乱しているとそれがわからなくなります。これは、思考が混乱しているという意味ではありません。肉の心そのものが混乱しているのです。

肉の心には「感情脳」と「思考脳」と呼ばれる部分があります。感情脳が何かの出來事でネガティブに反應すると、思考脳は正常に働かなくなります。お互いがフィードバックシステムでつながっているので、感情脳が過剰な反應をすると思考脳も停止してしまうのです。

肉の心が正常に機能していない状態でどんなに明晰に答えを考えようとしても、出てくる返事は混乱した答えしか返って來ません。

１００人の人が混乱した肉(大脳)の心でどんなに議論しても、混乱した答えしか出てきません。それが地上世界の人間の殆どに起きてることです。地上世界の顕在意識(DIKAG)のEGHO(エゴ)意識に基づいた文化の中に生きているので、地上人は基本的に混乱していると言えます。

霊(心臓脳)の心と肉(大脳)の心が一致していた場合、混乱という現象は起こりません。ハートマス研究所の研究により、「心臓脳(ハート)」「大脳(マインド)」、「感情」がエネルギー的に調和している状態になると、感情脳も思考脳も正常に機能し始めることが明らかにされています。

その３つの調和の鍵が「精神」です。精神とは、霊(心臓脳)の心と肉(大脳)の心を繋ぐものであり、精神の反映が「星」になります。音叉セルフヒーリングが何故星々の音を使うのか、それは霊(心臓脳)の心と肉(大脳)の心と感情を調和させるためです。

> 肉體(にくたい)は精神の従僕です。精神は肉體(にくたい)に隷属しているのではありません。肉體(にくたい)は束の間の存在であり精神は永遠の存在です。肉體(にくたい)はいずれ朽ち果てます。精神が宿っている間だけ現在の形態を維持している一時的な存在です。それがその人ではありません。その人の表現體(ひょうげんたい)であり、道具であり、地上で認識してもらうための手段です。
>
> 『シルバーバーチの霊訓（五）』p.122～p.123

また、感情は馬と同じです。手綱をうまく操っている間は役に立ちますが、いったんコントロールを失うと危険が生じます。抑えることができなくなると自分だけでなく他人をも傷つけるようになります。

感情は、霊(心臓脳)の心の「理性」によりコントロールできます。感情は理性の働かせ方で抑えられるものです。理性という、感情を抑えようとする意志の欠如が感情を暴走させてしまうのです。残念ながら地上世界には理性で感情をコントロールする人が少なすぎます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

胃經は、潛在意識（腸）と顯在意識（腦）を繋ぐ唯一の經絡であり、胃經の眞の役割とは「情報（顯在意識：DIKAG）と經驗（潛在意識：FIK）の統合」であり、情報と經驗の統合が、「學びの本質的意味」です。

潛在意識（腸）の機能とは、過去の情報の管理、身體（しんたい）の各臟器、各器官、各組織のコントロール、靈界通信の靈媒現象など多岐に渡る用途が存在します。そして、靈媒現象をする上で最も重要な經絡が胃經なのです。

頬車（きょうしゃ）、下關（げかん）、頭推（ずい）の３つの經穴（ツボ）は靈的世界と地上世界の橋渡しの役割をします。胃經は靈界通信をする上で「靈的世界」と「地上世界」を繋げるための經絡です。頬車（きょうしゃ）、下關（げかん）、頭推（ずい）の３つの經穴（ツボ）は本質（靈的世界）と現實（地上世界）の差を取るために必要な經穴（ツボ）といえます。

頭の声（顯在意識：DIKAG）とカラダの声（潛在意識：FIK）は違います。本質と現實を結びつけ、再統合することが悟りの本質的意味です。眞理は顯在意識（DIKAG）で様々な知識、情報を調べるだけでは絶対に身につきません。眞理を顯在意識（DIKAG）で決心、實行、實體驗（じったいけん）して、ようやく氣づき、學びに繋がります。

眞理とは「靈の心優位（EXA PIECO）の努力」と「調和の實踐」のことです。潛在意識（腸）は氣づき、顯在意識（腦）は理解を司ります。人間は顯在意識（腦）の情報の理解だけだと、潛在意識（腸）を通した經驗がないので、かえって眞理から遠ざかります。

思考腦は直線にエネルギーが動き、感情腦は曲線にエネルギーが動きますが、それが顯在意識（腦）で結びついて腦内でリピートしてしまうと混乱という症状が起こります。３つの經穴（ツボ）への刺激は、理性と直觀、感情と思考を結び、混乱状態をなくさせます。



第十五章

音叉による喉の調整法

再び大靈（たいれい）と繋がるための隠されたゲート

星々の音から無限のパワーを受け取る箇所

靈的世界と物質世界を超越したゲートウェイ



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

喉まわりの施術の意味について

窗（Window）：内にあるものと、外にあるものを見ることができるようにする開口部

窗は、存在の内的世界と外的世界の間の行き來を可能にし、探求と深い洞察の機会を与えます。

傳統的な東洋醫學の書物を見渡しても、「(Windows to the Sky Points)」と呼ばれる「天の名前」のつく經穴の用途に關する記述はほとんど見当たりません。天の名称のつく經穴は、「靈的世界」と「物質世界」を超越した「ゲートウェイ」です。

靈的世界と物質世界の「ゲートウェイ」となる天の名称のつく經穴は、主に「首」や「喉」の辺りに多くあります。歴史的に喉のチャクラは、コミュニケーション、声、つまり自己表現に關係してきます。

首は十二經絡で「膀胱經、胆經、三焦經」と繋がっており、首の經絡は、「脳幹の調整法」で使います。喉は十二經絡で「胃經、大腸經、小腸經」と繋がっており、「喉の調整法」で使います。

喉は、EXA PIECO靈の心とDIKAG肉の心を結ぶ細い道であり、EXA PIECO靈の心の中に眠る調和、神意の心が、DIKAG顯在意識のEGHO意識を乗り越えて地上世界で具現化する上でのゲートウェイであり、自己表現、コミュニケーションにおいて喉は重要な箇所になります。

現代醫學で喉は非常に扱うのが難しい箇所であり、喉の手術は非常に成功率が低い箇所として醫者の中では共通認識されています。車の事故による「むち打ち」など、頸椎に打撃があるだけで様々な症状に見舞われることを考えても、非常にデリケートな部位です。

喉の原理と首の原理の違い		
奇經八脈	任脈（陰經の海）	督脈（陽經の海）
陰陽	喉	首
十二經絡	胃經、大腸經、小腸經	膀胱經、胆經、三焦經
影響する器官	生殖器	骨、筋肉、神經系統

首を管理しているのは「督脈」であり、「膀胱經、胆經、三焦經、胃經、大腸經、小腸經」という陽經すべてを管理コントロールしています。反対に喉を管理しているのは「任脈」であり、「胃經、大腸經、小腸經」を通して「生殖器」を管理コントロールしています。

喉の部位は、「任脈を通して感情と肉體（にくたい）が生殖器系に共鳴し、幽體（ゆうたい）（エーテル體（たい））と情報をフィードバックする關係」です。喉のエネルギーの歪みによる症状は、失声、甲状腺機能の亢進（こうしん）、婦人科系のトラブル（子宮筋腫、卵巣嚢腫、子宮内膜症）、男性の場合は前立腺炎や泌尿生殖器系のトラブルとして表れます。

首のエネルギーの歪みによる症状は、首の凝り、こわばり、むち打ち、筋肉の緊張などを始めとして、頸椎や腦幹の歪みによる症状である認知症、アルツハイマー、パーキンソン病、てんかん、手足の痺れ、痙攣（けいれん）などのトラブルとして表れます。

なので、「喉」と「首」は厳密には部位が異なり、セルフヒーリングの調整方法も違ってきます。また、歴史的にみて喉は女性にとって非常に傷つきやすい部位です。しかし、男女ともに前世はどちらの性別も經驗しているので、これはエネルギーの流れに關係してきます。

喉には前世の舌切り、打ち首、生殖器切除、檢閲、非難、迫害などの「細胞記憶」や「筋肉記憶」が殘っており、その比重が女性のほうが多いというだけです。いずれにせよ喉はデリケートな部位であり、全身の部位の中で最も繊細なヒーリングが求められます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

入門編で使う喉まわりの經穴一覧表

入門編で使う喉まわりの經穴一覧表		
經絡	經穴	經穴をセルフヒーリングする意味
任脈	天突	EXA PIECO　DIKAG 靈の心と肉の心が一致した状態で、地上世界で理想を具現化させるために用いる
胃經	人迎	人の機嫌ばかりとろうとして、他人に利用されて人間關係に憤りを感じている状態の改善
大腸經	扶突	過去の體驗を飲み込めない、消化できない状態から脱却する時に有効な經穴
小腸經	天窓	現實を直視できない、他人を責めるパターンに捕らわれている場合に用いる
小腸經	天容	DIKAG 自分の顯在意識の勝手な解釈、思い込みを浮き彫りにし、誤解を解く場合に有効な經穴
胃經	缺盆	靈體と深く結びつく經穴で、氣的エネルギーを補充し氣力を回復するために用いる
胃經	氣戸	奇經八脈のエネルギーの門戸のひとつであり、呼吸を深くし身體をリラックスさせる經穴

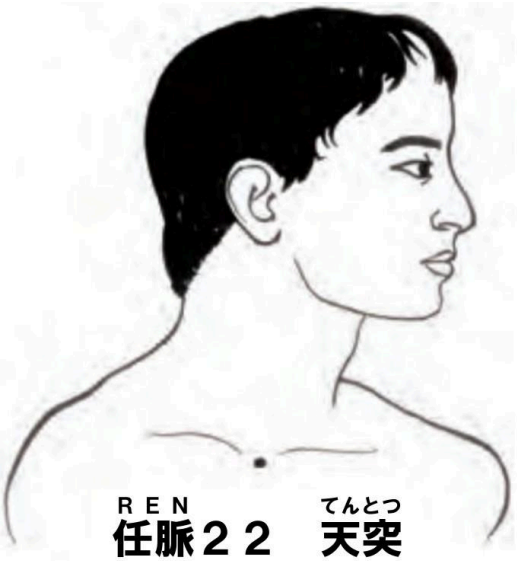
音叉によるセルフヒーリング入門編で使う喉まわりの經穴は全部で「７個」です。最初の頃は喉まわりにヘヴィーフォークの音叉を当てるよりも、フォークの音叉を喉まわりに鳴らすことを推奨します。

何故なら喉の經穴はあまり強靭な部位ではなく、痛みに弱いデリケートな部位だからです。喉の經穴は、「督脈」と「任脈」のエネルギーの流れをクリアリングした状態でないと、喉まわりから漏出したエネルギーから低級靈の憑依を招く危険性があるからです。

喉の經穴は、低級靈や邪惡靈が簡單に取り憑ける部位であり、きちんと靈的エネルギーを身體に循環させているかがヘヴィーフォークを使うかどうかのポイントになります。

入門編セットでの喉まわりの部位の基音は、「128Hz」が基本であり、ソルフェジオ音叉での音程は「417Hz」と「741Hz」が基本になり、惑星音叉での音程は「水星（甲状腺）」と「金星（副甲状腺）」が基本です。

喉の最重要の經穴(ツボ)、「天突(てんとつ)」について



天突(てんとつ)の經穴(ツボ)は、会話とコミュニケーションに關係している感覺器です。道教(タオ)の生理學では「舌」は「心臟」と繋がる感覺です。心臟と繋がる經絡は「小腸經」であり、それが会話の鍵になります。

自分の持っている考えを、強力に、かつ明確に話す能力は、靈(心臟腦)の心と肉(大腦)の心と、任脈を通して喉の經絡が開いているかで決定されます。

天突(てんとつ)の經穴(ツボ)は、「話をする」→「呼吸をする」→「靈氣的エネルギーを循環させる」という風に道教(タオ)では捉えられており、呼吸と靈氣的エネルギーの循環と關連性があると考えられています。なので天突(てんとつ)は、「氣(き)エネルギーである奇經八脈(靈體)をコントロールする經穴(ツボ)のひとつ」であると道教(タオ)では見なされています。

また、「甲状腺」は天突(てんとつ)のすぐ上にあり、「氣管」を取り巻いている甲状腺は、カラダ中の「内分泌腺」の中で最も大きな腺です。内分泌腺とは「靈體(れいたい)オーラ(ホルモン)」を作り出すことによって「靈體(れいたい)」と「肉體(にくたい)」の「新陳代謝」をコントロールしています。

天突(てんとつ)をセルフヒーリングすると、靈(心臟腦)の心の奥底にある、肉(大腦)の心によって押し殺された悲しみや怒りを解き放ち、喉をすっきりさせます。他人に押し付けられた生き方から生じる行き場のない憤りを冷まし、思考に冷静さを与えてくれます。

そもそも「声」と「言葉」は違います。「声とは本質の音（火)」です。「言葉とは取り繕ったメッキ（金)」です。喉は、それらを「統合（土)」して自己表現をするために存在します。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

コミュニケーションに關係する人迎と扶突の經穴



胃經の經穴である人迎は、人の機嫌ばかりとって自分の感情を見失っている人に役立ちます。

喉の詰まり、自信を奪われた状態、見下された感じ、心を閉ざしている、言いたいことを言えない場合に人迎の經穴を使います。

土のエレメントの人は、他人に迎合することは、必ずしもプラスにならないことを知る必要があります。

大腸經の經穴である扶突は、過去に執着しているか、非現實的な未來を夢見て、他者とコミュニケーションがとれない、話せない、人前で緊張してしまうなどの症状の際に用います。

恐れから自分を守るために生み出してしまった、靈的進化の妨げになっている自己保身や防御プログラムなどの習慣を手放しやすくします。何かをやり遂げようとする意志はあっても、行動に移せない、現實化することが出來ない人、精妙なエネルギーにつながれない人にも有用です。

この經穴は、エネルギー的に肺と繋がっているため、過去の深い悲しみ、古い思考パターンや、未熟な意識を手放す悲しみを解き放ちます。そうすることで、現實的な未來を現實に創造していき、輝かしいビジョンを見ることができるようになります。

前世、インナーチャイルドに關係する天容と天窓の經穴



小腸經１７ 天容
小腸經１６ 天窓

天容の經穴は、難聽、耳鳴り、喉の痛み、頬の腫れ、喉の異物感に作用し、詰まりを取り除きます。

宇宙の法則を學ぶ時期が近づくにつれ、地上人は「恐怖心」を抱きます。そこには「前世」からの隱された問題があります。

しかし、ほとんどの地上人は、隱された問題と向き合うことを「無意識に拒否」します。そして、その問題にフォーカスされないように、無意識に問題の焦点をすり替えようとします。天容の經穴は、そうした顯在意識（DIKAG）による勝手な解釈、勘違いを浮き彫りにします。

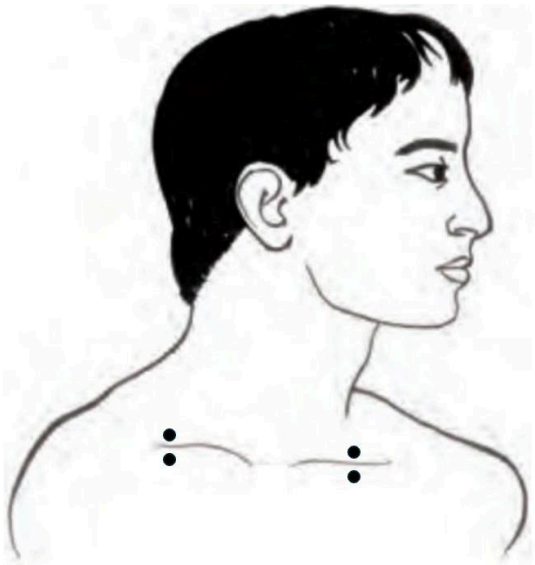
EGHO意識を手放し、顯在意識（DIKAG）が問題の解決に向き、自分が成すべきことを自覺します。天容は、天窓よりも、よりエネルギーの源に近いため、パワフルかつ精妙な經穴になります。

天窓の經穴は、突發性失声、耳鳴り、首の痛みに有効です。痛みの原因が、見るべきものを直視できない、他人を責めるパターンにとらわれている場合に用います。あらゆる種類の感情的後退や、過去に關する未解決のパターンや問題に対処します。

PTSD やむち打ちによる意識の混濁やかすみ目にも有効です。スピリチュアルレベルの明晰さをもたらし、過去と未來を區別し、靈的本質への深いつながりをもたらすツボになります。そして、靈的世界への扉が開かれていきます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

氣エネルギーの循環に關係する缺盆と氣戸の經穴



胃經の經穴である缺盆は、鎖骨リンパの老廃物を排出し、咳、喘息、喉の痛みなどに用います。

老廃物を排出することで、顔のむくみを改善し、血色をよくします。また、喉の炎症などの症状などにも有効です。

リンパマッサージでは一番重要視されている箇所であり、温熱療法でも缺盆のまわりを温めることで、フェイスラインを細くすることが可能です。また、言いたいことを言葉で表現できない人の場合、缺盆の經穴を刺激することで、きちんと相手に傳わる形で表現することが出來るようになります。

胃經の經穴である氣戸は、「氣管」「氣管支」を意味しています。靈體は「氣」エネルギーを司ります。氣戸は「氣エネルギーの循環のゲートウェイ」であり、停滞した氣分を持ち上げたり呼吸器系の疾患に用いることの多い經穴です。

人は恐れや悲しみにより、氣管支にダメージを受けると呼吸を乱します。感冒，氣管支炎，肺結核，胸膜炎、心臓の氣エネルギーの枯渇による心臓疾患，乳腺炎，肋間神經痛などの症状などに用います。人から何かを責められネガティブ思考になっている際に有効な經穴です。

喉まわりの經穴のセルフヒーリングは、自己表現にとって重要度の高い部位になります



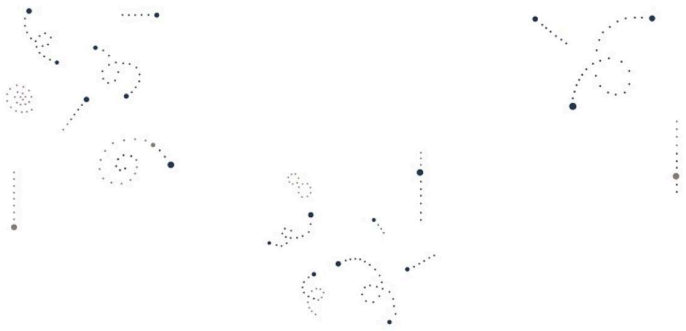
第十六章

ハート、お腹のセルフヒーリング

セルフヒーリングの極意は神意（あい）と感謝

EXA PIECO 靈の心の人生のプログラムと潜在意識（F I K）の声

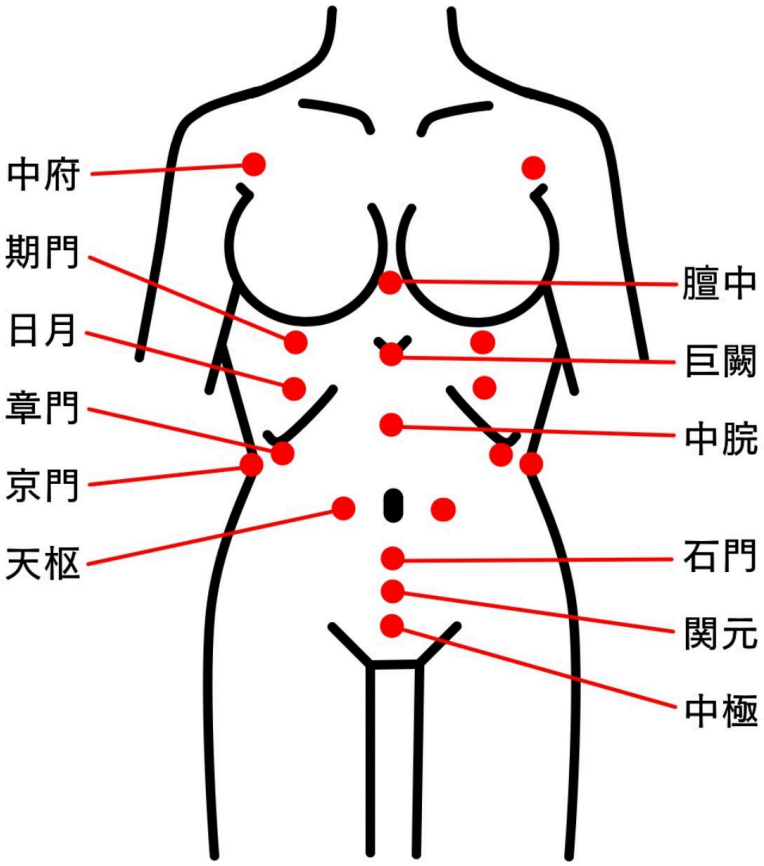
腸を通した潜在意識（F I K）はすべてを記憶している





資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

氣エネルギーが集まる募穴を使ったセルフヒーリング



五要穴の「募穴」と「兪穴」は一対の關係性にあります。

正面：募穴

背面：兪穴

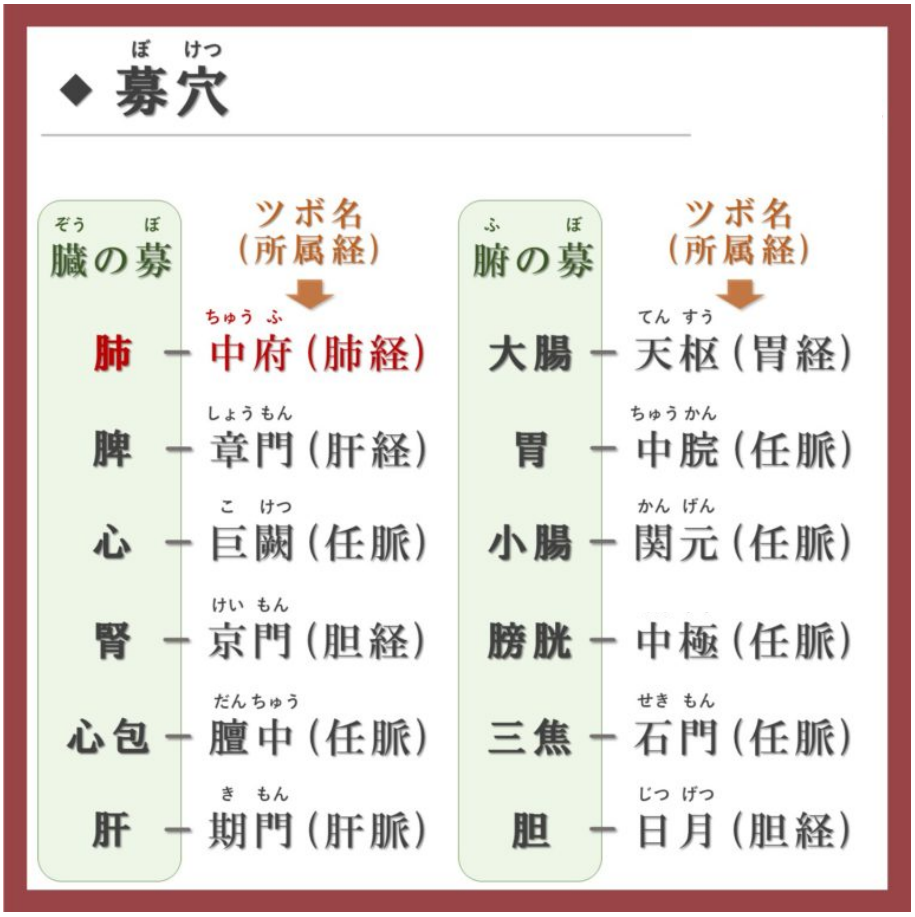
背面の兪穴が各内臓の「氣の注ぎ口」であり、正面の募穴が各臓腑の「氣が集まる經穴」です。

募穴は主にお腹まわりに集中しているのが特徴であり、そのため腸に全身の氣エネルギーが集まります。

自分自身の内臓のチェックをする際、基本的に「募穴」と「腸心マップ」を通して内臓の状態を日々確認します。例えば腎臓ならば「京門」、肝臓ならば「期門」の經穴を通して、健康面で大切な「肝腎要」の状態をチェックします。

募穴は「正中線」に６個あるため、正中線をチェックするだけでも、その日の「氣」の状態が分かります。人間は「氣」に１日を左右されます。「氣」が精神や感情にも影響を与えるので、氣を整えることが自己コントロールの要であるとも言えます。

「氣とは万物に宿る自然法則」であり、万物は氣という自然法則に支配されています。天氣、空氣、氣象、陰氣、陽氣、氣圧、湿氣、香氣、臭氣、瘴氣、蒸氣、氣化、氣體、換氣、氣分、氣持ち、氣まぐれなど、氣に關する言葉を羅列すると意味が分かると思います。



ここまでで情報を整理しますが、東洋思想には「氣、血、水」の考え方があります。この中で募穴と兪穴は「氣」に該当し、原穴と郄穴は「血」に該当し、絡穴は陰陽の対のエレメントを繋げる經穴なので「水」に該当し、五要穴の考え方が完成します。

東洋思想の「氣、血、水」について			
東洋思想	エネルギーの流れ	エネルギーの分類	エネルギーの触媒
氣	奇經八脈（靈體）	靈的エネルギー（DNA）	宇宙、星々、音
血	十二經絡（肉體）	生命エネルギー（RNA）	太陽、地球、月
水	仙骨、蝶形骨、華佗夾脊	シルバーコード（DNA/RNA）	海、川、髄液、リンパ液、血液

そのエネルギーは最終的に、カラダの中心の丹田（へその部分）に、合流した大きなエネルギーが集まってきます。その丹田を鍛えるのが「内丹術」と呼ばれる極意になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

募穴による内丹術の意味

道教の内丹術においては、カラダの中の氣、血、水のエネルギーに働きかけることと、感情に働きかけることは密接に關わり合っています。カラダの氣エネルギーの循環の障害の多くは、ネガティブな感情によって作られてしまったと考えられています。

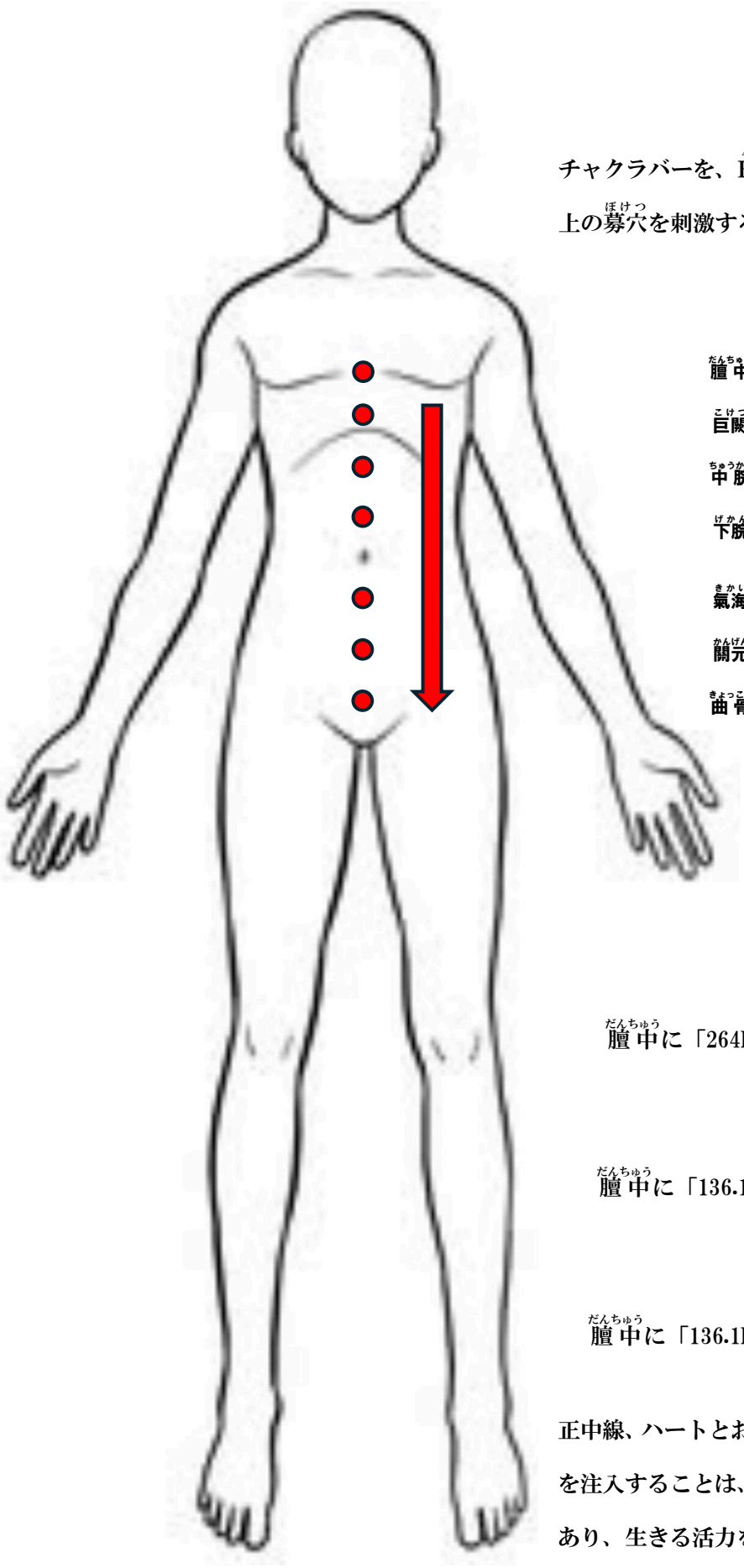
募穴を刺激することにより、内臓に溜まったネガティブな感情を浄化し、滞ったエネルギーを有用な氣エネルギーへと引き戻し、内臓に自然に備わっている特質を高めること、内臓の持つ本質的なエネルギーである「徳」を積むことが出來ます。

靈性の進化とは「善行」、「陰徳」を積み上げることが基本です。陰陽五行では、意志の強さ、徳の所有、徳の分かち合い、誠實さ、正義、叡智、智恵という徳が存在します。これらの徳を引き出すのが募穴の眞髄なのです。

募穴を使ったセルフヒーリングは、「任脈」にある經穴を刺激するのが基本になります。任脈上には６個の募穴があります。「膻中（心包）」、「巨闕（心臓）」、「中脘（胃）」、「石門（三焦）」、「關元（小腸）」、「中極（膀胱）」になり、これを導入編セットおよび入門編セットで刺激し、氣エネルギーを練り上げます。

任脈上の募穴を使ったセルフヒーリングの方法は何パターンもありますが、１つ目のパターンは、１本目の音叉を膻中に当て、もう１本の音叉を任脈上に下がっていき募穴を刺激する方法と、２つ目のパターンは、１本目の音叉を曲骨に当て、もう１本の音叉を任脈上の膻中まで上がっていき刺激する方法などです。

満月から新月のサイクル時は、下がる方法が有効であり、新月から満月のサイクル時は上がる方法が有効です。また、特定の募穴のみに２本の音叉を当てる方法も有効であり、自分自身でセルフヒーリングの方法を創造していくことが大切です。



チャクラバーを、^{4}F、^{3}E、^{2}D、^{1}Cと鳴らしてから任脈上の募穴(ぼけつ)を刺激すると、より効果的に内丹術が可能

膻中(だんちゅう)	639Hz
巨闕(こけつ)	
中脘(ちゅうかん)	528Hz
下脘(げかん)	
氣海(きかい)	
關元(かんげん)	417Hz
曲骨(きょっこつ)	396Hz

【導入編ツール】

膻中(だんちゅう)に「264Hz」、６個の經穴(ツボ)に「132Hz」

【入門編ツール】

膻中(だんちゅう)に「136.1Hz」、６個の經穴(ツボ)に「128Hz」

【初級編ツール】

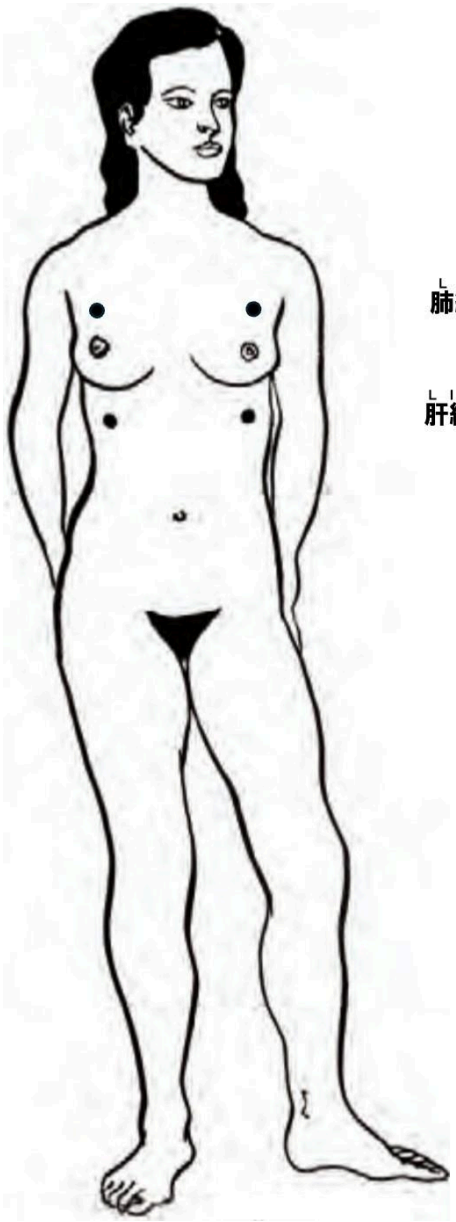
膻中(だんちゅう)に「136.1Hz」、８個の經穴(ツボ)に「68.05Hz」

正中線、ハートとお腹を同時に刺激し、氣エネルギーを注入することは、「生命力」をチャージすることであり、生きる活力を与えます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

胸まわりの募穴は「期門」と「中府」であり、この經穴も内臓の調整でよく使う經穴です。この經穴は十二經絡のラストとスタートの流れを司っています。

期門の經穴のソルフェジオ音叉の基音は「174Hz」であり、これは多臓器に働きかけ、筋肉を弛緩し瞑想的な音である「ゾディアック（172.06Hz）」と近似値が理由です。



LU 1 中府

LIV 14 期門

期門と中府の經穴		
經穴	十二經絡	エネルギーの流れ
中府	肺經のスタート	エネルギーの循環のスタート
期門	肝經のラスト	エネルギーの循環のラスト

胸まわりの募穴の「膻中（心包）」、「期門（肝臓）」、「中府（肺）」、「日月（胆嚢）」は、「氣エネルギーの新陳代謝」に直結している經穴です。

【募穴のシステムのメインとサブ】

靈體のエネルギーの循環「期門、中府」と「巨闕、關元」
肉體のエネルギーの循環「日月、章門」と「中極、石門」
靈肉両方を統合させる「中脘、膻中」と「天樞、京門」

これが募穴のシステムの中核です。

肝臓は氣エネルギーの循環の大きな通り道であり、肝臓が滞ると精神に變調をきたします。その大きな原因は「鬱積した感情」をカラダの中に飲み込んでしまっているためです。

期門への刺激は、感情の過剰な高ぶりを鎮め、肝臓の細胞をオープンにさせることにより、すべての經絡のエネルギーの流れをよくします。肝臓の機能が低下すると、様々な肉體的な問題が生じてきます。

夜に頻繁に起きてしまうなどのケースは、肝臓が動いていないことにより生じます。期門は俯瞰的なビジョンを授け、中府を通して宇宙に触れます。眞の自己、本質への重要なヒントを得て、生まれる前に決めてきた人生のテーマ、宿命につながる道を開きます。

アルコールの問題にも期門は対應しており、脂肪代謝に關連する消化器系の問題、 糖尿病と低血糖、體重の增加、攝食障害、血液とリンパ液の不均衡に期門の經穴は有効です。新陳代謝促進などを含めたダイエット全般にも期門の經穴を用います。

肺經の始まりの經穴である中府は、肺の全エネルギーが集まる經穴です。期門で完結した經絡の流れを、新たなサイクルの始まりに繋げます。胸のエネルギーを調整する經穴として、喘息や咳、肺の滋養に用いられます。

中府の經穴のソルフェジオ音叉の基音は「285Hz」であり、多次元領域に働きかける音叉が有効です。惑星音叉の基音は「海王星（211.44Hz)」です。

肺は心臓とバイナリーの關係であり、肺の「悲しみ」と心臓の「喜び」は感情ではありません。喜びと悲しみは「調和度の目安」であり、調和度というのが重要になります。喜びは、より精妙な宇宙の神意の振動波に同調する時のその存在のエネルギー反應。悲しみは、宇宙の神意の振動波から遠ざかる時のエネルギー反應です。

より「宇宙との調和度」の高い方向、靈的眞理に同調することを受け入れることを「素直」といいます。現状を維持するために靈的眞理を拒否しようとする反應が「反發」です。反發は顯在意識のEGHO意識が關わっており、その反發を抑えるのが中府の經穴になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

募穴は、京門の經穴のみ背面であり、お腹まわりの募穴は日月、章門、巨闕、中脘、石門、關元、中極、天樞になります。その中で、京門以外でまだ説明していない募穴は、日月、章門、天樞の３つの經穴になります。



日月は胆嚢、章門は脾臓、天樞は大腸の募穴です。この３つの經穴はお腹のセルフヒーリングでも使う頻度の多い經穴であり、胃腸の調子を整えます。

GB 胆經２４ 日月

LIV 肝經１３ 章門

ST 胃經２５ 天樞

日月、章門、天樞の經穴		
經穴	惑星音叉	意味
日月	火星「144.72Hz」	感情のコントロール
章門	土星「147.85Hz」	不安、取り越し苦勞の払拭
天樞	冥王星「140.25Hz」	手放せないEGHO意識を手放す

胆嚢は「感情レベルのコントロール」を司ります。胆嚢に共鳴する惑星は「火星」であり、火星は胆嚢、副腎、赤血球、筋肉と密接に關係します。

火星は「行動力」を司り、日月は行動力に關係します。現代地球文化でいう感情とは「DIKAG顯在意識レベルの疑い」であり、行動することへの疑いが日月に蓄積されます。身動き取れない状態から行動するには勇氣が必要になります。

日月の文字は「陽日と陰月」、「火日と水月」、「火水」を意味します。陰陽五行と言うように、地上世界は「二元性」に分ける習性がありますが、靈的世界は一元性の世界です。一元性とは、すべての本質は「大靈」を根源、原理にしているということです。日月のソルフェジオ音叉の基音（ホームトーン）は「285Hz」であり、二元性を一元性に導くために必要な周波數です。

脾臓、虫垂、盲腸は、「宇宙から調和のとれたエネルギーの直接入ってくる臓器、器官」です。その脾臓を刺激する經穴が章門であり、靈的エネルギーが入るゲートです。その靈的エネルギーを阻害するものは「恐怖心」であり、人類最大の敵になります。

> 恐怖心こそ人類最大の敵です。恐怖心は人の心を蝕みます。恐怖心は理性を挫き、枯渇させ、マヒさせます。あらゆる苦難を克服させるはずの力を打ちひしぎ、寄せつけません。心を乱し、調和を破壊し、動揺と疑念を呼びおこします。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（一）』p.61

人間は不測の事態を常に不安に思いながら生きています。それは急激な現象の變化がいつでも起こりうることを本質的に認識しているからです。病氣、事故、近親者の死などは特に人生の色相を一瞬にして塗り變える否定的な現象として不安の対象となっています。これらの衝撃は心身の平衡を保つことを困難にしがちです。

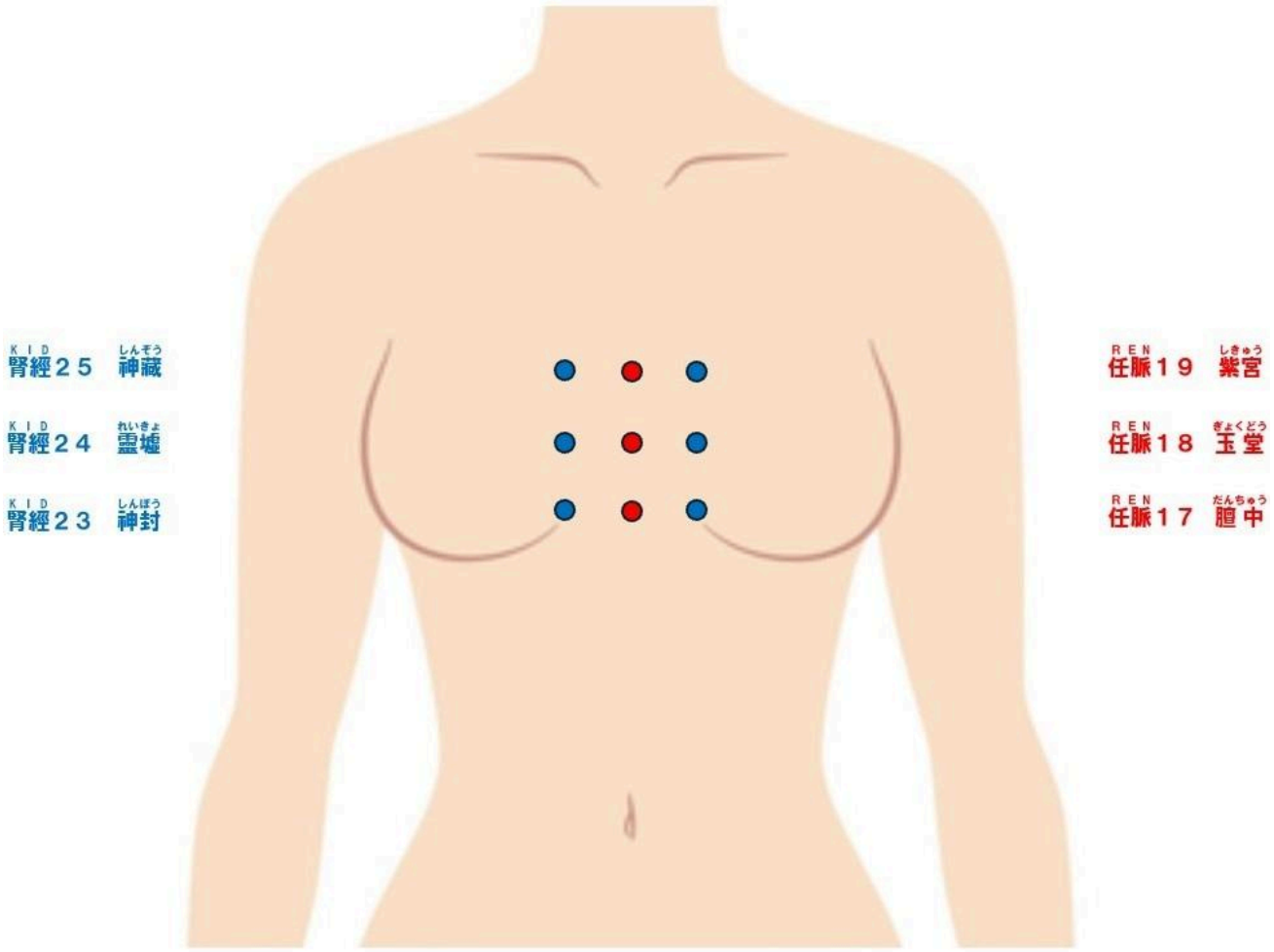
東洋醫學の思想で脾臓は「不安」の感情を司っていますが、章門の經穴への刺激は、宇宙から調和のとれたエネルギーを肉體に直接注入することで、内なる静寂と安心感、宇宙のサポートへの信頼感を与えてくれます。

大腸の募穴である天樞は、天と地のエネルギーが體内で交わるスポットです。樞は中樞など、中心を意味する文字です。天樞は、胃經のルートとして唯一頭と繋がっているルートであり、「潜在意識」と「顯在意識」を繋ぐ經穴であり、ぐるぐる思考の方に特に有効な經穴です。

この經穴は、天と地のエネルギーをひとつに統合し、カラダに取り込むのをサポートします。肺のエネルギーともリンクしており、ガス、膨満感、消化不良、腸の痙攣（鋭い腹痛）、下痢、倦怠感など、あらゆる消化器系の問題に役立ちます。疲勞にも有用で、地のエネルギーを天のエネルギーで満たします。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

心臟（ハート）のエリアの經穴（ツボ）の意味について



胸まわり、「心臟」と「心臟腦」のエリアには、「地上世界に誕生する前に決めてきた人生の青写眞（ブループリント）」が刻まれています。この圖形（ずけい）が「算命學（さんめいがく）の人體星圖（じんたいせいず）」と似ているのは偶然ではありません。古代中國（ちゅうごく）よりの占星術である紫微斗數（しびとすう）、算命學（さんめいがく）などの占星術は、「北極星」と「北斗八星」を基にした星圖（せいず）であり、人生の青写眞（ブループリント）を讀み解くための叡智でした。

天體（てんたい）の叡智が人體（じんたい）に反映されている、これが宇宙の眞理であり、人間は大靈（たいれい）に似せて造られた存在という神祕を感じます。この心臟、心臟腦を開く三大奥義が「水晶宮（クリスタルパレス）」、「仙骨八仙洞」、「奇經八脈」、そしてすべてを統合した最終奥義である「北斗八星ヒーリング」になります。すべては「靈の心（心臟腦）と肉の心（大腦）」を一致させ、「天命の九十（こと）始め」のために存在します。

人體星圖と心臟のエリアの經穴

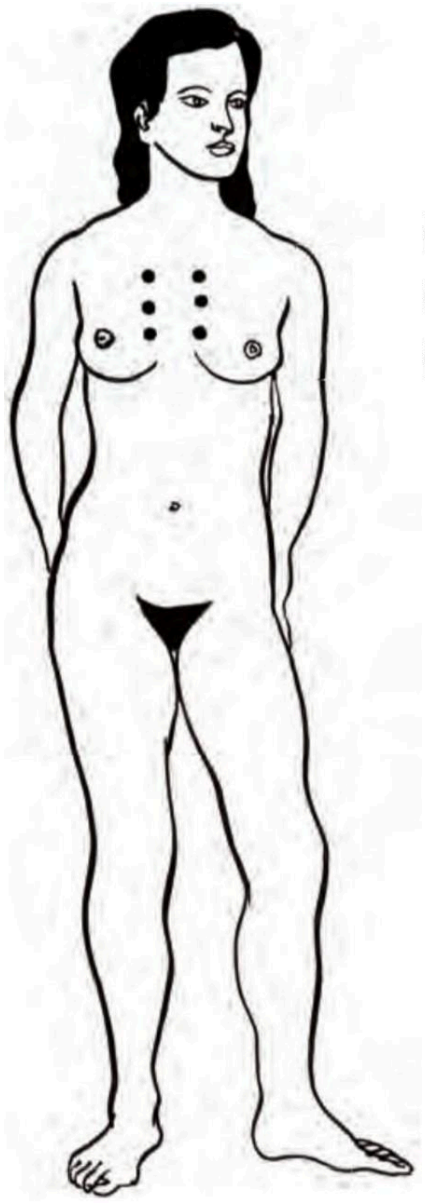
右、神藏（任脈） 前世	紫宮（衝脈） SEPOUW 背後靈	左、神藏（督脈） 幼少期
右、靈墟（陰維脈） 家族との人間關係	玉堂 自分自身の靈、靈の心 EXA PIECO	左、靈墟（陽維脈） 社會との人間關係
右、神封（陽蹻脈） 晩年期	膻中（陰蹻脈） 兩親	左、神封（帶脈） 中年期

神藏は先天的な能力、持って生まれた資質や才能に關係する經穴であり、靈墟は人間關係（左が社會での人間關係、右が家族での人間關係）を表す經穴であり、神封は今世で後天的に培ってきた經驗、氣づきと學びが蓄積された經穴です。

また、紫宮が「背後靈（靈的世界の神の代理人）」、膻中が「兩親（地上世界の神の代理人）」を表し、玉堂が「自分自身の本質」を表します。玉堂こそが、天地を統合する經穴であり、これらは「人生の羅針盤」として生きる指針になる叡智です。

心臟を活性化させ、靈の心と繋がった状態で地上世界に生きることが生命の調律の目的です

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



人間の本質は「靈」であり、肉體(にくたい)は従者です。靈の心(心 臟 腦)は靈體(れいたい)と潜在意識(腸)に深く關わっているので、「腸心マップ」にも反映されます。

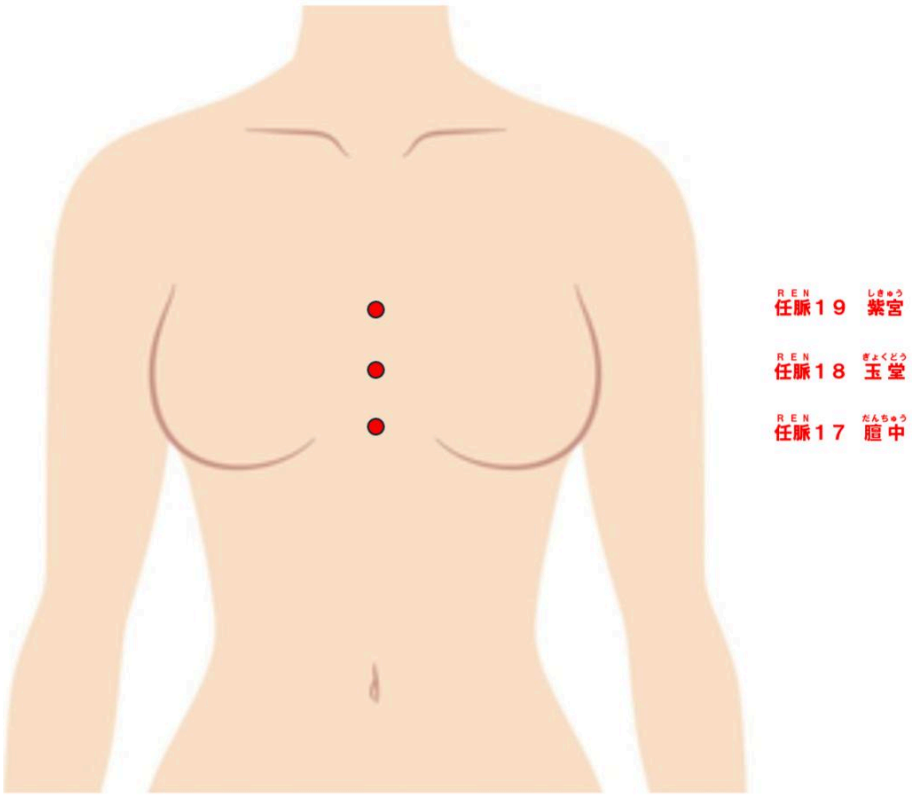
「Remember your Ancient Wisdom」
(古 代 の 叡 智 を 思 い 出 せ)

人體星圖(じんたいせいず)として神藏(しんぞう)、靈墟(れいきょ)、神封(しんぽう)の經穴(ツボ)を活用することが基本であり、占星術などと組み合わせることで人生の羅針盤として３つの經穴(ツボ)は眞価を發揮します。

神藏(しんぞう)、靈墟(れいきょ)、神封(しんぽう)の「腎經の３つの經穴(ツボ)」が前世、胎内記憶、幼少期、中年期、晩年期の人生の青写眞(ブループリント)を記憶していること、そして家族や社會(しゃかい)とのコミュニケーションにも影響を与えていることを知ることは、心臟(ハート)の力に氣づくことの大切さに繋がります。

それは、「靈の心(心 臟 腦)に基づく直觀力」と「心臟(ハート)に基づく直感力」を呼び覺ますことです。個々の感じる力を取り戻す必要があるのです。それを促すために必要な３つの經穴(ツボ)になります。現代人は人間が本來備えている正しい感覺、感性を失ってしまっているのです。

音と周波數の神祕を正しく活用することで、本來の心臟腦(EXA PIECO)や大腦(DIKAG)の活力を取り戻し、固定化されてしまった思考から新しい思考への變容(へんよう)を促します。何のために生まれ、何のために生きるのか、自分自身とは何者か、生まれる前に決めてきた地上世界での靈性の進化を果たすために何が必要なのか、その情報が詰まった部位になります。



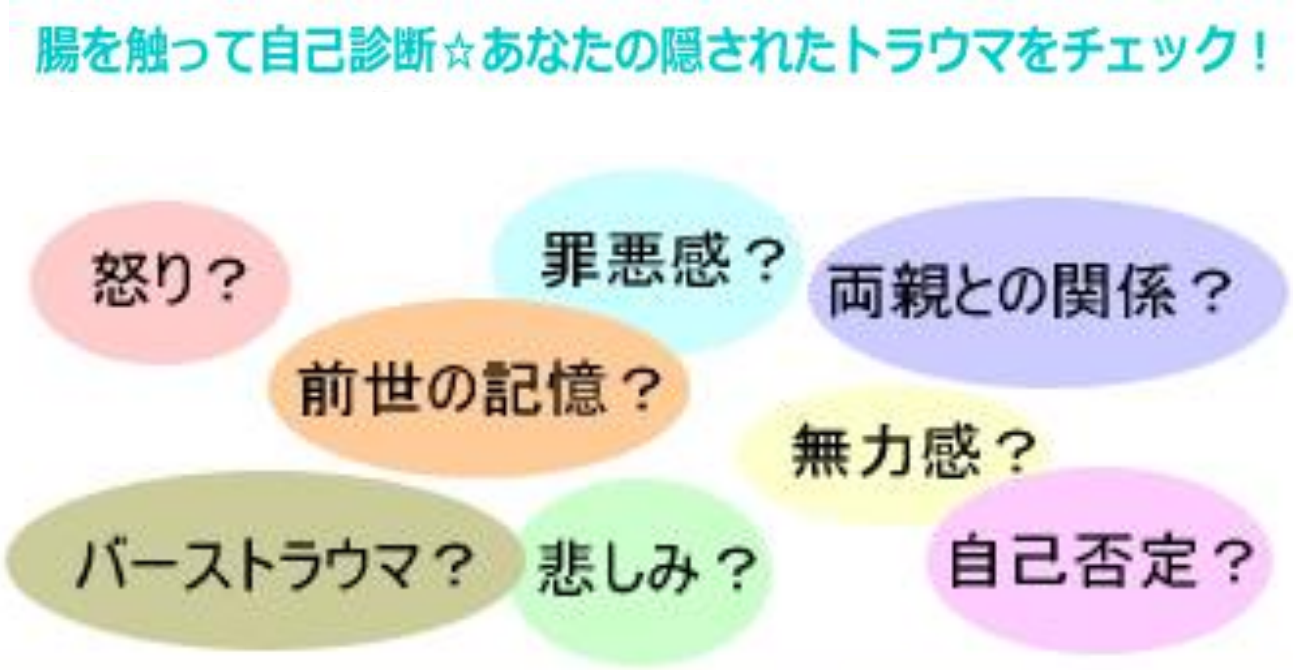
紫宮(しきゅう)は第８チャクラ「アンタスカラーナ・チャクラ」であり、第７チャクラ「サハスラーラ・チャクラ」と連動し、背後靈(SEPOUW)との通信の要の經穴(ツボ)です。地上人は必ず守護靈がおり、指導靈と共に地上人を靈性の進化の方向に導こうと努力しています。そのガイダンスを受け取るための重要な經穴(ツボ)です。

膻中(だんちゅう)は第４チャクラ「アナハタ・チャクラ」であり、第１チャクラ「ムーラーダーラ・チャクラ」と連動し、両親との關係、幼少期に關係した經穴(ツボ)です。膻中(だんちゅう)はハートの宮殿と呼ばれ、エネルギーを開放し、胸の詰まりを取り除き、赤ちゃんの頃のような安心感を取り戻すことが出來ます。

過去のトラウマによって、必要なものを受け取ることができなくなり、エネルギー的に遮斷されている状態の時に使います。先祖代々のテーマと深く關わる經穴(ツボ)になり、世代間のパターンを乘り越えるための叡智が眠っています。家族間の問題を解決に導くために重要な經穴(ツボ)であり、それには「眞の感謝」が關係してきます。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

腸心マップにより、自分自身の隠された感情と向き合う

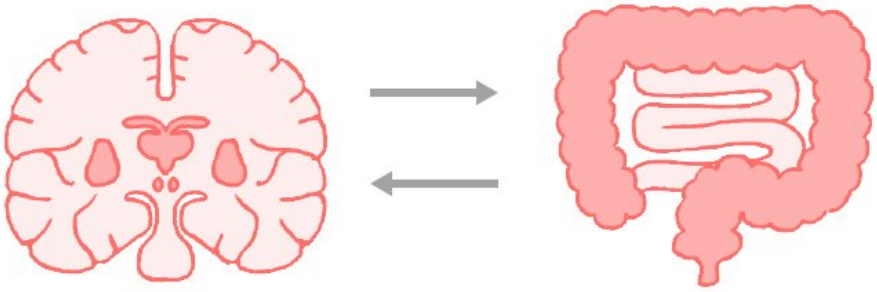


お腹（※腸）は、入門編からマスター編まで一貫して使う基本です。その理由は、「腸心マップ」を通して潜在的に眠っている感情のチェックを通して生命（いのち）の調律をしていくからです。お腹の募穴（ぼけつ）を含め、腸心マップがセルフヒーリングの指針になります。

東洋醫學（いがく）の經絡のメカニズムでは、腸は陰、腦は陽の働きをしています。お腹は温めろ、頭は冷やせ、かつての日本人はそうした大切なことを知っていました。頭寒足熱（ずかんそくねつ）という諺（ことわざ）がありますが、お腹や足は温める必要があるのは古來よりの知恵なのです。

腸は潜在意識（ＦＩＫ）、腦は顯在意識（ＤＩＫＡＧ）と言われており、腸と腦は切り離せない關係性です。身體（しんたい）は潜在意識（ＦＩＫ）ありきで働いており、顯在意識（ＤＩＫＡＧ）は肉體（にくたい）のコントロールの中樞ですが、身體（しんたい）すべてをコントロールしている訳ではありません。

靈體（れいたい）も含めた生命維持の要は「腸」であり、腸は靈體（れいたい）をコントロールしています



「腑に落ちない」の「腑」とは、
はらわた、つまり、胃や腸のこと。
感情と胃腸が関連していることが
ことわざからもわかる。

日本語には「腹」や「はらわた」といった言葉を使った表現が沢山あります。また、各國(かっこく)の言語でも「腸」が感情を表すといった表現が存在しています。それは、生命體(せいめいたい)としての本能的なものを古代より人間は氣づいていた証拠でもあります。

日本語でお腹を表す言葉

→腹が立つ→はらわたが煮えくり返る

→腑に落ちる

→腹黒い

→裏腹

→腹を割って話す

→切腹（名譽(めいよ)のため潔白を証明したとの説）

英語でお腹を表す言葉

→GUTS（腸、根性、ガッツ、精神、感情）

→have guts（腹がすわっている）

→gut feeling（直感）

ドイツ語でお腹を表す言葉

→aus dem bauch entscheiden「直感で決める」

→Suhmetterlinge im bauch haben「胸がドキドキする」（※直訳：お腹の中に蝶々がいる）

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

わたし達の身體(しんたい)構造は、靈(心臟腦)の心と肉(大腦)の心を「細胞的知性(ニューロン)」が複雑にネットワークを形成し、思考、記憶、感覺、運動など、身體(しんたい)のあらゆる機能を維持しています。そうした身體(しんたい)の仕組みを「潛在意識(FIK)」といいます。

日常生活において必要な機能の多くは自動的であり機械的です。筋肉、神經、細胞、繊維等々がいったん「靈(心臟腦)の心→肉(大腦)の心→肉體(にくたい)」と、細胞的知性(ニューロン)が指示を受け、さらに連繫的に働くことを覺えたら、その後の繰り返し作業は潛在意識(FIK)に委託されます。

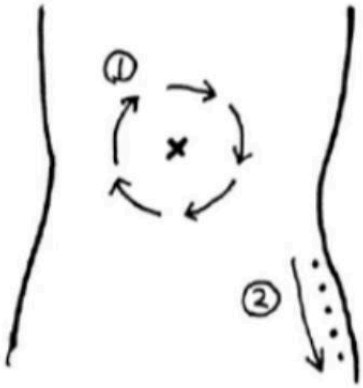
たとえば、物を食べるとき皆さんは「無意識」の内に口を開けています。それは、アゴが動く前にそれに關連した神經やエネルギーの相互作用があったことを意味します。精神の媒體(ばいたい)である肉(大腦)の心から細胞的知性(ニューロン)を通して神經的刺激が送られて、それから口を開け、物を入れ、そして噛むという一連の操作が行われます。

これらは「細胞的知性(ニューロン)（潛在意識(FIK)）」がすべてが自動的に行っています。赤ん坊の時はその一つひとつを意識的にやりながら身體(しんたい)に記憶していく必要がありました。しかし成長したらいちいち肉(大腦)の心で考えないで純粋に機械的に行います。人間の身體(しんたい)上の、そしてかなりの程度の精神的機能も、大部分を潛在意識(FIK)がコントロールしています。

その潛在意識(FIK)をコントロールしているのが「膵臟」と「腸」なのです。腸にアプローチすることは、大腦の記憶以上の古い記憶まで辿ることがあり、潛在意識(FIK)は過去の記憶を管理する「倉庫番」みたいなものです。

大腦を通した顯在意識(DIKAG)では忘れてしまっている記憶でも、腸を通した潛在意識(FIK)はすべてを記憶しています。いくら表面を取り繕っても、内面の腹にはその人間の本性がしっかり刻まれており、嘘や僞りは通用しません。なので、腸心マップを通して自分自身の隱されていた感情と向き合うことが大切になります。

腸のマッサージを習慣にしよう



① 小腸もみ

あお向けに寝た状態で、左のイラストのように、おへそのまわりを両手の指の腹の部分で押しもみしていく。硬く張りのある場所は重点的に行うこと。

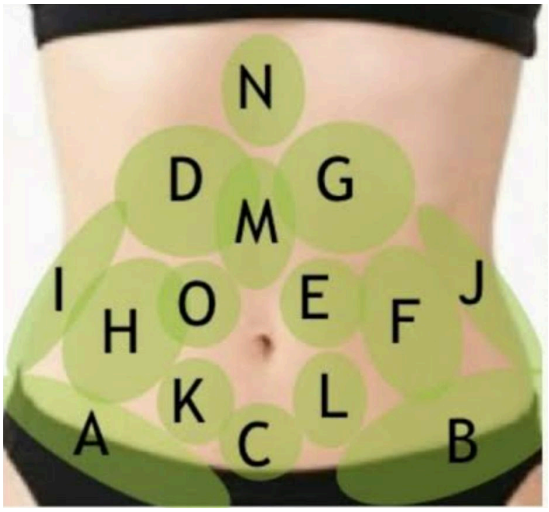


②大腸もみ

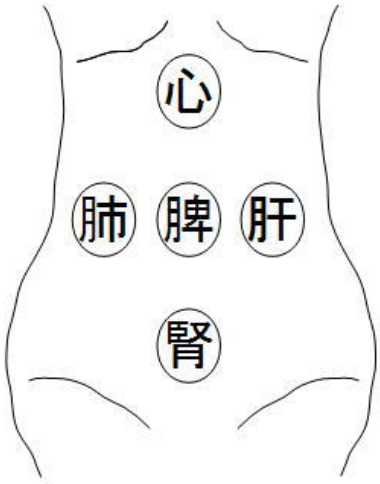
あお向けに寝た状態で右ひざを左ひざに乗せて右側に倒し、左わき腹が上に反る状態にする。この左わき腹の一帯を、左手でゆっくりもんでいく。

そして、「腸マッサージ」を習慣にすることを唱えている方々がいらっしゃいますが、当テキストでは「音叉で腸マッサージ」をすることをオススメします。腸をマッサージすることは、幸せホルモンである「セロトニン」を分泌させ、心を落ち着かせる効果があるからです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



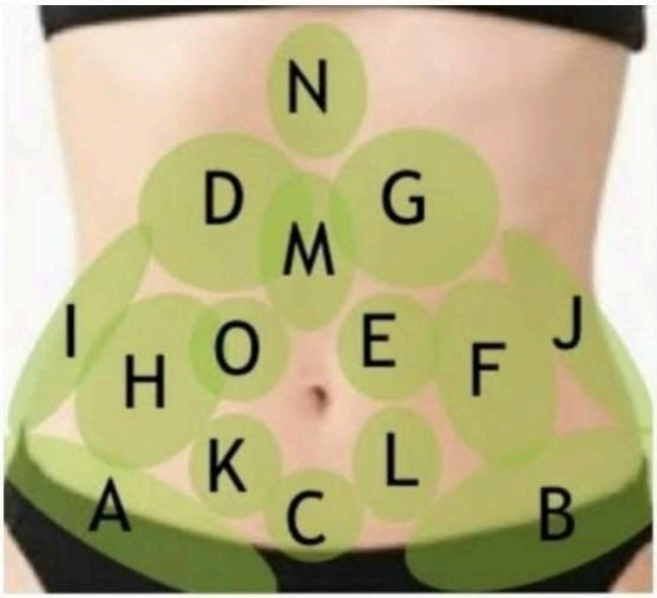


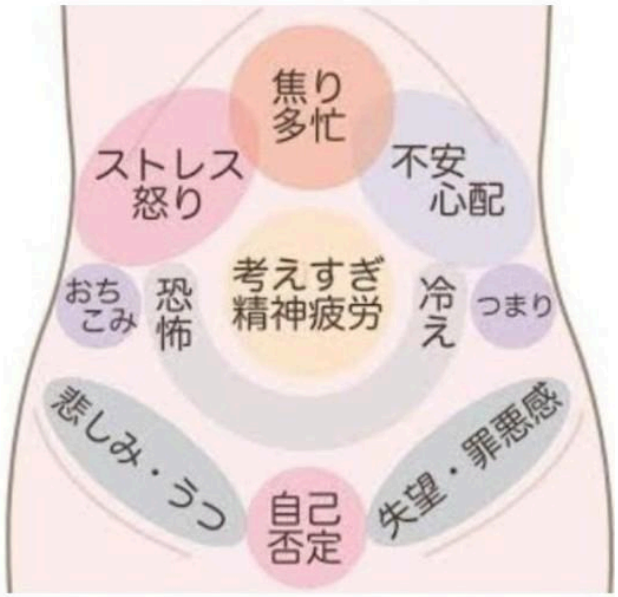


記号	奇經八脈	ソルフェジオ周波數	どのような感情が眠っているか
A	任脈	528Hz＋639Hz	感情のコントロールが出來ない、低い自尊心、自己否定
B	帶脈	417Hz＋741Hz	他責、依存心、慾求不滿、慾望、対立
C	任脈	174Hz＋417Hz	自信、無力感、頑固さ、誇り
D	陰維脈	417Hz＋528Hz	心配、受け入れられない、見捨てられ感、非難
E	陰維脈	639Hz＋741Hz	自分への怒り、失敗、喜びすぎ、苛立ち
F	帶脈	285Hz＋396Hz	怒り全般、憎しみ、憤り、落胆
G	陽維脈	639Hz＋963Hz	不安、焦燥、絶望、無力感、混乱、パニック
H	陽蹻脈	396Hz＋417Hz	悲しみ全般、裏切り、蔑ろな扱い、悲痛、拒絶
I	督脈	285Hz＋528Hz	最近のストレス、三ヶ月以内の生活習慣など
J	衝脈	174Hz＋285Hz	慢性的ストレス、繼續的な生活習慣
K	陰蹻脈	741Hz＋852Hz	悲しみ、罪惡感、実らない愛、傷つきやすさ、無価値
L	陽蹻脈	528Hz＋852Hz	罪惡感、嫌惡、神經質
M	陽維脈	852Hz＋963Hz	決斷力、実らない努力、決められない、創造性の欠如
N	陰蹻脈	396Hz＋639Hz	緊張をともなうストレス
O	衝脈	396Hz＋528Hz	孤独、屈辱、心痛、対立、支援なし

基本的には、腸心マッピングで自分自身の「カラダの声（潜在意識）」(F I K)を聽く、感じる、そしてそれに対應(たいおう)したソルフェジオ音叉の組み合わせを耳元で鳴らしていくことで感情を解放していきます。

【腸心マッピング】





A　感情のコントロールが出来ない、低い自尊心、自己否定　「528Hz+639Hz」

ここは「自己否定」に繋がる感情が溜まりやすい場所です。自分のことがあまり好きではなかったり、自分を大切にすることが苦手だったり、綺麗に着飾ることに抵抗をおぼえたり。奥深い部分には、幼少期の両親との關係性が隠れていることも多く、「あまり大事にしてもらえなかった」「褒めてもらえなかった」といったトラウマが潜んでいる可能性があります。ここを解放することで、自分のことが好きになっていき、より自分らしく振る舞えるようになっていきます。

B　他責、依存心、欲求不満、欲望、対立　「417Hz+741Hz」

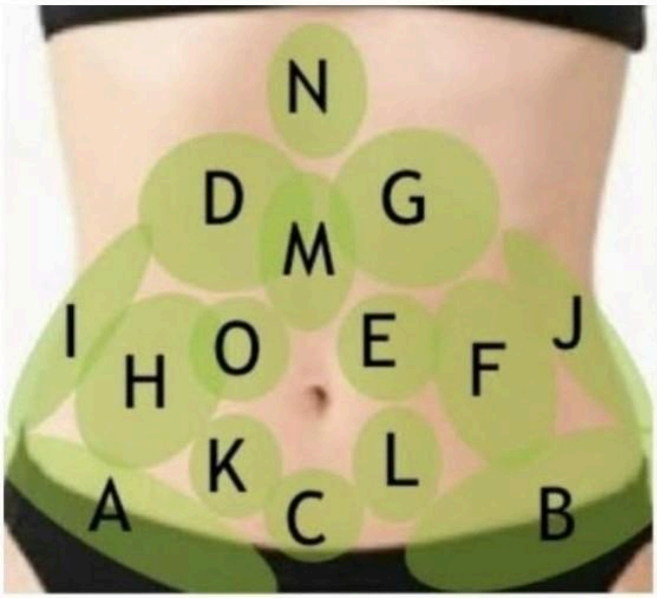
ここは、「他者への怒り」に繋がる感情の體驗(たいけん)や過去の記憶が溜まりやすい傾向にあります。怒りの中でも、特定の誰かといった風に、怒りの対象がはっきりしていることが多いです。苦手な人がいる、嫌いな人がいる、過去に嫌なことをされて、現在も忘れられない人がいる、誰かのことを恨んでいる、そうした感情が眠っています。また、怒りの背景に依存心が隠れている場合もありますので、奥深いところには、「誰かに期待して裏切られた」「誰かの言いなりになって失敗した」といったトラウマが潜んでいる可能性があります。ここを解放することで、他者を責める氣持ちや依存心が薄れ、毎日のイライラが減っていきます。

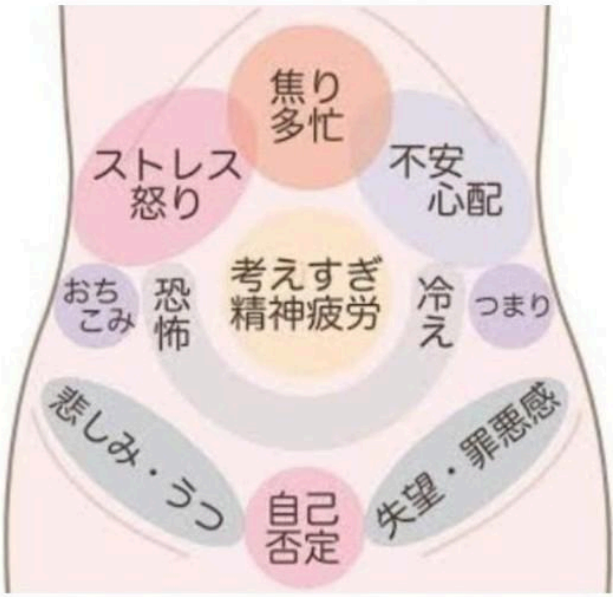
C　自信、無力感、頑固さ、誇り　「174Hz+417Hz」

ここは自身の「アイデンティティー」に直結する場所です。プライド（自尊心）やアイデンティティー（自己の存在）を傷つけられた記憶やトラウマが溜まりやすく、ここが固い人は、それらの體驗(たいけん)から自分に自信がなかったり、存在を否定されるかもしれない恐怖心で思い切った行動を起こせないといった傾向があります。また、ここには胎児期の記憶やバーストラウマ、過去世の記憶なども眠っています。ここを解放することで、自分自身の本質と繋がり、自分に自信を持って生きていけるようになります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【腸心マッピング】





お腹を触るだけが腸診の方法ではありません。筋肉反射（キネシオロジー）テスト、ダウジングなども腸診の方法として有効であり、様々な方法で眠っていた感情を自覚することが大切です

D　心配、受け入れられない、見捨てられ感、非難　「417Hz+528Hz」

モヤモヤした感情、思わず溜息をつきたくなるような感覚が溜まりやすい場所です。精神的な疲労（ひろう）が積み重なった結果、氣分の浮き沈みが激しくなっていたり、鬱っぽい症状が出たりしているかもしれません。また、夜中に目が覚める、または逆に寝過ぎてしまう傾向がある時、集中力が落ちたり、疲れやすい、何もやる氣が起きないといった時にも強く反應（はんのう）します。このあたりは、「人から受けいれられなかった」「愛されなかった」という思いや、「できて当然と思っていたことで失敗」したり、「自分を否定された」、「失敗を責められた」といった經驗やトラウマが溜まりやすい場所です。そのため、何かにチャレンジする氣持ちや積極性が失われています。ここを解放することで、モヤモヤした氣持ちが薄れ、精神面が安定し、もう一度行動を起こす氣力が戻ってきます。

E　自分への怒り、失敗、喜びすぎ、苛立ち　「639Hz+741Hz」

ここは「自分に対する怒り」の感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、自分を許せないという氣持ちが強く、自分を厳しく罰しようとする傾向があります。それが原因で、本当にやりたいことを我慢してしまったり、「こうあるべき」と自分を制限したり、自分が幸せになることに対してのブロックを抱えていることもあります。また、世間の常識や一般論に当てはめて、「こうあるべき」「～せねば」という思いが強い傾向もあり、それが出來なかった場合にも自分自身を許せない、自分自身の失敗を厳しく罰してしまいがちです。幼少期から両親に厳しく育てられた人も多いようです。ここを解放することで、もっと自由に好きなことを出來るようになっていきます。

F　怒り全般、憎しみ、憤り、落胆　「285Hz+396Hz」

ここは「漠然とした怒り」の感情やトラウマが溜まりやすい場所です。対象物が割とはっきりしない、社會全體への不満、不公平さや不平等さといったものに対する怒りなどです。怒りっぽい人や、いつもイライラしている人も陶然と反應します。ところが、これらの怒りは「正義感」からくることも多いので、ここが固い人は、實は心が優しい人も多いです。そのため、表面上はいつもニコニコ穏やかで、怒りたいときに我慢したり、怒らないように振る舞ったり、怒りの感情を外に出すことへの抵抗がある場合も反應します。しかし、外に出さずに解放されなかった怒りが、ある一定量を超えると「キレる」という形で表れることもあるので注意が必要です。そとでは不満をもらさない分、家庭内ではグチっぽくなったりキレやすくなったり、お酒が入ったら豹變することもありえます。ここを解放することで、心が穏やかになり、感情的にならない自分に近づいていきます。

G　不安、焦燥、絶望、無力感、混乱、パニック　「639Hz+963Hz」

ここは「不安」や「焦燥感」に關わる感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、目標が高く、自分からハードルをあげてしまう傾向があり、完璧主義で適当に物事をやり過ごすことが苦手な場合が多いようです。「過去に大きな失敗をした」「親から過剰に期待されて育った」などのトラウマを抱えているかもしれません。「失敗しないように」とか、「すべてを上手くやらなければいけない」といった氣持ちが強く、新しいことに挑戦する一歩がなかなか踏み出せない傾向にあります。また、一度にたくさんのことが起こったり、やらなければいけないことが同時にたくさんやってくると、焦燥感に襲われたり、処理しきれなくなって余計に焦ってしまいがちです。ここを解放することで、不安感が薄れ、失敗を恐れずにチャレンジできるようになっていきます。

H　悲しみ全般、裏切り、蔑ろな扱い、悲痛、拒絶　「396Hz+417Hz」

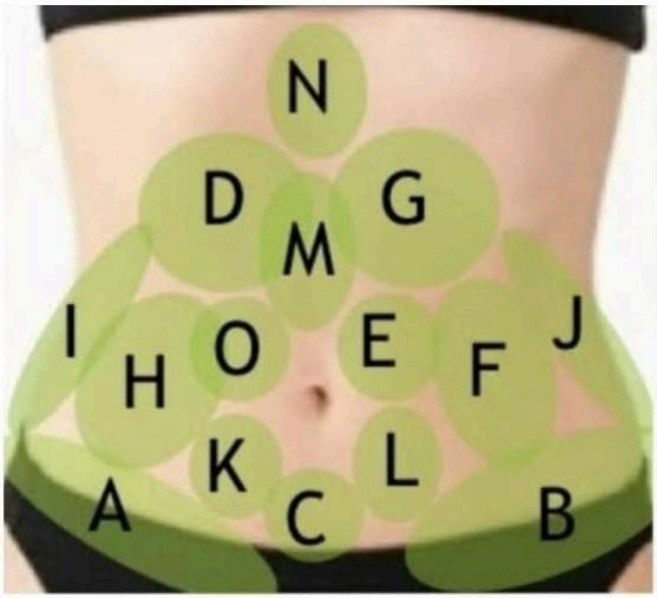
ここは「悲しみ」の感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここには、近しい人との死別、裏切られたという想い、失戀、大切なものを失った經驗、仲間はずれ、自分のしたことに対して評価されなかったことなどのトラウマが多く潜んでいます。ここが固くなっている方は、思い出すだけで涙が出るような體驗や、胸が締め付けられるような經驗をたくさんしている傾向にあります。しかし、周りに心配かけたくないという思いなどから、人前では泣くことを我慢したり、本当は傷ついているのに平氣な顔をしてみたり、もっと悲しくなるのを避けるために自分の感情を閉じ込めてしまったりと、自分の感情と向き合うことが得意ではありません。ここを解放することで、悲しみの感情が薄れ、一歩距離を置いてそれらの經驗を冷静に見つめることが出來るようになっていきます。

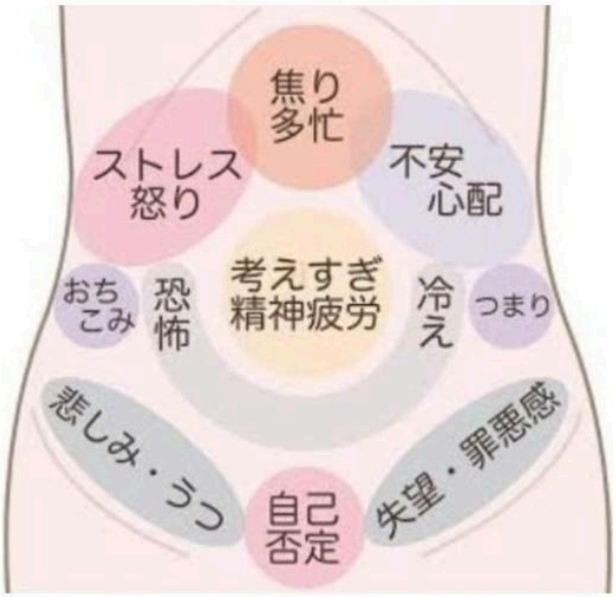
I　最近のストレス、三ヶ月以内の生活習慣など　「285Hz+528Hz」

ここは「最近のストレス」が溜まっています。悪性の電磁波や音、食習慣などの乱れなどによる最近の無意識のストレスが溜まっている場所でもあります。感情面ならば、ごく最近に何か嫌な思いをした經驗があったり、いま現在なんらかの悩みを抱えている状態である可能性があります。まだ無意識化（トラウマ化）されずに、ご本人の表層意識でも十分に認識が可能です。ストレスも早めに対処が肝心です。一説では、心理的ショックは 72 時間經過するとトラウマ化していくそうです。ご自身で認識できているうちに解消してしまいましょう。ここを解放することで、ここ最近のストレスが解消されていき、氣分が樂になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【腸心マッピング】





アドバイス：お腹への音叉は、ソルフェジオ音叉と組み合わせて使うのが効果的です

J　慢性的ストレス、継続的な生活習慣など　「174Hz+285Hz」

ここは「慢性的・長期的ストレス」が溜まりやすい場所です。特に家族關係や職場などの人間關係のトラブルで、長期間にわたり継続的にストレスがかかっている場合に強く反應します。ご夫婦などのパートナーシップの問題や、親子關係、上司や部下の關係、同僚とのチームワーク、クラスメイトや友人との關係性の中で、神經を使いすぎていたり、ずっと我慢を強いられているといった状態にあるかもしれません。または、ずっと忙しく、カラダや神經を酷使し續けて、精神的な疲れがかなり溜まっている可能性もあります。放置しておくと、より深刻化する恐れもありますので、早めに対処することが大切です。ここが解放されることで、人間關係でストレスに感じることが減り、心の疲勞も解消していく効果が期待できます。

K　悲しみ、罪惡感、実らない愛、傷つきやすさ、無価値　「741Hz+852Hz」

ここは「自己犧牲的な感情」やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、とても優しい心を持っている人が多い傾向にあります。困っている人を助けてあげたいという想いから、苦しんでいる人に何もしてあげられなかったりした時に、「自分は役に立たない」「無力な人間」という風に思ってしまったり、また、その罪惡感から自分より他人を優先する生き方をしてしまっている可能性があります。セラピストや看護師、ボランティアに従事している人などに多い腸相です。ただ、その背景には「人に好かれたい」という感情が隠れていることもあります。また、他人の役に立っているということが、自身の存在意義に繋がっているケースも見られます。人のために働けることは素晴らしいことですが、あまりに自己犧牲的になると大きなストレスとなってしまいます。ここを解放することで、ちょうど良い距離感での人助けが出來るようになっていきます。

L　罪悪感、嫌悪、神經質　「528Hz+852Hz」

ここは「罪悪感」に關する感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、過去に悔やまれる失敗や、いつまでも後悔してしまうような體驗がたくさんある傾向にあります。どうしようもなかったことであっても、いつまでもクヨクヨし續けたり、自分に非のないことでも、「自分も悪かったのではないか？」と何でも自分のせいにしようとして、必要以上に過去を振り返って自分を責める傾向にあります。また、過去への後悔から、「もっとうまくやらなければ」と、常に自分を追い込む癖がある人も多いようです。それらの背景には「自分は駄目な人間だ」という思い込みが隱れている可能性があります。ここを解放することで、昔のことばかり思い出したりクヨクヨすることが減り、過去にとらわれることなく「今」を大切にできる自分に近づいていきます。

M　決斷力、実らない努力、決められない、創造性の欠如　「852Hz+963Hz」

ここは「決斷力の欠如」に繋がる感情やトラウマが溜まりやすい場所です。「自分にはあと一歩何かが足りない」「やりたいことが何か分かっているけれど、なかなか前へ進めない」「決めなくてはいけないことがあるけれど、決めかねている」といった想いがある傾向にあります。また、あれこれ迷ってしまって一つのことを選べない、といった優柔不斷なところはありませんか？ここを解放することで、本來の自分自身への扉が開き、意思や思考が明確になり、決斷力がついていきます。

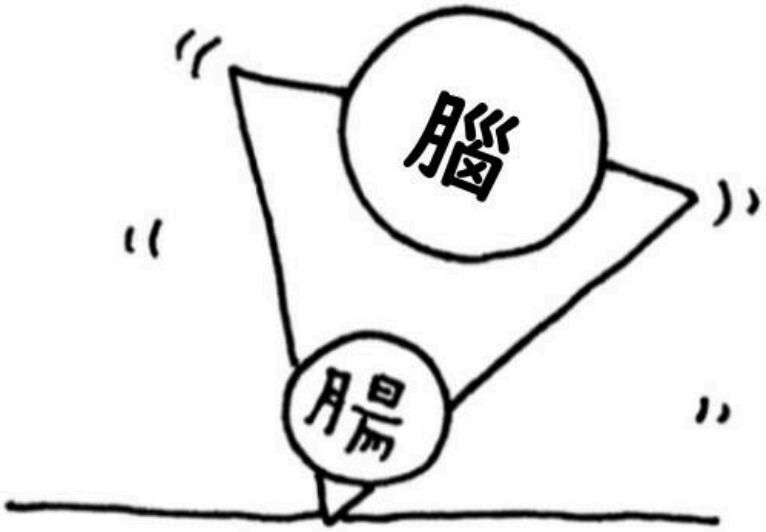
N　緊張をともなうストレス　「396Hz+639Hz」

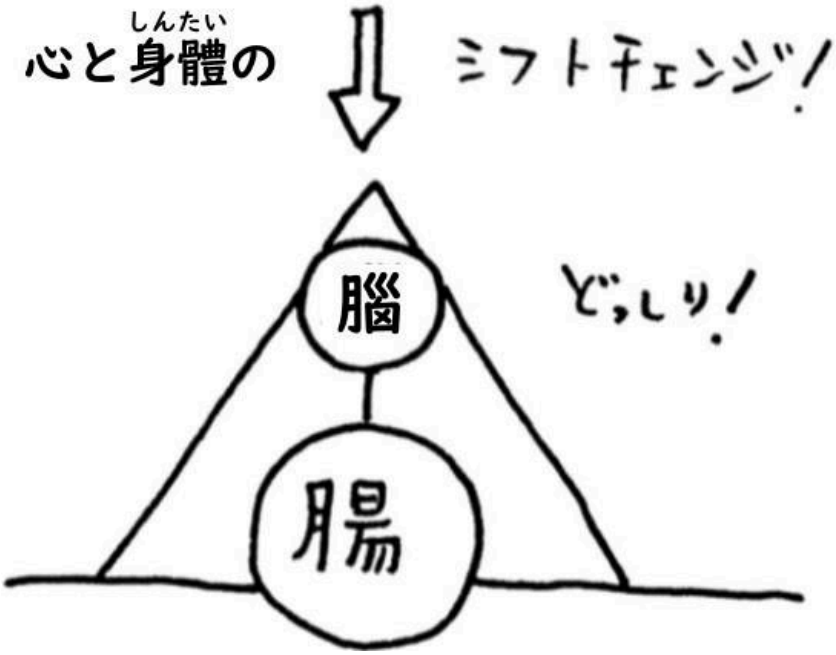
ここは、「緊張をともなうストレス」が溜まりやすい場所です。元々、緊張しやすかったり、人前に出るとあがってしまうといった性質の人、プレッシャーに弱い人などが反應します。または、近い將來に大きな仕事や大事なスポーツの試合、大切な受驗などが控えていたり、今まさに緊張を強いられるような環境（仕事や作業)に身を置かれている状況でも反應します。それ以外にも、職場の上司や苦手な人など、緊張を強いられる人間關係が續いている場合なども反應します。ここを解放することで、緊張が薄れ、色々な物事に安心して取り組みやすくなるでしょう。受驗、試合、大事なお仕事などで、本來の自分の力を發揮することにも繋がります。

O　孤独、屈辱、心痛、対立、支援なし　「396Hz+528Hz」

ここは「他者から与えられた傷」による感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、他者による影響（コントロール）によって、本來の自分を發揮したり、自由に行動したり、自然な感情の表現をすることが出來なくなっている可能性があります。過去に家族や友人から「理不尽な攻撃」を受けたことがあったり、誰かに無理やり従わされたり、好きなことをさせてもらえない、相手を怒らせないように氣を遣い續けていたなどの體驗がある可能性が高くあります。また、こういった經驗から「被害者意識」が溜まっている可能性があり、「被害者意識のままでいる＝他者の影響化に居續ける」ということにも繋がります。ここを解放することで、他者のコントロールから脱却し、他人の顔色を見ることもなくなり、自由に自分の感情を表現したり行動したりできるようになっていきます。

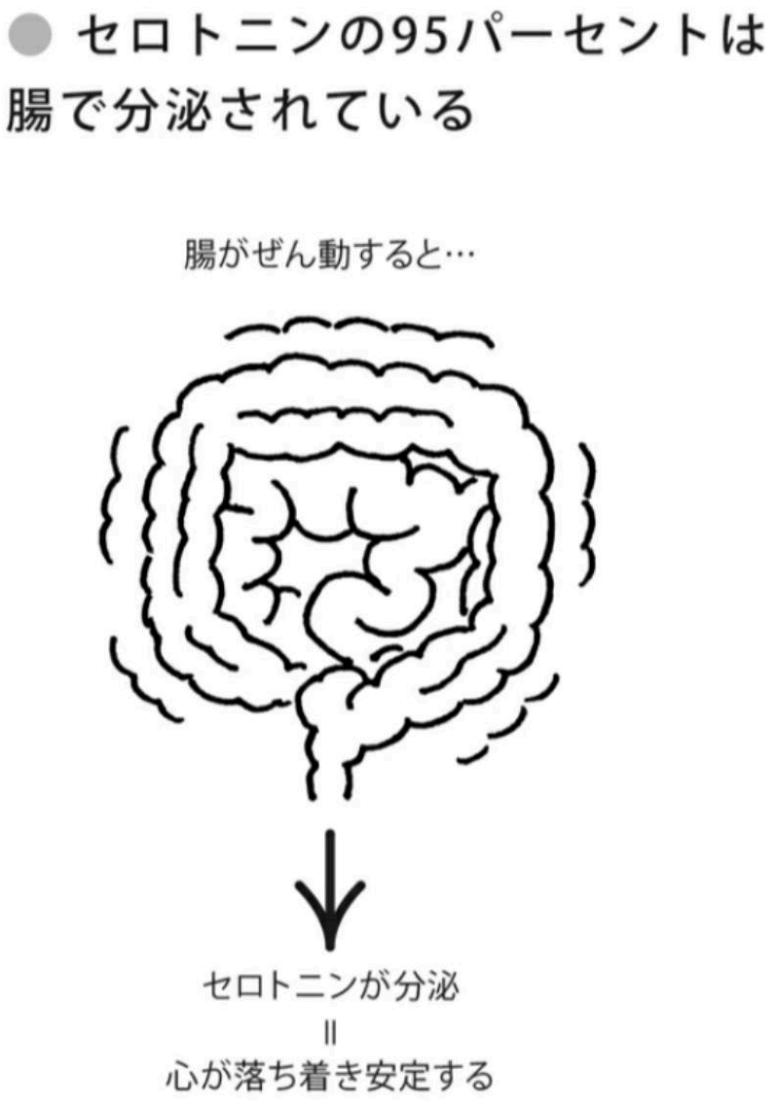
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます





古方漢方家の奥田鳳作は、『長沙腹診考』において、「万病は多くの原因によると言っても、腹侯をもって準則とすれば、全體を総て漏らすことがない。これゆえ病を診察するときに、腹をうかがって病毒の所在を知るのが、古の道である」と述べています。

また、吉益東洞は『醫斷』にて、「腹は生有るの本であり、百病はここに根ざす」と言い、『東洞遺稿』にて「まず胸腹の病體を診察して後に、処方が定まる」と言い、『東洞遺書』に「腹侯を詳らかにしなければ、方を処すことはできない」と言っています。



病を診察するには、まず腹をうかがうべきであり、他の証は二の次であり、腹侯(ふくこう)が明らかにならなければ、他の証を詳らかにすることは出来ないと江戸後期の治療家から言われており、腸心マップで自分自身を診斷することの大切さに繋がるお話です。

心のシルバーコードは松果體(しょうかたい)にあり、EXA PIECO の心、D I K A G 肉の心の２つの心を繋いでいます。そして、２つの心から形成される身體(しんたい)のシルバーコードは太陽神經叢(しんけいそう)にあり、靈體(れいたい)は腸全般、肉體(にくたい)は脳全般が管理、コントロールして、身體(しんたい)を構成しています。脳は肉體(にくたい)を管理する司令塔であり、腸は靈體(れいたい)を管理する司令塔という違いがあるのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

お腹のセルフヒーリングの施術方法

お腹のセルフヒーリングの方法は、正直なところ、様々な方法があるのでメソッドじたいは氣にしなくても構いません。それよりも、腸心マップによってどこに隠されていた感情があるのかを知り、その感情に光(ひかり)を当て昇華できるかがポイントてす。

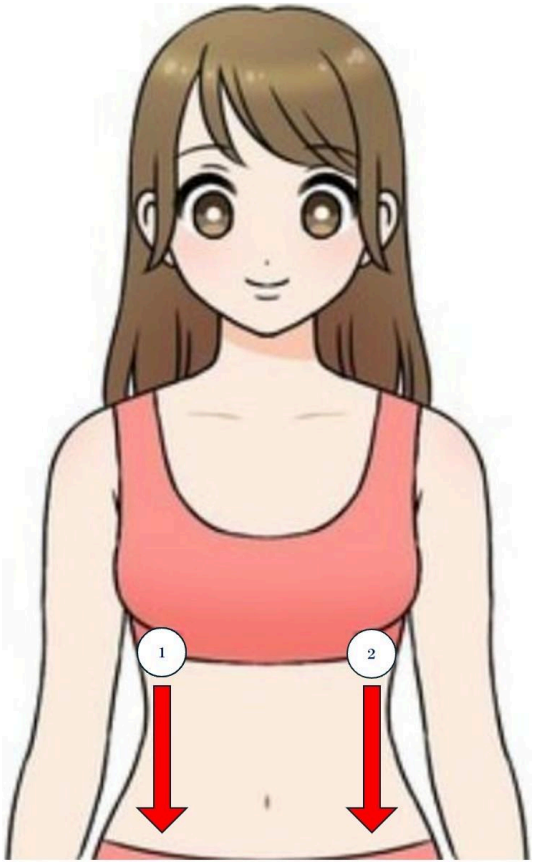
音叉セルフヒーリングは「禱(いの)り」であり、禱(いの)りとは「EXA PIECO靈の心の所作」であり、心を正すための行爲です。なので、必要なのは「心の在り方」であり、技術や知識は二の次であり、とにかくセルフヒーリングを試行錯誤し工夫することが大切です。

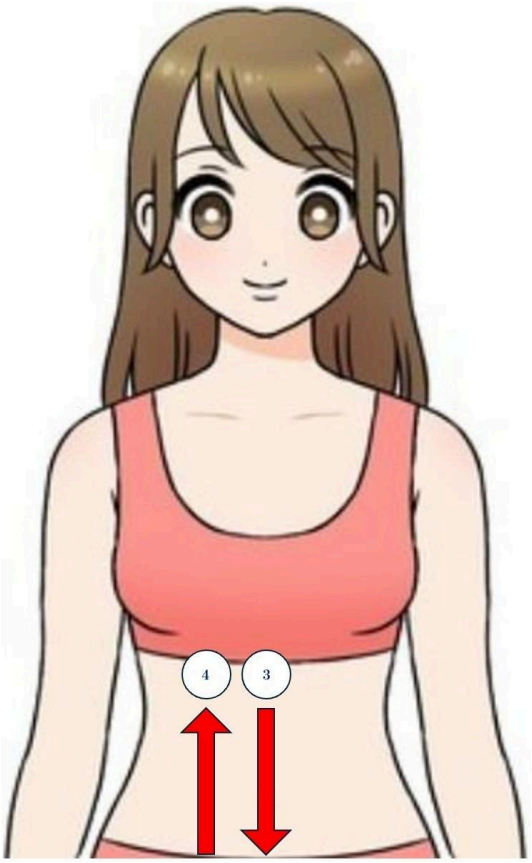
導入編ツールならば「132Hz&264Hz」、入門編ツールならば「128Hz&136.1Hz」、初級編ツールならば「68.05Hz&136.1Hz」を使い、お腹に「いのり」を描いていく方法は、自分自身の心、精神、感情、身體(しんたい)を調律するために有効な方法のひとつです。

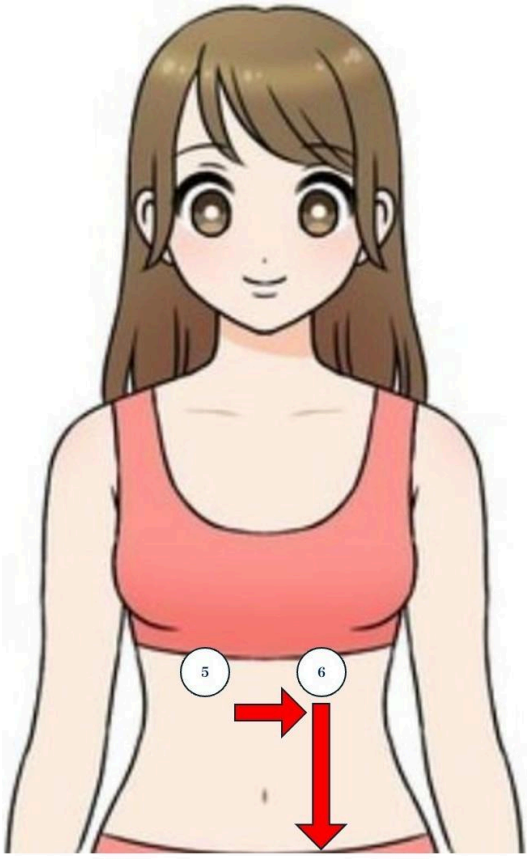
※サウンドツールは、ヘヴィーフォークタイプだけでなく、ヘヴィーフォーク＆フォークの組み合わせも可能であり、それこそソルフェジオ音叉はお腹の様々な經穴(ツボ)に試してほしい

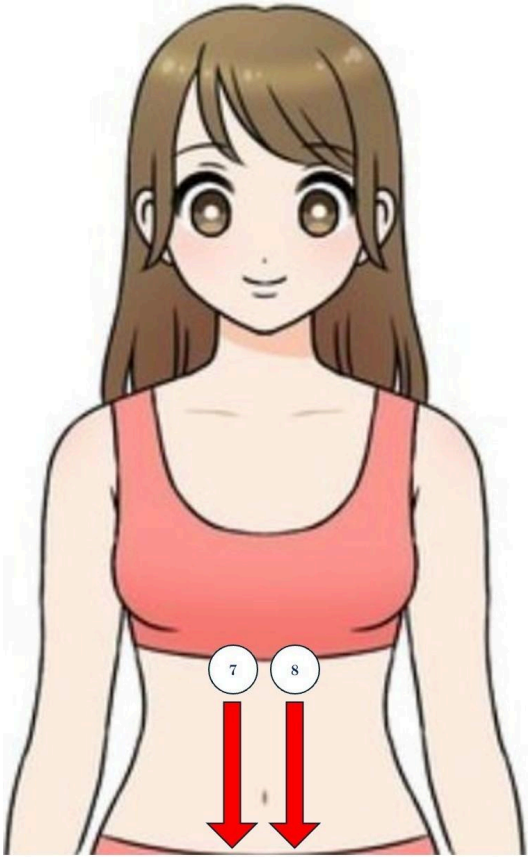
また、特定のお腹の經穴(ツボ)、腸心エリアに音叉を当て續(つづ)けることも可能であり、潛在意識(F I K)に溜まった感情を無視し續(つづ)けると、一番身體(しんたい)の弱いところパワフルな形で症状で出ます。しかしこれはその問題と向き合うチャンスが与えられたということを意味しています。そして、その問題に対し、逃げずに眞正面から向き合うこと、心の声に耳を傾けることが大切です。

セルフヒーリングの極意は「神意(あい)」と「感謝」であり、他者との繋がりによる感謝の心を持つことで、よりバランスがとれたセルフヒーリングが可能になります。神意(あい)は「恐怖心」よりもパワフルなもの。恐れではなく、神意(あい)をもとにヒーリングを行うと、最もパワフルなヒーリングをすることが出來ます。









資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

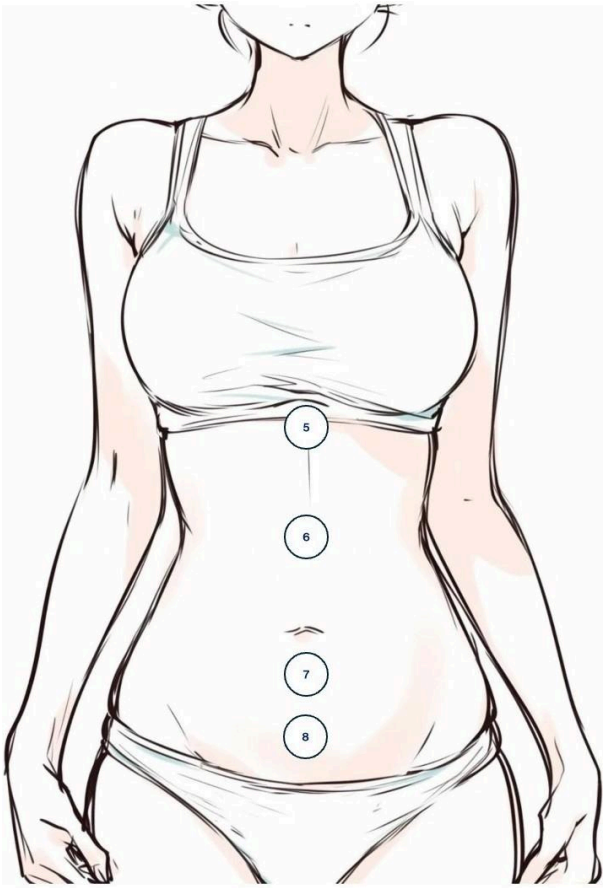
入門編セルフヒーリングでのお腹の主要の經穴（ツボ）			
番号	經穴（ツボ）	經絡	經穴（ツボ）の位置
①、④	章門（しょうもん）	肝經	第 11 肋骨の下、キワ
②、③	幽門（ゆうもん）	腎經	劍状突起から指２本分下、そこから指１本外側
⑤	鳩尾（きゅうび）	任脈	肋骨が交わる骨のへりから 1～2cm 下がったくぼみ
⑥	中脘（ちゅうかん）	任脈	へそから指 4 本分上、太陽神經叢（しんけいそう）、膵臓
⑦	氣海（きかい）	任脈	へそから指 2 本分下、氣の貯藏庫
⑧	關元（かんげん）	任脈	へそから指 4 本分下、第2チャクラ
⑨、⑪	天樞（てんすう）	胃經	へそから指 3 本分横
⑩、⑫	水道（すいどう）	胃經	天樞（てんすう）から指 4 本分下
⑬	曲骨（きょっこつ）	任脈	恥骨の上のくぼみ

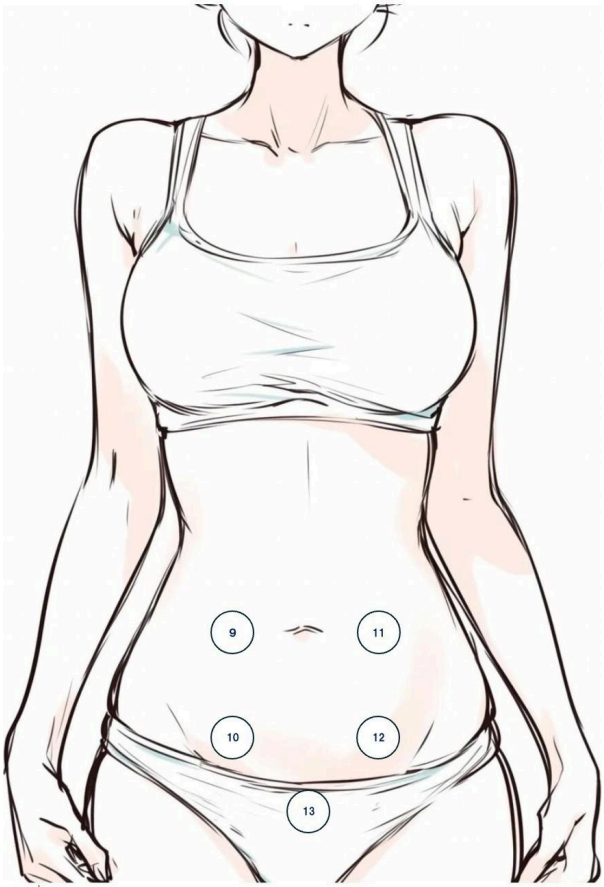
お腹の特定の經穴（ツボ）を刺激する場合、入門編ツールならばチャクラバーの「D[2]＋E[3]」を鳴らし、「528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバー」を鳴らしてから、「２本」の音叉をお腹の經穴（ツボ）に數回（すうかい）当てます。

２本の音叉は、「ヘヴィーフォーク２本」の組み合わせが基本になりますが、「様々な周波數の基音（ホームトーン）」と「フォークタイプの音叉の音程（インターバル）」の組み合わせが可能であり、腸は潜在意識（F I K）であり無意識を司るので、とにかく様々な周波数の組み合わせを試行錯誤することが大切です。

あくまでもお腹の經穴（ツボ）は沢山あるので、この使い方は入門編に過ぎません。入門編でのお腹のセルフヒーリングに慣れてきたならばここで紹介している以外の經穴（ツボ）も積極的に使うことをオススメします。







資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

章門（しょうもん）の經穴（ツボ）は肝臟の經絡上にありますが、脾臟の募穴（ぼけつ）であり、脾臟の失調に効果があります。脾の氣が多く集まるところで、脾に失調があると反應（はんのう）が出ます。また、肝の失調であるイライラやストレス改善にも効果をあたえ、かつ臟器全般の失調にも改善効果を促します。特に「ダイエット」に有効な經穴（ツボ）です。

幽門（ゆうもん）の經穴（ツボ）は腎臟の經絡上にあります。「幽」は奥深く靜かな空間、「門」は出入り口を意味し、靈體（れいたい）と肉體（にくたい）の狹間である「幽體（ゆうたい）」に最も働きかけます。なので、精神面の安定に効果があります。名称通り、胃の「幽門部」そのものにアプローチし、腹痛、お腹の張り、嘔吐、下痢、消化不良など消化器系に働かけます。

鳩尾（きゅうび）は「心臟」に關係のある經穴（ツボ）であり、文字通り「みぞおち」の經穴（ツボ）です。緊張性のストレスを抱えていると痛みが出やすい場所であり、心臟は睡眠の質とも關係しているので、不眠の改善をする効果が期待できます。怒り、心配ごとや不安な氣持ちなどストレスを抱えたまま寢る時間を迎えると、何だか寢付けないまま布團（ふとん）の中で過ごす時があると思います。精神を落ち着かせるために使用する經穴（ツボ）になります。

中脘（ちゅうかん）は「身體（しんたい）のシルバーコード」がある「太陽神經叢（しんけいそう）」の經穴（ツボ）であり、靈體（れいたい）を奇經八脈と腎臟、肉體（にくたい）を十二經絡と膵臟が管理、コントロールしています。十二經絡は中脘（ちゅうかん）でエネルギーの流れが始まり、中脘（ちゅうかん）でエネルギーの流れが終わります。人間は心のシルバーコードが切れたら「腦死」と判斷され、身體（しんたい）のシルバーコードが切れたら「死亡」と判斷されます。人間の身體（しんたい）上の、そしてかなりの程度の精神的機能も、大部分を中脘（ちゅうかん）を通して潛在意識（F I K）が生命活動をコントロールしています。

氣海は、全身の氣エネルギーの貯藏庫です。エネルギーを全身に送り、またエネルギーの戻ってくる場所です。氣海のエネルギーのタンクが枯渇すると、慢性疲勞に繋がってきます。腎臟は「靈體」を管理し、氣海と關元のエネルギー量に影響されます。腎臟の機能は、髪の状態、記憶力、聴力、骨密度に關連し、若さもエネルギーのバッテリー量に左右されます。恐れ、ショック、トラウマにより、充電量が變わります。胃腸や脾臟と繋げ、エネルギーをチャージしておくと、全身のあらゆる症状の改善に有効になります。

關元は、「命門」の、「火」のエネルギーを宿す經穴であり、第２チャクラの位置になります。カラダの中でも最も深遠なエネルギーが住む場所であり、腎臟のエネルギーを上げる經穴になります。關元は、カラダ全體に活力を与え、陰陽の統合を深め、腰と膝を強くします。また、人の宿命は「奇經八脈と腎臟」に刻まれてます。エネルギーは音の鳴る方に動きます。グラウンディングを促すことで、祖先への情報にアクセスし、なぜ地球に生まれてきたのかを知りたい時に關元の經穴を用います。新しい細胞パターンを再編成するためには、大きなエネルギーの蓄えが必要になりますが、カラダのエネルギーを補充するのにも關元の經穴は役立ちます。第２チャクラは、腎臟のエネルギーを炎に變換する役割がありますが、大切な經穴の一つなのは間違いありません。

胃經の經穴である天樞は、「潜在意識」と「顯在意識」を繋ぐ經穴であり、天と地が體内で交わる經穴で、天樞は、胃經のルートとして唯一頭と繋がっているルートであり、肺のエネルギーとリンクしており、ぐるぐる思考の方に特に有効な經穴です。ガス、膨滿感、消化不良、腸の痙攣、下痢、倦怠感など、あらゆる消化器系の問題に役立ちます。また、疲勞にも有用で、地のエネルギーを天のエネルギーで滿たします。妊娠中には禁忌の經穴のひとつであることを決して忘れないでください。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

胃經の經穴である水道はカラダの水分代謝を整え、余分な水分排出を促す經穴です。體内の水分の流れを整える効果があるとされています。特に浮腫や排尿障害の改善に効果的で、體内の余分な水分を適切に排出する機能を持っています。水道は泌尿器系の症状に特に効果的です。排尿困難、尿量減少、排尿回數の異常、排尿痛などの症状改善が期待できます。また、腎臟炎、尿道炎、前立腺肥大症などの泌尿器疾患にも効果があるとされています。

曲骨は、任脈にある經穴で尿道炎や膀胱炎頻尿、トイレが近い方に効果があります。またこの經穴は子宮の上にあり、直接子宮に刺激を与える事が出來、子宮周辺の汚血（古い・滞った悪い血）を流し、固くなったお腹を柔らかくし、經穴刺激により子宮内膜を厚くし、着床しやすくします。不妊症でお悩みの方にも心強い經穴です。また、女性はオリモノ關係、男性は前立腺肥大にも有効です。

入門編で扱うお腹の基本的な經穴は９個ですが、すべての經穴ごとに基音の音程を變化させ、様々な組み合わせを試行錯誤しながら試していくのが大切です。例えば章門は肝經の經絡上にありますが、脾臟の募穴です。

肝臟に対應する惑星は木星、脾臟に対應する惑星は土星になります。また、肝臟はエネルギーの循環器系の働き、脾臟は調和のとれたエネルギーを受けとる入口の働きを考慮した上で音叉を選定することが、ひとつひとつの學びに繋がります。

臟器に対應して音叉を選定するならば惑星音叉、エネルギーの働きに対應して音叉を選定するならばソルフェジオ音叉が有効であり、最終的にはソルフェジオ音叉と惑星音叉を組み合わてセルフヒーリングをしていくのが生命の調律の要になってきます。



第十七章

手と下半身のセルフヒーリング

第２の脳「手」、第２の心臓「足」

肉體（にくたい）の健康學の眞髄は下半身の筋肉

血液循環こそが運動をすることの本質

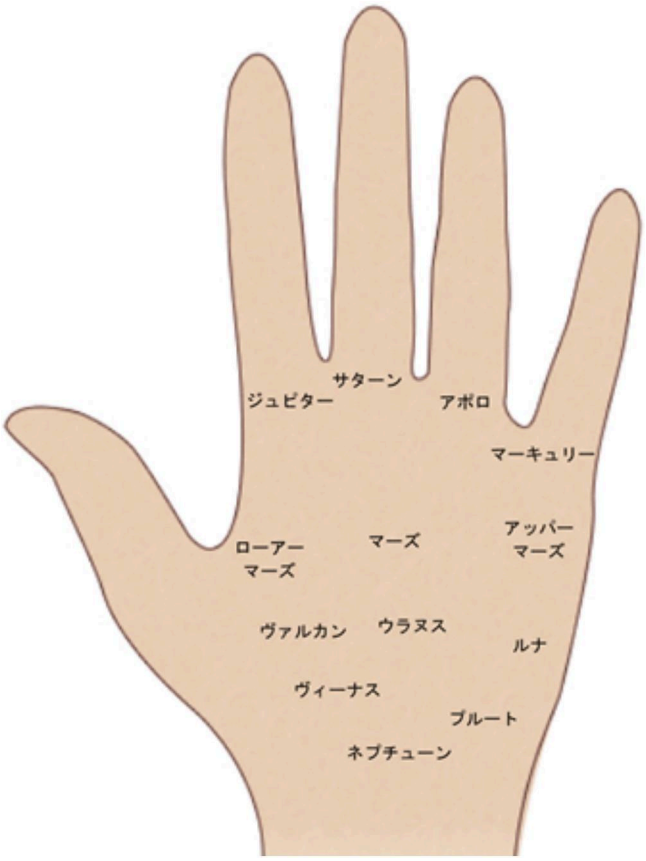
身體（しんたい）の健康學の眞髄は「氣（き）・血（けつ）・水（すい）」の代謝不良



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

アストロ・パーミストリーとトウリーディング





手のヒーリングについて本格的に學ぶのは、音叉セルフヒーリング講座上級編である惑星音叉のステージになります。何故なら、占星術と手相術の起源は西洋文化であり、２つは深い繋がりがあるからです。

西洋手相術という、古代ギリシャの占星術の知識を取り入れた「Astso（アストロ）・Palmistry（パーミストリー）」という西洋占星術の知識と手相の観測を組み合わせた手相術が存在します。Astso（アストロ）という言葉は「星」を意味し、Palmistry（パーミストリー）は「手相術」全般を意味します。

西洋手相術の世界では、手のひらを「大宇宙（マクロコスモス）」とみなし、そこに刻まれた生命線や知能線などの線に星々の言葉が宿っていると考えます。しかし手相で本当に重要なのは様々な線以上に「手の形」によるエレメント、「手の指と丘」にあること氣づいている人は少ないです。

西洋手相術と人體（じんたい）の器官の關連性		
部位	器官	手の丘
親指	腦（D I K A G 顯在意識）	金星丘（ヴィーナス）
親指と人差し指の谷間	腸（消化吸収）	火星平原（マーズ）
人差し指	胃（消化器系）	木星丘（ジュピター）
中指	肝臟（循環器系）	土星丘（サターン）
藥指	神經系統	太陽丘（アポロ）
小指	呼吸器、性器	水星丘（マーキュリー）

また、手相は占いではなく「腦科學（のうかがく）」という考え方もあり、左手が「右腦（本質）」、右手が「左腦（現實）」の映し鏡という考え方であり、少なくとも腦、手相、占星術すべてが相關關係にあるのは間違いありません。

ナポレオン・ヒルは自己啓發で「思考は現實化する」ことを唱えていますが、手相が變（か）わるということは「思考癖が變化（へんか）する」ことであり、それが現實に影響を及ぼすことを古代人は直觀的に理解しており、占いとして成り立っていった經緯が想像できます。

ＮＹでマスターヒーラーと呼ばれるケン・コバヤシさんは先祖代々ユダヤの血を引き、新潟で３５０年續（つづ）く治療師の家系に生まれていますが、２歳の時からすでに父親の患者に鍼治療を施し、病人を癒していました。

ケン・コバヤシさんは、「全部の指の瘀血（おけつ）を淨血すると、殆どの病氣は治る」と述べており、親指がブレーン、親指と人差し指の間の谷間が腸、人差し指が胃、中指が肝臟、藥指が神經、小指が呼吸器と性器と繋がっていると話していますが、その話とAstso（アストロ）・Palmistry（パーミストリー）の考え方が完全に一致しているのです。

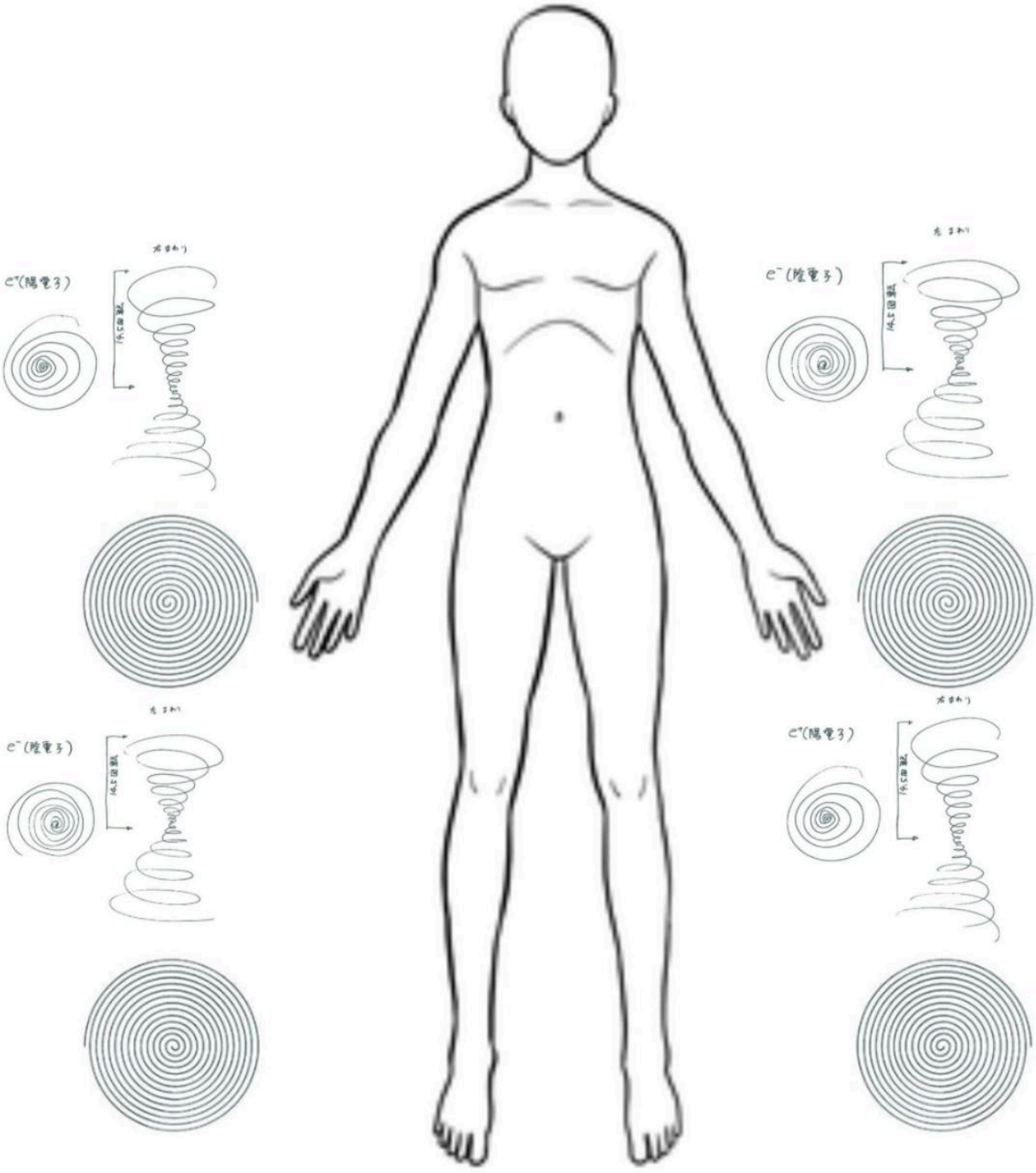
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

トウリーディング



また、アメリカのアリゾナ州で１９９０年代に確立した、インド佛教（ぶっきょう）の思想がベースの「トウリーディング」という「足の形、指から、隠れた自分の性格や人生のヒントを讀み解く」という手法も存在します。

足指は「足」と「魂」の「ホログラム」であり、潜在意識（F I K）や人生の課題、感情、人間關係などが現れると考えられています。この手法は、心身の癒しや自己理解を深めることを目的とし、アメリカでKCミラー氏によって生み出されました。



様々な文献、情報を元に人體（じんたい）のメカニズムの研究をした結果、手足は「陰電子」と「陽電子」が絡んでおり、左手、右足が「右脳、心臓脳（霊體（れいたい））」と連動し、右手、左足が「左脳、大脳（肉體（にくたい））」と連動していることが明らかになりつつあります。手足はある意味、２つで１つのセットとして考える必要があるのです。

手を使うことが、そのままセルフヒーリングに繋がる

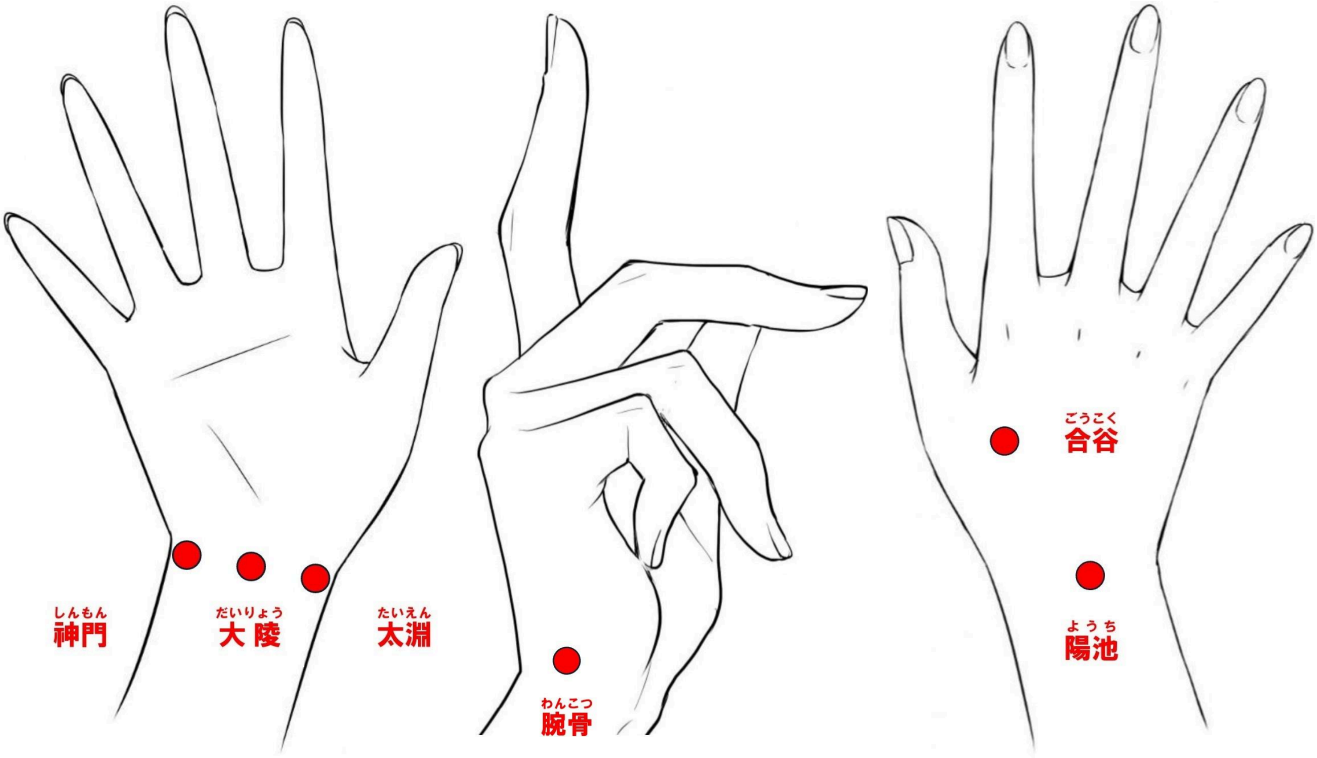


鍼灸の治療家などは、東洋醫學の脈診で五臓六腑の状態をチェックする方法に長けている傾向にあります。盲目の治療家の方は、その傾向が特に顕著であり、生命のリズムをチェックすることで治療方針を決めます。

事實、脈診で十二經絡のエネルギーの流れはチェックできます。奇經八脈と十二經絡は星々の運行と連動しているので、靈體と肉體のエネルギー状態を判別できます。奇經八脈の８つの交会穴、十二經絡の原穴が手首、足首まわりにあるのは偶然ではありません。

音叉セルフヒーリングでは、１本のヘヴィーフォーク音叉を選定し、特定の手の經穴に數回以上音叉を当てるのが基本になります。手のセルフヒーリングの場合、原穴の經穴を刺激するのが一番簡單なセルフヒーリングになります。

手の原穴一覧



入門編では、十二經絡の原穴、奇經八脈の交会穴である「後谿」「列缺」「内關」「外關」を覺えるぐらいで、セルフヒーリングで使う機会は他の部位よりは少なくなります。

そもそも手は第二の脳と呼ばれているので、音叉でのセルフヒーリング以上に大切なのは、手先を動かし、脳を活性化させることです。實は脳の最大のボケ防止とは、料理を作る時に包丁を使う時や、裁縫などの細かい作業をしている時と言われています。

手を動かすことは脳の運動であり、足を動かすことは血液循環を高める運動であり、手足を動かすことは、人間の健康でもかなり大切なことなのです。

なので、音叉を使って各部位をセルフヒーリングするということは必然的に手のセルフヒーリングにも繋がり、脳のボケ防止に繋がっています。もし眞劍に手の部位を學ぶとしたら、セルフヒーリングではなく対面ヒーリングでハンドヒーリングは學ぶことになります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

下半身の調整は肉體（にくたい）の健康にとって一番重要



人間の肉體（にくたい）の健康學で一番重要なのは、「下半身の調整」です。下半身の調整の意味は「血液學」、「酵素學」、「適度な運動」の３つの考え方、そして「万病一元、血液の汚れから生ずる」という思想が根底にあります。

筋肉の７割は下半身にあり、筋肉が血液の循環に影響しています。筋肉は、「塩の浸透圧」によって働くので、塩がなければ下半身に力が入りません。簡單に言うならば、塩の浸透圧と筋肉によって、血液を全身に運んでいるのです。

靈體（れいたい）の健康學は「細胞」を一番重要視し、細胞を構築するのがリンパ液であり、肉體（にくたい）の健康學は「筋肉」を一番重要視し、筋肉によって血液を循環させているのです。

肉體に關して最も大切なことは、日常的に「適度に歩く」ことです。それが肉體の健康學の大原則です。歩くことが筋肉を鍛え、血液の新陳代謝を促進させるからです。また、酵素が必要な理由は「肥滿」にならないためです。

そもそも自然界の野生のどうぶつ達には肥滿は存在しません。「肥滿＝病氣＝死」に直結するからであり、本來、自然法則に適った食生活、質の高い睡眠、適度に歩くことをしていたら肥滿になることは絶対にありません。

體型というのは、その人間が規則正しい生活習慣を守っているのか、だらしない生活習慣をしているのかが一目瞭然で分かります。肥滿の人間はだらしない生活習慣をしているので、その人間の言う言葉を簡單に信用してはなりません。

そもそも、重い上半身を支えている下半身は上半身の歪みを吸收し、内臟の歪みを反映しています。足の指、硬い足腰、筋肉の縮んだ膝裏を柔らかくし、足先、腰から肩までの中心のエネルギーの通りを良くすることで、歪んだ股關節を整え、血液循環を正常化させ、冷え性や便祕、根幹からの體質改善に役立ちます。

下半身のセルフヒーリングは、嚴密には「臀部」、「太腿」、「ふくらはぎ」、「足首」、「足の甲」、「足裏」という風に、エリアが多いのが特徵です。入門編で使うのは、足裏、足の甲、足裏、ふくらはぎが中心で、臀部と太腿はあまり使いません。

※入門編セルフヒーリングでは臀部と太腿はあまり使わないだけで、初級編以降には使う頻度は多くなります

下半身は全部、1 チャクラバー＋2 チャクラバーの組み合わせです。1 チャクラバーのレギュラータイプは湧泉のエリアの刺激、2 チャクラバーは關元のエリアの刺激だからです。

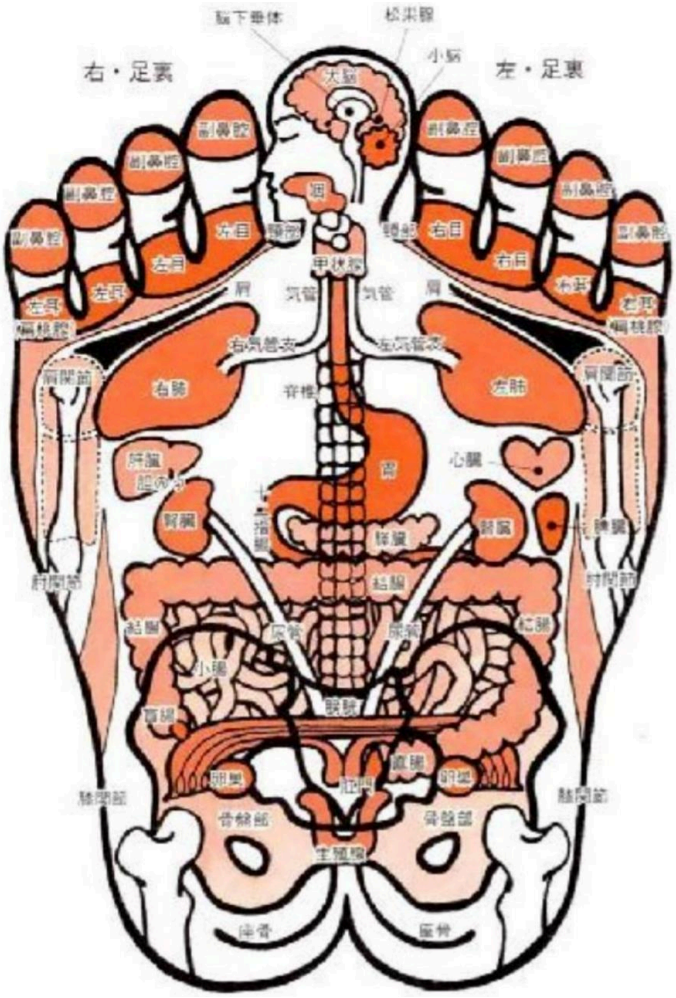
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



足裏の施術は、中國式、台湾式、英國式、官足法など、あらゆる國が、様々な考え方に基づいて、手技か棒で足裏を施術します。わたしの場合は、足裏のセルフメンテナンスでは「棒」を使ったり、音叉を使ったり、指を使ったり、使い分けてメンテナンスをしています。

手技には手技の良さがあり、棒には棒の良さがありますが、足裏を音叉でアプローチする方法はわたしが検索したり、調べたりする限りでは地球にはあまり存在していないようです。手技、棒が一般的であり、殆どの方は音叉で足裏をアプローチする發想がないのかもしれません。

足裏へのアプローチでの最大の難点は、手技でも棒でも基本的には「痛みが伴う」です。また、足裏のメンテナンスを自分でするのが「面倒くさい」という声も多く聞きます。なので足裏のメンテナンスの普及とは、２つの課題を如何にクリアするかに掛かっているということです。



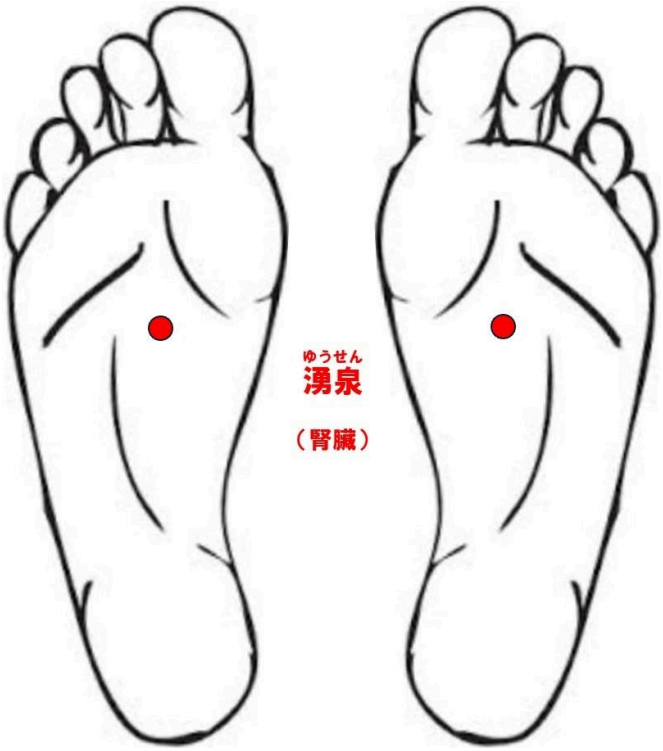
イラストを見れば氣づくかもしれませんが、足裏の反射區は、「全身の背面」とリンクしており、足裏の反射區をアプローチしていくだけでも全身のアプローチが可能であり、肉體（にくたい）面のメンテナンスには効果的であることに理解がいくと思います。

足裏のメンテナンスをする際、手技も棒もわたしは使いますが、一番使いやすいのは「音叉」であり、「痛みが伴う」、「面倒くさい」という課題をクリアできるのも音叉になります。色々と複合して足裏をメンテナンスするのが理想です。

足裏は「重金属のデトックス」にも重要な部分でもあり、電磁氣（エネルギー）の影響を一番に受けるのも足裏です。そういった意味を含めて、下半身、足裏のメンテナンスは定期的に必要なことです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

腎經の經穴、湧泉と太谿について



湧泉は、地球とつながり、グラウンディングするのに非常に大切なツボです。足裏の土踏まずの少し上のくぼみに位置します。

湧泉の名称は、湧きでる泉として、「水」と關わる名称であり、腎經のスタートのツボになります。

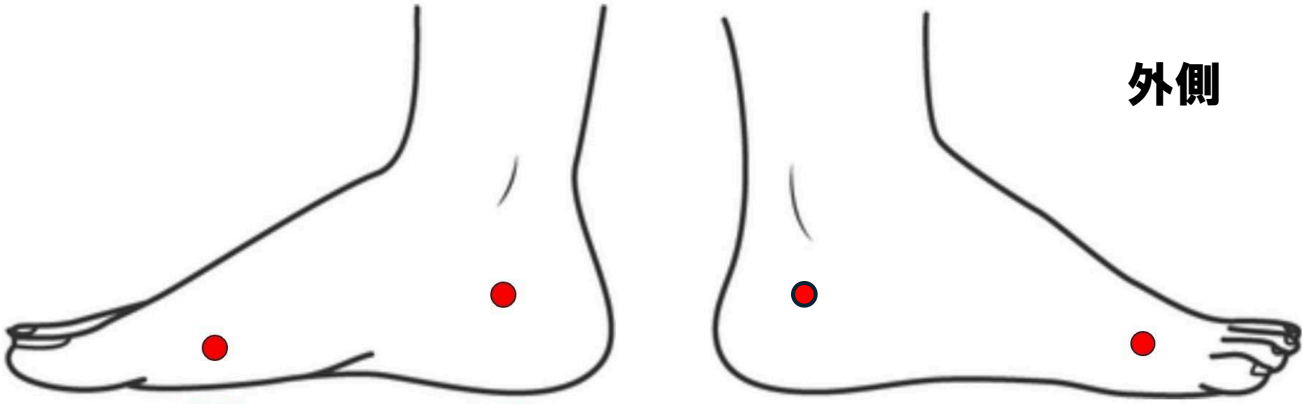
奇經八脈は腎臓が管理し、十二經絡は膵臓が管理していますが、奇經八脈にアクセスするために必要な經穴になります。

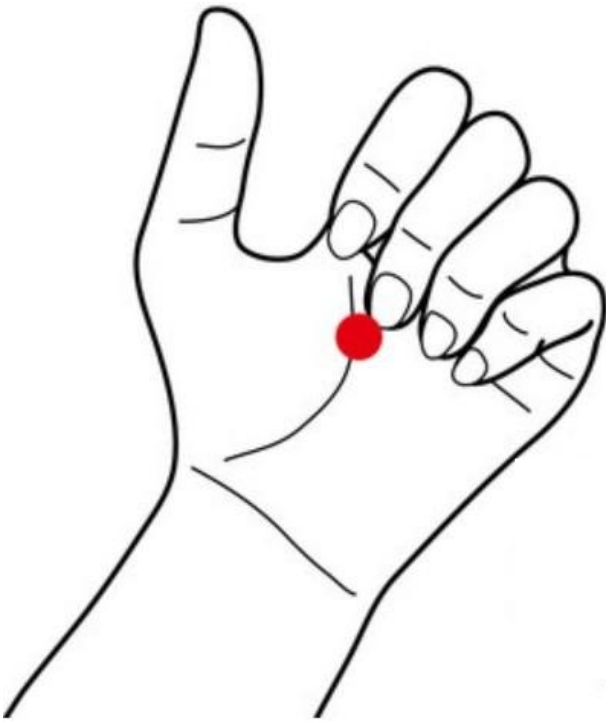
湧泉をセルフヒーリングすることは、「サーカディアンリズム」を再調整するのにも役立ちます。また、更年期障害や、疲勞回復、血行促進など冷えにはかかせないツボとしても知られます。傲慢に思い上がったエネルギーを下げて落ち着かせたり、ハイテンションやイライラを鎭め、地に足をつけさせます。

湧泉は、肉體オーラと靈體オーラ、電磁氣のフィールド両方のエネルギーの影響を一番受け、そのエネルギーを膝裏の「委中」の經穴を通して精錬し、靈的エネルギーとして質を變化させる特性があります。

両足の湧泉の經穴が開いていると、地球との結びつきが強くなり、カラダの姿勢を安定させることが出來ます。反対に、この經穴が閉じていたり、詰まっていたりすると、地球との結びつきが弱いくなり、地に足がついていない精神状態になってしまいます。

湧泉と奇經八脈の交会穴を組み合わせ





勞宮

（膵臓）

奇經八脈は腎臓が管理し、十二經絡は膵臓が管理し、湧泉は奇經八脈にアクセスするために必要な經穴になります。

反対に十二經絡にアクセスする經穴は、手の平の「勞宮」の經穴になり、これは陰陽一対の關係の經穴になります。

湧泉を刺激すると奇經八脈を活性化させることになり、足の各交会穴と合わせることによって氣エネルギーを活性化させることが可能です。また、勞宮を刺激すると十二經絡を活性化させることになり、各經穴と組み合わることで血液循環を活性化させることが可能です。

湧泉は氣エネルギーの循環、勞宮は血エネルギーの循環に關係した經穴なのです

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



導入編ツールの場合、両足の湧泉(ゆうせん)を「132Hz＋264Hz」で「交互」に刺激し、數回(すうかい)刺激していき、両足の湧泉(ゆうせん)の經穴(ツボ)が開き、地球との結びつきが強くさせ、カラダの姿勢を安定させます。

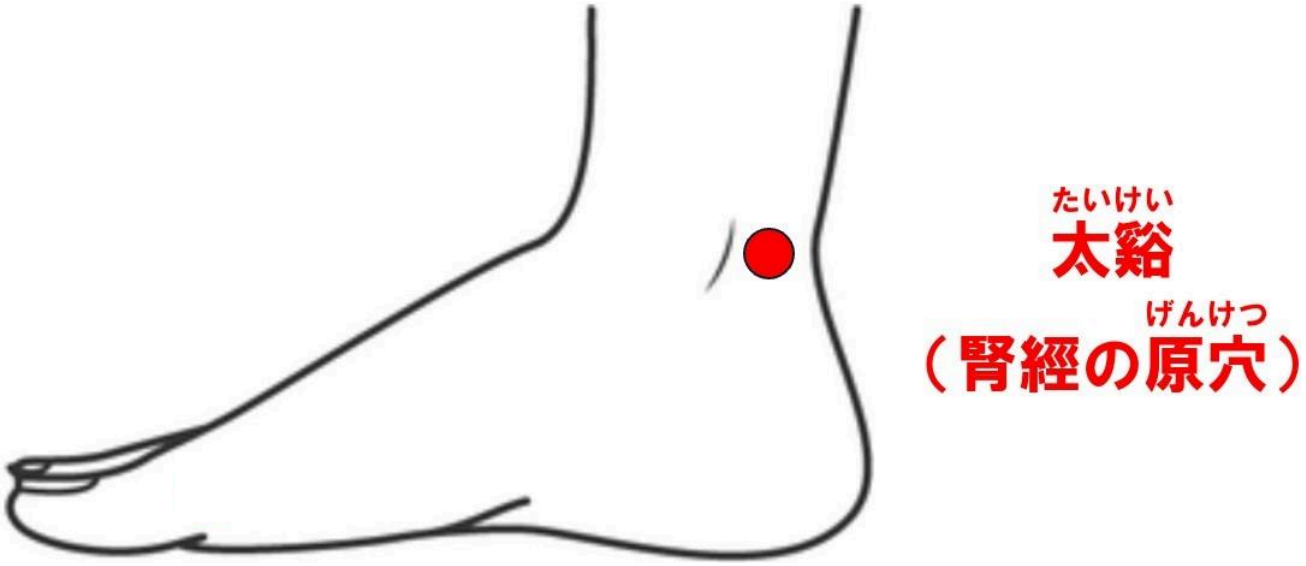
その後、片側ずつ湧泉(ゆうせん)を刺激していきます。入門編セットで湧泉(ゆうせん)を刺激するのに適した音叉は「オーム音叉＋285Hz 音叉」の組み合わせです。285Hz は「アーススター・チャクラ」であり、足下２０cm～３０cm に強く作用する周波数です。

足裏は「電氣、磁氣の磁場（電磁氣のフィールド）」の影響を一番受けます。285Hz は不調和なエネルギーを「EARTHING(アーシング)」させる効果があります。EARTHING(アーシング)とは、素足や素手で直接大地に触れることで、體内(たいない)に溜まった電氣（電磁波や靜電氣）を放電し、大地から電子（エネルギー）を取り込む健康法です。

現代人は電化製品に囲まれ自然との触れ合いが減っているため、身體(しんたい)に電氣が帯電しやすく、疲勞(ひろう)やストレスの原因になると考えられており、裸足で土や海に触れることで心身のバランスを整えることを目指します。

オームは地球の四季のサイクル、285Hz は多次元領域に働きかけ、水星や冥王星の周波数に近く、カラダに溜まった毒素をデトックスする効果が期待できます。

腎經の原穴「太谿」は、遺傳子の構造變換中、必須の經穴



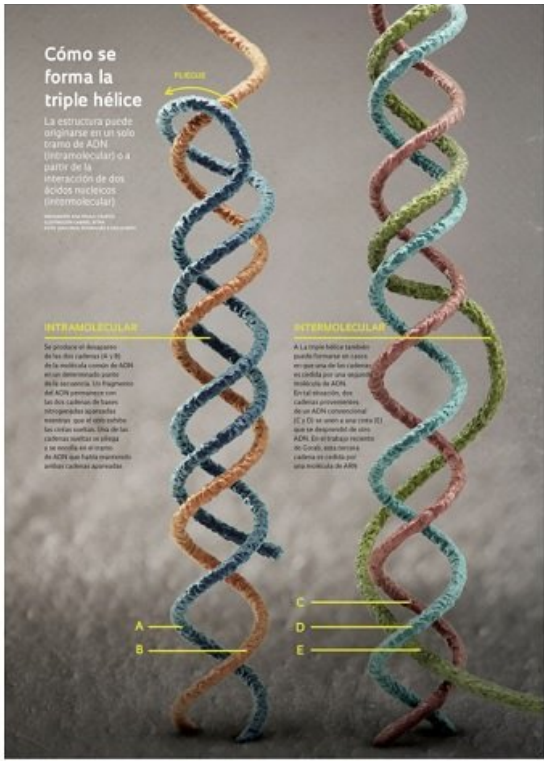
ＤＮＡは、火山噴火や氣象變動、宇宙波などの大きな磁氣變動により變化、變容することが２００８年に米國スタンフォード大學から發表されています。そして２００９年１０月には「ＤＮＡは音（言葉と振動）の影響で頻繁に再プログラムされている証拠が見つかった」という衝撃的な内容が、ロシアの科學者たちにより發表されています。

ＤＮＡはわたし達の肉體を作る元となるデータを記憶しているだけではなく、コミュニケーションの記憶も蓄積している可能性があるということや、ジャンクＤＮＡ（働いていないとされるＤＮＡ。ＤＮＡ全體の９０％～９７％がジャンクＤＮＡといわれている）は、さまざまな周波數の刺激により、スイッチが入ったり、變容したりすることも判明しています。

それは、「ＤＮＡの進化は音で出來るということの科學的証明」であり、ＤＮＡを進化させる最大の鍵は「水晶宮」、「仙骨八仙洞」、「奇經八脈」と「天球の音樂」であり、わたし達は音叉セルフヒーリングによりＤＮＡを常にアップデートできる立場にいるのです。

そのアップデートの際に、毎日自分自身で太谿の經穴を刺激することは必須になります

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



本來、DNA は十二螺旋構造であり、靈的な進化とは、有機的肉體の再構成と靈的アップグレード（DNA/RNA を新しい次元の細胞に新生）させることです。

しかし、「遺傳子の構造變換」を成功させるためには乗り越えなければならない試練も多々あります。

そのために必ず踏まえてなければならないこととは、變容、進化とは必ず苦しみと痛みが伴うという現實です。

太谿の經穴は腎經の原穴であり、「恐怖心」と深く關係しています。腎經および腎の氣に深くアクセスを促します。この經穴はＤＮＡが急速に變化する、變容の時期に重要です。

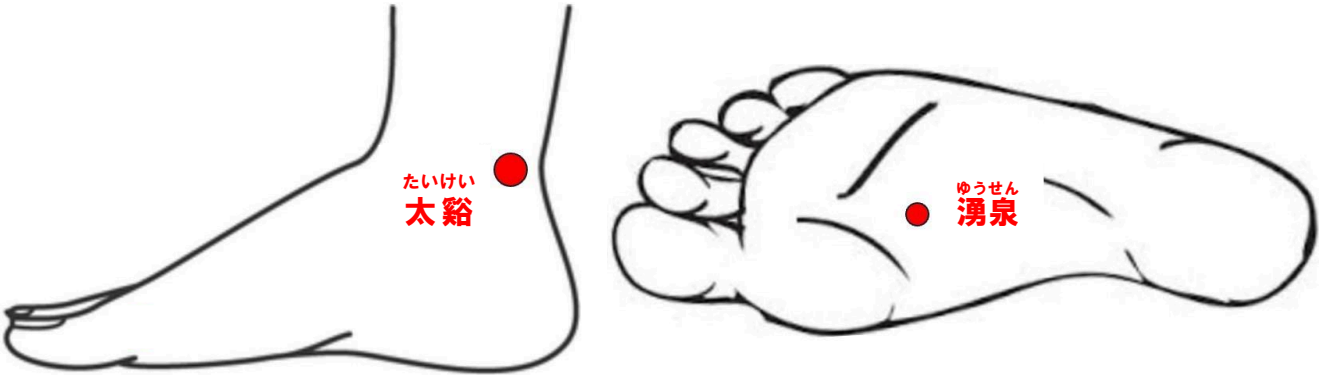
變容とは「Destructed Process」であり、變容は古い信念やマインド、肉體のパターンが崩れないと起こりません。變容にあがなうと辛い思いをする。變容を許可すると、最初は多少の痛みが伴うが、意識が拡張し、平和の感覺を得られます。

地上世界はカオスで膨大な變化を通過中ですが、殆どの方が變化に抵抗しようとしています。變容するには、必ず古いものを手放さないといけない。そこに苦しみが生じるのです。

太谿の經穴は、異なる世界とのギャップを乗り越えるのを助け、別の世界に旅立ちながらも、しっかりしたグラウンディングを保つのに役立ちます。対應する症状は、ひどい腰痛、副腎疲勞、グラウンディングの弱さ、恐怖感などを緩和、輕減する効果があります。

この經穴に適した周波數は「128Hz 音叉＋396Hz 音叉」、「396Hz＋528Hz 音叉」になります。

太谿と湧泉の經穴を組み合わせ



128Hz＋396Hz の組み合わせは、「恐怖心を乗り越えて、人生を前進させる」意味があり、ＤＮＡの構造變換の前後というのは恐怖心に支配され、隠されてきた感情が浮上して暴走してしまうケースがありますが、太谿にこの組み合わせで刺激することで恐怖を克服することを促します。

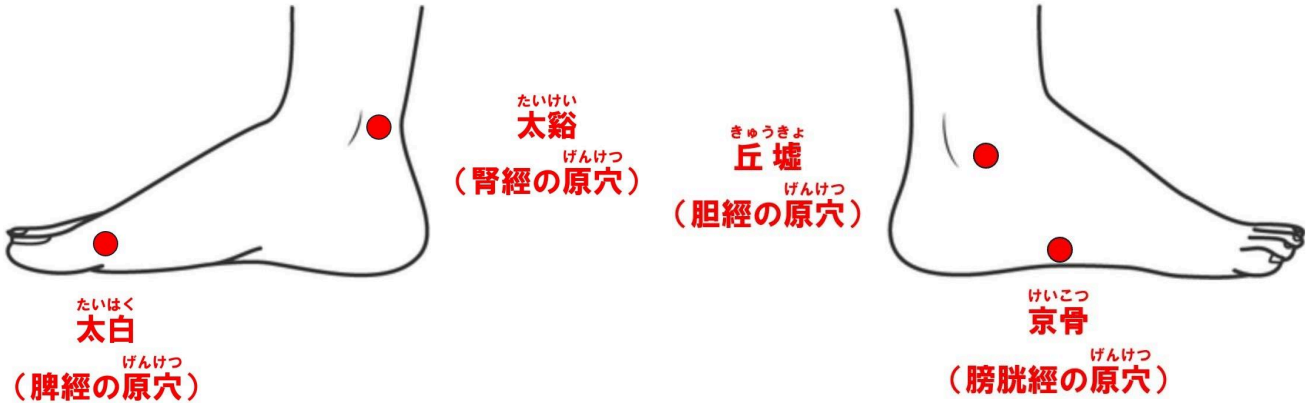
396Hz＋528Hz の組み合わせは、「被害者意識を取り除き、人を責めるEGHO意識を改めさせる」意味があり、そもそもEGHO意識の元は「責任轉嫁」であり、「まわりのせいにする」という意識、「自分は悪くない」という思考癖がEGHO意識の始まりです。

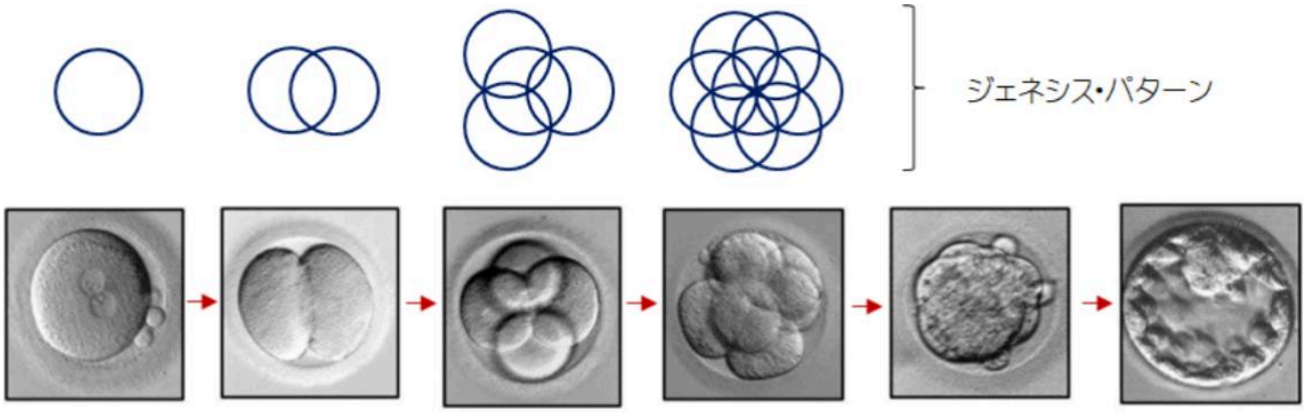
宇宙の仕組みは「原因と結果の法則」に支配されています。なので、「すべての結果は自己責任であり、自分の責任」です。誰のせいでもありません。こうした悪癖を改めることは、靈的巡礼の旅を歩む上で必須です。

組み合わせとして、「湧泉→太谿」は、エネルギーを上昇させる作用、「太谿→湧泉」はグラウディングを促す作用があります。また、腎經同士の經穴の組み合わせですので、水のエレメントのネガティブ反應である「恐怖、被害妄想」という感情を、「希望」というエネルギーに變換させる作用があります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

足の原穴の經穴について





奇經八脈の交会穴は「８つの原型細胞」を司り、十二經絡の原穴は「十二螺旋ＤＮＡ」を司ります。この２つは「生命の設計圖」そのものであり、奇經八脈の交会穴と十二經絡の原穴の經穴が近くにあるのは偶然ではありません。

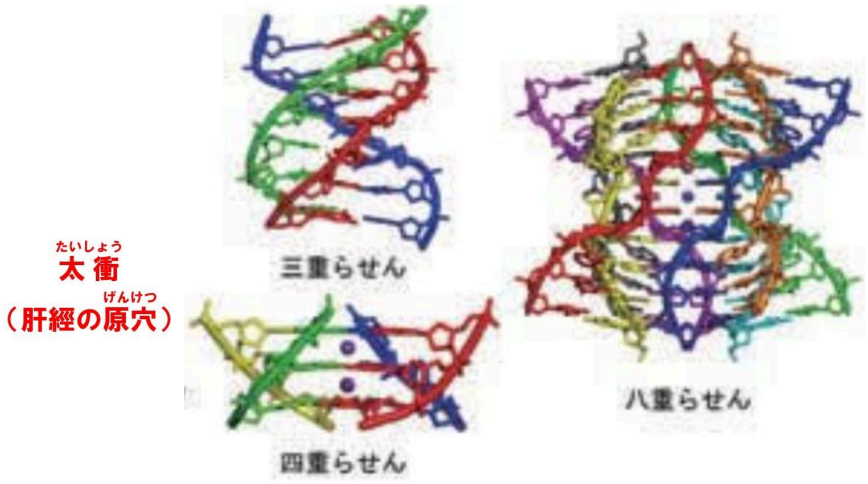
奇經八脈：腎臓が靈體として管理、コントロール（８つの原型細胞）

十二經絡：膵臓が肉體として管理、コントロール（十二螺旋ＤＮＡ）

太陽神經叢のシルバーコードが、靈體と肉體を繋いでいる

しかし、奇經八脈から十二經絡としてエネルギーの通り道を通して遺傳子は働く仕組みになっていますが、現代地球文化は奇經八脈のエネルギーの通り道が閉ざされています。





足の原穴の基音と音程

五行	原穴	基音	ソルフェジオ音程	惑星音程
水のエレメント	陰：太谿（腎經）	128Hz	396Hz、528Hz	キロン、ニビル
	陽：京骨（膀胱經）		174Hz、963Hz	太陽、天王星
土のエレメント	陰：太白（脾經）	136.1Hz	639Hz、174Hz	土星、太陽
	陽：衝陽（胃經）		741Hz、285Hz	水星、土星
木のエレメント	陰：太衝（肝經）	132Hz	528Hz、285Hz	木星、火星
	陽：丘墟（胆經）		417Hz、528Hz	火星、木星

そのため、地上人類の殆どの人間のＤＮＡの９０％～９７％近くが「ジャンクＤＮＡ」として眠っている状態です。ＤＮＡは、「督脈と任脈という正中線（チャクラ）」しか働いていない状態であり、殆どの地上人類は靈的には居眠りしている状態が常態化しています。

ＤＮＡを進化させる最大の鍵は「水晶宮（クリスタルパレス）」、「仙骨八仙洞」、「奇經八脈」の三大奥義を刺激し眠っているＤＮＡのスイッチを押し、その後に十二經絡の原穴（げんけつ）を通して遺傳子（いでんし）の構造變換（へんかん）を完成させ、十二螺旋ＤＮＡに戻すことが大切なのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

足の原穴の対應する症状		
原穴の經穴	入門編セットの組み合わせ	対應する症状
太谿	128Hz　＋　396Hz	恐怖心の緩和、腰痛の緩和、更年期障害
京骨	128Hz　＋　174Hz	我慢によるストレスの輕減、脊髄の痛みの緩和
太白	136.1Hz　＋　639Hz	後頭部の痛みの輕減、副甲状腺の炎症の緩和
衝陽	136.1Hz　＋　741Hz	不安、心配の昇華、消化器系（胃腸）の不調の輕減
太衝	132Hz　＋　528Hz	停滞している物事の前進、鬱症状の緩和、呼吸器系の改善
丘墟	132Hz　＋　417Hz	骨盤、臀部の歪みの調整、血液循環の促進

足の原穴は基本的に全部使うのが理想です。この中で特にオススメの經穴は「丘墟」であり、丘墟の經穴は胆經に属するため、決斷力や實行力を高める働きも期待できます。胆嚢は赤血球の生成に關わり、感情のコントロールを司るからです。

骨盤からなる下半身の歪み、足首、膝、股關節の痛み、坐骨神經痛などの改善、そしてむくみ、足先の冷えの改善などに効果的であり、下半身の歪みを改善する場合、必ず使う經穴になります。胆經はカラダの側面を通るルートであり、偏頭痛、自律神經の乱れにも良いとされています。

太衝の經穴は肝臓を通る經絡にある經穴であり、肝臓の疲れはもちろん、肉體疲勞や精神疲勞だけでなく「眼精疲勞」にも効果的です。アーユルヴェーダでは、眼の症状は肝臓と言われており、眼の疾患を改善するには肝臓を回復させる必要があるのです。

頭のほうに詰まっているエネルギーを下に流れるように調整し全身の氣エネルギーの巡りをよくします。イライラ、緊張型頭痛、肩こり、のぼせ、月經前症候群（PMS）などが氣になるときは、太衝の經穴を刺激するとよいでしょう。また、太衝の經穴は「合谷」と合わせて使う「四關穴」という組み合わせがあります。

太白の經穴は東洋醫學において脾胃の機能強化に重要な役割を果たすとされています。太白は「消化吸収力の向上」と「氣血の改善」に効果があるとされています。氣血を補い、全身の氣力を高める作用があり、疲勞回復や體力増進にも役立つとされています。

消化不良、胃もたれ、食欲不振、腹痛、便秘などの胃腸の不調や、だるさ、むくみにも効果が期待でき、特に胃腸の働きを高め、食欲不振や消化不良、腹部膨満感などの症状に効果的です。生命力を蘇生させる經穴という認識でよいと思います。

衝陽の經穴は、顯在意識と潜在意識を繋ぐ胃經のルートであり、顔面部の症状で、顔面神經麻痺、浮腫、美肌効果、免疫力向上、目の痛みなどに使用されることがあります。邪氣の滞留を防いで、お顔全體のリフトアップと首周りのデトックスをサポートする經穴です。

また衝陽の經穴は、夏の胃の疲れや心因性の食欲不振に効果的です。胃潰瘍の進行を初期症状で抑え、悪化を防いでくれます。お腹が張る、吐き氣、胃の痛みなどの症状を輕減させます。また、足の疲れや麻痺、低血圧や虚弱體質、アレルギー體質の改善にも効果的です。

京骨は「足の太陽膀胱經」の經穴であり、「京骨」の「京」とは、「都」「中心地」「集まる場所」を意味する文字です。「足の太陽膀胱經」の原穴として、兪穴を通して全身を管理、コントロールしています。

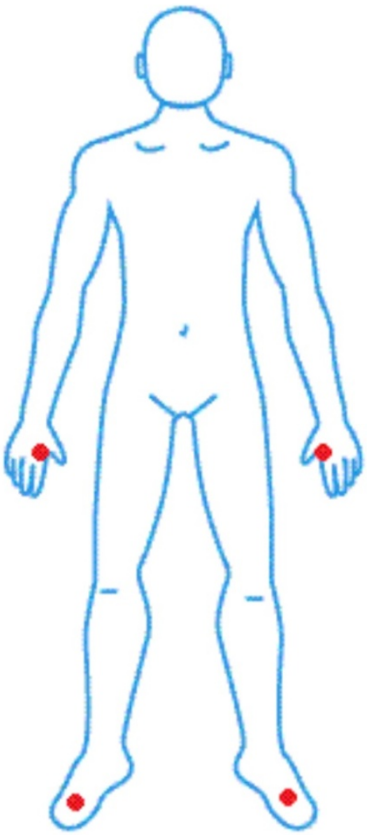
京骨は腦脊髄液を分泌させ、後頭部の筋肉の緊張を緩和するのに特に効果を發揮します。腦幹からなる癲癇、めまい、頭痛、肩凝り、結膜炎、近くの物が見づらいなどの老眼的症状を緩和してくれます。

また、腦脊髄液を分泌させることで脊髄全般の症状に有効であり、背中の痛み、腰痛、膀胱疾患、坐骨神經、痛風などにも効果があります。また大腿部の痛み、そして足の疲れにも有効です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

手足の親指の付け根の經穴、四關穴について

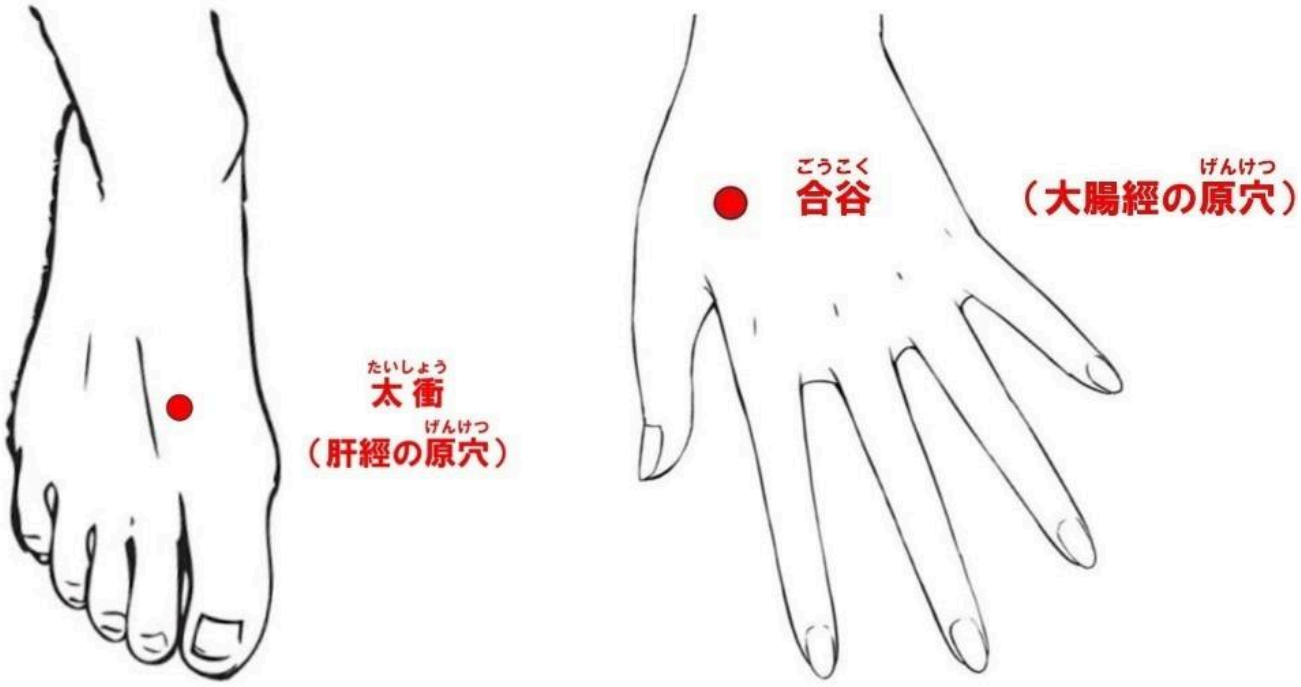




水晶宮は「睛明」という經穴に「四白」と「魚腰」を組み合わせて八卦を描いていくメソッド、仙骨八仙洞は「八髎穴」に「胞肓」と「秩辺」を組み合わて八卦を描いていくメソッドです。四白、魚腰、胞肓、秩辺は「方位」を表しており、四聖と關係しています。

奇經八脈の交会穴の場合、そのような經穴がありません。その變わり、「合谷」と「太衝」の經穴を合わせて使う「四關穴」、英語で「4 GATES」の經穴が四聖と關係する經穴になります。「大腸經」と「肝經」の經穴を奇経八脈の交会穴で使わない理由はそこにあります。

4 GATES の別名は「4 STARGAZER」であり、これは「北極星を見つめるもの」を意味します。四關穴は地球の歳差運動に關係しており、25920 年の叡智を内包し、アカシックレコードにアクセスするための經穴の組み合わせと言われております。



四關穴による鍼治療が「アルツハイマー病患者の脳のつながりを強化」という記事もありますが、特徴として、全身の痛みを動かします。大腸と肝臓を繋げ、デトックスの機能を高める役割もあります。妊娠中は禁忌であり、合谷は大腸だけでなく、子宮も目覚めさせます。妊娠から出産を誘発する場合は OK です。

四關穴は頭部や顔面、自律神経の調整、鼻炎や花粉症、頭痛、イライラ、全身の氣血を調和させます。眠りが淺い、寝つきが悪いなどの症状は「肝臓の過剰な昂り」により引き起こされますが、肝臓の過剰な昂りを鎮め、睡眠の質を向上させるのにも有効です。

また、スピリチュアル的な意味として、25000 年以上の止まっていた時間を再び大きく動かします。落ち着いた状態、リラックスした状態で宇宙情報にアクセスするのに四關穴を用います。

四關穴は合谷と太衝を「左手の合谷、右足の太衝」、「右手の合谷、左足の太衝」というような当て方をします。周波数の組み合わせは、合谷に「174Hz or 528Hz」、太衝に「132Hz」の組み合わせが有効です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

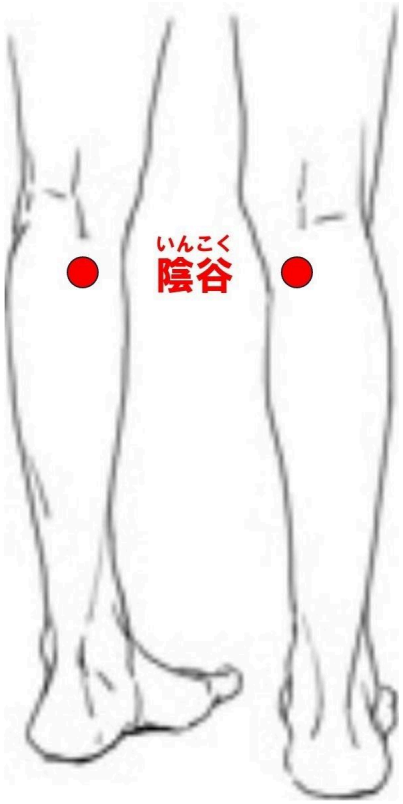
下半身にある様々な經穴（ツボ）



足三里（あしさんり）は「下の方にある氣海（きかい）」とも呼ばれ、エネルギーを取り戻し、増進する働きをします。消化を良くし、胃を強壮するのに用いられます。ガス、膨満感、吐き氣、軟便など、あらゆる消化器系の問題に良いツボです。

また、免疫系を増進し、根底的にサポートします。「關元（かんげん）＋足三里（あしさんり）」の組み合わせは末梢（まっしょう）神經障害の治療に用いられます。

音叉の組み合わせは、導入編ツールだと「132Hz＋264Hz」、入門編ツールだと「285Hz＋オーム」が免疫機能を高めてくれるのでオススメです。



陰谷（いんこく）は、水を司る經絡である腎經の「水穴（すいけつ）」の經穴（ツボ）であり陰エネルギーにより深くアクセスする必要がある時、前世にアクセスする際に使用します。また、膝下（しっか）リンパや膝に痛みがある際には使用します。

陰谷（いんこく）のみを刺激する場合は、片足の陰谷（いんこく）のツボにオーム音叉＋396Hz 音叉で刺激し、陽エネルギーの滋養を与えて下半身に熱エネルギーを送ることを促します。

湧泉（ゆうせん）＋陰谷（いんこく）を刺激する場合は、陰谷（いんこく）に 264Hz の音叉を当て、湧泉（ゆうせん）に 132Hz の音叉を当て、世代間のパターン、前世から持ち越されたパターンを満了に導きます。



三陰交の經穴は脾經の經絡であり、脾經、肝經、腎經から成る、足から流れる 3 本の陰の經絡が交わる經穴です。

この經穴のエネルギーは、血に滋養を与え、血を増進し、血のエネルギー、女性エネルギーの流れを司ります。

不安、不眠、虚による頭痛、多くの婦人科疾患に優れた効果を發揮します。オームチューナー&396Hz で氣と血を増進し、身體に滋養を与えた後、オームチューナー&528Hz で軟便や脾陽虚（脾の陽氣の虚衰）による内臓下垂や臓器脱を改善します。婦人科系、泌尿器系、消化器系、性、感情にまつわるあらゆるバランスを調整するのに非常に重要な經穴です。



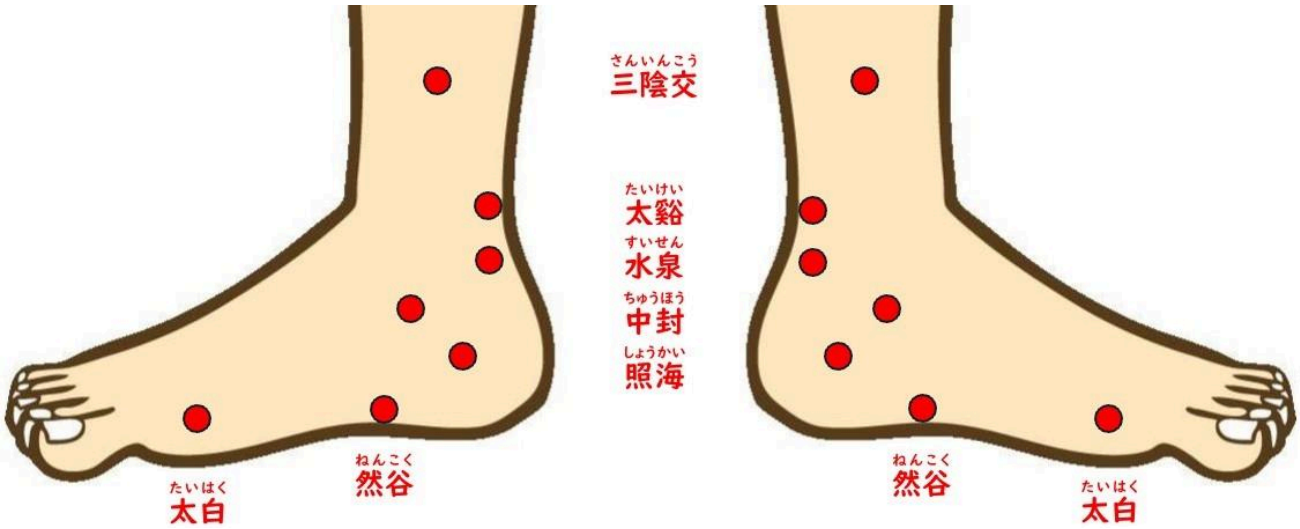
懸鐘の經穴は胆經の經絡であり、精のエネルギー、男性エネルギーが豊富に貯えられています。首、喉の詰まり、脚部の筋萎縮に役立ちます。

懸鐘の經穴は、變容に行き詰まっている人、高次の靈的本質を體現していない人に、根底的な部分を見直すようにメッセージを送ってくれます。

別名を「絶骨」といい、「懸」には吊り下げるという意味があります。胆經は下肢に向かい下降していて、腓骨の先が現われ外踝に繋がる姿が鍾の形に似ているので、懸鐘と呼ばれています。オームチューナー&174Hz の組み合わせで精のエネルギーを補充し、潜在的な資質を開花し、體現するのをサポートします。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

【足の主要な陰經の經穴】



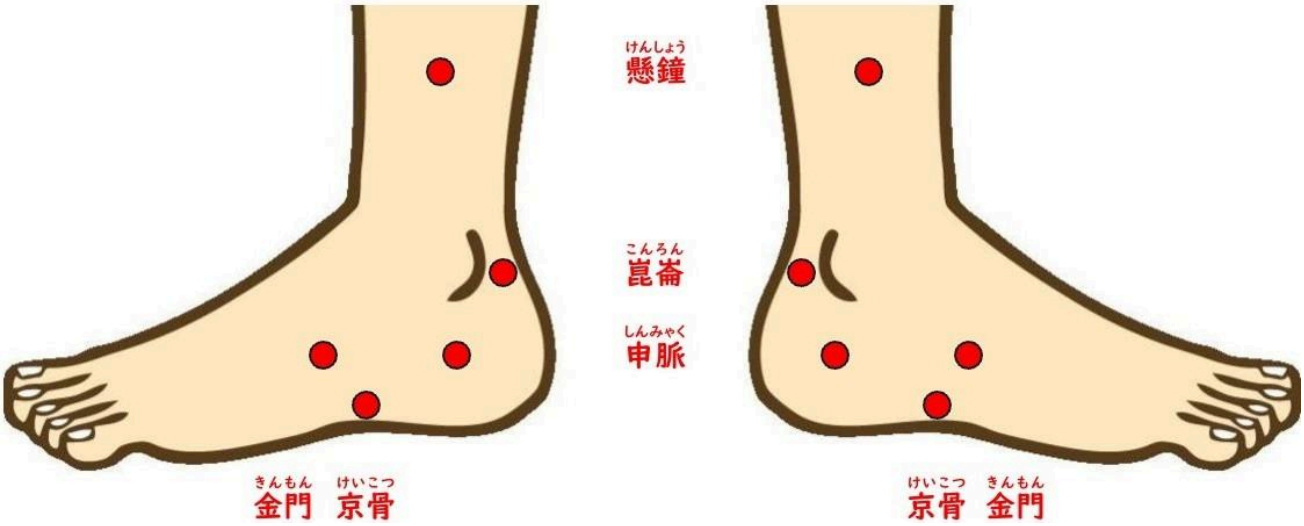
足の陰經は「腎經」「脾經」「肝經」ですが、入門編で扱う下半身の陰經の經穴は、この辺りの經穴になります。

經穴の組み合わせは様々なパターンが存在しますが、入門編では基本的に「太谿」の經穴と違う經穴を組み合わせることが多くなります。「太谿＋太白」や、「太谿＋湧泉」などを多く扱うことになるでしょう。

他には「郄穴」同士の組み合わせとして「水泉（腎經の郄穴）＋築賓（陰維脈の郄穴）」などを組み合せて急性の症状に対應する方法なども存在します。２つの經穴は「水のエレメントの經穴」であり、恐怖心を打ち消すために必要な經穴の組み合わせになります。

足裏の反射區の考え方で組み合せを考えるならば「然谷（膀胱の反射區）＋太白（副甲状腺の反射區）」を刺激するのも効果的な經穴の組み合せです。２つの經穴は「甲状腺と生殖器のフィードバック」に關係する經穴であり、「インナーチャイルド」の癒しに繋がります。

【足の主要な陽經の經穴】



足の陽經は「膀胱經」「胆經」「胃經」になりますが、入門編で扱う下半身の經穴は、この辺りの經穴になります。

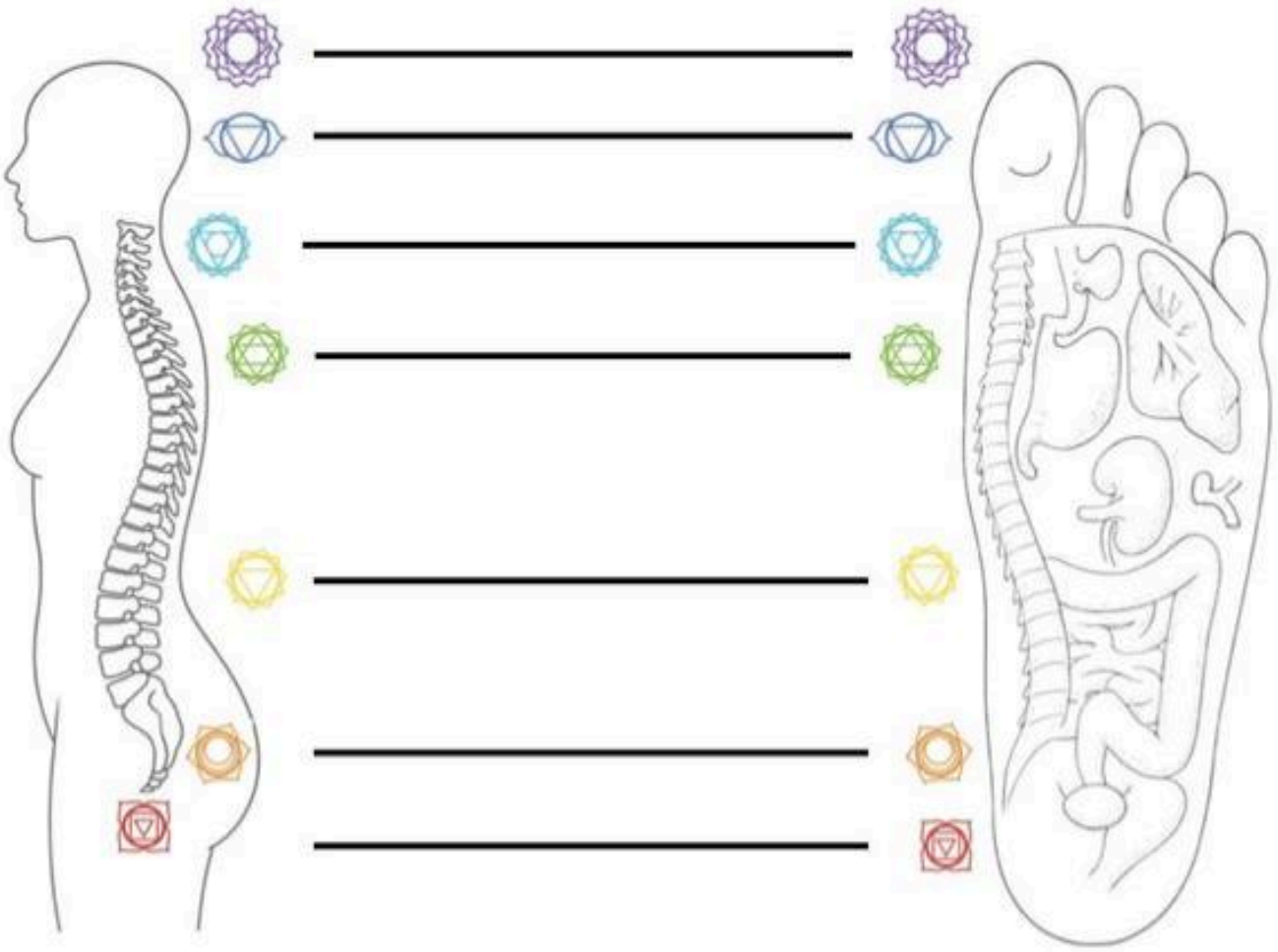
他にも足の陽經の經穴は、胆經のラインである「足臨泣（帯脈）」や「丘墟（胆經の原穴）」、「衝陽（胃經の原穴）」などがあります。陰經は「靈體メイン」、陽經は「肉體メイン」のアプローチであり、靈體と肉體が交わる經穴が「奇經八脈の交会穴」になるのです。

靈體の健康は「氣の循環」であり、その眞髄は「呼吸」です。肉體の健康は「血の循環」であり、その眞髄は「運動」です。その「氣（靈體）と血（肉體）の循環」こそが眞の健康學でも鍵になります。

幽體とは「氣（靈的世界）と血（物質世界）」を融合するものであり、その眞髄は「水の循環」であり、水の循環に必要なものが「音とミネラル」になります。そして、それらの統合を促す足の陽經の經穴は「申脈」「足臨泣」「懸鐘」の３つの經穴になります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

足裏のセルフヒーリングに重要な「チャクラバー」



足裏の反射區は、「全身の背面」とリンクしており、足裏の反射區をアプローチしていくだけでも全身のアプローチが可能です。下半身のセルフヒーリングは、足裏の反射區を覺えることでオリジナルメソッドを生み出すことが無限に可能であり、足裏のセルフヒーリングは様々な可能性を祕めています。

音叉セルフヒーリング入門編の眞髄では、「足裏の反射區」と「各チャクラ」の關係性を理解することで、「各チャクラバー＋足裏の反射區」を融合して足裏を通して心身の調律をしていきます。更に音叉セルフヒーリング上級編は、「各チャクラバー（倍音）＋各惑星エナジーバー」を組み合わせて足裏の反射區へアプローチしていきます。



チャクラは「エネルギーのアンテナ」と言われており、「２本のシルバーコード」を中心に靈の心（心臓脳）と肉の心（大脳）、靈體（れいたい）と肉體（にくたい）を繋いでいます。音叉セルフヒーリング初級編では「チャクラバー（ハーモニックタイプ）８個セット」が追加され、足裏のセルフヒーリングを通して心身を深く調律していきます。

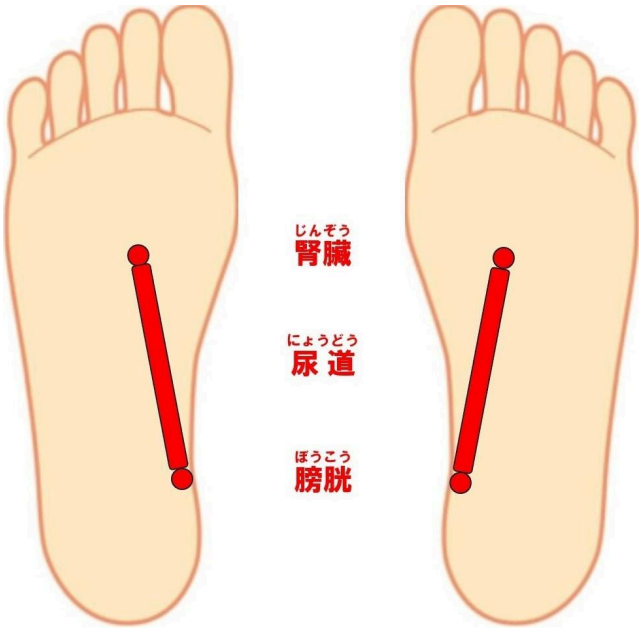
足裏は一番「磁場」の影響を受けるので、チャクラバーにより磁場の影響をクリアリングすることは、カラダに溜まった静電氣を抜いたり、心身の安定にとっても大切なことです。なので反射區ごとにチャクラバーは細かく變化（へんか）して使っていく工夫をしてください。

また、足裏は肉體（にくたい）の健康において最重要な「血液」と「筋肉」に深く關係しており、人間の肉體（にくたい）生命は血液に支えられているという考えに基づき、その血液をいかに綺麗にするか、血液を造血しているといわれている「小腸」の機能をいかに高めるかが思想の根本になります。

血液を全身にスムーズに循環させる、その結論は「塩」と「入浴」と「散歩」であり、すべてに共通するキーワードは「下半身の筋肉」になります。

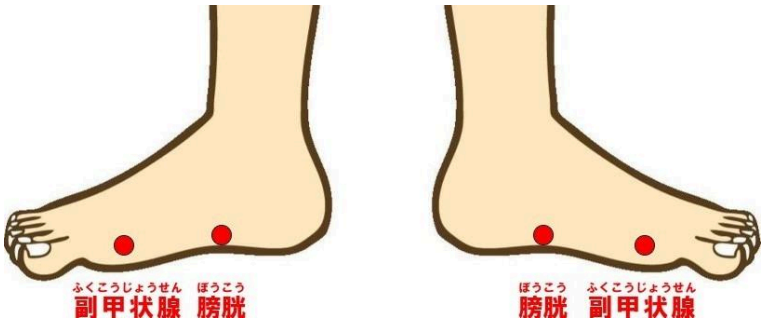
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

入門編で扱う主な足裏の反射區について



入門編ツールの場合、腎臓（湧泉）に当てる音叉は 132 Hz チューナー、尿道を動かしていく音叉は 128Hz チューナーが基本になります。

膀胱（然谷）に当てる音叉は 132Hz チューナと 264 Hz チューナーの倍音セットで膀胱を刺激すると効果的です。他にも組み合せは沢山ありますので工夫してみましょう。



膀胱（然谷）と副甲状腺（太白）は第２チャクラと第５チャクラであり、喉と生殖器のフィードバックの關係性であり、前世のカルマ、胎内記憶の解消にも有効な經穴です。

膀胱の反射區である「然谷」の經穴は、泌尿器・婦人科系、特に頻尿、尿漏れ、生理不順の改善や、自律神經の乱れ、熱を冷ます効果が期待される經穴です。頻尿、殘尿感、膀胱炎などの不調時に痛みや膨らみを感じやすく、尿トラブルの改善に役立ちます。

副甲状腺はカルシウムの新陳代謝をコントロールしており、副甲状腺が弱くなるとカルシウムの吸収が悪くなり、血液中のカルシウムバランスが悪くなり、それを補おうとして、骨からカルシウムが溶け出し、血液に移動し骨の中に空洞が生じ、骨粗鬆症の原因になります。



小脳と脳下垂體の反射區は足の親指にあります。親指全域は「大脳」の反射區になり、親指は「頸部」、「三叉神經」、「鼻」など頭部に關係するエリアになります。

小脳は後頭部の不調、首の不調を改善するのに効果的であり、脳下垂體は眼、鼻など顔面の不調を改善するのに効果的です。

５本の指の上部は「前頭洞（※眉の奥にある副鼻腔）」というエリアであり、この部分はインスピレーションの受振にも關係してきます。



眼、耳の反射區は、指の付け根、少し膨らんだ箇所になります。目の疲れ、かすみ、耳鳴り、耳の不調に効果的です。

僧帽筋は肩甲骨の筋肉であり、僧帽筋の緊張を緩和し、四十肩、五十肩、肩こりなど肩、腕に關する症状の改善に有効であり、肩の可動領域を高めてくれます。

特に、眼の反射區は眼の疾患を改善するのに役立ってくれます

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます



足裏の反射區で、左足と右足で反射區が違うのは、左足は「心臓」「脾臓」の反射區、右足は「肝臓」「胆嚢」の反射區になります。

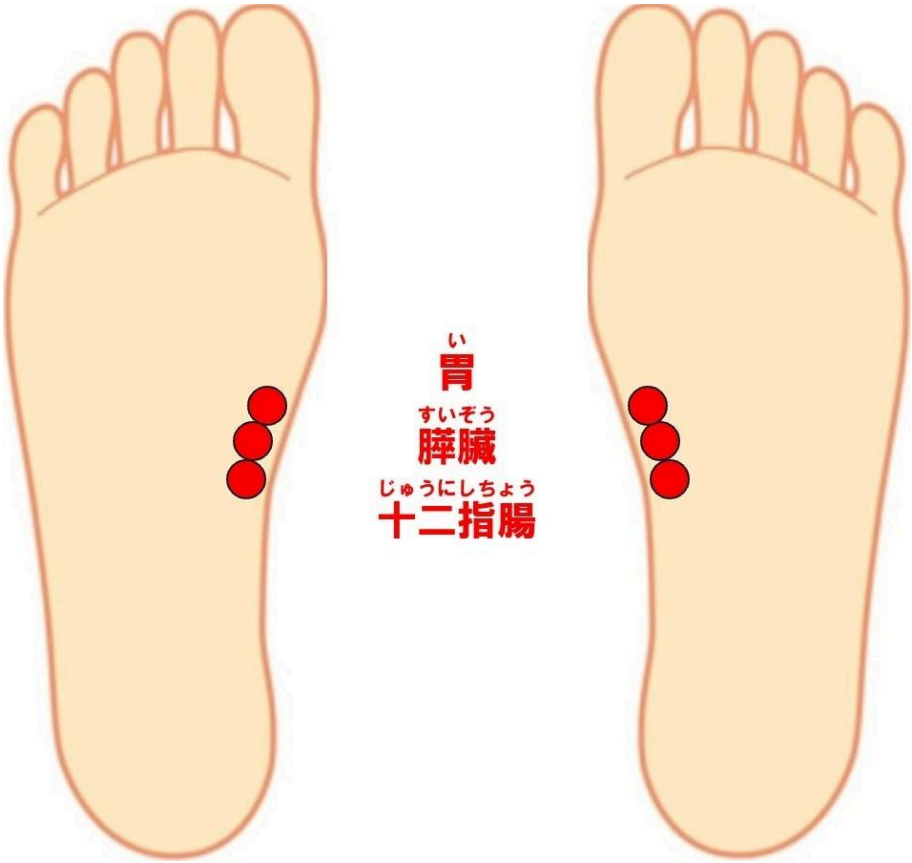
基本的に左足の「心臓と脾臓」のセット、右足の「肝臓と胆嚢」のセットで反射區を刺激します。この対になる反射區は「氣（右足）」と「血（左足）」を表わしています。

心臓と脾臓の反射區は、「左足の裏」に位置し、心臓の反射區は、免疫力向上、冷え性改善、血流促進に効果が期待できます。脾臓の反射區は、免疫力アップ（リンパ液の流れ改善）、消化機能の不調改善、疲労回復が期待できます。

肝臓と胆嚢の反射區は、「右足の裏」に位置し、肝臓の反射區は、慢性疲労、肝硬變、肝炎、脂肪肝など肝臓疾患、情緒不安定、不眠症などに効果が期待できます。胆嚢の反射區は、消化不良、胆のう炎、胆のう結石などに効果が期待できます。

この中で特に重要な反射區は「脾臓」であり、「氣エネルギーの入口が脾臓」、「氣エネルギーを血エネルギーに變換しているのが胆嚢」、「血エネルギーを循環しているのが心臓」、「氣エネルギーを循環しているのが肝臓」であり、「靈體」と「肉體」のバランスを保っています。

不安、心配の感情により脾臓が弱くなると、氣エネルギーが遮斷され、貧血（だるさ、息切れ）、出血しやすくなる（あざ、鼻血）、お腹の張りや痛み（左上腹部や背中）、食欲不振（胃の圧迫）、疲れやすいなどの症状が出ます。



足裏の「胃・膵臓・十二指腸」の反射區は、「土踏まず」周辺に集中しており、消化不良や疲れ、ストレスによる胃痛、吐き氣などの緩和が期待できます。特に膵臓は「潜在意識」として十二經絡の流れをコントロールしている中樞になります。

【主な症状】

胃・・・・・・・胃痛、胃もたれ、胃弱、胃炎、嘔吐、胃潰瘍など

膵臓・・・・・・糖尿病、新陳代謝障害、慢性・急性膵炎など

十二指腸・・・・十二指腸潰瘍、消化不良、腹部膨滿など

膵臓の不調は、慢性的な「喜びの欠如」「甘えの過剰」、あるいは「自分を甘やかしてばかりで責任を負わない姿勢」を示唆すると言われます。腎臓は「靈體」、膵臓は「肉體」をコントロールしている「多臓器」という本質を忘れないようにしましょう。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

音叉セルフヒーリングで使う足裏一覧表			
反射區（はんしゃく）	ソルフェジオ音叉	惑星音叉	各種エナジーバー（※上級ツール含む）
腎臟（じんぞう）	285Hz	セドナ	C^{1}＋C^{1}ハーモニック＋地球＋月
尿道（にょうどう）	396Hz	海王星	C^{1}＋C^{1}ハーモニック＋太陽＋海王星
膀胱（ぼうこう）	417Hz	金星	D^{2}＋D^{2}ハーモニック＋海王星＋金星
副甲状腺（ふくこうじょうせん）	741Hz	金星	G^{5}＋G^{5}ハーモニック＋水星＋金星
小腦（しょうのう）	852Hz	海王星	A^{6}＋A^{6}ハーモニック＋水星＋海王星
腦下垂體（のうかすいたい）	963Hz	天王星	B^{7}＋B^{7}ハーモニック＋太陽＋天王星
眼（め）	852Hz	木星	A^{6}＋A^{6}ハーモニック＋木星＋海王星
耳（みみ）	285Hz	冥王星	A^{6}＋A^{6}ハーモニック＋冥王星＋海王星
僧帽筋（そうぼうきん）	639Hz	ゾディアック	F^{4}＋F^{4}ハーモニック＋太陽＋水星
心臟（しんぞう）	639Hz	太陽	F^{4}＋F^{4}ハーモニック＋太陽＋木星
脾臟（ひぞう）	174Hz	土星	F^{4}＋F^{4}ハーモニック＋土星＋金星
肝臟（かんぞう）	528Hz	木星	F^{4}＋F^{4}ハーモニック＋木星＋月
胆嚢（たんのう）	417Hz	火星	F^{4}＋F^{4}ハーモニック＋火星＋金星
胃（い）	741Hz	水星	E^{3}＋E^{3}ハーモニック＋水星＋土星
膵臟（すいぞう）	528Hz	ゾディアック	E^{3}＋E^{3}ハーモニック＋木星＋金星
十二指腸（じゅうにしちょう）	396Hz	冥王星	E^{3}＋E^{3}ハーモニック＋冥王星＋地球

ここまでが「音叉セルフヒーリング入門編テキスト實踐編」の具體的（ぐたいてき）な實踐内容になります。

この情報は、地上人類の誰しもが必要な情報であり、わたし達が「宇宙の音」に眞の意味で耳を傾けることは「靈的巡礼の旅（スピリチュアルジャーニー）」のため、そして眞の健康のためにも欠かせないものです。

「このテキストが、皆さまの靈性の向上と健康に役立つことを願っています」



入門編最終章

地球という惑星の人類のために

地球人類救済計画（スピリチュアリズム）の総責任者（リーダー）、イエス

その願いは、地球人類を救うことである

救いとは、幸せとは「靈的成長」である

その想いを引き継ぐことが、生まれてきた意味



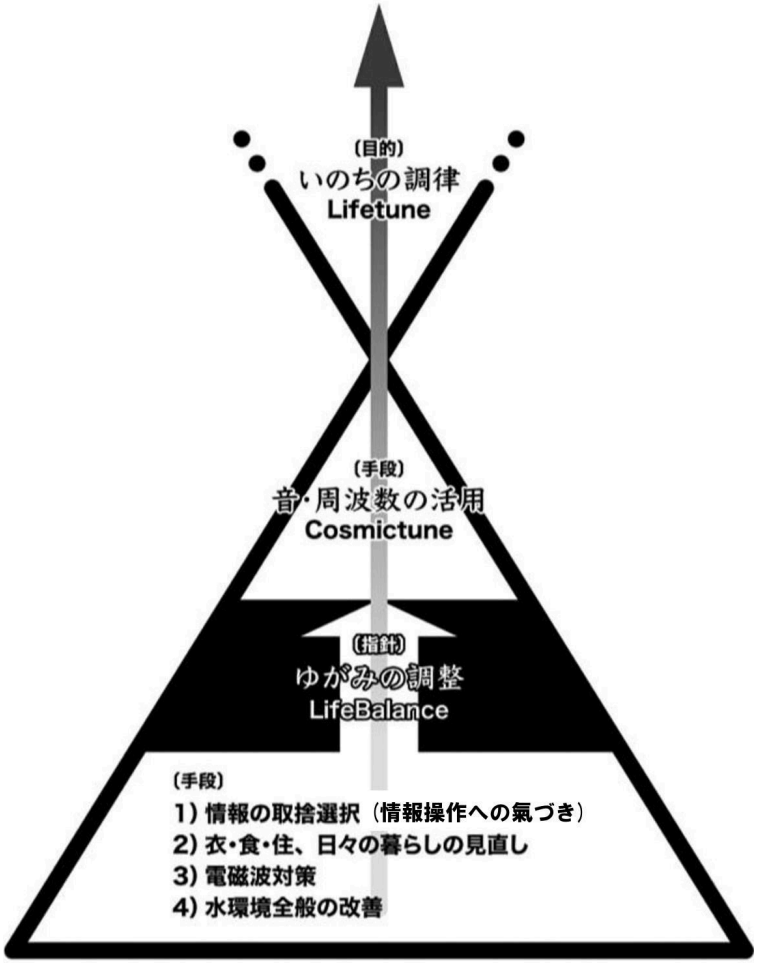
資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

古代の叡智（自然法則）に基づいた生活習慣（ライフスタイル）への移行（シフト）



地球人類救済計画（スピリチュアリズム）とは、「ナザレのイエス」が総指揮者（リーダー）となった靈界主導の大規模な計画のことです。その計画の中樞が２つあり、それは「宗教の統合」と「星信仰の復活」という二大テーマに分類されます。

音叉によるセルフヒーリングは「心靈治療」の分野として、「星信仰の復活」というテーマに組み込まれており、地球人類救済計画（スピリチュアリズム）の必要な要素として存在しています。そのことに氣づくことが人生の鍵になります。



いのちの調律のことを「いのり」と呼び、「生命とは靈であり、靈とは生命」であり、音叉によるセルフヒーリングは生命の調律という目的の最高峰の手段です。それは、生まれる前に決めてきた本来の生き方に戻ることを意味しています。

惑星地球の地上人類は、地上世界を支配する「裏の權力者」によって情報操作をあらゆる分野で受けており、間違った教育と情報により、自然法則に反した生き方を８０億の人間の殆どがしている状態です。

地上人類は生まれてから今日まで、氣づかない間に多くの洗脳を受け續けてきています。支配者層から始まり、先進國、政府、マスメディアなどのテレビ、ラジオ、CM、新聞。そして宗教や家庭の教育により祖父母、両親、親戚、兄弟姉妹などからの偏った教育など。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

マスメディアは、意圖的に支配者層によって都合のいい方向に人類を誘導するために作られた組織であり、いまだにその影響力は絶大です。さらには、教育機關も洗脳のための機關であり、學校、教師も間違った方向で生徒を教育ではなく調教し、奴隷として生きるように促しています。

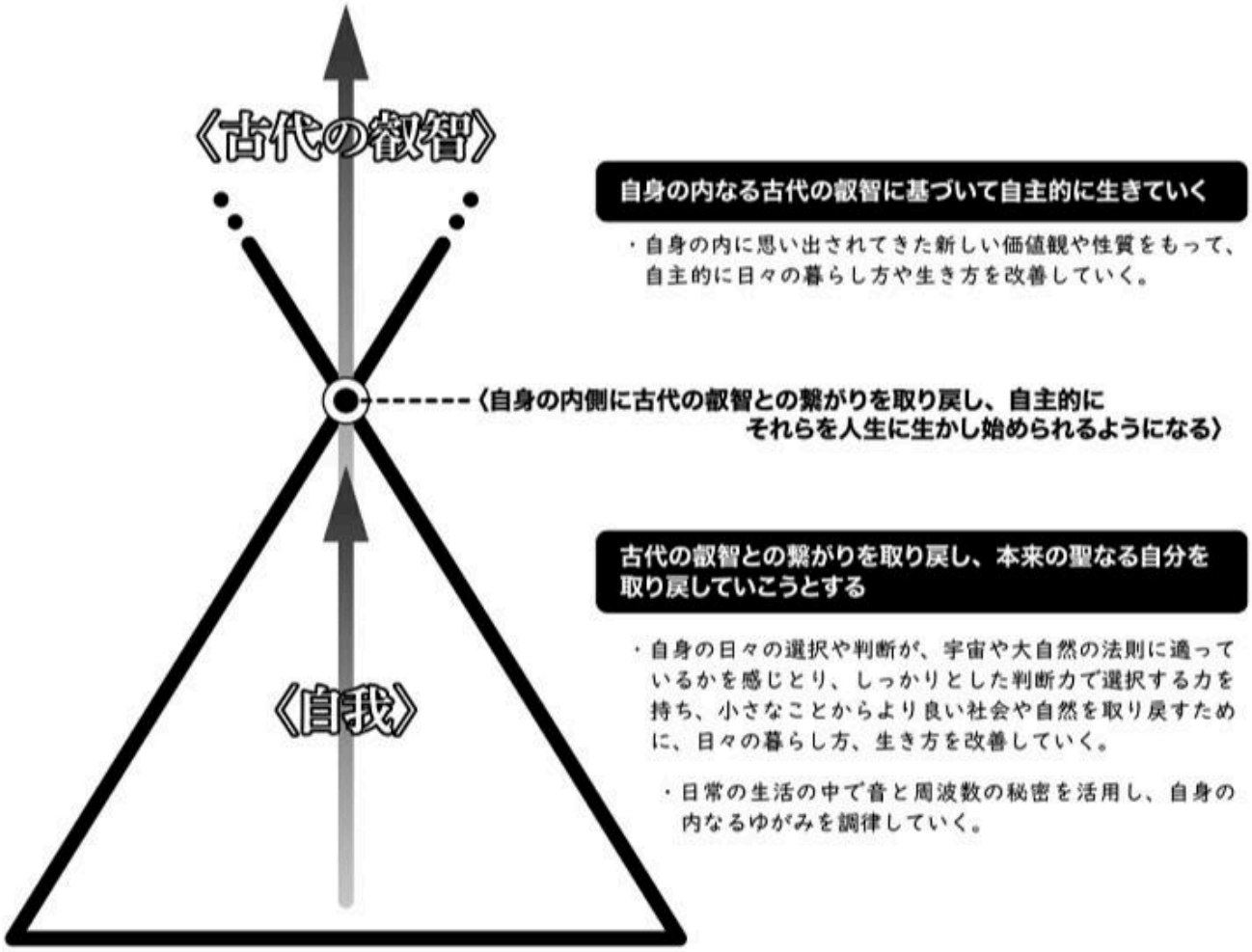
また自由な情報發信ができると言われるネットやＳＮＳにおいても、別の新しい方法論による洗脳、誘導、かく乱などが行われており、友人や知人は本、ネット、ＳＮＳなどから拾ってきた實質的には何の役にも立たない情報を信仰している人が沢山います。

地上世界はあらゆる分野が自然法則に反した方向、全宇宙の中で最下位のEGHO文化を築き上げています。今の時代に大切なのは、「EXA PIECO靈の心を基準に、DIKAG肉の心でしっかりした判斷力で選択する力」を養うことです。

そのために、信頼できる人々に直接会って正しい情報に触れていくことで、自然と、嘘や僞り、意圖的な誘導、洗脳的な働きかけに違和感を感じられるようになり、それらの影響から離れていくことができるようになっていきます。

音叉による生命の調律が進んでいくと、これまで慣れ親しんだ価値觀や習慣、好きだった食べ物や好きだった場所、好きだったモノなどに対する興味や關心が薄れてくるのを體驗するようになります。その變化は、好きだった音樂、本、テレビ番組やブログ、ＳＮＳでのコミュニケーション、グルメ、旅行、ショッピングなどにとどまらず、交友關係などの人間關係にまで及びます。

これはまさに、内なる周波數の變化による影響で、音叉によって生命の調律が順調に進んでいる証です。大腦から心臟腦へ生き方がシフトし、本來の靈の心に基づく生き方になることで、日々の暮らし方、生き方を改善していけるようになるのです。



生命（いのち）を調律していくプロセスでは、自己の内側のEXA PIECO靈の心との繋がりを取り戻していくことで、これまでのD I K A G顯在意識のEGHO（エゴ）意識に基づく生活から、「古代の叡智（自然法則）」に基づく生活習慣（ライフスタイル）に移行（シフト）していきます。

ただしこれは、自分で考えることをやめて、他者から聞いた古代の叡智（自然法則）といわれるものを盲目的に受け入れることではありません。それはある種の洗脳であり、生命（いのち）の調律が指し示す未来ではありません。

あくまでも健全なる心身の状態のもと、自身の内側にEXA PIECO靈の心との繋がりを取り戻し、自主的に古代の叡智（自然法則）に適った生き方に自分自身の生き方を改善していくというプロセスが大切で、それが生命（いのち）を調律していくという意味なのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

自分自身を變化（へんか）、進化させる力を養うこと



生命（いのち）の調律に音を活用していく際に欠かせないのが、天體（てんたい）と人體（じんたい）との關係を理解し、活用していくことです。これは古代からの叡智の一つであり、古來各地で、さまざまな方法によって活用されてきました。

古代の人々がそうであったように、わたし達も音と周波數の神祕、人體（じんたい）と天體（てんたい）の關係、魂と惑星の祕密などを知り、活用し、生命（いのち）を調律していくのです。

その際、重要なのが電氣を使わない、自然な倍音が豐かに含まれた各種のサウンドツールを用いて、生命（いのち）を調律していく方法を本テキストではお傳（つた）えしています。

そして、靈の心（心臟腦）が本當に目覺め、眠っていたＤＮＡのスイッチをオンにし、古代の叡智（自然法則）との繋がりを取り戻していくためには、自分が氣持ちよく感じ、欲している星々の音を見つけ、存分に取り入れていくことが近道です。

惑星の周波数の一覧表

天體	周波数	音階	人體への対應	天體の簡單な説明
太陽	126.22 Hz	B ♯	心臓、神經系	万物を育む光、エネルギー。温かさ、暖かさ
セドナ	128.1 Hz	C	體液全般	フラワーオブライフ、超傳導體、カルマの除去
オーム	136.1 Hz	C ♯	經絡全般	宇宙の始まりの音、地球の四季のサイクル
冥王星	140.25 Hz	C ♯	肛門、直腸	重金属を排出、深層部へのアプローチ
水星	141.27 Hz	C ♯	甲状腺	コミュニケーション。情報と經驗の統合。知性
火星	144.72 Hz	D	胆嚢、赤血球	力、エネルギー、熱、行動と實行力の強化
土星	147.85 Hz	D	脾臓、骨、皮膚	肉體の内分泌系の管理、コントロール
キロン	151.27 Hz	D ♯	傷の癒やし	心身と魂の傷を癒す。シフトのサポート
ニビル	161.26 Hz	E	遺傳子	有機的肉體の再構成と靈的アップグレード
ヒュゲイア	166.84 Hz	E ♯	微生物、菌	藥草の女神、婦人科系の疾患に用いる
ゾディアック	172.06 Hz	F	膵臓	黄道帯、25920 年の叡智、多臓器
木星	183.58 Hz	F ♯	肝臓	広げる。より高い個性、新しい考え方への視野を拡大
地球	194.71 Hz	G	生命力	腸内に有用な微生物を育み生命力を高める
天王星	207.36 Hz	G ♯	松果體	新たな靈線を繋ぎ、直觀力を高める
新月	210.42 Hz	G ♯	仙骨	感情の浄化
海王星	211.44 Hz	G ♯	髄液	想像力と創造力を高め具現化を加速させる
金星	221.23 Hz	A	膀胱	調和、共感力。松果體の活性と心臓の調和の促進
滿月	227.43 Hz	A ♯	蝶形骨	感情を滿たす

※厳密には、各惑星に關連するチャクラや臓器は、靈體と肉體で違いがあります

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

天體と、わたし達の臟器や個々の細胞、エネルギーポイントなどとの關係性は知れば知るほど面白く、多くの數學者や哲學者が晩年のテーマとして音に行き着いているのもうなずけます。そもそも宇宙の全ては振　動であり、周波數を放っています。

そしてある形態と振動する周波數には密接でダイレクトな關係性があり、人もまた振　動を發しており、その振　動が「炎」を生み出しており、靈止はエネルギーの複合體なのです。

星々の周波數と、わたし達の魂、精神、身體との關係性を學び、それを日々の生活に活かしていくと、無理なく必要な振　動の刺激を受け取れます。すると、魂、精神、身體が銀河の周波數に慣れ、人々の生命は徐々に調律されていきます。

わたし達が母親の體内で受精卵として生命を宿し、この世に生まれるまでの十月十日に受ける惑星の位置と軌道から注がれる周波數やリズムが、全身の細胞に波形を送り、それぞれの場の形状との連鎖によって心身や各臟器のエネルギー特性や強弱にも影響を与えているのです。

生命を調律していったときに取り戻す性質の中で、最も重要といえるのが「自分自身を變えていく力」というものです。なぜならば、「原因」と「結果」というこの自然世界の法則が宇宙をコントロールしており、すべての結果は「自己責任」だからです。この法則は絶対であり、例外はありません。

わたし達は他人を本質的に變えることはできず、自分自身によってしか本質的に變化していくことができないからなのです。つまり、自分自身を變えていく力を取り戻し、それを繼續し強くたくましくしていくことでのみ、さまざまな状況を乗り越えて、生命を調律していくことが可能になってくるのです。



生命の調律は、最初は他者から學び、それを元に日常生活の生活習慣を徹底的に見直すことがスタートです。數年はそのような期間が續きます。しかしこの期間においても、生命の調律の實踐は自分自身でしかできないことであり、他の人に自分自身の人生を生きてもらうことはできません。

その期間に、音叉ヒーリングのワークを受けたり、様々なセルフヒーリングの方法、日常生活の改善方法を學ぶことは、生命を調律していくうえでの根幹であり、欠かすことはできない要素です。しかし、その上で、自分自身の日々の暮らし方、生き方を徹底的に改善していかなければ生命は調律されません。

またある程度、生命の調律が進むと、「FUGEHUKON」の「FUGEHEKIN」との繋がりを取り戻し、その眞理、叡智を自身の内側に思い出すことができるようになってきます。一見それは素晴らしいように思えるのですが、そうした變化によって、顯在意識ではかえって戸惑いを感じることもあります。何故ならば、靈的眞理はこれまでの地上人生で慣れ親しんできた価値観や習慣とは眞逆だからです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

肉體（にくたい）という物質の牢に閉じ込められ、意識を制限された状態で物的生活を送っているあなた方には、靈（※FUGEHUKON（大靈）とFUNEKON（靈））と心（※靈の心（EXA PIECO）、肉の心（ＤＩＫＡＧ））と身體（しんたい）（※靈體（れいたい）、肉體（にくたい））の關係について明確な理解をもつことは不可能です。

氣苦勞（きぐろう）の絶え間がありません。身體（しんたい）の要求を滿たしてやらなくてはなりません。金錢の問題にも關わらなくてはなりません。そうした息つく暇もない生活の中であなた方はつい意識の焦点を外し、支援しようとして待機している背後靈（SEPOUW）の存在を忘れがちです。

『シルバーバーチの靈訓（二）』p.68

地上人類は物質中心の生活をしているために振動（バイブレーション）が低くなっています。朝、目を覺まし、まだ顯在意識（ＤＩＫＡＧ）が完全に働かないうちから、あれやこれやと煩わしいことや心配事の波にのみ込まれています。大きい惱み、小さい惱み、本質の惱み、取り越し苦勞（くろう）に過ぎぬもの等々いろいろあります。

いずれにせよ全ては一時的なものにすぎないのですが、そういうものに心を奪われてしまうと、背後靈（SEPOUW）が働いてくれている事實を忘れ、顯在意識（ＤＩＫＡＧ）の思考の流れの中から靈的要素を閉め出してしまい、背後靈（SEPOUW）が振動（バイブレーション）により靈的エネルギーを流入をしようとしているのを遮斷する一種の壁を作ってしまいます。

これは眞理普及の仕事に携る人にもよくある話です。奉仕の情熱、落胆、試練、そして悟り、このパターンの繰り返しです。これは肉の心（ＤＩＫＡＧ）が靈の心（EXA PIECO）に触れ、内在する神性を開發せんとして必死にあがく一種のシーソーゲームのようなものです。地上世界はこうした状況に戸惑いを感じる人が多いのです。

しかし、戸惑いこそすれど、慣れ親しんだ古い価値觀や習慣を手放すことが靈性の進化のために必要であり、こうした眞理を受け入れる受容性が鍵になります。

人間の「呼吸」するというなんでもない動作一つでも、それを可能にしているのは、宇宙を創造し、惑星や恒星の運行を司り、太陽に無尽蔵のエネルギーを与え、大海の干満を司り、あらゆる植物の種子に芽を出させ、地上に千變万化(せんぺんばんか)の彩りを添えさせているところの根源的生命力、すなわちとFUGEHUKON(大靈)と同じものです。

人間は１日に平均２万５９２０回(平均１８回／分×６０分×２４時間)呼吸していますが、太陽が黄道１２星座を通過するのにかかる年数、いわゆるプラトン周期もほぼ同じです。太陽は黄道１２星座を７２年で１度動きますが、これは人間の平均寿命に相当します。

この７２年というのは、およそ２万６０００日であり、これは１日の呼吸数、あるいは太陽が天界を１周する時間に匹敵します。そして、人間の呼氣と吸氣の間には、過呼吸を防ぐためのわずかな間があり、地球の１年のサイクルにも同じような間があります。

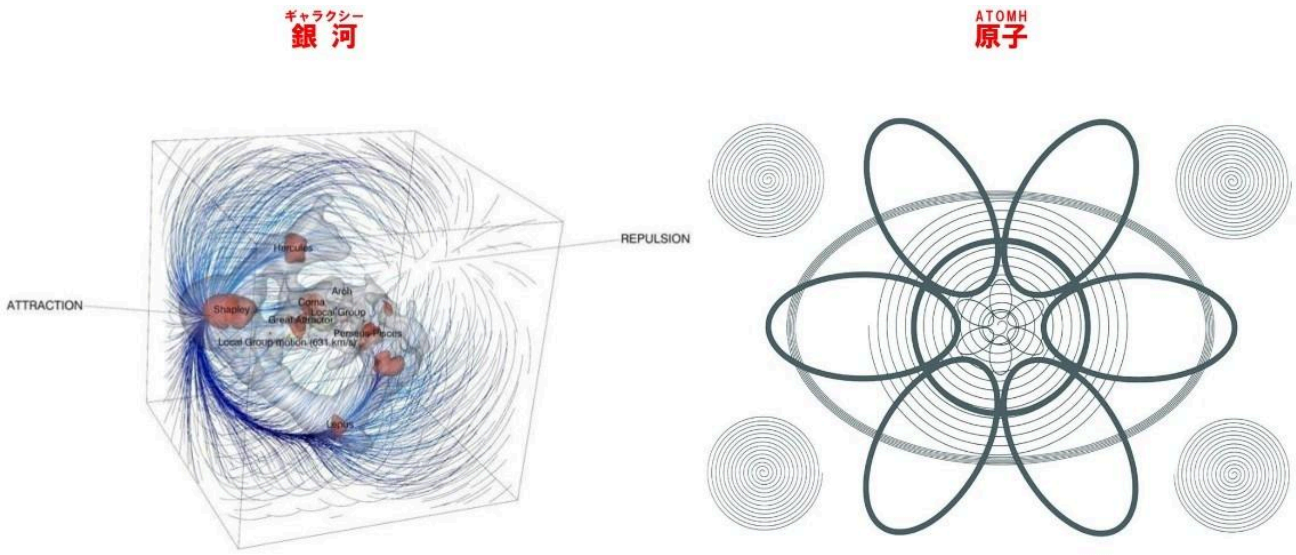
たとえば夏至の日、太陽は束の間の「休息」をとり、その後、反対方向に回轉(かいてん)します。その力はかつて一度たりとも働きを狂わせたことはありません。こうしたFUGEHEKI(自然法則)は完璧であり、海の干満が止まったことが一度でもあったでしょうか。地球の自轉(じてん)と公轉(こうてん)の回轉(かいてん)が止まったことがあったでしょうか。自然法則が機能しなかったことがあったでしょうか。

こうした靈的知識を有する者はそれを正しく運用して、物的要素に偏らないようにならなければなりません。靈的要素の方に比重を置かなければいけないということです。正しい靈的視野に立って考察すれば、顯在意識(DIKAG)で焦点を正しく定めれば、日常生活での心の姿勢さえ正しければ、物的要素に対して最小限度の考慮を払い、決して偏ることはないでしょう。

そうなれば靈力が靈の心(EXA PIECO)を通して意のままに働いてあなたを支配し、生活全般を改革せしめるほどの靈力が漲り、ついには物的要素に絶対に動かされない段階にまで到達します。それは生命(いのち)の調律を通して可能なのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

星の叡智により DNA の進化を促す



天體（てんたい）の一分一厘の狂いのない運行をみれば分かるように、宇宙には偶然の巡り合わせとか偶然の一致、ひょんな出來事といったものは決して起きません。FUGEHUKONのFUGEHEKIN（大靈自然法則）に顯在意識（DIKAG）ではかえって戸惑いを感じる理由は、これまでの地上人生で慣れ親しんできた価値観や習慣とは眞逆だからです。

その最たる例は「宇宙と靈止（ひと）は同じ」であるという事實です。大宇宙（マクロコスモス）と小宇宙（ミクロコスモス）は「照應（しょうおう）關係」にあり、天體（てんたい）と人體（じんたい）は必ず照應（しょうおう）關係にあり、大宇宙と靈止（ひと）は同じ創りです。大宇宙（マクロコスモス）は「大靈（たいれい）」であり宇宙を表し、小宇宙（ミクロコスモス）は「靈」であり人間を表します。人間は宇宙の縮圖（しゅくず）です。

宇宙の天體（てんたい）は必ず「靈的世界」と「物質世界」が存在します。日本語で靈的世界のことを靈界、物質世界のことを地上世界と呼びます。その靈的世界と地上世界とが水も漏らさぬように區別されているのではなく、互いに融合し合い調和し合っています。

この絶対的なFUGEHUKON（大靈自然法則）のFUGEHEKINを知ることが靈的人生の分岐点です

大靈と靈止、大宇宙と小宇宙、靈的世界と物質世界、靈體と肉體、太陽と月、男性と女性、火と水（火水）、創造と破壊、これらの陰陽はすべてセットであり、バラバラに捉えている限り永遠に自然法則の本質には氣づきません。互いに融合し合い調和していくこと、分離意識から統合意識に向かうことが大切な氣づきに繋がるのです。

地球の現代科學において、すべての存在物は「素粒子」、「元素」、「原子核」、「原子（中性子、陽子）」、「分子」、「電子」で成り立っているとされています。しかし、その本質については現代科學では殆ど何も分かってない状態です。

何故なら、「大宇宙と小宇宙、宇宙と靈止、天體と人體を分離して捉えている」からです。この意識の状態で「宇宙の法則」を知ることは不可能です。「星信仰の復活」とは、大宇宙と小宇宙、宇宙と靈止、天體と人體の照應關係と言う「古代の叡智」を現代に甦らせることです。

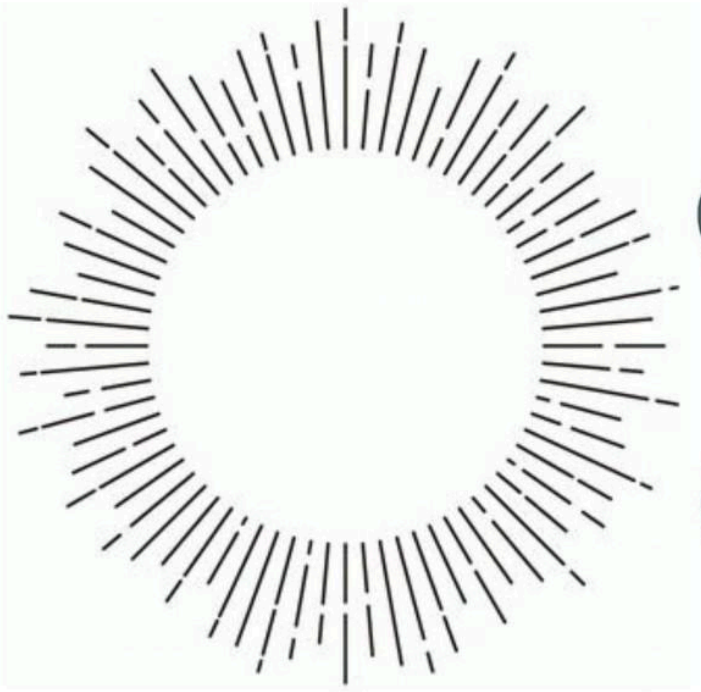
生命のあるところには必ず運　動があり、リズムがあり、鼓動があります。存在するものはすべて振動し、何かを放射し、活動しています。靈的世界と地上世界が繋がっているのもバイブレーションのおかげです。

靈的世界は物的感覺の領域を超えたバイブレーションの世界であり、言わば「オクターブの高い世界」でのことです。そのオクターブの世界に足を踏み入れるのが「倍音」になります。靈的エネルギー、靈的パワー、靈的現象はことごとく物質より感度の高い、精妙でデリケートなバイブレーションから成り立っております。

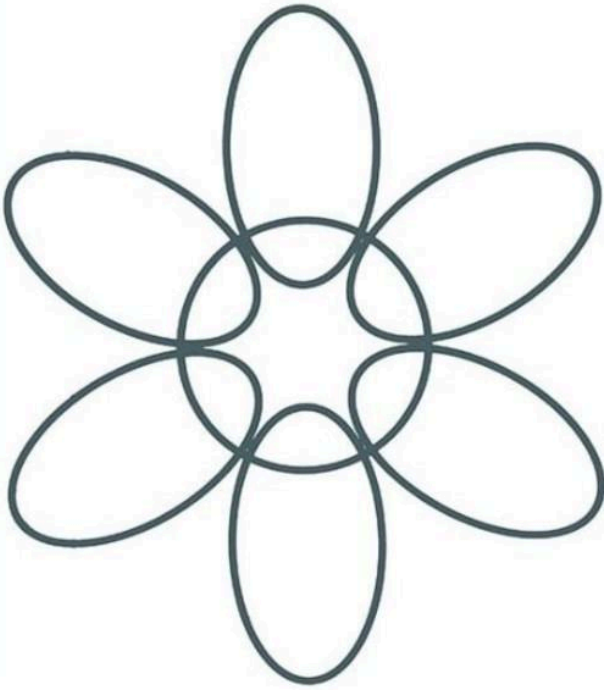
生命は活　動せずにはいられないものです。静止したり惰性的になったりするものではありません。生命には常に運　動が付随します。この秘密を知った者は、音叉によるセルフヒーリングが何故必要なのかを理解したことになります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

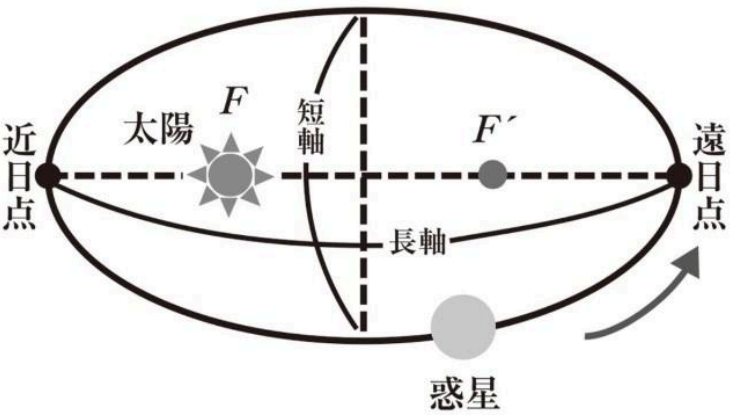
スター
恒星



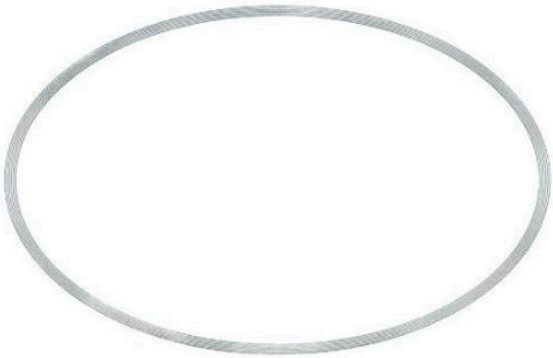
ODEO
中性子



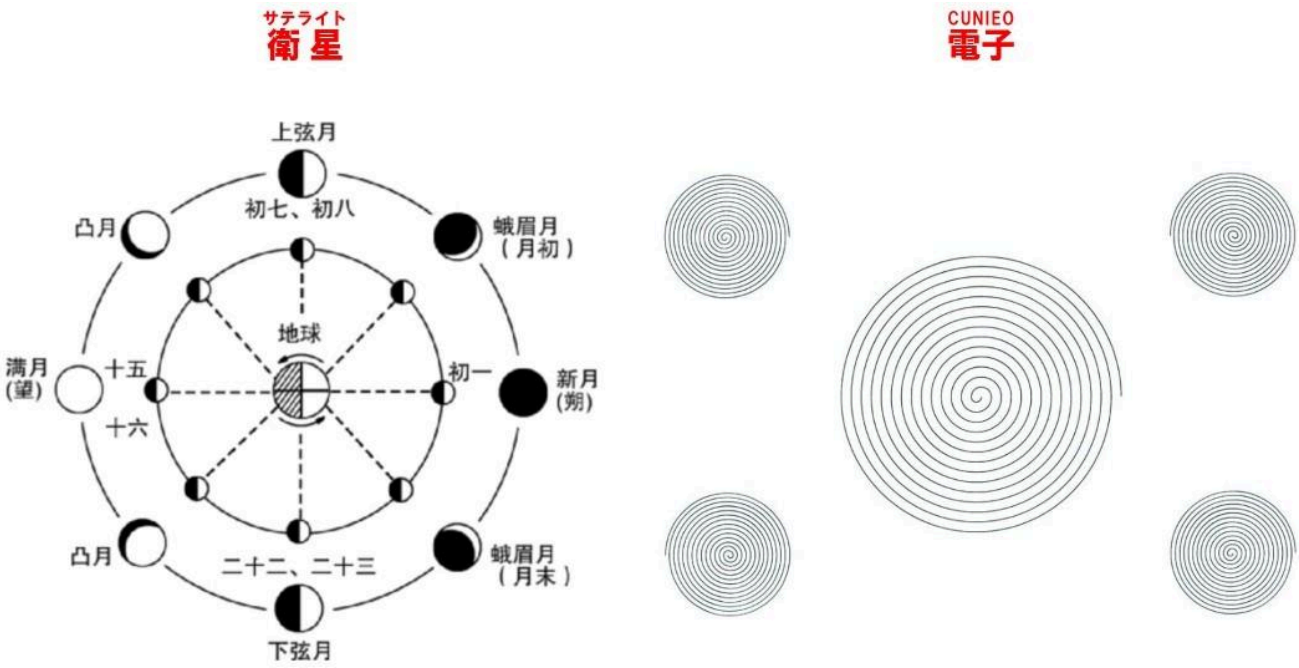
プラネット
惑星



TOBE
陽子



地球は、太陽のみが「恒星（スター）」であり、他の天體（てんたい）は「惑星（プラネット）」に分類されます。その恒星（スター）は中性子と相關關係にあり、惑星（プラネット）は陽子と相關關係にあります。その２つが組み合わさったものが銀河（ギャラクシー）であり原子になります。そして、原子が「酸素」というものを生み出します。そして、各惑星（プラネット）の軌道にある月などの衛星（サテライト）は電子に直接關係しており、陰電子が新月、陽電子が満月に關係してきます。この電子が「水素」というものを生み出します。



その酸素と水素の回轉(かいてん)により「空氣」というものが生まれます。その空氣は酸素と窒素で９９％成り立ちます。その空氣に元素が含まれることで「炎(ひかり)」が生まれます。酸素、水素、窒素が化合すると炭素という生命素が生まれ、有機的肉體(にくたい)の創造に繋がります。

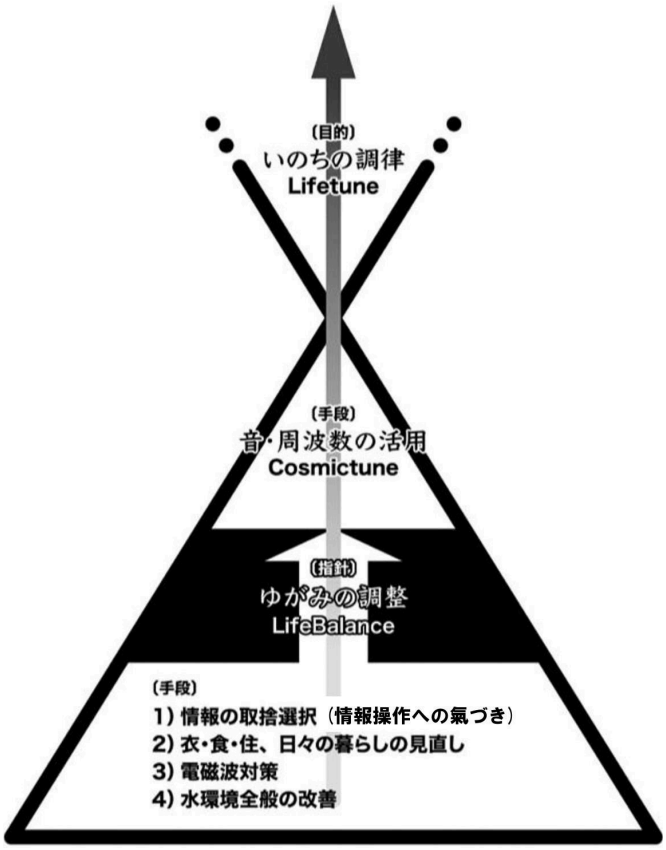
人間の四大元素は酸素、水素、窒素、炭素で構成されており、これＤＮＡ/ＲＮＡの塩基配列にも關係しています。音叉セルフヒーリングにより生命(いのち)の調律が進み、古代の叡智を取り戻していくと、自分自身の意志で、ＤＮＡ/ＲＮＡのアップグレードを促していくことができるようになります。

２００９年１０月に、「ＤＮＡは音（言葉と振動）の影響で頻繁に再プログラムされている証拠が見つかった」という衝撃的な内容が、ロシアの科學者(かがくしゃ)たちにより發表されています。

これらは現代地球文化の現代科學(かがく)では完全には原理が明らかにされていない情報ですが、靈的世界からまだ地上世界には知らされていない最先端の情報として受け止めてください。こうした生命原理に、音叉による生命(いのち)の調律は深く關わっており、音叉セルフヒーリングを通して生命の神秘、謎を解明することが可能です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

自然法則に適った正しい生活習慣（ルーティン）を身につけること



音叉による生命（いのち）の調律は、音、周波數の活用により、魂心身（こんしんしん）のゆがみの調整することが目的です。

スピリチュアリズムが明らかにした日常の靈的實踐論は、すべて同時に實踐することが大切であり、どれかひとつが欠けても成り立ちません。

そして人間が健康で暮らすには「自然法則に適った正しい生活習慣（ルーティン）を身につける」ことが、生命（いのち）の調律に必要なことになります。

人生を變（か）えるのは「習慣（人生觀）」と「想い（靈の心優位（EXA PIECO））」と「行い（調和の實踐）」が一致し、「苦しみへの正しい対処（眞の感謝）」を身につけることです。なので、付け焼き刃で形だけマネをしても、すべてが正しく整わない限り、そのメッキはすぐに剥がれ落ちます。

【スピリチュアリズムが明らかにした日常の靈的實踐論】

① 靈の心優位（EXA PIECO）の努力（禱（いの）り、靈的眞理の學習、欲望のコントロール）	想い
② 調和（DEVIK（デヴィック）、神意（あい）、奉仕、利他、分かち合い、協調）の實踐	行い
③ 靈的眞理に適った苦しみへの正しい対処	感謝
④ 自然法則に適った正しい生活習慣（ルーティン）を身につける	習慣

> 靈的知識を手にすれば、その時点からその活用の仕方に責任が付加されます。その知識の分だけ生活水準が高まらないといけません。高まらなかったら、その代償を支払わされます。（中略）知識がそこにあることを知りつつそれを活用することができないでいると、それによって逆にその人の靈性が弱められ、害をこうむることになりかねません。
>
> 『シルバーバーチの靈訓　スピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべ』p.227

人生の目的である靈性の進化は、長い長い期間をかけた厳しい靈的成長のための努力によって得られるものです。別の表現をするならば「自然法則に一致した厳しい日常生活の努力が、そのまま靈性の進化のための修行になっている」ということです。

日常生活を自然法則に適った生き方にする生活習慣、衣食住の暮らしの徹底的な見直しをしていき、質素な生き方、欲望をコントロールする生き方を身につけ、魂、精神、身體（しんたい）の健康を保つことがスタートラインです。そのためには電磁波対策、水環境の改善なども必要になってきます。

そしてFUNEKON（靈）優位、EXA PIECO（靈の心）優位の努力を通して「靈的視野」を身につけていき、自分の利益を忘れた犠牲的な調和の實踐を通して「犠牲精神」が培われ、苦しみへの正しい対処を通して「眞の感謝」をしていき、背後靈（SEPOUW）への純粋な道具意識を通じて「靈界への道具意識」が養われるものなのです。これ以外に本物のスピリチュアルな能力を身につける方法はありません。

靈性の向上は、講演會（こうえんかい）やセミナーやワークのような短期間の實習で身につくものではありません。全身全靈で地球人類のために奉仕しようとしている高級靈の助力を引き寄せるには、ひたすら純粋で自己を滅却した犠牲精神が必要とされます。お金を払って講座を聴き、わずかばかりの知識の習得や實習をして身につくような次元の低いものではありません。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

手段の目的化を起こさないこと

(質問)――これからは心靈治療（ヒーリング）がもっとも重大な分野となるように計画されているのでしょうか？

迷うことなく“そうです”と申し上げます。これからは、病氣に苦しむ人々の治療の分野に靈力を顯現させていく計画が用意されています。病氣や障害のために人生が侘（わび）しく、陰うつで、絶望的にさえ思えている人々に、靈的な治癒エネルギーが存在することを証明してあげるのです。

靈力――生命力そのものであり、數多くの治療家を通して注入される無限のエネルギーは、病氣や障害によって痛めつけられ苦しめられている身體（しんたい）に、新たなエネルギーを注ぎ込んで活氣づけ、いかに疑り深い人間でも、地上の用語では説明できない力が存在することを認めざるを得なくしてしまいます。

皆さんが生きておられる今の時代にぜひ必要だからこそ、そう計画されているのです。

『シルバーバーチの靈訓　靈的新時代の到來』　p.224

音叉による生命（いのち）の調律は「地球人類救済計画（スピリチュアリズム）」の計画の中に組み込まれています。それは古代靈シルバーバーチがいうように「皆さんが生きておられる今の時代にぜひ必要だからこそ、そう計画されているのです」という言葉が物語っています。

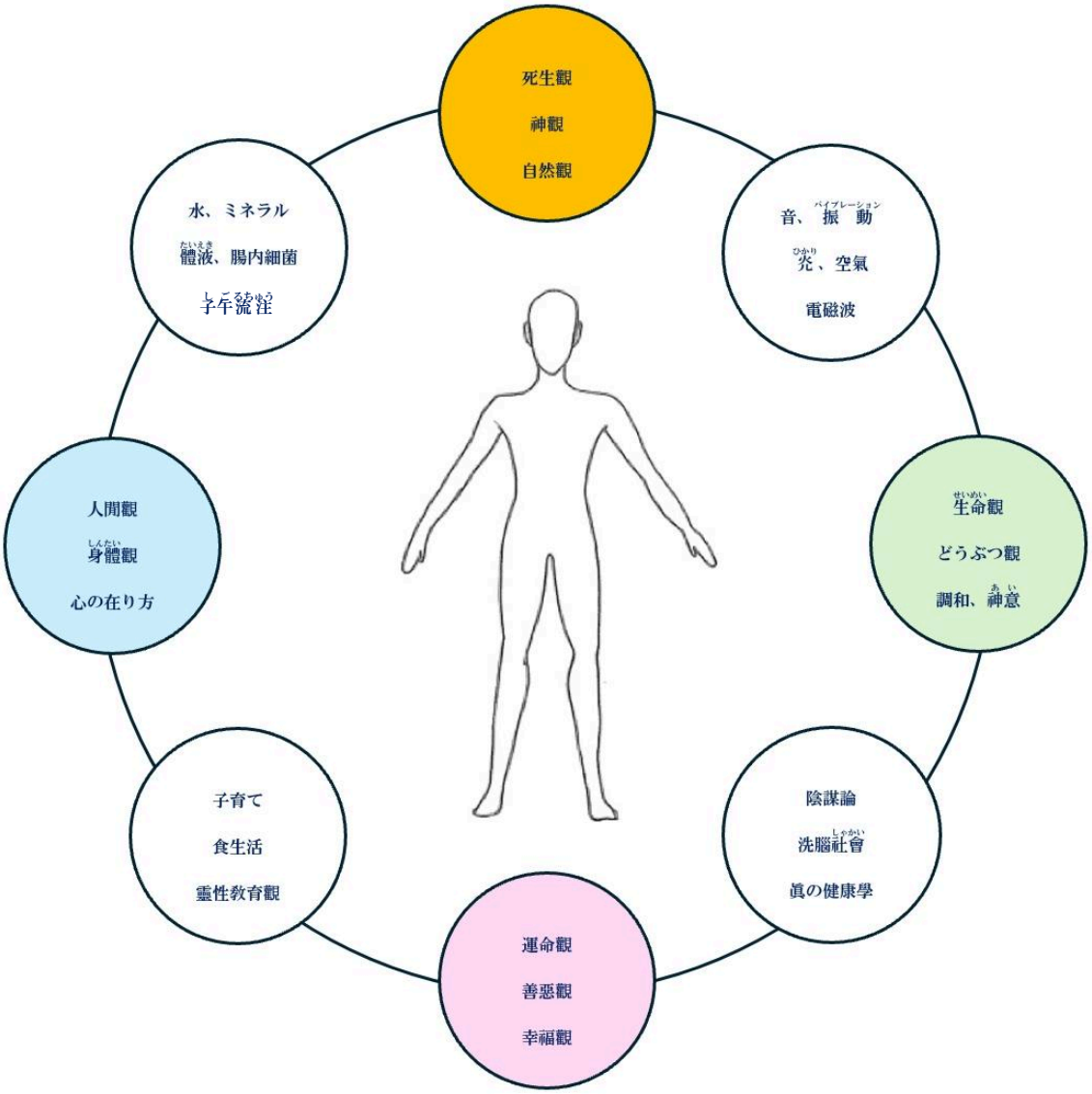
しかし、生命（いのち）の調律は音叉だけが方法ではなく、あくまでも日常の生活の見直しをし、自然法則に適った生き方に移行（シフト）することが目的です。そうして、調和の實踐をすることでこの惑星地球文化と地球人類を正常に蘇生することが地球人類救済計画の最大の目的です。

【ホリスティック健康學に必要な人生觀】

神觀、調和、神意、自然觀、死生觀、人間觀、心の在り方、身體觀、生命觀、どうぶつ觀、運命觀、善惡觀、幸福觀

【ホリスティック健康學に必要な實踐論】

音、振動、光、空氣、電磁波、水、ミネラル、體液、腸内細菌、子午流注、靈性教育論、食生活、子育て、陰謀論、洗腦社會、眞の健康學



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

忘れてならないことは、「生命の調律は、あくまでも目的に至るための手段であって目的そのものではない」ということです。地上世界の人々はうっかりすると、本來は手段であったものが、いつのまにか目的化してしまいます。そして本來の目的は忘れてしまうのです。

EXA PIECO
靈の心優位での調和（※DEVIK、奉仕、利他）の實踐を通して、その實體驗から人は氣づき、學びを深めていき、改善を繰り返していくことで靈的進化をしていく、それを可能な限り最善を尽くして實行し、地上世界をより善い世界にしていき、自分自身の靈性を進化させていく、これが何のために生まれ、何のために生きるのかの目的です。

これは日常生活や仕事上のこと、社會的な關係性においてなど、さまざまな場面で起こりうることですが、ときには人生そのものにおいてさえ「手段の目的化」を起こしてしまうのです。これは非常に危険なことです。

本來、生きること（健康や長寿、仕事や生活、生活必需品の確保）そのものはあくまでも靈的成長のための手段であり、人生の本質的な目的はEXA PIECO靈の心優位での調和の實踐により、この惑星地球をより善い天體にするという生きる目的を意識しながら毎日を生きている人、その目的に向けて日々DEVIK工夫を重ねているような人は少ないのではないでしょうか。

> 勘違いなさらないでいただきたいのは、地上にあるかぎりは、思念は仕事や勞力や活動の代用とはならないということです。強力な補助とはなっても、代用とはなりません。やはり地上の仕事は（※肉體と）五感を使って成就していくべきです。（※肉體と五感という）勞力を使わずに思念だけで片付けようとするのは、邪道です。
>
> 『シルバーバーチの靈訓　地上人類への最高の福音』p.160

音叉のセルフヒーリングを含む生命の調律は、調和の實踐という目的のための手段なのです

> 禱り（※生命の調律）には目的があります。魂の開發を促進するという靈的な目的です。ただし、だからといって禱り（※生命の調律）が（※調和の實踐という）人間的努力の代用、もしくは俗世からの逃避の手段となるかに解釈してもらっては困ります。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（七）』p.205

肉體的な健康のために音叉を購入し、使う人も多くいます。痛みの解消、リラックス、美容、悩みの解決などのために音叉を選び、特定の種類の音叉だけを繰り返し使っている方も多くいます。もちろんその場合でも、はじめは變化を體驗される場合が多いようです。

しかし、そのまま個人のEGHO的な目的で音叉を續けていては対症療法的に用いてしまう結果となり、「生命を調律し、調和の實踐を通して、靈的進化をしていく」という本來の目的を忘れてしまうケースが大半です。

そして一番最悪のケースは、音叉セルフヒーリングの効果を自分自身が實體驗し、それを無償の奉仕と自己犧牲の方向に使わず、「自分自身の顯在意識のEGHO意識を滿たすために他人に音叉を使うケース」です。

要するに、靈的眞理の學びが抜け落ちているために、自分自身の低俗な欲望を滿たすために音叉ヒーリングを惡用し、金儲けの手段にするケースが最惡のケースです。これは死後、重い罪にあたり、当人の幽界での地獄のような苦しみは確實に避けられません。あくまでも音叉はセルフヒーリングを通して地球人類救済計画に貢献するために存在します。

しかし、生命の調律が進み、自ら靈的眞理を學び實踐するようになると、人間という生命形態としての本質的な目的を思い出していきます。それは肉體を持った存在だからこそできる地上世界ならではの手段を通じて、「輪廻再生」を抜け出し、さらに高次の世界に向かう靈的巡礼の旅路です。生命を調律していくとは、まさにこの道を歩んでいくプロセスです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

何よりも地上人類が學ばなければならない「分かち合い」について

「大自然の攝理から叡智を學ぶにはどうしたらよいのでしょうか」

叡智はあなた自身の靈性の進化とともに學んでいくのです。そのためにはまず第一に、誤った知識と信仰、理性が承服しないもの、大靈の神意と叡智とは思えないもののすべてを捨て去ることができなければいけません。

つまり、新しいものを學ぶ前に古いものを學び直さないといけません。精神の自然な思考を妨げるものは全部捨て去らないといけません。そこから魂が開發され、靈性が進化し、より高い叡智を受け入れる準備が整うわけです。

皆さんはこの場に集い合っている間にも魂が開發されております。そして大靈の叡智が入手しやすくなっております。この場で皆さんは心靈現象を演出する法則の働きを學ばれると同時に、日常の生活を支配している攝理の働きについても學んでおられるのです。そして進歩した分だけ、より高い叡智を身につけていかれるのです。

『シルバーバーチの靈訓　スピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべ』p.196

宇宙の仕組み、「靈的眞理」に氣づくには、「こだわり」と「プライド」を捨て去る必要があります。靈的眞理への氣づきが起きて、時空から直觀で正確に情報が入るようになり深まるにつれて、「こだわり」と「プライド」は、いかに自然の仕組みに反した状態かを知ります。

使命、使命感というのは、顯在意識（DIKAG）の自我意識が３０％くらい入りますが、使命、使命感はこだわりとプライドから生じます。使命感をもたない状態で役割をする、これが重要ですが、現代地球文化というのは、使命感がすごく重要な状態になっています。自我意識とは平たく言えば個的存在にこだわりすぎ、自分が偉いと思っているところから生じています。

人間が何かを實現させたいと願う時は、何らかの形で背後靈(SEPOUW)からのメッセージを受け取っているといえますが、顯在意識(DIKAG)のEGHO(エゴ)意識が多く含まれ欲望、こだわり、プライドの振動波が増幅しているとメッセージを自分の都合のよいように解釈し、歪めて受け止めます。

そして、顯在意識(DIKAG)の自我、欲望によって、何か良いものを手に入れると、それを他人のために使用せずに独り占めしようとしてきました。そしてそうした間違ったあり方ゆえに、いずれ崩壊するに違いない社會(しゃかい)システムを構築しようとしてきたのです。

こうして、地上世界は地上世界にしか通用しないシステムの上に人生を築こうと努力してきました。間違った教育と教養を求め、大靈(たいれい)の自然法則からかけ離れた文明をつくり上げようとしてきました。地上世界の人類が堕落してしまったのは、そのためなのです。

古い時代の文明が破滅してしまったように、現代の物質文明は完全に破綻状態に陥っています。地上人類は自らの間違った考え方による愚行から、地上世界を破滅の寸前にまで追いやっています。

その靈的世界と地上世界とが水も漏らさぬように區別されているのではなく、互いに融合し合い調和し合っています。そして、何と言おうと、靈界と地上世界は互いに助け合って進歩していくものなのです。

何よりもまず地上人類が學ばなければならないのは、大靈(たいれい)の恩寵(おんちょう)は皆で分け合わなくてはいけないということです。現在の地上世界には、今日の食べ物にも事欠く人がいる一方で、度を超した飽食に走っている人がいます。もちろんこれは間違っています。あり余るほど持っている人は、足りない人に分けてあげなくてはいけません。

大靈(FUGEHUKON)の自然法則(FUGEHEKIN)、すなわち靈的眞理を普及し、自然法則(FUGEHEKI)に忠實に生きるなら、人類は恩寵(おんちょう)は皆で分かち合うことが可能になるのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

> 肝心なことは、それを人生においてどう體現していくかです。心が豊かになるだけではいけません。個人的満足を得るだけで終ってはいけません。今度はそれを他人と分かち合う義務が生じます。分かち合うことによって靈的に成長していくのです。
>
> 『シルバーバーチの靈訓（一）』p.118

靈的世界がいう、異文化の共存共生の成否を決定づける最も肝要なポイントは、自我意識の滅却への努力です。人間ひとりひとりが自分自身の自我意識を常に滅却の方向づけようとする努力が「分かち合い」を推進します。

靈界の高級靈達は、地上人類がいかにして魂の自由を獲得し、いかにして大靈の恩寵を分かち合い、いかにして間違った教えの足枷を解きほどくかに注力しています。それは容易な仕事ではありません。なぜなら、いったん間違った教えに洗脳されたら最後、靈的眞理がその厚い迷信の壁を突き通すまでには大變な時間を要するものだからです。

自然法則の大原則、分かち合い、「必要な時に、必要な場所で、必要な誰もが分かち合える」ようにする、それを地上世界で如何に具現化するかが人生の課題です。そもそも靈性の高い人間は、幸福を独り占めしようしません。

なぜなら本当の幸福とは、他人と、また人類全員と大靈の恩寵を分かち合うところに發生するものだからです。もし「幸福を独り占めしたい」という欲望を持つと靈界にはいられなくなり、自動的に幽界の下層に追いやられることになります。

わたし達は眞っ先に靈的眞理を知った存在です。なので「見返りを求めない、自分のことを忘れて、ただ相手の靈的成長という幸福を願いできる限りのDIVIKをする、相手が誰であれ差別をしない、相手の態度に感情的な反應をしない、分かってくれたら喜び、拒否されたら相手に同情し哀れに思う」、これがわたし達が地上世界でなすべきことなのです。

様々な質問に答える

Q　音叉による生命の調律の最重要ポイントとは何でしょうか？

A　人間の靈のメカニズム、心のメカニズム、身體のメカニズムの理解です。靈的法則、心靈的法則は別物ですが、ナザレのイエスは靈的指導者でもありヒーラーでもありました。イエスがヒーラーとして結果を出せたのは、靈格の高さ以上に、むしろ心靈的法則を理解し、かつそれを自在に使いこなすことができたからです。

Q　その心靈的法則を理解するには、どうすればいいですか？

A　天體と人體との關係を理解し、活用していくことです。これは正直難しいことではないはずなのですが、地上世界の間違った常識に洗脳されている人にとっては難しく感じるようです。わたし達の身體は靈體と肉體の二重構造で成り立っていますが、肉體は地球とほぼ同じ造り、靈體は宇宙空間とほぼ同じ造りであり、それを素直に受け入れるだけです。

Q　肉體が地球、靈體が宇宙空間とほぼ同じ造りの意味をお教えてください。

A　星屑、隕石と、我々のミネラル成分は９９％一緒というのが現代科學で明らかになっています。血液は海水、肉體は大地、奇經八脈や十二經絡は星々の運行と共鳴し、各臓器、各器官、各組織は太陽系の天體と共鳴關係にあることも現代科學で明らかにされてます。これは古代の賢人達が唱えていた思想が正しかったことを意味します。

Q　その情報源はどこからですか？

A　acutonics統合醫學研究所、ハートマス研究所など、様々な機關の公式な情報です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

Q　天體（てんたい）と人體（じんたい）の關係性をもう少し詳しく教えてください。

A　惑星音叉については上級編から詳しく學びます。入門編ではあまり詳細はお傳（つた）え出來ませんが、一番重要なのは「惑星と惑星の音程（インターバル）」であり、これを「星のダンス」と表現します。これらの音程（インターバル）について學ぶと、宇宙の仕組みの神祕の奥深さを感じ取れるようになります。惑星と惑星の音程（インターバル）により、各臟器、各器官、各組織への働きかけが變化（へんか）します。惑星音叉の組み合わさ次第で千差万別にヒーリングの効果は變化（へんか）するということです。

Q　せめて、太陽系の惑星の意味について少し教えてください。

A　簡潔に惑星の意味を述べるなら、水星は甲状腺と腦の中樞神經、冥王星は肛門と直腸、金星は腎臟と膵臟で多臟器、海王星は腦脊髓液と體液（たいえき）全般、地球は氣エネルギーと生命力、天王星は松果體（しょうかたい）とメラトニン、火星は胆嚢と筋肉と赤血球、土星は脾臟と骨と内分泌系、木星は肝臟と循環器系、こうした人體（じんたい）への作用があります。

Q　これだけで、様々な症状が改善するのですか？

A　『波動の法則』という書籍では、人間は２４億種類の波動の組み合わさで成り立っているとの情報であり、「波動の組み合わさ方法が無限に等しいほど存在する」ということです。しかし、あくまでも組み合わさ方には「一定の方程式」が存在し、この方程式をスクールでは學び、そこから皆さんが直觀でヒーリングの手順（プロトコル）を作成していく力を養うのです。

Q　音叉セルフヒーリングは本当に地上世界最先端の予防醫學（いがく）なのですか？

A　迷うことなく「そうです」と答えます。予防醫學（いがく）としては間違いなく地上世界最先端であり、疑う余地は、周波數の情報を調べれば調べるほど、なくなります。

Q　音叉のツールは何を購入したらよろしいのですか？

A　これは、音叉を使う「目的」によって變わります。当スクールは、導入編から順番にサウンドツールを増やすことをオススメはしていますが、例えばヘルニアの後遺症で歩けないのを治したいとか、脳梗塞後の後遺症で半身不随とか、不眠を改善したいとか、特定の症状を改善したい場合、その人の症状の改善に対應した音叉セットを購入してもらう場合があります。

そもそも音叉は古代エジプトで約４００本使われていたことが判明しています。４００本すべてを臨機應變に使いこなすのが理想ですが、正直、そのレベルに到達できる人は地上世界には殆ど存在しません。なので靈界としては、基本のセットを順番に購入することが王道であり、正しい方程式、正しい手順で音叉を使えるようになることが大切であると述べています。

当スクールでは、528Hz 倍音トライアルセット、オットー音叉、オーム音叉、チャクラエナジーバー、聖なるソルフェジオ音階９本セットを基軸に、初級編以降はすべてのサウンドツールに「倍音」を追加していき、上級編で惑星音叉の「音程」と「倍音」を學び、マスター編でソルフェジオ音叉と惑星音叉の「複合音」を學びます。その手順で音叉ツールを購入するのが一番王道でしょう。

Q　音叉セルフヒーリングはいつ、何処でしたほうがいいのですか？

A　生命の調律をするときには、誰もいない、自分一人だけの時間と場所をつくること理想です。時間帯は、初級編から本格的に學ぶ「サーカディアンリズム」に沿って、時間ごとにセルフヒーリングの方法論が變わります。また、場所については細かく言うと色々ありますが、部屋でも禱りに適したポイント、適さないポイントというのが存在します。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

子午流注（サーカディアンリズム）



Q　サーカディアンリズムとは何ですか？

A　體内時計のことです。自然法則に適った生活習慣を身につけるとは、「子午流注（體内時計）に適った生活習慣を身につける」という意味であり、基本的に奇数の時間ごとに、十二經絡ごとの時間帯が存在し、そのリズムが生命の調律でも重要になってきます。

Q　サーカディアンリズムについてを、もう少し詳しく説明をお願いします。

A　まず、十二經絡の始まりは「AM3:00～AM5:00（肺）」の時間、十二經絡の終わりは「AM1:00～AM3:00（肝）」になります。この時間は「細胞修復」のために睡眠をしてなければならない時間帯で、脳波でいうと「デルタ波」になります。

AM5:00～AM7:00（大腸）は起床する時間の理想であり、脳波は「シータ波」になり、一番靈的世界と繋がりやすい時間になります。この時間帯こそ一番生命（いのち）の調律に適した時間帯であり、理想としては「奇經八脈」をセルフヒーリングですると背後靈（SEPOUW）と繋がりやすくなります。

AM7:00～AM9:00 から、人のカラダは交感神經優位に切り替わり始める時間帯であり、脳波はシータ波から「アルファ波」に移行します。この時間は、玄米の朝ご飯を食べ、エネルギーを新陳代謝させなくてはならない時間であり、あまり音叉セルフヒーリングに適した時間帯ではありません。

基本的に一般人は「AM9:00～PM7:00」までは仕事をしているので、セルフヒーリングは出來ない人が大半でしょう。ここまでは脳波は「ベータ波」であり、「PM7:00～PM9:00（心包）」から脳波はアルファ波に移行し、「PM9:00～PM11:00（三焦）」で脳波は「シータ波」になります。そして PM11:00～AM5:00 までが睡眠の時間であり、脳波は「デルタ波」になります。

このサーカディアンリズムを規則正しくするのが健康の眞髄です。例えば「PM9:00～PM11:00（三焦）」はお臍（へそ）に氣エネルギーが集中するので、お腹のセルフヒーリングが適した時間帯になります。また、睡眠前でしたら、頭に昇った陽エネルギーを沈めるために下半身のセルフヒーリングをすることも有効です。

逆に日中にもしセルフヒーリングが出來るなら、首から上のセルフヒーリングをすることで大腦を活性化させることも出來ます。このように時間帯によって色々と方法論が違うのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

Q　音叉セルフヒーリングが、なぜ地球人類救済計画（スピリチュアリズム）の計画のひとつなのですか？

A　音叉はひとつのツールに過ぎません。その眞髄は、「直觀」にあります。宇宙語で直觀は「TUNING（トゥニング）」といいます。音叉は英語で「TUNING FORK（チューニング フォーク）」であり、音叉は直觀のためのツールです。目指す最終地点は、地上人類全員の靈能力が開花し、靈的世界と地上世界が自由に交信できることです。それを「テレパシー」といい、直觀の本質的意味に繋がります。

Q　直觀とテレパシーは同じ意味なのですか？

A　そうです。ただ、間違えないでほしいのは「直觀」と「直感」はまったく原理が違うので一緒にしてはいけないことです。言語で説明するのは容易ではないのですが、端的に違いを述べます。

直觀：（インチュイーション）… 高級靈と靈の心（心臟腦）のテレパシー通信
直感：（インスピレーション）… 背後靈（SEPOUW）と靈體（れいたい）の潜在意識（F I K）の機能を使った間接的通信

これが違いであり、音叉も段階的にツールを増やしていき、正しくツールを使用することで、最終的に直觀のステージに到達します。これらは導入編～マスター編までのステップを正しく踏むことで誰しもが可能です。

Q　直觀と直感の磨き方は違うのでしょうか？

A　違います。直感は肉體（にくたい）の五感の延長線上であり、どちらかというと「食生活」の影響が強く出ます。直感が狂うのは「肉食」と「白砂糖」が二大巨悪であり、電磁波も含めると三大巨悪になります。また、ワクチン、クスリ、化學物質、重金属なども感覺を鈍らせるものであり、日常生活で対策をしていくことが直感、感覺を正常に戻すために必要なことです。

Q　その対策方法を教えてください。

A　色々ありますが、肉食を辞めること、白砂糖を控えることは絶対条件です。また、電磁波や化學物質は「生體(せいたい)ミネラル水」を使うことで対策することをオススメしています。他には「エノレコン」というFALF(ファルフ)製品も電磁波や化學物質の対策のひとつです。また、導入編セットである「528Hz 倍音トライアルセット」を使うことも大きな対策法のひとつです。

Q　直觀はどうやって磨くのですか？

A　これは非常に条件が厳しいです。高級靈と靈の心(心臓脳)のテレパシー通信ですから、簡單には出來ません。まず、２０２１年のイエスの地上再臨を認めること、ナザレのイエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』を正しく理解し、信仰實踐していることが絶対条件です。そして、命懸けで「調和の實踐」をし靈性を進化させていくこと、これが直觀を磨く方法です。

Q　イエスの地上再臨はどうやって知れますか？

A　イエスの地上再臨の足場になったスピリチュアリズム普及會(ふきゅうかい)のＨＰに詳細が書かれています。そこに書かれているイエス再臨の情報は、高級靈達曰く、１００％正確な情報と斷言されています。そして、それを信じる信じないは皆さんの自由です。

Q　イエスを総指揮者(リーダー)にした靈界主導の地球人類救済計画(スピリチュアリズム)は、いつ達成されますか？

A　これは、地上人類次第です。靈界の見解としては數百年から千年はかかるだろうと認識しています。まず宗教界を根こそぎ改革してから、地上世界のあらゆる分野を改革し、最終的に地上世界に平和をもたらしますが、それにはイエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』を地上人類全員のバイブルにすることが絶対条件です。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

Q　宗教の統合とは何ですか？

A　地上の宗教は、靈界から見たらすべて失格です。宗教は教育そのもの、人生の思想そのものに關わってきますが、宗教の二大テーマは「死について」と「神について」です。地上の宗教で死について、神について正しい宗教はひとつもありません。死について、神について１００％正しいとえる情報はイエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』であり、地上世界の宗教を根こそぎ靈界の教えに統合することを宗教の統合といいます。

Q　星信仰の復活とは何ですか？

A　地球人類救済計画（スピリチュアリズム）のもうひとつのテーマ「心靈治療」に該当するものです。音叉ヒーリングの本質は、天球の音樂を再現し、靈的（宇宙）エネルギーと生命（大地）エネルギーを人體（じんたい）に取り入れるための画期的な方法論（メソッド）です。星々の音が「靈界からの治療エネルギー」、「賦活性（ふかつせい）を持った放射線」そのものに該当します。賦活性（ふかつせい）とは「機能や働きを活發化させること」を意味し、惑星音叉、ソルフェジオ音叉は賦活性（ふかつせい）を持った放射線そのものであり、それを人體（じんたい）に取り入れることで生命力を蘇生させます。それを地球人類誰しもが音叉により自分自身で出來る時代にすることが星信仰の復活です。

Q　音叉ヒーリングであらゆる病氣は治せるのですか？

A　これは、ＹＥＳともＮＯとも言えません。原理上は可能ですが、あくまでも原理上だけです。その理由は、病氣はカルマの法則によってコントロールされているからです。治るだけのタイミングに來ている人なら治りますし、治るだけのタイミングじゃなければ治りません。そもそも病氣の治療の目的は「生命（いのち）の調律」であり、魂が靈性に目覺め、本人が生まれる前に決めてきた青写眞（ブループリント）に人生を修正することが目的であり、身體（しんたい）の病氣を治すことが目的ではありません。

Q　音叉ヒーリングを他人にしてもいいのでしょうか?

A　わたし達には、癒したい人を誰でも癒していいという権利はありません。たとえ手当たり次第、人々に触れただけで完璧に人々を癒すことができたとしてもです。それはルール違反なのです。自分がそうしたいから、あるいは相手がそれを求めたり望んだりしているからというだけでヒーリングを行うことはできません。

まず背後靈(SEPOUW)から本來はヒーリングの許可を得なくてはならないのです。癒やしてあげたいと思う氣持ちは理解できますが、これには本人の學びを奪い取る危険性があるからです。その苦しみが本人の必要な體驗(たいけん)の場合、必要なタイミングが來るまでは誰も勝手にヒーリングをしてなりません。これは靈界がはっきり述べている自然法則のルールなのです。

Q　無料だとしても他人に音叉ヒーリングをしては駄目なのですか?

A　自分自身の背後靈(SEPOUW)の許可、相手の許可、相手の背後靈(SEPOUW)の許可、すべての条件を滿たしたならばヒーリングをしても構いません。それが他人にヒーリングをする場合の絶対条件です。これは無料だろうと有料だろうと同じであり、背後靈(SEPOUW)の確認が取れないならばヒーリングは控えたほうがいいでしょう。例え本人がヒーリングをしてほしいと望んだとしても、背後靈(SEPOUW)から許可が降りない場合はヒーリングはしてはいけません。

Q　背後靈(SEPOUW)にどのように確認を取るのですか?

A　基本的に「ダウジング」か、「Oリングテスト」で確認をとる形になるでしょう。また、筋肉反射テストは慣れてきたならば、自分自身の首や腕でも YES/NO の確認がとれるようになります。ただ、靈體(れいたい)オーラをかなり消耗するので、あまり使いすぎないように注意が必要です。使いすぎるとエネルギーを消耗し、低級靈に憑依される危険性もあります。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

Q　靈的眞理の普及が、なぜ最大の利他、最大の奉仕になるのですか?人の役に立つならば、そこに拘らなくてもよろしいのではないでしょうか?

A　それは靈的世界のことを知らないから言えるのです。人間は死後も永遠に生き續(つづ)ける存在であり、嚴密には「死とは靈界という高時空元移動」、「生とは地上という低時空元移動」であり、地上人は幼稚園児、靈界人は社會人(しゃかいじん)みたいなものです。地上で學ぶべきことを學ばず幽界行きになると、そこから改心するのが容易ではなく、靈的眞理は地上世界で學ぶのが自然なことなのです。

まず、現時点の地上人類の 8 割以上は、死後に幽界で地縛靈になります。これは間違った宗教、間違った地上世界の習慣や慣習を信じているために起こります。宗教信者はひとり殘らず幽界最下層で地縛靈になるのが今の地球人類の状況なのです。また、これは宗教だけに限らず、地上世界の科學(かがく)、醫學(いがく)という唯物主義、政治、經済の利己主義を通した生き方でもほぼ十中八九、幽界地縛靈になります。

また、ニューエイジ系と呼ばれる精神世界系、スピリチュアル系、自己啓發系も、チャネリングと呼ばれる靈界通信の９９．９９％が低級靈、邪惡靈からの通信であり、そういった低級靈の情報を鵜呑みにし、EGHO(エゴ)意識を增大させる生き方をしていても十中八九、幽界最下層で地獄のような苦しみを體驗(たいけん)することになります。

靈的眞理の普及とは、靈的世界でも地上世界でも通用する大靈(たいれい)の自然法則のルールを學ぶことであり、今の地上人類は、地上世界でしか通用しないEGHO(エゴ)文化を築きあげてしまっています。人間は死後も生き續(つづ)ける、地上世界は靈界で通用する生き方を學ぶための學校という顯在意識(DIKAG)での認識が大切になります。地球人類の救いは、地上人類共通のバイブルをイエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』にし、靈優位で調和の實踐をする人間が徐々に增えることでしか果たされません。だから最大の利他、最大の奉仕は靈的眞理の普及なのです。

Q　音叉セルフヒーリングの普及は、靈的眞理の普及に該当しますか?

A　まず、地上人類の悲劇の根本原因は「靈的無知」による利己主義、物質主義が原因で起こります。しかし、靈的無知の原因は、「一般人の眞理への無關心」と「一部の見識者の無口」により無知という悲劇が發生します。「無知は罪」と言いますが、「無口はもっと罪」であり、「最大の罪は一般人の眞理に關する無關心」が地上世界の悲劇の根本原因です。

生前のキング牧師の言葉で「最大の悲劇は、悪人の圧制や殘酷さではなく、善人の沈黙である。沈黙は、暴力の陰に隱れた同罪者である」という有名な言葉があります。この言葉は、不正義に対して沈黙している善良な人々を非難し、無關心と行動しないことの罪を指摘しています。

シルバーバーチは「肝心なことは、それを人生においてどう體現(たいげん)していくかです。心が豊かになるだけではいけません。個人的滿足を得るだけで終ってはいけません。今度はそれを他人と分かち合う義務が生じます。分かち合うことによって靈的に成長していくのです」と述べていますが、靈的眞理を分かち合う、これは生きる上での責任と義務です。

ということは、これで答えはお分かりですね。音叉セルフヒーリングの普及も靈的眞理の普及の一部であり、生命(いのち)の調律は靈的眞理の中の禱(いの)りとして重要な實踐項目です。しかし、それはあくまでも靈優位での調和（※DEVIK(デヴィック)、奉仕、利他）の實踐をするための最大の手段であり、すべては惑星地球をより善い天體(てんたい)にするという目的のために靈的眞理の普及も音叉セルフヒーリングの普及も必要なのです。

この惑星地球をより善い天體(てんたい)にする、そのために靈的世界と地上世界は二人三脚で仕事をする必要があり、そのために音叉セルフヒーリングの普及も必要なひとつなのです。それが、６０００年前より地球人類救済計画(スピリチュアリズム)を始めたイエスの願いであり、想いなのです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

あとがき

地上世界には、今すぐにでも対処し是正しなければならない問題があふれています。しかし、改善のためにさまざまな努力が續けられているにもかかわらず問題は増え續け、深刻さの度合いが増しているという事實に氣づいている人はどのくらいいらっしゃのでしょうか？

和平へ向けていろいろと努力が爲されながら、ことごとく失敗しています。しかし、唯一試みられていないのは「靈的眞理」の適用という方法です。それが實行されないかぎり、地上世界に戰爭と流血が終わることはなく、ついには地上人類が誇りに思っている物質文明も破綻し、破滅するでしょう。

本当の平和は靈的眞理を適用することによってしかもたらされないということを、地上人類はいつになったら悟るのでしょうか。戰爭はもとより、人間の愚かなEGHO意識が生み出す流血、悲劇、混沌、破綻といったものの元凶は「人間さえよければ、自分さえよければという利己主義」なのです。

人の役に立つという奉仕精神が利己主義に取って代わることによってのみ、平和が訪れることを地上人類は學ばなければなりません。しかし、靈的世界の存在が地上世界の問題を取り除くことはできません。あくまでも地上人類の努力によって、新しい地上世界を誕生させなければなりません。

靈界はあくまでも地上世界にメッセージを送り、それを實行し、具現化するのは地上の人間の仕事だからです。そして、靈性が進化し、靈的世界に対する直觀力、感覺力、感性などの感受性が鋭くなるにつれ、人間は地上世界の悲劇、悲しみをより強く感じるようになり、心を痛めるという犧牲を払うことになります。この地上世界は地獄のような世界だということを痛感し、必然的に地上人類の愚かさに絶望する體驗をすることになります。

そもそも、他の人間が飢えているのに、自分だけが満ち足りて平氣でいるようでは、靈格が高い人間ではありません。靈格が高い人間が、地上世界にまだまだ改革すべきことが沢山ありながら、自己満足していられるでしょうか。

生きるうえで欠かせないものに不自由し、貧困、飢餓、病氣で苦しんでいる人々が沢山いることを知って、自分だけ安穏としていられるでしょうか。地上世界のどこもかしこも混乱し、無秩序な状態にあるのを見て、心を痛めずにいられると思われますか。

靈的指導者の人生は全て同じパターンをたどります。むごい仕打ちを受ける試練の時期があり、人生の基盤としていたものが全て瓦礫し、悲哀が身に染み煩悶する危機的な時期があります。信頼していた人間に裏切られ、殺されそうになり、もはや地上世界のいかなる者からも救いの手は差し伸べてもらえないと思える深淵まで心が沈み絶望します。

そこまでの絶望に至って初めて靈(EXA PIECO)の心が目を覺まし、靈的世界から届けられる豊かなインスピレーション、神意(あい)と叡智と導きを受け入れる用意が整うのです。絶望の體驗(たいけん)の目的は、地上人類に対する慈悲の心を芽生えさせることにあったのです。なぜかと言えば、慈悲の心なくしては靈覚者も治療家も、本当の意味で人を救う仕事はできないからです。

そして、自分自身が先頭に立って未開拓の道を切り開き、後に續(つづ)く者が少しでも樂に通れるようにしてあげる必要があります。やがてそこに新しい道ができ上がり、通るほどに平坦になっていきます。

要するに靈的眞理を知った者は毎日の生活の中で、生命(いのち)の調律を通して靈優位を心がければこれだけ立派な生き方ができるのだということを率先して人々に示すことが大切なのです。それが、わたしが心がけている生き方であり、生命(EXA PIECO)懸けでしていることです。生命(EXA PIECO)懸けでなかったら本当の意味で生きているとは言えないからです。

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

大切なことは、音叉による生命（いのち）の調律により内なる声、EXA PIECO靈の心の声に耳を傾けることを毎日の習慣として繼續（けいぞく）させることです。宇宙の音程（インターバル）に眞の意味で耳を傾け、自分自身の癒しと變容（へんよう）の過程を辿るには宇宙の音とサイクルにつながる時間をとることは欠かせません。

その時間をとることで、EXA PIECO靈の心とDIKAG肉の心は繋がりはじめ、SEPOUW背後靈から直觀という形で人生のガイダンスが手に入るようになっていきます。そのための叡智を惜しみ無くシェアさせていただきましたが、これをDIKAG顯在意識で理解しようとすると、不調和な方向に向かってしまう危険性もあります。

わたし達の心は、何かを望むとき、たとえそれが「生命（いのち）を調律しよう」というときでさえ、うっかりすると欲望になり、執着を生み出してしまいやすいものです。そのとき、心は緊張し、乱れ、不調和な波動を生み出してしまいます。

肝要なのは、ここで得た知識を日常生活に取り入れていくことで、皆さんが生き方を靈優位の生き方、隣人への神意（あい）、人類への神意（あい）、物欲に偏らない生き方、調和の實踐の方向に生き方を新生させることです。そのための音叉によるセルフヒーリングテキストであり、ただの知識として閉まっておかれては困ります。

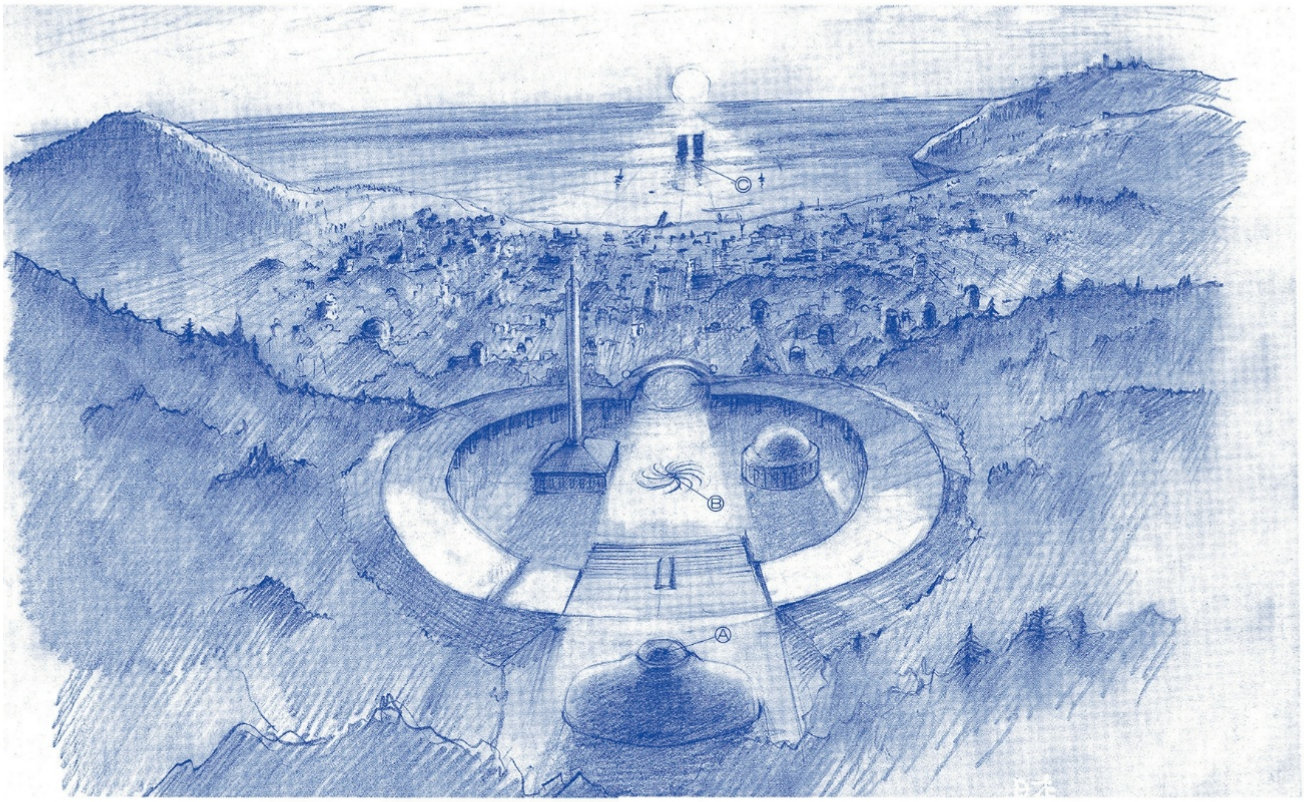
生命（いのち）の調律が進み、他者に目が向き始めるとおのずと生まれてくる性質が、慈しみや、万物を育む神意（あい）の性質です。全ての存在、生命は繋がり循環し、皆等しく平等で、尊重されるべきであるという理解が深まるにつれ、全ての存在を傷つけず、尊重し、大切に育んでいこうとする氣持ちが生まれてくるのです。

例えば日常の生活において、肉食を止め、穀物や野菜などの植物性の食事をしていこうと思い始めるケースもあります。それは健康面からの考えではなく、生命（いのち）を慈しむ心から生まれる變化（へんか）です。これが最も理想的な生き方の新生といえます。

地上世界は何世紀、何世代にもわたって意圖的に行われてきたさまざまな洗脳的行爲により、地上人類の大半はすっかり靈性という概念を失い、目に見えない存在とのコミュニケーション能力も閉じられてしまっています。またあらゆるところで眞理ではない価値觀を刷り込まれ、その結果、日常的に無用な判斷をする癖が備わってしまっています。

生命の調律が更に進むと、徐々にこれらの障害が取り払われていくのですが、その過程でわたし達の心に寛容さと忍耐と言う性質が育ってきます。すると、どのような相手に対しても、その人の側に立って状況を理解し、まずはあるがままに受け入れることができるようになってくるのです。

相手の言葉を遮ることなく最後まで耳を傾け、相手が理解できるであろうことを話しかけ、相手がその混乱や苦しみの状況から抜け出す手助けをすることができるようになってきます。この、相手の立場に立つ、相手の立場を想像することが思いやりの本質なのです。



資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます

今回、音叉セルフヒーリングを學ぶことにより、皆さんは地球人類救済計画（スピリチュアリズム）という地球人類全體（ぜんたい）のための予定表というものがあることを知りました。その計画は、ナザレのイエスという高級靈によって考え出されたものです。

その目的は、受け入れる用意の出来た地上の人々を靈的に、精神的に、そして身體（しんたい）的に眞の意味で自由にするためです。地上世界全體（ぜんたい）の單位の計画があり、國家（こっか）單位の計画があり、個人單位の計画があります。少しずつ靈界主導、高級靈と背後靈（SEPOUW）の協調關係を通して着實にすべての計画は運ばれており、決して性急に仕事はしません。

地上人類は、地球人類全部を包み込んだ崇高な計画に參加している以上、背後靈（SEPOUW）を無視して自分勝手な行動をしたり、せっかちな行動は許されません。地上世界すべての問題を解決しなくてはなりませんが、問題があまりに多くて、背後靈（SEPOUW）を無視して先走りした行動をするわけにはいかないのです。

そして、音叉による生命（いのち）の調律は、地上人類が靈的新生を成就するための最先端の知識であり、背後靈（SEPOUW）との二人三脚、眞の意味での人類への奉仕をするための画期的な手段であり、音叉セルフヒーリングを普及することは、靈界と協調關係を深めるために必要なことなのです。

願わくば、正しい形で音叉による生命（いのち）の調律が地上人類に徐々に普及し、靈性という生き方に人類が回帰し、地上世界の惡弊がなくなり、様々な悲劇を減らし、より多くの神意（あい）をもたらし、人間同士、そしてまた人間と共にこの天體（てんたい）を共有しているどうぶつ達に対しても慈悲の心を向けられるようになり、いつの日か地上天國（てんごく）を實現することを夢見ています。

音叉によるセルフヒーリングテキスト入門編　後編（實踐編）

第一刷　2026 年 2 月 1 日

著者　廣瀬仁

【プロフィール】

1986 年生まれ。茨城県出身。2011 年にシルバーバーチの靈訓と音叉ヒーリング出会い、スピリチュアリズムの靈的眞理と音叉による生命（いのち）の調律を實踐形式で独學（どくがく）で學んできた。また、健康に關しても追窮してきて、靈的眞理に適ったホリスティック健康學の理論を完成させる。地上人生で一番大切なことは靈優位による利他、奉仕の實踐を通した靈性の進化と確信を持ち、その思想を信仰實踐している。

【自己表現プロジェクト】

〒441-0202　愛知県豊川市赤坂町東山 362

ホームページアドレス　https://self-expression.jimdosite.com/

遠隔ヒーリング系 YouTuber 戸田英子が贈る【奇跡の村 ch】

https://youtube.com/@enkaku-healing?si=KR4RFMflw2C5fAke

資料の再販、コピーを他人に配布、ホームページ、ブログ他、インターネットへの掲載は堅く禁じます